



文 部 科 学 省 「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」  
日本学術振興会 「科学研究費補助金・基盤研究 A (JP17H01007)」  
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業  
(JPJS00218077184)」

# 日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2018

---

編集・発行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2020 年 3 月

## はじめに

本書は、日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センターが、2018年2月から4月にかけて実施した「日本版総合的社会調査 JGSS-2018」の基礎集計表・コードブックである。

JGSS-2018 は、科学研究費補助金基盤 (A)「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」(JP17H01007; 研究代表: 岩井紀子)と文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の研究費を受けて実施した。データの整備および本コードブックの刊行は、日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」(JPJS00218077184)と大阪商業大学の支援を受けた。

なお、科研費基盤 (A) JP17H01007 のメンバーは下記の研究者である。

研究課題	「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」	
研究種目・研究課題/領域番号	基盤研究 (A) JP17H01007	
研究期間	2017.4.1-2020.3.31	
配分額	43,680,000 円 (直接経費 : 33,600,000 円、間接経費 : 10,080,000 円)	
研究代表者	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
研究分担者	宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部 教授
	佐々木 尚之	大阪商業大学公共学部 准教授
	谷岡 一郎	大阪商業大学公共学部 教授
	杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 准教授
	仁田 道夫	東京大学 名誉教授
	岩井 八郎	京都大学教育学研究科 教授
	阿部 彩	首都大学東京人文科学研究科 教授
	釜野 さおり	国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部 第2室長
	伊達 平和	滋賀大学データサイエンス学部講師
	溝口 佑爾	関西大学社会学部 准教授
	孟 哲男	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	竹本 圭佑	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	吉野 智美	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	金 政芸	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	藤 媛媛	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員
	林 萍萍	大阪商業大学 JGSS 研究センター 研究員

2020年3月時点

JGSS-2018 の企画、データの作成、本書の作成にあたっては、本書の「I.1 JGSS-2018 プロジェクトメンバー」の協力を得ている。

JGSS-2018 は、JGSS-2017 の拡大調査として実施されたものであり、調査票はほぼ同じである。JGSS-2017 と JGSS-2018 調査の実施目的は、「東アジア社会調査 (EASS) 2016 家族モジュール」の共通設問群—親や子どもとの同別居・相互交流・支援状況、家族観 (性別役割分業意識、結婚観、離婚観、父親の権威など)—を調査票に加えることにより、日本人の家族観と行動について、EASS 2006 から 10 年後の詳細な情報を提供することである。さらに、研究代表者らが、2000 年からこれまでに蓄積してきた日本版総合的社会調査と East Asian Social Survey (EASS:東アジア社会調査; 2006 年開始) のデータ

と合わせて、女性の就業、育児・教育責任、高齢者の生活費・介護責任、再生可能エネルギーの利用、節電行動、自然災害・環境汚染のリスク認知、地域の対応力について、時系列の分析を行い、社会の持続可能性にかかわる人々の意識と行動を明らかにし、解決に向けての提言を行うことである。

JGSS プロジェクトでは、JGSS と同様に総合的社会調査を実施している韓国・中国・台湾のチームと共同で East Asian Social Survey (東アジア社会調査) プロジェクトを 2003 年末に立ち上げ、共通するモジュールを作成して、それぞれの調査に組み込んできた。JGSS-2006 には EASS 2006 家族モジュールを、JGSS-2008 には EASS 2008 文化とグローバリゼーションモジュールを、JGSS-2010 には EASS 2010 健康と社会モジュールを、JGSS-2012 には EASS 2012 社会的ネットワークと社会関係資本モジュールを、JGSS-2015 には EASS 2014/2015 仕事と生活モジュールを、そして、JGSS-2017/JGSS-2018 には「EASS 2016 家族モジュール」を組み込んだ。

表1 日本・韓国・中国・台湾チームが実施した調査の概要

調査名	日本		韓国	中国	台湾
	JGSS-2017	JGSS-2018	KGSS 2016	CGSS 2017	TSCS 2016
実施時期	2017年1～3月	2018年2～4月	2016年6～10月	2017年6～12月	2016年8～11月
調査方法	面接法と留置法併用	面接法と留置法併用	面接法	面接法	面接法
調査対象	20～89歳の男女	20～89歳の男女	18歳以上の男女	18歳以上の男女	18歳以上の男女
抽出方法	層化2段 無作為抽出	層化2段 無作為抽出	層化4段 無作為抽出	層化4段 無作為抽出	層化3段 無作為抽出
計画標本	1,500	4,000	2,400	6,000	4,000
有効回答数	744	1,916	1,051	4,132	2,024
回収率 <sup>1)</sup>	55.6%	54.3%	46.9%	68.9%	49.7%

1) 各チームが報告している値に基づいており、算出方法は異なる。

韓国チームと台湾チームは EASS 2016 モジュールを組み込んだ調査を 2016 年に、中国チームは 2017 年に実施した。日本チームは、当初、EASS 2016 を組み込む調査の計画を持たなかったが、文部科学省「共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成を 2016 年 4 月に得たことにより、2017 年に JGSS-2017 を実施することができた。JGSS-2017 により 744 ケースの有効回答を得たが、EASS 2006 の家族モジュールを組み込んだ JGSS-2006 の留置 B 票の有効回答数は 2,130 ケースであり、10 年間の変化を把握するにはより多くのケースの収集が望まれた。そこで、日本チームは、JGSS-2017 のサンプルの拡大を目指して、2016 年秋に科学研究費基盤 (A) を申請し、2017 年 4 月に研究費を獲得した。2018 年 2～4 月に JGSS-2017 とほぼ同じ設問を用いて JGSS-2018 を実施し、1,916 ケースの有効回答を得た。

JGSS-2017 には、EASS 2016 家族モジュールのほかに、新規設問として「同性結婚の賛否」、「ペットの世話時間と医療費」、「Grit スケール (翻訳の違いの影響を検証)」を加えた。東日本大震災・原発事故発生後の人々の行動と意識についての設問は、JGSS-2012 から継続して組み込んでいる。

JGSS-2018 の調査票が、JGSS-2017 と異なる点は、「Grit スケール」を削除して、「自分の墓」と「実家の先祖の墓 (承継の有無と今後)」を JGSS-2015 から復活して加えたことと、調査員への設問に「表札の有無」と「家のインターフォンの種類」を加えたことである。

JGSS プロジェクトで作成されたデータは、国内外のデータアーカイブに寄託されている。東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ (SSJDA) での利用は、2019 年 10 月末時点で研究者および学生の利用者数はのべ 19,608 名、データセットの利用数はのべ 139,106 件である。SSJDA が所蔵する

2,000 以上のデータで最も利用が多く、2018 年度の利用申請のうちの 29.6%は JGSS データであった。ミシガン大学の ICPSR を通したデータセットの利用数は、2019 年 10 月末時点でのべ 30,645 件に上る。JGSS データはドイツの GESIS にも寄託されている。

SSJDA と ICPSR を通して JGSS を利用した研究者などが所属する機関は、国内 261 大学、海外 377 大学、国内研究機関 52、海外研究機関 25 にわたっている。海外で利用できる日本の最新のデータが非常に限られている中で、JGSS プロジェクトは、海外の研究者に分析の機会を提供し、国際比較研究を促進する役割を果たしている。JGSS-2018 のデータは、JGSS-2017 と統合してデータを 2021 年度に公開する予定である。

JGSS プロジェクトは、公開性・継続性・国際性・革新性をモットーにして、前向きにかつ堅実に研究実績、調査についての知識・学術資料・データベース、他大学との共同研究・共同利用の実績を蓄積してきた。今後もこの姿勢の継続が目指されている。

JGSS 研究センターは、2018 年 10 月に、独立行政法人日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」(JPJS00218077184)を受託した。この事業は、人文学・社会科学研究に係るデータを分野や国を超えて共有・利活用する総合的な基盤を構築することにより、研究者がともにデータを共有しあい、国内外の共同研究などを促進することを目指している。同事業の詳細は <https://www.jsps.go.jp/j-di/index.html> を参照されたい。本センターでは、同事業により、JGSS ならびに EASS データの整備をさらに推進するとともに、調査データの寄託を検討している研究者および機関に対して、データ寄託準備（英訳を含む）のサポートを行っている。

本調査に協力してくださった調査対象者の皆様に心からの謝意を申し上げます。

2020 年 3 月

文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター  
センター長 岩井 紀子

## 目 次

はじめに

### I. JGSS-2018 調査概要

1. JGSS-2018 プロジェクトメンバー .....	1
2. 調査の内容 .....	3
3. 調査の方法 .....	21
4. 回収率ならびに欠票の分析 .....	27
5. データセットの重み付けについて .....	33
6. データの公開状況と入手方法 .....	39

### II. JGSS-2018 集計と索引

1. 基礎集計・コード表：面接調査票 .....	49
2. 基礎集計・コード表：留置調査票 .....	129
3. 事項索引 .....	177
4. 変数名索引 .....	191

### III. JGSS-2018 資料

1. 抽出地点リスト .....	203
2. 産業コード .....	205
3. 職業コード .....	207
4. 国際標準職業分類 (ISCO) .....	213
5. GSS・世論調査と調査項目 (面接調査票) の対応表 .....	229
6. GSS・世論調査と調査項目 (留置調査票) の対応表 .....	239
7. フローチャート .....	255
8. 面接調査票	
9. 面接調査票 回答票 (サンプル)	
10. 留置調査票	
11. 依頼状 (調査へのご協力をお願い)	
12. パンフレット	
13. 調査要領	

## I . JGSS-2018 調査概要

## I.1 JGSS-2018 プロジェクトメンバー

JGSS 研究センター長	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
JGSS 研究センター運営委員会委員長	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
運営委員		
平尾 桂子	上智大学大学院地球環境学研究科	教授
池田 謙一	同志社大学社会学部	教授
岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科	教授
中谷 友樹	東北大学大学院環境科学研究科	教授
仁田 道夫	東京大学	名誉教授
岡太 彬訓	立教大学	名誉教授
宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部	教授
佐々木 尚之	大阪商業大学公共学部	准教授
JGSS 研究センター研究員		
孟 哲男	JGSS 研究センター	主任研究員
吉野 智美	JGSS 研究センター	主任研究員
竹本 圭佑	JGSS 研究センター	PD 研究員
金 政芸	JGSS 研究センター	PD 研究員
藤 媛媛	JGSS 研究センター	PD 研究員
林 萍萍	JGSS 研究センター	PD 研究員
研究メンバー		
宍戸 邦章	大阪商業大学公共学部	教授
佐々木 尚之	大阪商業大学公共学部	准教授
谷岡 一郎	大阪商業大学公共学部	教授
杉田 陽出	大阪商業大学経済学部	准教授
仁田 道夫	東京大学	名誉教授
岩井 八郎	京都大学教育学研究科	教授
阿部 彩	首都大学東京人文科学研究科	教授
釜野 さおり	国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部	第2室長
伊達 平和	滋賀大学データサイエンス学部	講師
溝口 佑爾	関西大学社会学部	准教授
孟 哲男	大阪商業大学 JGSS 研究センター	研究員
竹本 圭佑	大阪商業大学 JGSS 研究センター	研究員
吉野 智美	大阪商業大学 JGSS 研究センター	研究員
金 政芸	大阪商業大学 JGSS 研究センター	研究員
藤 媛媛	大阪商業大学 JGSS 研究センター	研究員
林 萍萍	大阪商業大学 JGSS 研究センター	研究員
事務局		
川西 秀雄	大阪商業大学 学術研究事務室	室長
平田 順一	大阪商業大学 学術研究事務室	
肝付 紗矢香	大阪商業大学 学術研究事務室	

(以上、2020年3月時点の所属)

## I.2 調査の内容

JGSS-2018 は、JGSS プロジェクトが最初に実施した第 1 回本調査 (JGSS-2000) から数えると、第 12 回目の調査にあたる。JGSS-2018 は、JSPS 科研費 JP17H01007「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」(平成 29~31 年度基盤 (A) 研究代表: 岩井紀子) と文部科学省の平成 29 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の支援を受けて 2018 年 2~4 月に全国 267 地点で 20~89 歳男女 4,000 人に実施した調査である。データの整備は、日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」(JPJS00218077184) および大阪商業大学の支援を基に行なった。

JGSS-2018 は、JGSS-2017 の拡大調査として実施したものであり、組み込んだ設問もほぼ同じである。JGSS-2017/JGSS-2018 には、JGSS プロジェクトが 2006 年から、韓国・中国・台湾チームと協力して実施している東アジア社会調査 (East Asian Social Survey: EASS) の「東アジアの家族」モジュールを組み込んだ。また、「社会の持続可能性」に関する設問として、JGSS-2012 と JGSS-2015 に続いて東日本大震災関連設問を加えた。また、ペット関連項目として「ペットの保有」と「世話しているペット」の設問を JGSS-2006 から復活させ、「ペットを世話する時間」と「ペットの医療費」の設問を新たに加えた。墓の継承に関する項目として「自分の墓について」と「先祖の墓の継承」の設問を JGSS-2015 から復活させた。さらに、時事設問として「同性婚への賛否」を尋ねている。

本稿では、JGSS 調査票の出発点となる JGSS-2000 の調査票が確定されるまでの経緯と、その後の調査項目の変遷にふれた上で、JGSS-2017 および JGSS-2018 に組み込んだ調査項目を紹介する。

### 1. JGSS の調査方法と調査票の確定まで

#### 1.1 2 回の予備調査による検討

JGSS は、GSS に範を取り、国際比較を視野に入れているが、日本の社会と人々の意識や行動の実態を把握することに主眼をおいている。調査対象者の世帯構成、就業や生計の状況、両親や配偶者の職業、対象者の政治意識、家族観、人生観、死生観、宗教、余暇活動、犯罪被害など広範囲の調査項目を網羅し、さまざまな問題関心から分析ができる調査データの構築を目指している。

第 1 回本調査である JGSS-2000 に組み込む項目の選択にあたっては、GSS の 1996 年度の Cumulative Codebook を基に、過去に使用された全調査項目を検討した上で、1990 年以降の 5 回の調査における出現頻度や重要性から判断して、必要な項目を抽出した。さらに、日本における近年の各種の世論調査を参照し、関心が高い項目、あるいは時系列の観察が必要と思われる項目を加えている。JGSS の調査データは、社会科学の多くの問題について基礎的な資料を提供し、多岐にわたる変数の関連を分析することを可能にする。その反面、GSS と同様に、一つの問題関心について詳細な情報を提供することはできない。ただし、調査年によってトピックを設定して、その関連の設問を増やす場合もある。

JGSS プロジェクトでは、調査項目と調査方法論上の検討を行うために、第 1 回予備調査を 1999 年 3 月に首都圏と大阪府において、さらに同年 11 月に第 2 回予備調査を全国規模で実施した。第 1 回予備調査と第 2 回予備調査から得た結果の概要は以下のとおりである。

#### 1.2 面接調査と留置調査の併用の可能性・実施順序

GSS は平均 90 分を要する面接調査で、途中 15 分ほど、自記式 (対象者自身が調査票に記入する) の部分がある。これは、International Social Survey Programme (ISSP) のための調査票を GSS に組み込んでいるからである。日本の調査環境を考えると、GSS のやり方をそのまま持ち込むことは難しい。そ



ここで JGSS では、面接調査法と留置調査法を併用し、それぞれの所要時間を約 20 分とし、全体として 40 分ほどで調査が終了することを目指した。

日本では、面接と留置を組み合わせた全国調査は少なく、ほとんどの場合、どちらか一方が採用されていた。JGSS では、GSS や NSFH (National Survey of Families and Households) を参照して、面接法と自記式を併用することにした。ただし、自記式を面接の途中に組み込むのではなく、面接調査の前あるいは後に、留め置いた調査票への記入を依頼する形をとった。就労状況、政党支持、婚姻歴、世帯構成など、設問が複雑であったり、枝分かれの多い調査項目は、面接調査票に入れている。一方、面接で尋ねると、社会的望ましさの方向へ回答が振れやすい設問は、留置調査票に入れている。

第 1 回予備調査では、面接調査と留置調査のどちらを先に実施するのがよいかを検討した。split-ballot の方法を用いて、対象者の半数には面接→留置、残りの半数には留置→面接の順に依頼した。ただし、対象者の都合や希望で順序を変更してもよいこととし、調査員には実際に実施した順序を記録させた。この結果、58.7% のケースでは面接を先に、41.3% のケースでは留置を先に行っており、どちらかという、面接調査を先に実施する方が、調査がスムーズに運ぶようであった。調査終了後に調査員から聴き取りを行ったところ、対象者の都合や希望に任せる方が調査を実施しやすいという意見が少なくなかった。そこで第 2 回予備調査からは、実施順序は、調査員の状況判断に任せている。どの年度においても、面接を先に行うケースがほぼ 4 分の 3 を占める。また、面接と留置のうちの片方しか実施できなかったケースは非常に少ない。結論として、面接法と留置法の併用は成功したといえよう。

### 1.3 測定尺度と選択肢の検討

GSS と共通する質問項目を JGSS に組み込むに際しては、GSS で採用されている測定尺度をそのまま採用するのか、あるいは日本の世論調査でなじみのある測定尺度に変更すべきなのかを検討する必要がある。また、尺度そのものの特性や分析方法との兼合いなどについても検討する必要がある。そこで、第 1 回予備調査と第 2 回予備調査では、選択肢やスケール、回答の方法などが一部異なる A 票と B 票の 2 種類の留置調査票を用意して、split-ballot の方法で調査を実施した。全体の半分では A 票を、残りの半分では B 票を使用した。面接調査票は 1 種類である。A 票には GSS と互換性がある選択肢とスケールを、B 票には日本の調査でよく用いられる選択肢やスケールを組み込んだ。

第 1 回予備調査は都市部のサンプル、第 2 回予備調査は全国サンプルという違いはあるが、2 つの調査はいずれも共通した傾向を示した。第 2 回予備調査では、第 1 回予備調査で検討した項目に加えて、選択肢における「中の中」(階層帰属意識)の有無と選択肢の呈示順序(昇順/降順、性別)についても検討している。

この 2 つの予備調査で得た知見に基づいて、JGSS-2000 の調査票の選択肢やスケールを確定した。すなわち、選択肢の用語については、「強く」という言葉を使わずに、日本の調査で使われることの多い「どちらかといえば」という表現を用いる。日本で選択率の高い「場合による」は用いない。「わからない」に関しては、法律の知識を必要とする設問についてはこのカテゴリーを設け、それ以外の設問では設けない。スケールの対称性の問題とスケールか用語かという問題については、両端にのみカテゴリーを記入する左右対称のスケールを採用する。選択肢の数については、3 点尺度ではなく 5 点尺度を用いる。中間値の有無については、意見項目に関しては「どちらともいえない」を設けない 4 点尺度とし、階層帰属意識に関しては「中の中」を設けて 5 点尺度とする。選択肢の呈示順序については、支配的なカテゴリーを最後にもってくる。選択式か記述式かについては、具体的な情報を得られる記述式を用いる。家事の測定に関する絶対尺度と相対尺度については、頻度を尋ねる絶対尺度を用いる。このように JGSS では、GSS の選択肢やスケールをそのまま用いるのではなく、JGSS 独自の選択肢やスケールを組み込むことにした。

予備調査の結果の詳細は、『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第1回予備調査 基礎集計表・コードブック』と『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備調査 基礎集計表・コードブック』に記録している。

## 2. JGSS の調査項目の変遷

第1回本調査となる JGSS-2000 の調査票は、時系列の変化を見るために継続的に組み込む設問と、調査年度において社会の争点となっている問題について尋ねるいくつかの時事的な設問群から構成された。JGSS-2000、JGSS-2001、JGSS-2002 をへて JGSS-2003 では、留置調査票を2種類に分け、A 票には継続設問と時事設問を、B 票にはネットワーク設問を組み込んだ。また、JGSS-2005 から JGSS-2012 までは、JGSS にふさわしい研究課題を、広く国内外の研究者に呼びかけて公募し、採択した課題を設問として組み込んだ。さらに、EASS (東アジア社会調査: East Asian Social Survey) プロジェクトの開始により、JGSS-2006 から JGSS-2012 までは留置 B 票に、JGSS-2015 からは留置票に、台湾・韓国・中国と共通する設問を組み込んでいる。このように、JGSS の調査内容は現在では、継続設問、時事設問、公募設問、東アジア共通設問 (EASS モジュール) から構成されている。

JGSS-2000 から JGSS-2017 に至るまでの調査項目の具体的な変遷をたどる前に、JGSS の設問内容を構成する「研究課題の公募」と「EASS プロジェクト」についてふれておく。

### 2.1 研究課題公募の開始

JGSS-2005~2012 では、調査実施の12~24ヶ月前に研究課題を設問の形で公募し、採択したものを調査票に組み込んでいる。募集の目的は、研究者が関心のある研究課題に基づいた設問を組み込むことで、JGSS の調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとする、また、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げるためである。研究課題の採択者は、JGSS 研究センターと連携して調査の設計段階から研究会に参加し、必要な調査データの収集・分析によって研究を遂行することになる。

設問のテーマ・条件、応募資格、選考方法などは、次頁の表1のとおりである。JGSS プロジェクトに過去に参加したメンバーであっても、設問の組み込みを希望する場合は、募集要項に沿って応募しなければならない。また、EASS に組み込む設問についても、同様に研究課題を募集しているが、こちらはあらかじめ EASS の調査テーマに沿った課題について、英語による設問の作成が求められている。

**JGSS-2005** では、研究者4名、大学院生8名、JGSS 委員会メンバー (当時) 5名からの応募があり、研究者3名、大学院生2名、JGSS メンバー3名 (2名は過去の設問の復活) の設問を採択した。その結果、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」などの設問が組み込まれた。

**JGSS-2006** では、研究者2名、大学院生16名 (1名は在米日本人)、JGSS メンバー5名から応募があり、大学院生2名、JGSS メンバー3名 (2名は過去設問の復活・アレンジ) の設問を採択した。「中学3年時になりたかった職業」、「離婚後の親子関係」、「海外援助」などの設問が組み込まれた。

**JGSS-2008** では、研究者5名 (1名は在米日本人; 1名はアメリカ人)、大学院生2名 (1名は在米日本人)、JGSS メンバー3名から応募があり、研究者1名 (在米日本人)、大学院生1名、JGSS メンバー2名 (1名は過去設問の復活・拡張) の設問を採択した。「貿易に対する態度の規定要因」、「経済的不安感」、「知事の任期と支持率」、「エコ行動の変化」などの設問が組み込まれた。

**JGSS-2010** では、研究者10名、大学院生5名、JGSS メンバー4名から応募があり、研究者9名、大学院生3名、JGSS メンバー4名 (3名は過去設問の復活・アレンジ) の設問を採択した。採択した設問の概要は、「裁判員制度」、「身体についての意識と行動」、「観光行動」、「英語の必要性」、「英語教育への意識」、「組織風土」、「耽溺行動」、「中高年の地域活動・ボランティア活動」、「インフルエンザの流行

に関する意識と保健行動」、「皮膚のそう痒感」、「将来への希望」「癒し行動」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。「運動習慣」の設問も採択したが、EASS モジュールと重なる部分の整合性がつかず、応募者が希望するほど詳細に尋ねることもできないために、途中で組み込むことをあきらめた。

表 1 JGSS 研究課題の公募

- 〈研究課題のテーマ・条件〉 テーマは総合的社会調査にふさわしいもの。課題は、質問文・選択肢ともに完成した設問の形にする。設問の量は 1 問から可能。分量に特別な上限は設けないが、分量が多い場合、全体ではなく一部が採択されることがある。EASS の研究課題は、あらかじめ決められた調査テーマによる英語の設問で提案すること。
- 〈応募資格〉 大学または研究機関の研究者、大学院生。
- 〈応募方法〉 指定の用紙を JGSS の HP からダウンロードし、氏名、所属、連絡先、所属学会、研究課題、設問案、設問を挿入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参考文献・調査、JGSS データの利用経験、これまでの調査経験を明記して、メールに添付して提出。
- 〈選考方法と発表〉 選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、中立なる審査・選考を行う。選考では、設問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮する。
- 〈採択者の義務〉 JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムに参加）となり、採択された設問に関連するデータのアフター・コーディネーティングやクリーニングを担当。調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うことがあり、設問の調整・調査票の作成のために、指定された日時に大阪商業大学で行う研究会に参加する。日時は約 1 ヶ月前に連絡する（センターで開催する研究会の交通費一部支給のほか、センターの施設・設備利用が可能）。一般公開前に分析可能となるデータを使い、研究会に参加・報告、最初の成果を JGSS 研究論文集に掲載する論文として提出する（論文集：毎年 3 月 31 日に刊行、原稿不切：毎年 1 月中旬）。
- 〈留意事項〉 採択者は、データの一般公開前の特別利用が認められる。ただし、JGSS 研究論文集刊行までの間、研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできない。採択された設問は、JGSS の調査票に帰属する（考案者の名前は明記しない）。

JGSS-2012 では、研究者 11 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー 2 名から応募があり、研究者 7 名、大学院生 1 名、JGSS メンバー 2 名（1 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。採択した設問の概要は、「社会的承認」、「学齢期の社会活動の経験・生涯学習」、「大規模自然災害の発生可能性と不安感」、「自然災害に対する地域の対応力」、「友人ネットワーク」、「相談相手」、「異世代との会話機会」、「ネットワークの同質性・上下関係」、「垂直的・水平的ネットワーク多様性」、「社会への貢献」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。

JGSS-2015 は、JGSS-2012 までとは異なり、科学研究費補助金「東アジアにおけるワークライフバランスと社会の持続的可能性に関する総合的研究」（JSPS 科研費 JP26245060 平成 26～28 年度基盤（A）研究代表：岩井紀子）により調査を実施した。研究代表者と研究分担者が、JGSS の継続性と EASS 2014/2015 のテーマに関連する研究課題を練り、科研費を申請し、研究計画に即して調査票を作成した。したがって、JGSS-2015 では設問の公募は行っていない。

JGSS-2016 では、JGSS-2015 と同様に、科学研究費補助金により調査を実施した。この調査は、「東アジアにおける教育過剰と就業行動・意識との関係に関する比較研究」（JSPS 科研費 JP15H03485 平成

27～29 年度基盤 (B) 研究代表：岩井八郎) による。JGSS-2016 は、JGSS-2015 の拡張版調査であり、生産年齢人口のうち回収率の低い 25～49 歳を対象を絞った。調査票は、JGSS-2015 とほぼ同一であり、JGSS-2015 と JGSS-2016 のデータを合わせて、就業者における教育と就業の行動と意識を分析する研究者が、研究代表と分担者を務めている。したがって、JGSS-2016 では設問の公募は行っていない。

**JGSS-2017** は、文部科学省の平成 28 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」により調査を実施した。データの入力と基礎クリーニングと職業産業コーディングは、JSPS 科研費 JP17H01007「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」(平成 29～31 年度基盤 (A) 研究代表：岩井紀子) により実施した。JGSS-2017 では、「EASS 2016 家族モジュール」と JGSS の継続設問に関連する研究課題を練る研究チームを編成して調査票を作成し、設問の公募は行っていない。

**JGSS-2017G** は、文部科学省の平成 29 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成により調査を実施した。「EASS 2018 文化とグローバリゼーションモジュール」の設問を中心に調査票を作成した。JGSS-2017G でも設問の公募は行っていない。なお、JGSS-2017G は、予算の関係から、面接調査法と留置調査法の両方を行うという JGSS のこれまでの調査とは異なり、留置調査法のみである。

**JGSS-2018** は、JSPS 科研費 JP17H01007「東アジアにおける家族の変容と社会の持続可能性に関する総合的研究」(平成 29～31 年度基盤 (A) 研究代表：岩井紀子) と文部科学省の平成 29 年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」により調査を実施した。データの入力と基礎クリーニングと職業産業コーディングは、日本学術振興会「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」(JPJS00218077184) により実施した。JGSS-2018 では、採択された科研費の研究チームが、「EASS 2016 家族モジュール」の設問と JGSS 継続設問を中心に作成した JGSS-2017 の調査票をほぼそのまま用いており、設問の公募は行っていない。

## 2.2 EASS プロジェクトの開始

JGSS-2006 以降は、留置票を常に 2 種類作成し、そのうちの一方 (留置 B 票) に EASS モジュールを組み込むことになった。EASS とは、East Asian Social Survey (東アジア社会調査) の略であり、欧米の研究者が中心になりがちな国際比較調査において、東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を行おうとするプロジェクトである。

このプロジェクトは 2003 年 6 月に大阪商業大学において開催した「JGSS 国際シンポジウム 2003」を契機として立ち上がった。JGSS 以外に、GSS に範を取る台湾の TSCS (中央研究院社会学研究所チーム)、韓国の KGSS (成均館大学 Survey Research Center (SRC) チーム)、中国の CGSS (中国人民大学・西安交通大学チーム) がこのプロジェクトに参加している。

EASS プロジェクトの方法的な特徴は、独自の国際比較調査を新たに作り出すのではなく、それぞれの国・地域ですでに継続的に実施されている社会調査の中に、共通の設問群 (モジュール) を組み入れることで国際比較を行うという点にある。2006 年を初めとしてその後 2 年に 1 度、継続的にこのモジュールの組み入れを行っている。すでに実績のある継続調査を活用することで効果的・安定的に国際比較調査が継続できることを狙っている。第 1 回となる EASS 2006 のテーマは「家族 (Families in East Asia)」であり、第 2 回目の EASS 2008 は「東アジアの文化とグローバリゼーション (Globalization and Culture in East Asia)」、第 3 回目の EASS 2010 は「東アジアにおける健康と社会 (Health and Society in East Asia)」、第 4 回の EASS 2012 は「東アジアのネットワーク・社会関係資本 (Network Social Capital in East Asia)」、第 5 回の EASS 2014/2015 は「東アジアにおける仕事と生活 (Work Life in East Asia)」である。これらのモジュールを、JGSS-2006、JGSS-2008、JGSS-2010、JGSS-2012 の留置 B 票と、JGSS-

2015、JGSS-2016 の留置票にそれぞれ組み込んで調査を行った。調査の詳細については、『EASS 2006 Family Module Codebook』『EASS 2008 Culture Module Codebook』『EASS 2010 Health Module Codebook』『EASS 2012 Network Social Capital Module Codebook』『EASS 2014/2015 Work Life Module Codebook』を参照されたい。

第6回となる EASS 2016 は、EASS 2006 と同様に「家族 (Families in East Asia)」をテーマにしている。EASS 2016 では4チームの本調査の実施年が異なる。EASS 2014/2015 では、調査資金確保の問題により、KGSS が本調査を断念した。モジュール確定の遅れなどにより、JGSS、CGSS、TSCS も予定していた2014年に調査を実施できなかったが、それでも3チームは同じ年(2015年)に調査を実施できた。EASS 2016 では、KGSS と TSCS は2016年に EASS モジュールを組み込んだ本調査を実施できた。JGSS は文部科学省「共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成を2016年4月に得たことで、翌年の2017年に EASS 2016 のモジュールを組み込んだ JGSS-2017 を実施した。CGSS も2017年に調査を実施した。

EASS 2016 のモジュールは、JGSS-2018 にも組み込まれている。JGSS-2018 は、JGSS-2017 の拡大調査として実施されたものであり、組み込んだ設問もほぼ同じである。JGSS-2017 の有効回収数は744ケースであり、EASS 2006 の家族モジュールを組み込んだ JGSS-2006 留置 B 票の2,130 ケースの3割程度に留まっている。そこで、JGSS-2018 では抽出標本数を4,000人に増やして調査を実施し、1,916 ケースの有効回収を得た。EASS 2016 家族モジュールと JGSS-2017 の作成の詳細については、西川ほか(2017)を参照されたい。

第7回となる EASS 2018 は、EASS 2008 と同様に「東アジアの文化とグローバリゼーション (Globalization and Culture in East Asia)」をテーマにしている。JGSS では文部科学省「共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の助成を2016年4月に得たことで、翌年の2017年に EASS 2018 のモジュールを組み込んだ調査である JGSS-2017G を実施した。上述したように、JGSS-2017G は JGSS の通常の調査と異なり、留置調査法のみで行った。

なお、EASS 2018 のモジュールは、JGSS-2018G にも組み込まれている。JGSS-2018G は、JGSS-2017G の拡大調査として実施したものであり、組み込んだ設問もまったく同じである。JGSS-2017G の有効回収数は860ケースで、EASS 2008 の文化とグローバリゼーションモジュールを組み込んだ JGSS-2008 留置 B 票の有効回収数2,160 ケースの4割を下回った。そこで、計画標本1,200人の JGSS-2018G を行い、JGSS-2017G のデータと合わせて、統計分析に耐えうるケース数の確保を目指した。EASS 2018 文化とグローバリゼーションモジュールと JGSS-2017G の作成の詳細については、吉野・孟・岩井(2019)を参照されたい。

### 2.3 調査項目の主な変更点

後掲する表2は、JGSS-2000 から JGSS-2018 までの設問の変遷を示している。JGSS-2000 から JGSS-2016 までの調査項目および JGSS-2017 の特別調査である JGSS-2017G の主な変更点は、以下の通りである。JGSS-2017 と JGSS-2018 の調査票はほぼ同一であるため、両者の調査項目については2.4にまとめて記述する。

**JGSS-2000** (面接調査票: 19頁143問354変数、留置調査票: 15頁156問186変数) と **JGSS-2001** (面接調査票: 19頁146問346変数、留置調査票: 15頁158問189変数) の調査票は、ほぼ同一である。これは、この二つのデータを合わせることによって、性別、年齢、地域、職業などについて、より詳細な分析が可能となるためである。JGSS-2001 での変更は、面接票に「初職に就いた時期」、「初職の求職方法」、「配偶者のきょうだいの数」の設問を加え、留置票に「サッカーくじ」、本人と配偶者が「家族を介護した経験」の設問を追加、「少年法の改正」の設問を除いた点のみである。

JGSS-2002（面接調査票：19頁110問360変数、留置調査票：15頁160問261変数）では、面接調査票の一部と留置調査票のかなりの部分を変えている。JGSSの中心的な設問を残し、争点となっている時事的な設問を組み込んだ。面接票では、「教育訓練や研修」についての設問を除き、新たに、「高校の学科」、「進学率」、「大学の専攻分野」、「教育費の支出」、「住宅関連の支出」の設問を加えた。留置票では、JGSSの基本設問を残し、その他は新規設問群—「英語学習」、「ボランティア活動」、「環境と消費行動」、「ギャンブル」、「カジノ」、「多様な余暇活動」、「アレルギー疾患」、「購読新聞」、「学校教育から得たもの」—と入れ替えた。

JGSS-2003（面接調査票：12頁56問237変数、留置調査票A票：14頁153問250変数、留置調査票B票：22頁251問505変数）では、面接調査票の設問数を大幅に減らし、留置調査票を2種類用いている。JGSSの基本形を踏襲した留置A票と、対象者のネットワークについての設問を中心とする留置B票である。後者は、悩み事、政治、仕事のそれぞれに関して相談する相手（最大4人）について詳しく尋ね、この3つのネットワークの重なりについても把握するという、大規模調査では、世界でも初めての試みである。JGSS-2003の面接票は、JGSS-2002までと比較して、設問数を思い切って削減している。これは、面接調査票を短くすることにより、対象者に対する負担を少しでも減らそうと考えたからである。ネットワークについて尋ねる留置B票は、冒頭部分を面接で行う必要があり、記入に関する説明にも時間を要し、対象者への負担が従来よりも大きくなるのではないかと思われたからである。一方、留置A票においても、一部の設問は「いじめ」、「代理母」、「女性知事による相撲の表彰」、「消費行動」、「英語を学習する意欲」などの新規設問群との入れ替えを行い、「少年法の改正」の設問を復活した。

JGSS-2005（面接調査票：15頁77問201変数、留置調査票：15頁183問263変数）では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を変更した。これまでは、「同居家族（一時的に別居している家族を含む）」と「子ども（同別居に関わらず）」について尋ねていたが、JGSS-2005では、「配偶者」、「父母」、「子ども」、「その他の同居家族」、「一時別居家族」の順に尋ねている。また、JGSS-2003で外していた「初職」と「配偶者のきょうだい」の設問を復活した。「住居形態・住居の所有形態」については、面接調査票から留置調査票に移した。設問の公募を通して、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」を新たに加えた。「寄付・募金」の設問については、JGSS-2002に組み込んだ「ボランティア活動」の設問に変更を加えて復活させた。また、JGSS-2000以来組み込んでいる「情報機器の利用」に関する設問を3問に分けて、これまでよりも詳細に尋ねるようにした。なお、JGSS-2005で使用した留置調査票は1種類である。

JGSS-2006（面接調査票：16頁86問259変数、留置調査票A票：14頁165問198変数、留置調査票B票：14頁37問161変数）では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を再び変更した。これは、EASS 2006のテーマである「Family」モジュールの一部を面接調査票に組み込んだことによる。JGSS-2006では、「同居家族」、「一時的に別居している家族」、「父母（配偶者の父母を含む）」、「子ども」の順に尋ね、それぞれの属性だけではなく、婚姻状態、就労の有無、調査対象者との居住距離、接触頻度、連絡頻度も尋ねている。また、JGSS-2002で尋ねた「子どもの教育費」の設問を復活した。

JGSS-2006では2種類の留置調査票を用いている。JGSSの基本形を踏襲した留置A票と、EASS 2006のテーマである「Family」モジュールを組み込んだ留置B票である。留置A票には、設問の公募を通して「中学3年時になりたかった職業」、「開発途上国への援助」を、また、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「監視社会」、「自殺についての意識」を新たに加えた。また、JGSS-2002で尋ねた「学歴観」の設問の一部を復活させ、新規設問として「教育観」を加えた。「監視社会」につ

いては、「監視カメラ」や「ネットの書き込み内容の監視」だけでなく「防犯意識と防犯行動」まで広げて尋ねている。さらに、EASS 2008 モジュールの一部のプリテストとして、JGSS-2002 と 2003 に組み込んだ「英語学習」の設問を復活させ、「国別好感度」の設問を新たに追加した。ほかに時事設問として「憲法第 9 条の改正」、「女性・女系天皇」、「地域での清掃・リサイクル・見守り活動」の設問を組み込んだ。

一方、EASS 2006 「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票では、韓国・中国・台湾との共通設問として、「結婚観・離婚観」、「家族観・性別役割観」、「家意識・扶養意識」、「理想の子ども数と性別」、「配偶者との出会い」、「夫婦間の意思決定」、「家事遂行」、「夫婦の情緒的關係」、「家族行動」、「世代間援助」などを尋ねている。JGSS の中心設問としてこれまでに継続的に尋ねてきた設問と重なる内容もあるが、他のチームとの比較を考えて、選択肢の表現や設問のワーディングを変更した。「Family」モジュール以外には、公募設問のうち「離婚後の親子関係」、「介護の経験と対象」、「ペットの死」を組み込み、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「食の外部化」を加えた。このほかに、調査対象者の意識と行動にかかわる JGSS の中心設問を組み込んでいる。

**JGSS-2008**（面接調査票：15 頁 86 問 197 変数、留置調査票 A 票：14 頁 152 問 202 変数、留置調査票 B 票：14 頁 163 問 198 変数）では、基本的には JGSS-2006 の面接調査票を引き継ぎ、回答者と配偶者の就労形態が「派遣社員」「自営業主・自由業者」の場合の実態や、「通常労働時間数」を追加して尋ねている。EASS に関連して、JGSS-2006 から面接調査票に加えた「回答者と配偶者の主な仕事以外からの収入を含む年収（非就労者も含む）」、「同居家族員・子ども・父母（配偶者の父母含む）の婚姻状態や就労の有無」は、引き続き尋ねている。また、「配偶者・両親・子ども以外の同居家族」についての設問を復活し、「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を加えている。

留置 A 票に新たに組み込んだ設問は、「知事の任期と支持率」、「経済的不安感」、「子どものしつけに関する意識」、「父親・母親の存在感の変化」、「子どもの道徳意識の変化」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「医療不安」、「地域の救急医療体制」である。医療に関する設問は、JGSS-2010 に組み込みを予定していた EASS 2010 の「Health」モジュールから設問の一部を試験的に加えた。「環境問題」に関しては、JGSS-2002 の設問の一部を復活し、「地球環境と経済成長・利便性」、「環境保護に資するエネルギー利用」、「環境保護のためのボイコット・ボイコット行動」、「国産食品の購入」の設問を新たに加えている。「暴行被害経験」については、JGSS-2000/2001 の設問を基に、暴言被害についても尋ね、「体罰意識」の設問も復活した。さらに、JGSS-2000/2001 で尋ねた「少年法の改正」、「死刑制度への賛否」、「政府の役割の範囲」の設問、JGSS-2003 で尋ねた「福祉と税負担」の設問を復活した。

留置 B 票には、JGSS の基本設問の一部と、EASS 2008 の「Culture」モジュールを組み込んだ。韓国・中国・台湾との共通設問として、「文化接触」、「儀礼」、「友人に求める資質」、「価値観」、「好きな音楽」、「訪問したことがある/知り合いのいる国・地域」、「外国での性風俗の娯楽の経験」、「社会的距離感（同僚として/近隣住民として/親類として）」、「外国人労働者の増加」、「国際問題への関心」、「ローカリズムとナショナリズム」、「グローバリゼーションとナショナリズム」、「英語能力」、「外国での教育・研修経験」、「外国企業とのかかわり」、「社会的ネットワーク」などを尋ねている。EASS モジュールに関連して、JGSS 独自の設問として、「日本製電気製品の購入」と「グローバリゼーションのもたらす功罪」を加えた。「環境保護に資するエネルギー利用」は、その普及を広くとらえるために、留置 A 票だけでなく、B 票にも組み込んだ。復活設問は、「婚外交渉」、「同性間の性的関係」、「ポルノの規制」、「ポルノと社会道徳」（以上、JGSS-2000/2001）、「カジノの合法化」（JGSS-2002/2003）である。

**JGSS-2010**（面接調査票：15 頁 84 問 184 変数、留置調査票 A 票：14 頁 150 問 193 変数、留置調査票 B 票：14 頁 155 問 224 変数）の面接調査票は、JGSS-2008 とほぼ同一である。JGSS-2008 の面接調査票

から「勤務先と海外との取引の有無」と「15歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を除いたが、それ以外の部分は、JGSS-2008と設問の内容・順番ともに同じである。

留置A票では、継続設問に加えて、「回答者・同居家族の耽溺行動」、「英語の必要性」、「英語教育の開始学年への意見」、「中学校以前の英語教育経験」、「裁判員制度」、「政策への意見：子ども手当・高校無償化・高速道路無料化・二酸化炭素排出量削減・最低賃金の引き上げ・同一労働同一賃金・配偶者控除の廃止」、「適切な消費税率への意見」、「マニフェスト順守への意見」、「夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見」、「町内会加入の有無」、「町内会での活動頻度」、「ボランティア活動」を新たに組み込んだ。「耽溺行動」については、EASS 2010の「Health」モジュールにも採用され、留置A票とともにB票にも組み込んでいる。また、新規設問に関連して、JGSS-2006から「英会話のレベル」、「英語読解力のレベル」、「英語の使用」、「政府の支出」、「夫婦別姓意識」を、またJGSS-2001からも、「最近の判決について」、「ドナーカードの所持」、「自分の墓について」、「共同墓または散骨希望の理由」を復活させた。

留置B票には、JGSSの基本設問のほか、EASSの「Health」モジュールが組み込まれている。EASSモジュールには、アメリカのQuality Metric社が開発し、「認定NPO法人健康医療評価研究機構 iHope International」が日本語版のライセンスを管理している「SF健康調査票 SF-12v2™」を、ライセンス契約をした上で組み込んでいる。具体的には、「主観的健康状態」、「健康上の理由による日常活動の困難」、「身体的健康の問題」、「精神的健康の問題」、「痛みによる仕事の困難」、「精神的健康状態」、「健康問題による人付き合いの困難」に関する12の設問であり、健康関連QOL（Health-related Quality of Life）指標として利用している。韓国・台湾・中国との共通設問は、このほかに、「慢性的な病気の有無と種類」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「東洋医療の受診経験」、「加入している医療保険の種類」、「医療不安」、「予防接種の経験」、「新型インフルエンザの流行への不安」、「身長・体重・体型に関する意識」、「飲酒・喫煙・運動頻度などの生活習慣」、「飲酒・喫煙・ギャンブル・ゲームなどの耽溺行動」、「近隣の環境と環境被害」、「介護を必要とする家族の存在」、「将来への希望の有無」、「歳をとることへの不安」、「人間の本性」、「他人への信頼観」である。EASSモジュールのうち、「心配事を聞いてくれた人」、「経済的な面で助けてくれた人」、「その他の手助けをしてくれた人」については、JGSS独自の設問形式をとっている。また、「環境被害」の中の「日照被害」は、JGSSのみが追加した設問である。

EASSモジュールに関連する設問としては、「体型が気になる程度・理由」、「体型管理」、「日常生活での精神状態（時間的・心のゆとり、孤独感）」、「心身のリラクゼーション行動の頻度」、「生活の享受」、「同居家族のインフルエンザ感染の有無」を新たに加えている。また、耽溺行動の設問と関連して、継続設問である余暇活動に関して、「ナンバーズ・ミニロト・ロト6」、「サッカーくじ (toto)」、「公営ギャンブル」の項目をJGSS-2001から復活させ、「ドライブ」、「カラオケ」、「映画鑑賞」、「音楽鑑賞」、「園芸・庭いじり」、「将棋・囲碁」を今回は削除した。また、健康の設問と関連して、「アレルギー関連の症状の有無」をJGSS-2006から復活させた。さらにEASSモジュール以外のJGSS設問として、「国内・海外旅行頻度」、「国内・海外旅行頻度に関する希望」、「旅行で重視すること」、「職場の連帯感」を新たに組み込んでいる。

**JGSS-2012**（面接調査票：16頁101問243変数、留置調査票A票：15頁175問250変数、留置調査票B票：15頁171問242変数）の面接調査票は、基本的にはJGSS-2010を引き継いでいるが、回答者の現職と初職、配偶者の現職、回答者が15歳時の頃の父の職業について、被雇用者であるかどうかを確認する設問を追加した。これは、EASS 2012統合データにおける就労形態の分類に用いるためである。調査時点で就業していない回答者には、JGSS-2002以来10年ぶりに、最後に就いていた仕事について尋ねている。さらに、離職理由を尋ねる設問をJGSS-2005から復活させた。また、結婚や出産による離職経験を尋ねる設問も新たに加えた。通勤については、通勤手段を尋ねる設問をJGSS-2005か



ら復活させた。回答者や配偶者が社会に出た年次を特定するために、卒業した年齢（または中退した年齢）を尋ねる設問を加えた。さらに、結婚経験について、結婚回数やその当時の年齢、初婚年齢を尋ねる設問を JGSS-2006 から復活させ、離婚回数や配偶者との死別回数を尋ねる設問を JGSS-2002 から復活させている。

留置調査票では、2011年3月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故が人々の意識と行動に与えた影響を把握するために、JGSSが過去に尋ねてきた関連設問を継続または復活して組み込むと同時に、新たな設問を組み込んだ。被災地との距離や地域の事情により意識や行動が異なる事柄が少なくないので、スペースの許す範囲で、留置 A 票と B 票の両方に組み込んだ。継続・復活設問としては、「エコ・エネルギーの利用」、「節電行動」、「ボランティア活動」、「環境汚染」、「寄付・募金」、「消費税率」、「メンタルヘルス」、「hopelessness」である。「環境汚染」は、EASS 2010 健康モジュールの設問の項目に「土壌汚染」を加え、「節電」は、JGSS で時々尋ねていた「電気はこまめに消す」に、「消費電力を減らす工夫をする」を加えた。新規設問としては、「生活水準と電力」、「原子力政策」、「大規模災害発生可能性・不安感」、「放射性物質による食品汚染への不安」、「震災の仕事・職場への影響」、「震災関連寄付・支援活動」、「震災後の会話の機会」、「震災復興のための増税への賛否」である。

A 票ではさらに、「震災に対する政府の対応への評価」、「時代をあらわす色・好きな色」、「自助志向」、「TPP への参加への賛否」を尋ねている。また、「女性・長子天皇への賛否」を JGSS-2006 から、「カジノ合法化への賛否」を JGSS-2008 から復活させた。

留置 B 票には、JGSS の基本設問のほか、EASS の「東アジアにおけるネットワークと社会関係資本」(Network Social Capital in East Asia: NSC) モジュールを組み込んだ。韓国・中国・台湾との共通設問として、「ボランティアな組織参加」、「積極的に参加した組織の階層性と同質性」、「親族と非親族との接触ネットワーク」、「ネットワークの垂直的多様性」、「ネットワークの地理的広がり」、「求職ネットワーク」、「会食ネットワーク」、「ソーシャル・サポート・ネットワーク」、「近隣ネットワーク」、「社会的寛容性」、「社会問題についての会合への参加」、「ボランティア活動・政治活動への参加」、「自然災害に対する地域の対応力」、「政治ネットワーク」、「公共問題への関心と政治的有効性感覚」、「信頼」、「社会関係資本と関連する他の項目（居住年数、人生に対する効力感、公開株の保有）」などを尋ねている。EASS モジュールに関連して、JGSS が追加した独自設問もある。「ボランティア活動・政治活動への参加」に関して「過去1年のその他のボランティア活動・政治活動」の項目を、「近隣ネットワーク」に関して「自分の問題はできるだけ他人に頼らずに解決したい」の項目を、「公開株の保有」に関して「債券（国債、外国債、地方債、社債）」、「外貨預金」、「投資信託」の保有などを尋ねている。

**JGSS-2015 と JGSS-2016**（面接調査票：17 頁 110 問 206 変数、留置調査票：15 頁 183 問 205 変数）の調査票はほぼ同一で、学歴に関する設問の順序が一部異なるだけである。したがって、ここでは JGSS-2015 と JGSS-2016 を合わせて説明する。JGSS-2015 と JGSS-2016 の面接調査票は JGSS-2012 を引き継いでいるが、JGSS-2015 と JGSS-2016 では、「結婚（再婚）の意欲」、「希望する結婚（再婚）年齢」、「20 歳の頃の居住地」、「専門学校・専修学校に通った時期」を確認する設問を追加した。さらに、「高校の学科」、「出身高校の進学率」、「大学（大学院）の専攻分野」を尋ねる設問を JGSS-2002 から復活させた。さらに、EASS 2014/2015 の「東アジアにおける仕事と生活」(Work Life Module) に関連して、「通勤時間」、「正規の社員・職員として働いてきた会社・組織の数」を尋ねている。また EASS の他の 3 チームがいずれも ISSP 2015 Work Orientation を組込んでいることから、ISSP 2015 のうち、「これまでの仕事で身につけた経験や技能の効用」を尋ねている。EASS に関連する JGSS 独自設問として、「これまでに受けた学校教育の効用」を尋ねている。

留置調査票については、予算の制約により、JGSS-2015 と JGSS-2016 では留置調査票を 2 種類作成することはできなかった。そのため、JGSS の継続設問、EASS 2014/2015 「Work Life」モジュール、ISSP

2015 「Work Orientations」モジュールの一部、EASS モジュールに関連する JGSS 独自設問（「ワークライフバランスと女性の就業」が中心）、時事設問を、すべてひとつの調査票に組み込む必要があった。結果として、EASS モジュールは、すべてではなく、ごく一部を組み込むことに留まった。JGSS-2015 と JGSS2016 にはさらに、JGSS-2012 に続いて東日本大震災関連設問を加え、時事設問群として、外国人の増加と受け入れに関する設問、先祖の墓の承継に関する設問、地域の抱える問題の深刻さを加えている。また、「家計管理」は JGSS-2001 から復活、「配偶者の健康状態」は JGSS-2002 から復活（JGSS-2006 留置 B 票には EASS スケールが組み込まれている）、「配偶者の家事」は JGSS-2006 から復活、「言葉の暴力の加害者」は JGSS-2008 から復活、「家族介護」「自分の墓」「夫婦別姓意識」は JGSS-2010 から復活した。

**JGSS-2017G**（留置調査票：14 頁 113 問 146 変数）は、JGSS-2008 の留置 B 票に組み込んだ「EASS 2008 東アジアの文化とグローバリゼーション」モジュールで収集したデータの 10 年後をとらえる目的で、「EASS 2018 東アジアの文化とグローバリゼーション」モジュールを組み込んだ調査である。限られた経費で調査を実施するために、調査方法を通常の面接法と留置法から留置法に変更し、これまで面接票で尋ねていた中心的な設問である現職、学歴、収入、婚姻上の地位、配偶者の職業・学歴・収入、父母の学歴、世帯構成/世帯収入も留置票で尋ねた。就業に関する設問などの複雑な設問（枝分かれやスキップのある設問）については、複雑な質問は簡素化し、記入漏れや記入ミスができるだけ少なくなるように努めた。JGSS-2017G に組み込む、EASS 2018 モジュールの作成に際しては、EASS 2008 モジュール項目のうち、あまり活用されなかった「友人に求める資質」、「東アジアのアイデンティティ」、「社会的ネットワーク」に関する設問などを削除した。新規設問としては、「東アジアの儀礼」に関して、新たに「先祖や親族の墓参り」、「幸運を願いに神社や寺などを参詣」、「縁起の良いものや魔よけを身の回りにおく」を加え、日本独自の設問として「先祖の墓の継承」に関する設問を加えた。また、JGSS-2017 で質問文と選択肢のワーディングを検討した「JGSS 版 Grit スケール」を加えた。

### 3. JGSS-2017 と JGSS-2018 の調査項目の概要

#### 3.1 面接調査票

上述したように、JGSS-2018 の調査票は、JGSS-2017 とほぼ同じである（JGSS-2017：17 頁 127 問 279 変数、JGSS-2018：17 頁 127 問 319 変数）。面接調査票は、対象者の属性に関する設問が中心であるが、JGSS-2015 と JGSS-2016 で用いた面接票のレイアウトを一部変更して、EASS 2016 「Family」モジュールの一部を組み込んだ。そのほとんどは、EASS 2006 「Family」モジュールが組み込まれた JGSS-2006 からの復活設問である。調査対象者が同居している世帯員ならびに一時的別居している家族、さらに同別居に関わらず、親（配偶者の親）や別居している子どもの属性と、彼らとの交流頻度などについて、JGSS の通常の面接調査票よりも詳細に尋ねている。対象者・配偶者の両親との「別居理由」や一時的な別居家族の属性も追加された。

JGSS-2018 は、調査対象者による回答部分は JGSS-2017 と変わらないが、調査員への質問に「表札の有無」と「家のインターフォンの種類」を新たに追加した。

面接調査票には、以下のような項目がある。

- 対象者の属性：学歴、高校の学科、出身高校の進学率、大学（大学院）の専攻分野、専門学校・専修学校への通学経験・通学時期、現在の収入源、年収（主な仕事、全体）、世帯収入、教育費支出額、婚姻上の地位、世帯構成、兄弟姉妹の数、居住地域の規模、15 歳の頃の居住地、20 歳の頃の居住地特性、住居形態、自分の位置する階層（10 段階）
- 現職：雇用関係、雇用形態、役職、職種、事業所形態、企業規模、就労時間／週、所定労働時間／

週、副業就労時間／週、就労日数／週、通勤時間、就労年数、経験や技能が現職に役立った程度、現在の仕事への満足度、就業継続意向、失業・再雇用の可能性、労働組合加入の有無、現在仕事を探しているかどうか、転職数

- 現在就労していない対象者：不就労の理由、過去の就労経験、現在仕事を探しているかどうか、転職数、離職理由
- 初職：就労時期、雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模
- 前職（最終職）：雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、離職年齢、離職理由
- 結婚経験：離婚経験、死別経験、結婚（再婚）する意欲、希望する結婚（再婚）年齢
- 家族：同居世帯員（人数、続柄、性別、年齢、婚姻状況、就労の有無）、一時的な別居家族（人数、続柄、性別、年齢、婚姻状況、就労の有無、別居理由）、世帯主
- 配偶者：年齢、同別居、現在の雇用関係、雇用形態、役職、職種、企業規模、就労時間／週、所定労働時間／週、副業就労時間／週、就労日数／週、就労年数、学歴、専門学校・専修学校への通学経験、年収（主な仕事、全体）、兄弟姉妹の数
- 父親・母親：年齢、学歴、婚姻状態、就労の有無、対象者が15歳の頃の職業、同別居/地理的距離、誰と一緒に暮らしているか、会う頻度、交流頻度
- 配偶者の父親・母親：年齢、婚姻状態、就労の有無、同別居/地理的距離、誰と一緒に暮らしているか、会う頻度、交流頻度
- 子ども：人数、性別、年齢、婚姻状態、就労の有無、同別居/地理的距離、会う頻度、交流頻度
- その他の世帯員：人数、続柄、性別、年齢、婚姻状態、就労の有無
- 一時別居家族：人数、続柄、性別、年齢、婚姻状態、就労の有無、別居理由
- 調査員に対して：対象者の調査への協力度、質問への理解度、調査の実施に際して気づいた点、居住地域の特徴、表札の有無 [JGSS-2018のみ]、居住形態（一戸建て／集合住宅）、オートロックの有無（集合住宅の場合）、家のインターフォンの種類 [JGSS-2018のみ]、面接票と留置票の実施順序、面接調査開始・終了時刻、所要時間

JGSS-2017/JGSS-2018 の面接調査票のうち、EASS 2016 家族モジュールは次の項目である。

<EASS 2016 家族モジュール>

- 世帯人数
- 兄弟姉妹の数
- 配偶者の兄弟姉妹の数
- 息子・娘の数
- 世帯員：続柄、性別、年齢、婚姻状態、就労の有無
- 一時別居家族：人数、続柄、性別、年齢、婚姻状態、就労の有無、別居理由
- 子ども：性別、出生順、年齢、婚姻状態、就労の有無、同別居/地理的距離、会う頻度、交流頻度
- 対象者の父親・母親：年齢、婚姻状態、就労の有無、同別居/地理的距離、誰と一緒に暮らしているか、会う頻度、交流頻度
- 配偶者の父親・母親：年齢、婚姻状態、就労の有無、同別居/地理的距離、誰と一緒に暮らしているか、会う頻度、交流頻度
- 15歳時の居住地の規模

### 3.2 留置調査票

留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心であり、JGSSの基本形を踏襲している（JGSS-2017 留置調査票 A 票：15 頁 181 問 214 変数、JGSS-2017 留置調査票 B 票：15 頁 181 問 214 変数、JGSS-2018：15 頁 175 問 200 変数）。

JGSS の基本設問のほか、EASS 2016 「Family」モジュールを組み込んでいる。また、ペット関連項目として「ペットの保有」と「世話しているペット」の設問を JGSS-2006 から復活させ、「ペットを世話する時間」と「ペットの医療費」の設問を新たに加えた。さらに、時事設問として「同性婚への賛否」を尋ねている。ほかにも、社会の持続可能性にかかわる人々の意識と行動—所得の再分配、育児・教育責任、高齢者の生活費・介護責任、自然災害のリスク認知、地域の対応力・存続可能性、再生可能エネルギーの利用、節電行動、原発政策—を尋ねている。節電行動は 2008 年から、再生可能エネルギーと環境汚染は 2010 年から継続して尋ねており、2011 年に発生した東日本大震災と原発事故の前後の人々の行動と意識について比較できるデータとなる。

JGSS-2017 では、Sprit-ballot の方法で、「Grit スケール」を組み込んで質問文と選択肢の翻訳の適切さを検討した。調査対象者の半分には JGSS チームによる翻訳のスケールを、残りの半分には Grit を最初に日本に紹介した研究チームによる訳のスケールを組み込んで、回答の違いを検討した。検討した結果の「Grit スケール」（JGSS チームの翻訳を採用）は JGSS-2017G と JGSS-2018G に組み込み、JGSS-2018 には組み込んでいない。JGSS-2018 では、墓の継承に関する項目として「自分の墓について」と「先祖の墓の継承」の設問を JGSS-2015 から復活させた。

それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

- 生活習慣：飲酒、喫煙、テレビの視聴時間、新聞の購読、ニュース記事をインターネットで読む頻度、読書量、家族一緒の夕食頻度、友人との会食頻度、定期的に行なうスポーツの頻度、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出し・家の簡単な修理などの家事に従事する頻度、Grit [JGSS-2017 のみ]
- 健康：健康状態、健康状態に対する満足度、希望のなさ（将来の希望、目標達成）、精神的健康（おちついた気分、活力にあふれる、おちこんだ気分）
- ペット：飼っているペットの種類、世話しているペットの種類、ペットの医療費、ペットの世話時間
- 幸福度・満足度：幸福度、生活全般への満足度、居住地域への満足度、余暇の過ごし方への満足度、家庭生活への満足度、家計への満足度、友人関係への満足度、健康状態への満足度、配偶者との関係への満足度、結婚生活への満足度、将来の経済的不安
- 人間観・信頼観：人間の本性、他人への信頼観、学者・地方議員・国会議員などの職業集団に対する信頼観、新聞・テレビに対する信頼観、学校・病院・中央官庁・裁判所・警察・自衛隊・大企業・金融機関・労働組合・宗教団体などの機関や団体に対する信頼観
- 家族・ジェンダー：性別役割分業観、結婚観・離婚観、同性婚、三世代同居観、家庭生活に対する満足度、理想の子ども数、希望する子どもの性別、家族一緒の夕食の頻度、家族の介護経験（時期、対象）、国・自治体の責任か個人・家族の責任か（高齢者の生活保障、高齢者の医療・介護、子どもの教育、保育・育児）
- 宗教：信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属、信仰の度合い、宗教団体への信頼、自分の墓 [JGSS-2018 のみ]、実家の先祖の墓（承継の有無と今後） [JGSS-2018 のみ]
- 居住環境・地域環境：地域での居住年数、将来にわたる居住希望、居住地域の存続についての不安感、地域に外国人が増えることへの賛否、居住地域への満足度、自然災害時の地域の人どうしの協力、近隣状況（互いに気にかけている、困っていたら手助けしてくれる）など
- 社会階層：階層帰属意識（5 段階）、世帯収入についての主観的水準、15 歳時の世帯収入について

の主観的水準、所得格差の拡大、家計への満足度、将来の経済的不安、中学3年の頃の成績

- 団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティアグループ、市民団体、消費者組合、宗教団体、スポーツ・クラブ、趣味の会などへの所属の有無
- 政治意識：支持政党、所得格差の拡大、所得格差の是正
- 原子力政策東日本大震災関連設問：環境保護に資するエネルギー利用（太陽光発電、深夜電力、エコウィル/エコキュート、低公害車）、節電行動（電気はこまめに消す、消費電力を減らす工夫）、環境汚染（大気汚染、水質汚染、土壌汚染）、原子力政策への意見、大規模災害発生の可能性（地震、津波、水害、豪雪、噴火、土砂、原子力発電所の事故）、大規模災害発生に対する不安、放射性物質による食品汚染の不安感、自然災害時の地域の人どうしの協力

JGSS-2017/JGSS-2018 の留置調査票のうち、EASS 2016 家族モジュールは次の項目である。

<EASS 2016 家族モジュール>

- 親に対する経済的支援意識：既婚男性→実親/妻の親；既婚女性→実親/夫の親
- 経済的・実践的世代間援助：実親⇔対象者、配偶者の親⇔対象者、対象者⇔子ども
- 最も頻繁に接触する子ども
- 家事頻度：対象者・配偶者（夕食の用意、洗濯、掃除、日用品の買い物、家の簡単な修理）
- 老親の世話の責任
- 家族意識：父親の権威、子どもは親の名誉のために努力すべき、父系優先、個人よりも家族優先、結婚観（夫が年長、子どもをもつ必要性、男性の幸福は結婚、女性の幸福は結婚、同棲容認）、離婚観（離婚は子が育つまで待つ、離婚は良い手段）
- 性別役割分業意識：妻は夫の手助け、性別役割分担、母親の就業の幼児への影響
- 生活全般への満足感
- 家族一緒の夕食頻度、家族一緒のレジャー頻度
- 結婚年齢、結婚回数
- 対象者が配偶者の悩みを聞く程度、配偶者が対象者の悩みを聞く程度
- 夫婦間の意思決定：子どものしつけ、親の世話、高価な品物の購入
- 結婚生活への満足度
- 健康状態：対象者、配偶者、対象者の父親・母親、配偶者の父親・母親

<EASS 2016 家族モジュール関連 JGSS 独自設問>

- 夫婦間の意思決定：家計の管理（JGSS と TSCS）
- 家事頻度：対象者・配偶者（ゴミ出し）（JGSS と TSCS）
- 三世代同居への賛否（JGSS と TSCS）
- 国・自治体の責任 vs 個人・家族の責任：高齢者の生活保障、高齢者の医療・介護、子どもの教育、保育・育児（JGSS と TSCS）
- 結婚時の親の意向の影響（JGSS と KGSS）
- 配偶者との出会い方
- 結婚観：結婚の最大の利点は経済的安定
- 家族の介護経験：対象者・配偶者（時期、介護した相手）
- 理想的な子どもの数
- 子どもの性別選好

岩井 紀子

## [参考文献]

- 吉野智美・孟哲男・岩井紀子, 2019, 「JGSS-2017 グローバリゼーション調査票および EASS 2018 グローバリゼーションモジュールの作成」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『JGSS Research Series No.15: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[18]』pp.63-73.
- 西川一二・角野隆則・岩井紀子, 2017, 「JGSS-2017 調査票の設計—EASS 2016 家族モジュールと新規項目(同性の結婚・Grit スケール)—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『JGSS Research Series No.14: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[17]』pp.41-54.
- 岩井紀子・上ノ原秀晃, 2015, 「JGSS-2015 および EASS 2014 Work Life モジュールの作成—プリテストの結果と調査票の確定—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座編『JGSS Research Series No.12: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[15]』pp.63-84.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第1回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第19集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第21集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2005』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2008, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2006』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009, 『East Asian Social Survey: EASS 2006 Family Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2008』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『East Asian Social Survey: EASS 2008 Culture Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2010』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2010』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012, 『East Asian Social Survey: EASS 2010 Health Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2013, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2012』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2014, 『East Asian Social Survey: EASS 2012 Network Social Capital Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2016, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2015』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2017, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2016』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2017, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2016』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2019, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2017』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2019, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2017G』.

表2 JGSS の中心的な設問と時事的な設問

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010	JGSS-2012	JGSS-2015 JGSS-2016	JGSS-2017 JGSS-2018	JGSS-2017G JGSS-2018G
現職	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(留置)
副業(時間)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
初職	○	+時期/ 求職方法	+時期/ 求職方法	—	+時期	+時期	+時期	+時期	+時期	+時期	+時期	—
最終職	○	○	○	—	—	—	—	—	+離職理由	+離職理由	+離職理由	—
学歴	○	○	○	○	○	+専門学校 通学	+専門学校 通学	+専門学校 通学	+専門学校 通学・卒業・ 中退年齢	+専門学校 通学・時期	+専門学校 通学・時期	○(留置)
収入	○	○	○	○	○	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	○(留置)
婚姻上の地位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+結婚(再婚) 意欲・年齢	+結婚(再婚) 意欲・年齢	○(留置)
配偶者の職業・学歴・収入	○	○	○	○	○	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	+仕事以外 の収入	○(留置)
父母の学歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(留置)
世帯構成／世帯収入	○	○	○	○	○	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	+就労・ 婚姻状態	○(留置)
きょうだいの数(本人/配偶者)	本人のみ	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	—
政党支持	○	○	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	—
婚姻歴	○	○	○	—	—	○(留置B)	—	—	○	—	○(留置)	—
子の年齢・同別居	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
親の年齢・同別居	—	—	—	—	○	+義父母	○	○	○	○	+義父母	—
15歳時の両親の職業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
15歳時の居住地域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+20歳時の 居住地域	+20歳時の 居住地域	—
居住形態	+面積	+面積	+面積	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○	○	—
社会的地位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
労働組合	○	○	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	○	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	加入の 有無のみ	—
居住地域の特徴 (調査員記入)	—	—	—	○	○	○	○	○	+集合住宅、 オートロック (欠票でも)	+集合住宅、 オートロック (欠票でも)	+集合住宅、 オートロック (欠票でも)	+集合住宅、 オートロック (欠票でも)
時事的な設問群	職業訓練	職業訓練	高校の学科・ 進学率大学 (大学院)の専 攻分野、教育 費、住宅関連 の支出	通勤手段・時 間、休日	通勤手段・時 間、休日、自動 車の保有、働 き方の意識	親や子どもとの 居住距離・接触 頻度・連絡頻 度、教育費	勤務先と海外 との取引、15歳 時の父親と母 親の接し方な ど		通勤手段・時 間、結婚・出産 時の離職経験	高校の学科・ 進学率、大学 (大学院)の専 攻分野、学校 教育の効用 EASS 2014/2015 Work Lifeモ ジュール:通勤 時間、正社員と して就業した会 社・組織数 ISSP 2015 Work Orientation: 仕 事で身につけ た経験や技能 の効用	親・義父母・子 どもとの一時的 別居理由・居 住距離・接触 頻度・連絡頻 度、高校の学 科・進学率、大 学(大学院)の 専攻分野・国 公立、教育費	

○:設問あり、◎:設問多い、+:○に加えて、—:設問なし

面接調査票

留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010		JGSS-2012		JGSS-2015 JGSS-2016	JGSS-2017 JGSS-2018	JGSS-2017G JGSS-2018G
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票	B票			
幸福感/満足感	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	○	EASS
結婚幸福感/配偶関係満足度	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	○	○	○	○	○	○	○	—
健康状態	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	○	○	○	○	EASS	○	○	○	EASS	○	EASS	+配偶者 健康状態	EASS	EASS
トラウマの経験	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
家計の状態	+家計 管理	+家計 管理	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	+家計 管理	+家計 管理	—
社会階層	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	○	EASS
宗教	○	○	○	○	—	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	○	EASS	EASS
性別役割分業観	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	EASS	◎	EASS	◎	○	◎	○	◎	EASS	EASS
理想の子ども数・性別	○	○	○	○	—	○	○	EASS	○	—	○	—	○	○ (人数のみ)	○	○	—
家事頻度	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	+配偶者 健康状態	○	—	○	○	EASS	○	○	○	○	○	○	+配偶者 家事頻度	EASS	—
夫婦別姓	○	○	○	○	—	—	—	○	—	—	+子ども の名字	—	—	—	○	—	—
政治についての考え方	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	EASS	○	○	—
所属集団	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	EASS	○	○	○
一般的信頼感/組織への信頼	○	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	EASS	○	EASS	○	○	○
余暇活動	○	○	◎	◎	—	○	○	○	○	EASS	○	◎	○	○	○	○	EASS
犯罪被害	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	—	○	○	—	—	—
飲酒/喫煙	○	○	○	○	—	—	○	—	○	—	○	EASS	○	—	○	○	—
読書頻度(本、新聞)	○	○	+新聞名	+新聞名	—	+新聞名	○	○	○	○	○	○	○	○	+ネットでの ニュース 記事	+ネットでの ニュース 記事	—
情報機器の利用	○	○	○	○	—	○	◎	—	◎	○	◎	○	○	○	—	—	○
安楽死	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—
外国人	○	○	○	◎	—	○	+国別 好感度	—	○	EASS	○	—	○	EASS	+外国人 労働者の 受け入れ	○	EASS
環境問題	○	○	◎	◎	○	—	○	—	◎	○	○	EASS	◎	◎	◎	◎	—
高齢化/社会保障	○	○	○	○	—	○	○	EASS	○	—	○	EASS	○	○	◎	◎	—
居住年数/永住意識	—	—	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+地域の 抱える 問題	○	—

○: 設問あり, ◎: 設問多い, +: ○に加えて, —: 設問なし, EASS: EASSモジュール



調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010		JGSS-2012		JGSS-2015 JGSS-2016	JGSS-2017 JGSS-2018	JGSS-2017G JGSS-2018G		
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票	A票	B票					
時事的な設問群	墓、ペット、援助交際、裁判所の判決、少年法の改正、死刑制度、女性知事、臓器提供意思表示カード、死後の世界、暴行被害、体罰、道徳／倫理観（ポルノ、婚外関係）	JGSS-2000に加えて、介護経験（本人/配偶者）、サッカー、女子知事、除いた]	環境と消費行動、アレルギー性疾患、ボランティア活動、英語学習、学歴観、学校教育から得たもの、キャンペーンの合法化	アレルギー性疾患、消費行動、英語学習、学歴観、学校教育から得たもの、キャンペーンの合法化	社会的ネットワーク（悩み事・政治・仕事について相談する相手とその属性）、政治性知事と相撲	アレルギー性疾患、ボランティア活動、寄付・募金、クレジットカード、消費者金融、カウンセリング、少女による凶悪犯罪、遺伝子組換え食品、自動車保有・利用、高齢期の過ごし方	学歴・教育観、教育支出のレベル	学歴・教育観、教育支出のレベル	エコ・エネルギー利用、国産食品の購入	エコ・エネルギー利用、国産食品の購入	経済的不安、耽溺行動（飲酒、喫煙、ギャンブル、ネットゲーム）	メンタルヘルス、hopelessness、好きな色・時代の色、経済的不安、自衛志向、今後の政権、消費税率	東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、ボランティア参加意思、寄付・募金、生活水準と電力消費、原子力政策、大規模災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、震災時の地域への影響、教育と職務の適合性、能力と職務の適合性、15歳時の世帯収入レベル所得格差の拡大、起業志向、金融資産、親族からの経済的援助・相続、メンタルヘルス	移動手段、hopelessness、地域の存続、経済的不安、暴言被害、要介護の家族、年金給付と負担のバランス、ギャンブル、カジノの合法化、消費税率、墓、先祖の墓の継承	EASS 2014/2015 Work Life モジュール：勤務先の雇用慣行（人事の決定への従業員の影響、成果主義）、職場での男女の均等待遇（就職、給与、昇進、雇用の安定）、教育と職務の適合性、能力と職務の適合性、15歳時の世帯収入レベル所得格差の拡大、起業志向、金融資産、親族からの経済的援助・相続、メンタルヘルス	EASS 2016モジュール：結婚観・離婚観、家族観・性別役割観、家意識・扶養責任意識、配偶者との出会い、夫婦の意思決定・情緒関係、家族行動、世代間援助、介護経験・対象者（本人・配偶者）、接触頻度の高い子ども、結婚決定への親の影響	EASS 2018モジュール：文化接触、儀礼、価値観、海外経験・知人、英語能力、社会的距離感、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバル化、国際問題	EASS 2018モジュール：文化接触、儀礼、価値観、海外経験・知人、英語能力、社会的距離感、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバル化、国際問題	
							中学3年時になりなかった職業、外国語学習、開発途上国への援助、憲法第9条改正、女性・女系天皇、防犯意識・行動、監視社会、自殺、地域での清掃・リサイクル・見守り活動	EASS 2006 Familyモジュール：結婚観・離婚観、家族観・性別役割観、家意識・扶養意識、配偶者との出会い、夫婦の意思決定・情緒関係、家族行動、世代間援助	EASS 2008 Cultureモジュール：文化接触、儀礼、友人に望む資質、価値観、好きな音楽、海外経験・知人、英語能力、社会的距離感、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバル化、国際問題	EASS 2010 Healthモジュール：SF-12v2 <sup>TM</sup> Health Survey、Hopelessness、慢性的な病気の有無と種類、身長・体重・体型管理、運動習慣、健康診断、受診頻度、通院阻害要因、医療保険、東洋医学、医療不安、相談相手、近隣環境、環境汚染、時間・心のゆとり、孤独感、リラクゼーション行動、生活の享受、インフルエンザ、要介護の家族、加齢への不安	EASS 2012 Network Social Capitalモジュール：組織参加（頻度、上下関係、異質性）、接触ネットワーク、TPPへの参加、女性・長子・天皇、政治への関心、社会への貢献、近隣関係、社会的承認、相談相手、町内会・自治会活動、ボランティア活動、死刑制度	EASS 2012 Network Social Capitalモジュール：組織参加（頻度、上下関係、異質性）、接触ネットワーク、TPPへの参加、女性・長子・天皇、政治への関心、社会への貢献、近隣関係、社会的承認、相談相手、町内会・自治会活動、ボランティア活動、死刑制度	東日本大震災関連設問—政府の対応への評価	東日本大震災関連設問「ワークライフバランスと女性の就業」：勤務先の雇用慣行（経営者の家族・親族の影響、家族の事情への配慮、女性の管理職の働きやすさ、職場の人員不足、連続休暇のとりやすさ）、雇用環境についての認識（勤務時間の柔軟さ、仕事量のコントロール、やりがい、仕事と家庭の両立、能力の活用、分担量、退職希望年）、正社員に占める女性の割合、非正規社員の割合、夫婦間の家計管理	東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、原子力政策、大規模災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、自然災害発生時の地域の対応力	東日本大震災関連設問：エコ・エネルギー利用、節電、環境汚染、原子力政策、災害発生可能性・不安感、放射性物質による食品汚染への不安、災害時の地域協力	ベットの関連：ペットの保有、ペットの医療費、ペットの世話	同棲婚の賛否、Gritスケール（J17のみ）、墓・祖先の墓の継承（J18のみ）、近隣状況、結婚歴	墓・祖先の墓の継承、Gritスケール

○：設問あり、◎：設問多い、+：○に加えて、-：設問なし、EASS：EASSモジュール

## I.3 調査の方法

JGSS-2018 の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問ルール・訪問記録、実査の観点に分けて、以下にまとめる。

### 1. 調査設計

- 実査時期 : 2018 年 2～4 月
- 母集団 : 2017 年 12 月 31 日時点で満 20 歳以上 89 歳以下の男女個人  
(昭和 3 年 1 月 1 日～平成 9 年 12 月 31 日までに生まれた)
- 標本数 : 4,000
- 地点数 : 267 地点
- 抽出方法 : 層化 2 段無作為抽出法
- 抽出台帳 : 住民基本台帳
- 抽出間隔 : 抽出台帳の並び順が地番順の場合  
20 歳以上人口が 4 万人以上の区と市では、21  
20 歳以上人口が 4 万人未満の市郡では、11  
抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

### 2. 層化の方法

全国の市町村を 6 つの地域ブロックに分類、さらに各ブロック内を市郡規模によって 4 つに分類した。計 24 層である。JGSS-2005 までの市郡規模は、「大都市（東京都区部と政令指定都市）」、「その他の市」、「郡部」の 3 区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006 以降は「その他の市」を「人口 20 万人以上の市」と「人口 20 万人未満の市」の 2 つに分けている。6 つの地域ブロックと各ブロック内の 4 つの市郡規模の区分は下記の通りである。

#### <地域ブロック>

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

#### <市郡規模>

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市
- 2) 人口 20 万人以上の市
- 3) 人口 20 万人未満の市
- 4) 郡部

### 3. 標本数の配分

各ブロック、市郡規模別の層における20～89歳以上人口の大きさにより4,000の標本を比例配分した。2017年12月31日時点での男女・年齢階級(5歳階級)別住民基本台帳登録者数を母集団とした。

### 4. 地点の抽出方法

- 1) 第一次抽出単位となる調査地点として、平成22年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を使用した。
- 2) 調査地点数については、各層ごとに1調査地点の標本数が15前後になるように設定した。
- 3) 各層ごとに抽出間隔(層における母集団人口の合計÷層で算出された調査地点数)を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の人が属する基本単位区を抽出した。
- 4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省(旧自治省)設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別(24層)の母集団人口・標本数・調査地点数は、表1のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表2のとおりである。

表1 各層の母集団人口・標本数・地点数

	大都市	人口20万 以上の市	人口20万 未満の市	郡部	計
北海道・東北	2,452,975 96(6)	2,402,907 94(6)	4,806,564 188(12)	2,168,657 85(6)	11,831,103 463(30)
関東	13,885,883 544(37)	7,992,684 313(21)	11,045,685 433(29)	1,567,489 61(4)	34,491,741 1,351(91)
中部	3,665,048 143(9)	4,076,259 160(10)	9,136,844 358(24)	1,730,889 68(5)	18,599,040 729(48)
近畿	5,150,646 202(13)	4,901,612 192(13)	5,547,104 217(14)	946,681 37(3)	16,546,043 648(43)
中国・四国	1,490,978 58(4)	2,550,976 100(7)	4,099,863 161(11)	986,231 39(3)	9,128,048 358(25)
九州	2,541,674 99(7)	2,412,352 94(6)	4,961,487 194(13)	1,638,621 64(4)	11,554,134 451(30)
計	母集団人口 29,177,204 標本数(地点数) 1,142(76)	24,336,790 953(63)	39,597,547 1,551(103)	9,038,568 354(25)	102,150,109 4,000(267)

市町村の合併状況は2017年3月1日時点まで反映

表2 各層の母集団人口の構成割合(全体%)

	大都市	人口20万以 上の市	人口20万未 満の市	郡部	計
北海道・東北	2.4	2.4	4.7	2.1	11.6
関東	13.6	7.8	10.8	1.5	33.8
中部	3.6	4.0	8.9	1.7	18.2
近畿	5.0	4.8	5.4	0.9	16.2
中国・四国	1.5	2.5	4.0	1.0	8.9
九州	2.5	2.4	4.9	1.6	11.3
計	28.6	23.8	38.8	8.8	100.0

## 5. 対象者の抽出方法

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（12～16名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

### 1) 地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

- ① 指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに抽出して対象者名簿に記載されている「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（昭和3年1月1日～平成9年12月31日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。
- ② 第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。
- ③ 指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町丁目字番地の台帳に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

### 2) 50音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

- ① 指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（昭和3年1月1日～平成9年12月31日生まれ、指定地域に居住）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。
- ② 第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。
- ③ 指定の町・丁目・字（番地範囲）を含む台帳の名字の「ワ」まで抽出しても、指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初の「ア」に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ④ 抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

### 3) 男女別の台帳の場合

#### ① スタート番号が偶数の場合

対象者が16名の地点：男8名(対象番号01～08)、女8名(対象番号09～16)

対象者が15名の地点：男8名(対象番号01～08)、女7名(対象番号09～15)

対象者が14名の地点：男7名(対象番号01～07)、女7名(対象番号08～14)

対象者が13名の地点：男7名(対象番号01～07)、女6名(対象番号08～13)

対象者が12名の地点：男6名(対象番号01～06)、女6名(対象番号07～12)

②スタート番号が奇数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)

対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

対象者が 13 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 7 名(対象番号 07～13)

対象者が 12 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 6 名(対象番号 07～12)

③抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順、50 音順、生年月日順などのいずれかの方法に従う。

④男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

- ・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
- ・50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

## 6. 留置調査と面接調査の実施順序

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行なうが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか(面接→留置)、留置を先に実施し面接を後から実施したか(留置→面接)を記録させる。

## 7. 対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方

JGSS-2018 では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

### 1) 謝礼の渡し方

謝礼は 2 つ用意している。クオカードとペンセット (2 本組) の 2 つである。クオカードは 500 円のもの 2 枚用意しており、1 枚は依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡しした。もう一枚は面接調査と留置調査の両方に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「ご回答いただいた場合には、薄謝 (500 円分のクオカードとペンセット) をご用意しております」と記している。ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

### 2) 依頼状

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトにした。謝礼の先渡しに反発を招かないように、文面を丁寧なものにしている。

### 3) パンフレット

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレット (A3 判用紙 2 枚折り両面) を同封した。

### 4) 封筒

依頼状とパンフレットのいった封筒がすぐに捨てられないことがないように、A4 判用紙の入る淡いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。

## 8. 調査員の訪問ルール・訪問記録

JGSS-2005 では、調査員に対して、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日の両方に訪問する、という 2 つの訪問ルールを求めていた。しかし、JGSS-2005 の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったため、この制約を外した。したがって、JGSS-2006 以降では、「対象者と会えるまで 4 日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めている。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めている。ただし、訪問が10回を超えた場合は、11回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006以降では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

## 9. 実査

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、一般社団法人中央調査社に委託した。

宍戸 邦章・岩井 紀子

## I.4 回収率ならびに欠票の分析

### 1. 回収率

#### 1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

#### 2) JGSS-2018 の回収率

JGSS-2018 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）： 4,000 ケース

有効回収数： 1,916 ケース

回収率： 54.3%

$$1,916 / (4,000 - \text{住所不明 } 49 - \text{転居 } 160 - \text{長期不在 } 43 - \text{病気 } 133 - \text{入院 } 58 - \text{死亡 } 12 - \text{その他 } 18) = 1,916 / 3,527 = 54.3\%$$

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

#### 3) AAPOR の標準定義との対応

回収率の算出方法については、The American Association for Public Opinion Research (AAPOR) が標準化の議論を進めており、一定の成果を収めている。参考のために、AAPOR の標準定義に照らし合わせた JGSS の回収状況を表 1 に整理しておく。

コードの定義は、2016 年改訂の *Standard Definitions: Final Dispositions of Case Codes and Outcome Rates for Surveys, 9th edition* (AAPOR, 2016, <http://www.aapor.org/>) から「個別訪問調査 (In-Person Household Surveys)」用のものを参照した。ただし、このコードの定義は、世帯員の情報を事前に知ることができない状況を前提としている。日本のように世帯員個人の性別や年齢を名簿で把握できる状況を想定していないため、対応の悪い点があることには注意が必要である。また、JGSS-2016 のコードブックでは 2011 年版の 7th edition を参照しており、今回参照した 9th edition とは版が異なるが、ここでやっている集計の範囲では改訂の影響はない。

表 1 AAPOR 標準定義による回収状況

AAPOR コード <sup>1)</sup>	JGSS 欠票理由コードとの対応 <sup>2)</sup>	
1.0 Interview: 回収	88	1916
1.1 Complete: 完全回収【I】	88	1916
1.2 Partial: 部分回収【P】	部分回収の理由による <sup>3)</sup>	(37)
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収		2035
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止【R】	5	1062
2.2 Non-contact: 接触不能【NC】	2, 3, 4	752
2.3 Other: その他の理由で接触不能【O】	6, 7, 8, 9(抽出間違い以外)	221
3.0 Unknown eligibility, non-interview: 適格か不明で非回収	1	49
3.1 Unknown if housing unit: 住宅かどうか不明【UH】	1	49
3.2 Housing unit/Unknown if eligible respondent: 住宅であるが適格者がいるか不明【UO】	—	—
3.9 Other: その他の理由で適格かどうか不明【UO】	—	—
4.0 Not eligible: 不適格	9のうち抽出間違い	0
4.1 Out of sample: 回答者が標本の範囲外	9のうち抽出間違い	0
4.5 Not a housing unit: 住宅ではない	—	—
4.6 Vacant housing unit: 居住者のいない住宅	—	—
4.7 No eligible respondent: 適格者のいない住宅	—	—
4.8 Quota filled: 割り当て量を越える	—	—

注 1) AAPOR ではさらに細かい下位分類が定義されているが、JGSS にはそぐわない場合や、ケース数が特定できない場合が多いので省略する。

注 2) JGSS 欠票理由コードの内容は以下のとおり。1=住所不明、2=転居、3=長期不在、4=一時不在、5=拒否、6=病気・ケガ・聴力/言語障害、7=入院中・入所中、8=死亡、9=その他、88=非該当(回収票)。「—」は JGSS の抽出方法では起こりえない分類を指す。

注 3) 面接票か留置票の一方だけが回収できた場合が JGSS の部分回収ケースとみなせる。ただし、JGSS の部分回収ケースは公開データセットに含めず欠票として扱っているため、ここで示すケース数は参考値であり、集計上は、部分回収に至った理由によって他の分類コードに計上されている。部分回収ケースの内訳は、下の参考表のとおりである。

(参考表 部分回収ケースの内訳)

	面接のみ 完了	留置のみ 完了
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収	26	11
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止	17	8
2.2 Non-contact: 接触不能	2	2
2.3 Other: その他の理由で接触不能	7	1

AAPOR 標準定義では、回収率(response rate: RR)の算出方法を RR1~RR6 までの 6 種類示している。これらの回収率を算出した結果が表 2 である。



表2 AAPOR 標準定義による各種の回収率

$RR1 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	48.3%
$RR2 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	47.4%
$RR3 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	48.3%
$RR4 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	47.4%
$RR5 = I / ((I+P) + (R+NC+O))$	49.0%
$RR6 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O))$	48.0%

注1) I、P、R、NC、O、UH、UOの記号は表1の分類コードに対応する。

注2) eは、「適格 (eligible) かどうか不明なケース」に占める「適格であるケース」の推定割合であり、(分類コードが1.0、2.0のケース数) / (分類コードが1.0、2.0、4.0のケース数)が推定値となる。JGSSでは、99%以上が適格と推定されるので、ほぼRR1=RR3、RR2=RR4となる。

注3) この表では、面接票か留置票の一方だけが回収できたケースを部分回収 (P) とみなして回収率を算出している。

## 2. データの偏りと欠票の分析

### 1) データの偏り

JGSSでは、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の分布と比較することで確認している。JGSS-2008以降は、年齢層に加えて性別の分布を確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している日本人の人口推計 (2017年10月1日現在) にもとづく。この母集団人口をもとに、性別・年齢層別の期待標本サイズと期待回答者数を算出すると、表3のようになる。

表3 期待標本サイズおよび期待回答者数との残差

	年齢	推計人口 (千人)	推計人口 比率	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差 (抽出標本)	回答者数	期待 回答者数	残差 (回答者)
男性	20-29歳	6102	0.06024	240	240.97	-0.06	80	115.43	-3.30
	30-39歳	7410	0.07316	272	292.63	-1.21	110	140.17	-2.55
	40-49歳	9432	0.09312	380	372.48	0.39	163	178.42	-1.15
	50-59歳	7797	0.07698	316	307.91	0.46	157	147.49	0.78
	60-69歳	8591	0.08482	346	339.27	0.37	187	162.51	1.92
	70-79歳	6608	0.06524	285	260.96	1.49	168	125.00	3.85
	80-89歳	3321	0.03279	142	131.15	0.95	60	62.82	-0.36
女性	20-29歳	5,818	0.05744	226	229.76	-0.25	79	110.05	-2.96
	30-39歳	7,155	0.07064	262	282.56	-1.22	128	135.35	-0.63
	40-49歳	9,147	0.09031	359	361.22	-0.12	186	173.03	0.99
	50-59歳	7,736	0.07638	305	305.50	-0.03	164	146.34	1.46
	60-69歳	9,014	0.08899	353	355.97	-0.16	189	170.51	1.42
	70-79歳	7,814	0.07715	331	308.58	1.28	168	147.81	1.66
	80-89歳	5,344	0.05276	183	211.04	-1.93	77	101.09	-2.40
合計		101289	1	4000	4000.00		1916	1916	

抽出標本の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する 3 シグマルール（参考：日本規格協会，1998「シェーハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、いずれの年齢層においても抽出の大きな偏りはない。

回答者の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

偏りの傾向は、調査年度ごとにややことなるが、若年層の回収が少なく、中高年層の回収が多くなるこれまでの JGSS の傾向と同様である。3 シグマルールに従うならば、20-29 歳の男性回答者が少ない一方、70-79 歳の男性回答者が多い。

## 2) 欠票の性別・年齢層別の分布

JGSS-2018 では、面接調査票か留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の 2 頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、2,084 である（計画標本サイズ 4,000－回収票数 1,916）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表 4 のとおりである。全体的な傾向は、これまでの JGSS と同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造にも依存している。

表 4 欠票の性別・年齢層別分布

(括弧内は%)

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	合計
男性	160(15.2)	162(15.3)	217(20.6)	159(15.1)	159(15.1)	117(11.1)	82(7.8)	1056
女性	147(14.3)	134(13.0)	173(16.8)	141(13.7)	164(16.0)	163(15.9)	106(10.3)	1028
合計	307(14.7)	296(14.2)	390(18.7)	300(14.4)	323(15.5)	280(13.4)	188(9.0)	2084

## 3) 欠票理由の分布

性別、年齢層別の欠票理由の分布は表 5、6 のとおりである（JGSS-2006 までのコードブックとは項目の並び順が異なるので注意）。拒否を理由とする欠票が 5 割以上を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでの JGSS の傾向と同じである。

表5 欠票理由の年齢層別分布（男性）

単位：ケース数（%）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力/ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
20-29 歳	4(2.5)	34(21.3)	2(1.3)	67(41.9)	49(30.6)	1(0.6)	1(0.6)		2(1.3)	160
30-39 歳	5(3.1)	25(15.4)	5(3.1)	60(37.0)	59(36.4)	6(3.7)	1(0.6)		1(0.6)	162
40-49 歳	3(1.4)	20(9.2)	8(3.7)	75(34.6)	106(48.9)	2(0.9)	1(0.5)		2(0.9)	217
50-59 歳	3(1.9)	10(6.3)	9(5.7)	52(32.7)	80(50.3)	1(0.6)	1(0.6)	1(0.6)	2(1.3)	159
60-69 歳	8(5.0)	6(3.8)	4(2.5)	28(17.6)	101(63.5)	7(4.4)	1(0.6)		4(2.5)	159
70-79 歳	1(0.9)	2(1.7)	2(1.7)	8(6.8)	79(67.5)	18(15.4)	6(5.1)	1(0.9)		117
80-89 歳	2(2.4)		2(2.4)	7(8.5)	36(43.9)	24(29.3)	7(8.5)	3(3.7)	1(1.2)	82
合計	26(2.5)	97(9.2)	32(3.0)	297(28.1)	510(48.3)	59(5.6)	18(1.7)	5(0.5)	12(1.1)	1056

表6 欠票理由の年齢層別分布（女性）

単位：ケース数（%）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力/ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
20-29 歳	3(2.0)	28(19.1)	4(2.7)	61(41.5)	48(32.7)	2(1.4)	1(0.7)			147
30-39 歳	5(3.7)	12(9.0)	3(2.2)	49(36.6)	63(47.0)	1(0.8)	1(0.8)			134
40-49 歳	6(3.5)	8(4.6)		60(34.7)	95(54.9)	3(1.7)			1(0.6)	173
50-59 歳	1(0.7)	4(2.8)	1(0.7)	34(24.1)	89(63.1)	6(4.3)	4(2.8)		2(1.4)	141
60-69 歳	3(1.8)	3(1.8)	1(0.6)	24(14.6)	119(72.6)	7(4.3)	5(3.1)	1(0.6)	1(0.6)	164
70-79 歳	2(1.2)	4(2.5)	2(1.2)	13(8.0)	99(60.7)	32(19.6)	9(5.5)	1(0.6)	1(0.6)	163
80-89 歳	3(2.8)	4(3.8)		11(10.4)	39(36.8)	23(21.7)	20(18.9)	5(4.7)	1(0.9)	106
合計	23(2.2)	63(6.1)	11(1.1)	252(24.5)	552(53.7)	74(7.2)	40(3.9)	7(0.7)	6(0.6)	1028

### 3. 補足

#### 1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表7のとおりである。面接を先に行ったケースが約8割以上の大多数を占めている。

表7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（%）

面接が先	留置が先	無回答	合計
1650 (86.1)	260 (13.6)	6 (0.3)	1916 (100.0)

## 2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表8のとおりである(時間が不明のケースを除く)。全体的として、約27分が平均的な所要時間である。男女間に大きな差異はないが、年齢層別で見ると、高齢者ほど時間が長くなり、分散が大きくなる傾向がある。これまでの調査と比べて大きな差異は認められない。

表8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分(標準偏差)

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	合計
男性	23.1(7.68)	24.4(6.04)	24.9(6.95)	26.2(7.53)	28.3(8.84)	29.8(11.81)	30.6(9.74)	26.8(8.94)
女性	23.4(8.96)	27.1(11.36)	25.4(6.87)	27.5(8.23)	28.7(9.32)	29.4(9.17)	34.3(13.16)	27.8(9.67)
合計	23.2(8.32)	25.9(9.37)	25.2(6.90)	26.8(7.91)	28.5(9.07)	29.6(10.56)	32.7(11.88)	27.3(9.33)

## 3) 訪問回数

JGSS-2005以降は、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表9は、回収票について、回答者本人に会えるまでの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。若年者に対する訪問回数が多い(なかなか会えない)ことが分かる。これまでのJGSS調査では、20代女性の平均訪問回数が高い傾向にあったが、今回の調査では40代から70代にかけて男性の平均訪問回数が多い。

表10は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。全体として女性よりも男性対象者への平均訪問回数が多い(なかなか会えない)。女性よりも男性対象者の訪問回数が多いが、性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様である。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が0として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表9 性別・年齢層別の平均訪問回数(回収票)

単位：回(標準偏差)

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	合計
男性	3.3(1.75)	3.0(1.66)	3.2(1.77)	2.9(1.77)	2.6(1.71)	2.4(1.50)	1.8(1.02)	2.8(1.70)
女性	3.3(1.91)	3.1(2.08)	2.5(1.63)	2.5(1.52)	2.2(1.45)	2.0(1.30)	2.1(1.61)	2.5(1.67)
合計	3.3(1.82)	3.1(1.89)	2.8(1.72)	2.7(1.66)	2.4(1.59)	2.2(1.42)	1.9(1.38)	2.6(1.69)

表10 性別・年齢層別の平均訪問回数(欠票)

単位：回(標準偏差)

	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	合計
男性	4.3(2.88)	4.1(2.86)	4.0(2.70)	4.0(2.63)	3.1(2.41)	2.3(2.12)	2.1(2.18)	3.6(2.70)
女性	4.4(3.05)	4.0(3.25)	4.0(3.06)	3.5(2.60)	2.6(2.55)	2.2(2.17)	2.3(2.13)	3.3(2.85)
合計	4.3(2.95)	4.1(3.04)	4.0(2.86)	3.8(2.62)	2.8(2.50)	2.2(2.14)	2.2(2.15)	3.5(2.78)

竹本 圭佑

## I.5 データセットの重み付けについて

この節では、JGSS-2018 データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1. JGSS-2018 の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している（「I.3 調査の方法」参照）。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる<sup>1)</sup>。

一方、官公庁が標本調査により実施する基幹統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りが無いことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている<sup>2)</sup>。

補助情報を用いる推定法では、乗率＝「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注 1) ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

2) 清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」 SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

## 2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2018 データセットには、推定用ウェイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票1枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の14区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2017年10月1日現在推計人口」（総務省）の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウェイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2018 回答者数」}$$

表1 男女、年齢階級別ウェイト計算表-JGSS-2018

		人口 (千人)	回答者数	ウェイト
男	20-29	6,102	80	76,275
	30-39	7,410	110	67,364
	40-49	9,432	163	57,865
	50-59	7,797	157	49,662
	60-69	8,591	187	45,941
	70-79	6,608	168	39,333
	80-89	3,321	60	55,350
女	20-29	5,818	79	73,646
	30-39	7,155	128	55,898
	40-49	9,147	186	49,177
	50-59	7,736	164	47,171
	60-69	9,014	189	47,693
	70-79	7,814	168	46,512
	80-89	5,344	77	69,403

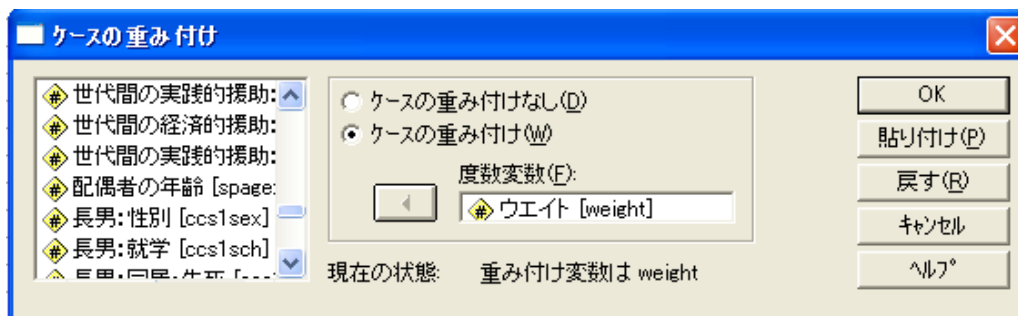
算出されたウェイトの値を男女別で比較すると、20代から50代までは男性が高く、60代以上では女性が高い。年齢で比較すると、ウェイトの値が最も低いのは男女とも20代であり、30代から70代まで値が減少していき、80代で再び高くなっている。ウェイトの最大値は20代男性の76,275、最小値は70代男性の39,333である。最大値は最小値の約1.9倍となっており、このウェイトによる補正の効果がうかがわれる。

このようなウェイト値の差は、調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層、とくに男性で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、80代になると再び低下することを意味している。

### 3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」→「ケースの重み付け (W)」を選択
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」
- (3) 通常どおりに集計・解析



### 4 推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2018 の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表 2 のとおりである。表には参考として、JGSS-2018 と同じところに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する）。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。
- (2) 配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査を上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。
- (3) 就業状態の構成比は、ウエイトによる補正の効果が概して小さい。いずれの場合も、ウエイトを用いた集計結果とウエイトを用いない修正結果がほとんど変化しない。性別や年齢に偏りなく、様々な就業状態の対象者が回答していることを示唆する。
- (4) ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる意識項目、例えば、生活の程度に対する意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値にはほとんど差が生じていない。

表2 推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較（％）－JGSS-2018

	単純集計 <sup>1)</sup>	ウエイト付集計 <sup>2)</sup>	参考値	
男女【SEXA】				
男	48.3	48.6	48.6	2017年10月現在 推計人口 <sup>3)</sup> (総務省)
女	51.7	51.4	51.4	
年齢【AGEB】				
20～29歳	8.3	11.8	11.8	2017年10月現在 推計人口 <sup>3)</sup> (総務省)
30～39	12.4	14.4	14.4	
40～49	18.2	18.3	18.3	
50～59	16.8	15.3	15.3	
60～69	19.6	17.4	17.4	
70～79	17.5	14.2	14.2	
80～89	7.2	8.6	8.6	
配偶関係【DOMARRY】				
有配偶	71.5	68.5	62.8	2018年1月 労働力調査 <sup>4)</sup> (総務省)
離死別	12.9	13.0	14.7	
未婚	15.7	18.5	22.5	
就業状態 <sup>5)</sup> 【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】				
従業	60.5	61.9	59.8	2018年1月 労働力調査 <sup>6)</sup> (総務省)
休業	2.5	2.6	1.7	
失業	1.5	1.6	1.5	
家事	18.1	17.7	13.5	
学生	0.8	1.2	1.6	
その他	16.7	15.0	21.9	
生活の程度【OP5LEVK】				
上	1.0	1.0	1.1	2017年6月 国民生活に関する 世論調査 <sup>7)</sup> (内閣府)
中の上	14.0	13.7	14.4	
中の中	49.5	49.2	57.4	
中の下	28.1	28.3	22.0	
下	7.4	7.7	5.1	

- 1) 単純集計は、ウエイトを用いないで集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。
- 2) ウエイト付集計は、ウエイトで重み付けを行って集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。
- 3) 推計人口の集計は、20～89歳の日本人についてである。
- 4) 労働力調査の集計は、20歳以上の者についてであり、日本人以外や90歳以上の者も含む（15歳以上人口の集計値から15～19歳を除いて算出）。配偶関係が不詳の者は集計対象から除いている。
- 5) 就業状態の単純集計、ウエイト付集計は、従業（XJOB1WK=1）、休業（XJOB1WK=2）、失業（TP5UNEMP=1）、家事（TP5UNEMP=4）、学生（TP5UNEMP=3）、その他（TP5UNEMP=2, 5, 6, 7, 9）と集計している。
- 6) 労働力調査の集計は4）と同様である。集計の定義は、従業（就業者中の従業者）、休業（就業者中の休業者）、失業（完全失業者）、家事（非労働力人口中の家事）、学生（非労働力人口中の通学）、その他（非労働力人口中のその他）であり、就業状態不詳の者は集計対象から除いている。
- 7) 国民生活に関する世論調査の集計は、20歳以上の日本人についてであり、90歳以上の者も含み、「わからない」「無回答」は集計対象から除いている。また、質問文（お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください）や調査方法（面接）が、JGSSとは異なる。



## 付 ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000～2005 まで、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分）」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、東京大学社会学研究所助教授（当時）の松井博氏を中心に、その計算方法について全面的な見直しを行った。

現在用いられているウエイトの算出方法は、この見直しを行った後のものである。また、JGSS-2005 のウエイトについても、新しい方法で計算した値に改定し、改訂値は修正データとして JGSS のホームページから配布している。改訂の経緯についての詳細は、以下のとおりである。

- (1) 市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウエイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。
- (2) また、これまでの区分の仕方だと、標本数が 0 又はごくわずかになる区分があり、そのためにウエイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。
- (3) このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの 2 つの区分を除き、「男女×年齢階級<sup>\*</sup>」の区分だけでウエイトを作成することが提案された。
 

<sup>\*</sup>年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の 2 つに区分することにした。その理由は、この 2 つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、2 つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。
- (4) JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウエイトを計算し、それを用いて集計を行って見たところ、従来のウエイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。
- (5) 以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウエイトの計算方法を「男女（2 区分）×年齢階級（7 区分）」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。
- (6) 同時に、第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

金 政芸

## I.6 データの公開状況と入手方法

### 1. データセットの公開方針

2020年3月現在、公開しているJGSSのデータセットは、2回の予備調査（第1回予備調査、第2回予備調査）、10回の本調査（JGSS-2000, 2001, 2002, 2003, 2005, 2006, 2008, 2010, 2012, 2015）、3回の特別調査（JGSS-2009LCS, JGSS-2013LCS wave2, JGSS-2016）、複数年のデータをひとまとまりにしたJGSS累積データ2000-2003である。

JGSS-2000からJGSS-2012までのデータは、日本語版と英語版をセットにして、国内では、東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センターのSSJデータ・アーカイブ(SSJDA)に寄託している。海外では、アメリカのICPSR(Inter-university Consortium for Political and Social Research)とドイツのGESIS(German Social Science Infrastructure Services)に寄託している。1999年に実施した予備調査のデータは日本語版のみで、SSJデータ・アーカイブだけに寄託している。

JGSS-2009LCS、JGSS-2013LCS wave2、JGSS-2015、JGSS-2016は、大阪商業大学JGSS研究センターで公開利用を受け付けている。LCSのデータは日本語版のみである。

JGSS-2015以降のデータセットについては、本センターが、日本学術振興会の「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」の拠点機関の一つとして、日本学術振興会と国立情報学研究所と共同で構築している、「JGSSデータダウンロードシステム」から公開する予定である。システムは試験運用を経て、2021年4月に稼働する予定である。海外のアーカイブについては、これまでと同様にICPSRとGESISに寄託する予定であり、JGSS-2015は2019年12月にICPSRに寄託している。GESISはシステムに対する外部からのアタックに対処中で停止しているため、寄託を見合わせている。

JGSS-2017とJGSS-2018は、ほぼ同一の調査票を用いているので、データを統合して2021年度に公開する予定である。JGSS-2017GとJGSS-2018Gも同じく、データを統合して2021年度に公開する予定である。

最新の公開状況は、[http://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat\\_top.html](http://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat_top.html)を参照すること。

### 2. データセットの内容

寄託しているデータセットには、SPSS形式のデータ・ファイル(OSに依存しないportable file)およびASCII(テキスト)形式(JGSS-2010データからはCSV(カンマ区切り)形式)のデータ・ファイルが含まれている。分析に必要な関連資料(『基礎集計表・コードブック』のPDFファイルなど)も含まれている。データセットの本質的な内容は、どのデータ・アーカイブでも同じであるが、アーカイブによっては寄託したファイルを一部加工した上で公開している。例えば、ICPSRで公開されているものには、STATAとSASのデータ読み取りフォーマットが含まれている。

それぞれのデータセットは、日本語版と英語版が一組になっている。国内、海外いずれのデータ・アーカイブでも、日本語版・英語版両方のデータが1つのデータセットに含まれている。当初は日本語のみのデータセットを作成していたが、現在は同時に英語版のデータを作成している。英語版の作成は、全ての調査について遡及して行ったので、現在公開されているデータセットには、全て日本語版と英語版が含まれている(予備調査・LCSを除く)。

### 3. データセット利用者の留意事項

JGSSでは、データセットの利用者について以下のような制限・義務を設けている。ただし、データ・アーカイブによって若干方針に違いがあるので、原則として、各アーカイブの指示に従うこと。

学術研究目的の利用である限り、大学などの研究機関の研究者、大学院生、および教員の指導を受けている大学生は、データセットを利用することができる。また、教員は授業などの教育目的でデータセットを利用することも可能である。

研究目的の利用の場合、使用期間の期限はないので、一度入手したデータセットはそのまま使い続けることができる。一方、教育目的でデータセットを入手した場合、その使用期限は1年間である。つまり、同じ授業を毎年行う場合、毎年利用の申請を行っていただきたい。これは、データに触れる学生自身が、利用申請の際の誓約事項に必ず目を通すことと、教育目的の利用の程度を把握するためである。

利用者は、データ・アーカイブの定める誓約事項（目的外の利用の禁止、個別データの秘密保護、第三者への提供の禁止、利用期限終了後の対処など）を厳守しなければならない。とくに、データセットを利用して研究成果を論文などで発表する際には、Acknowledgement（謝辞）を明記する必要があるので注意すること。

また、論文などを発表した場合は、データ・アーカイブの定める所に従い、その成果をアーカイブに報告する必要がある。SSJDA でデータを入手した場合は、アーカイブ宛に論文などのコピーを2部送付すること。ICPSR や GESIS でデータを入手した場合は、その利用の成果が JGSS 研究センターまで届かないので、別途、発表された論文などのコピー（1部）を、郵送かメールの添付ファイルで、下記宛に送付すること。

大阪商業大学 JGSS 研究センター 〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4丁目1-10  
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

データの内容などに修正が発生した場合は、JGSS のホームページから随時情報を発信している（JGSS データの利用→データの修正 [http://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat\\_correction.html](http://jgss.daishodai.ac.jp/data/dat_correction.html)）。第1回予備調査から JGSS-2006 までのデータについては、2005年4月以降に発生した修正は、データ・アーカイブで公開中のデータセットには反映されていない。分析の前に必ず修正の有無を各自で確認すること。修正が必要な場合は、JGSS のホームページから SPSS の修正用シンタックスをダウンロードし、アーカイブから入手したデータに適用すれば修正が反映される。

#### 4. データセットの入手方法

データセットの具体的な入手方法は、データ・アーカイブによって異なる。利用の制限や義務についても、若干の違いがあるので、それぞれのアーカイブで確認すること。

SSJDA <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>  
ICPSR\* <https://www.icpsr.umich.edu/>  
GESIS <https://www.gesis.org/>

\*ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従うこと。  
詳細については、所属機関の担当部署に問い合わせること。

以下に、参考のために SSJDA から JGSS のデータセットを入手する手順の概要を記す。詳細な手続きは、SSJDA のホームページの「データの利用」のページおよび「SSJDA Direct 利用マニュアル」に記されているので、それに従うこと。

SSJDA では、データダウンロードシステム（SSJDA Direct）で、JGSS のデータセットを入手することができる。SSJDA Direct（データダウンロードシステム）を利用するには、まずオンラインで利用者登録を行う。登録した ID でログインすると、マイページから利用申請を行うことができる。データの

覧から必要なデータを選択し、研究計画（研究目的の場合）や授業名（教育目的の場合）などの必要事項を入力し、誓約事項に同意すれば、申請は完了である。申請が承認されると、後日、登録したメールアドレスに「利用承認のお知らせ」が届き、マイページからデータのダウンロードが可能になる。

利用者が学部学生の場合は、指導教員/授業担当の教員によるオンラインでの承認手続きが求められる。教育目的の利用の場合は、授業担当の教員が申請時に、学生自身が署名した受講者リストを送付する必要がある。

データを利用して論文などを発表する場合は、Acknowledgement（謝辞）を明記する必要がある。JGSSのAcknowledgementは、下記のように定められているので、そのまま記載すること。

研究成果はそのつどアーカイブに報告する必要がある。SSJDA Directのマイページから成果物登録を行い、論文などのコピー2部をSSJDAに郵送すること。そのうちの1部がJGSS研究センターに届くことになっている。

ICPSRで利用した場合も、研究成果を登録して、1部をJGSS研究センターに直接送付すること。

JGSS研究センターで利用した場合も、研究成果を報告して、1部をJGSS研究センターに送付すること。

#### JGSSのAcknowledgement(日本語・英語のいずれかを明記)

##### 利用したデータセットがJGSS-2015の場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2015は、JSPS科研費JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金2014年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2015 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

##### 利用したデータセットがJGSS-2015と、JGSS-2000～2012のいずれかを含む場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2012は東京大学社会科学研究所の協力を得た。JGSS-2000～2008は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012は共同研究拠点の推進事業、JGSS-2015はJSPS科研費JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金2014年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2000-2012 was conducted in collaboration with the Institute of Social

Science at the University of Tokyo. JGSS-2000-2008 was financially assisted by the Gakujutsu Frontier Grant and JGSS-2010/2012 were supported by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. JGSS-2015 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

#### 利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2006～2012 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、東京大学社会科学研究所の協力を受けて実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2008 は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012 は共同研究拠点の推進事業と大阪商業大学の支援を受けている。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo. The project is financially assisted by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and Osaka University of Commerce.

#### 利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2005 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2008 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：岩井紀子、代表副幹事：保田時男）。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Noriko IWAI and Tokio YASUDA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2008 academic years.

#### 利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2003 以前の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2003 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：佐藤博樹・岩井紀子、事務局長：大澤美苗）。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Hiroki SATO and Noriko IWAI with Project Manager, Minae OSAWA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2003 academic years.

ICPSR から入手した場合には、上記の Acknowledgement に加えて、ICPSR が定めている下記の citation を参考文献のリストに加えること（データの version は改定されることがある）

JGSS-2012 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, and Maeda, Yukio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2012. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2016-10-21. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR36577.v1">https://doi.org/10.3886/ICPSR36577.v1</a>
JGSS-2010 Tanioka, Ichiro, Maeda, Yukio, and Iwai, Noriko. Japanese General Social Survey (JGSS), 2010. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2015-07-22. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR34623.v3">https://doi.org/10.3886/ICPSR34623.v3</a>
JGSS-2008 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2008. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2015-07-21. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR30661.v3">https://doi.org/10.3886/ICPSR30661.v3</a>
JGSS-2006 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2006. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2010-05-06. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR25181.v1">https://doi.org/10.3886/ICPSR25181.v1</a>
JGSS-2005 Tanioka, Ichiro, Nitta, Michio, Iwai, Noriko, and Yasuda, Tokio. Japanese General Social Survey (JGSS), 2005. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-08-13. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR04703.v1">https://doi.org/10.3886/ICPSR04703.v1</a>
JGSS Cumulative Data 2000-2003 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Surveys (JGSS) Cumulative Data, 2000-2003. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2008-12-08. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR04472.v1">https://doi.org/10.3886/ICPSR04472.v1</a>
JGSS-2003 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2003. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2005-09-30. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR04242.v1">https://doi.org/10.3886/ICPSR04242.v1</a>
JGSS-2002 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2002. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-03-30. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR04214.v2">https://doi.org/10.3886/ICPSR04214.v2</a>
JGSS-2001 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey (JGSS), 2001. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-03-30. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR04213.v2">https://doi.org/10.3886/ICPSR04213.v2</a>
JGSS-2000 Tanioka, Ichiro, Iwai, Noriko, Nitta, Michio, and Sato, Hiroki. Japanese General Social Survey, 2000. Ann Arbor, MI: Inter-university Consortium for Political and Social Research [distributor], 2007-04-05. <a href="https://doi.org/10.3886/ICPSR03593.v2">https://doi.org/10.3886/ICPSR03593.v2</a>

## JGSS 研究センターから入手したデータの Acknowledgement

利用したデータセットが JGSS-2018 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2018 は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」と JSPS 科研費 JP17H01007 の支援を受けた。データの整備は、JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 JPJS00218077184 の支援を得た。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2018 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project was financially assisted by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, JSPS KAKENHI Grant Number JP17H01007. The data archiving was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

利用したデータセットが JGSS-2017 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2017 は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」と JSPS 科研費 JP17H01007 の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2017 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project was financially assisted by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, JSPS KAKENHI Grant Number JP17H01007.

利用したデータセットが JGSS-2017 と JGSS-2018 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2017/2018 は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」と JSPS 科研費 JP17H01007 の支援を受けた。JGSS-2018 データの整備は、JSPS 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業 JPJS00218077184 の支援を得た。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2017/2018 were conducted in collaboration with the Division of Sociology

of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The projects were financially assisted by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, JSPS KAKENHI Grant Number JP17H01007. The data archiving for JGSS-2018 was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

#### 利用したデータセットが JGSS-2018G の場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2018Gは、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」を受けた。データの整備は、JSPS人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業JPJS00218077184の支援を得た。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2018G was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project was financially assisted by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The data archiving was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

#### 利用したデータセットが JGSS-2017G の場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2017Gは、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」の支援を受けた。データの整備は、JSPS人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業JPJS00218077184の支援を得た。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2017G was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project was financially assisted by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The data archiving was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

#### 利用したデータセットが JGSS-2017G と JGSS-2018G の場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2017G/2018Gは、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座の協力を得て実施し、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」を受けた。データの整備は、JSPS人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業JPJS00218077184の支援を得た。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys



accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2017G/2018G were conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The projects were financially assisted by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The data archiving was supported by JSPS Program for Constructing Data Infrastructure for the Humanities and Social Sciences Grant Number JPJS00218077184.

#### 利用したデータセットが JGSS-2016 の場合

日本版General Social Survey (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2016は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施し、JSPS 科研費 JP15H03485、JP26245060、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2016 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project was financially assisted by JSPS KAKENHI Grant Numbers JP15H03485, JP26245060, and Research Grant on Labor Issues (PI: Hachiro Iwai).

#### 利用したデータセットが JGSS-2015 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2015 は、JSPS 科研費 JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金 2014 年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金 2015 年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2015 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

#### 利用したデータセットが JGSS-2015 と JGSS-2016 の場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2016は京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施した。JGSS-2015/2016 は、JSPS 科研費 JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）、日本経済研究センター研究奨励金（岩井紀子）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited

by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2016 was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. JGSS-2015/2016 were financially assisted by JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai), and Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2015 と、JGSS-2000～2012 のいずれかを含む場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社會調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2012は東京大学社会科学研究所の協力を得た。JGSS-2000～2008は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012は共同研究拠点の推進事業、JGSS-2015はJSPS科研費JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、日本経済研究センター研究奨励金2014年度（岩井紀子）、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2000-2012 was conducted in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo. JGSS-2000-2008 was financially assisted by the Gakujutsu Frontier Grant and JGSS-2010/2012 were supported by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. JGSS-2015 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai), and Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2015 と JGSS-2016 と、JGSS-2000～2012 のいずれかを含む場合

日本版General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学JGSS研究センター（文部科学大臣認定日本版総合的社會調査共同研究拠点）が、大阪商業大学の支援を得て実施している研究プロジェクトである。JGSS-2000～2012は東京大学社会科学研究所の協力を得て、JGSS-2016は京都大学大学院教育学研究科と共同で実施した。JGSS-2000～2008は学術フロンティア推進拠点、JGSS-2010～2012は共同研究拠点の推進事業、JGSS-2015/2016は、JSPS科研費JP26245060、JP15H03485、JP24243057、大阪商業大学アミューズメント産業研究所、労働問題に関する調査研究助成金2015年度（岩井八郎ほか）、日本経済研究センター研究奨励金（岩井紀子）の支援を受けた。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), with support by the Osaka University of Commerce. JGSS-2000-2012 was conducted in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo, and JGSS-2016 was with the Graduate School of Education, Kyoto University. JGSS-2000-2008 was financially assisted by the Gakujutsu Frontier Grant and JGSS-2010/2012 were supported by the Program for Promotion of Distinctive Joint Research Centers by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. JGSS-2015/2016 received funding from JSPS KAKENHI Grant Numbers JP26245060, JP15H03485, JP24243057, the Institute of Amusement Industry Studies at Osaka University of Commerce, Research Grant on Labor Issues 2015 (PI: Hachiro Iwai), and Japan Center for Economic Research 2014 (Noriko Iwai).

利用したデータセットが JGSS-2009LCS の場合

日本版 General Social Survey 2009 ライフコース調査 (JGSS-2009LCS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター (文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点) が実施した研究プロジェクトである。共同研究拠点の推進事業と大阪商業大学の支援を受けた。

The Japanese General Social Survey 2009 Life Course Study (JGSS-2009LCS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage/Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology). The project was financially assisted by the Program for Promotion of Joint Research Centers in Humanities and Social Sciences by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology and Osaka University of Commerce .

利用したデータセットが JGSS-2009LCS と JGSS-2013LCS wave2 の場合

日本版 General Social Survey 2009 ライフコース調査 (JGSS-2009LCS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター (文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点) が実施した研究プロジェクトである。JGSS-2013 ライフコース調査 wave2 (JGSS-2013LCSwave2) は、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座と共同で実施したプロジェクトである。共同研究拠点の推進事業、JSPS 科研費 JP24330236 と大阪商業大学の支援を受けた。

The Japanese General Social Survey 2009 Life Course Study (JGSS-2009LCS) is designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage/Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology). The Japanese General Social Survey 2013 Life Course Study wave2 (JGSS-2013LCS wave2) was conducted in collaboration with the Division of Sociology of Education, Graduate School of Education, Kyoto University. The project is financially assisted by JSPS KAKENHI Grant Number 24330236, the Program for Promotion of Joint Research Centers in Humanities and Social Sciences by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and Osaka University of Commerce.

佐々木 尚之

## Ⅱ. JGSS-2018 集計と索引

## II.1 基礎集計・コード表：面接調査票

### BLOCK 地域ブロック

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道・東北	274	14.3
2	関東	560	29.2
3	中部	356	18.6
4	近畿	304	15.9
5	中国・四国	188	9.8
6	九州	234	12.2
計		1916	100.0

### PREF 都道府県名

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道	95	5.0
2	青森	36	1.9
3	岩手	21	1.1
4	宮城	55	2.9
5	秋田	27	1.4
6	山形	10	0.5
7	福島	30	1.6
8	茨城	64	3.3
9	栃木	22	1.1
10	群馬	52	2.7
11	埼玉	82	4.3
12	千葉	96	5.0
13	東京	142	7.4
14	神奈川	102	5.3
15	新潟	50	2.6
16	富山	19	1.0
17	石川	11	0.6
18	福井	23	1.2
19	山梨	26	1.4
20	長野	30	1.6
21	岐阜	22	1.1
22	静岡	59	3.1
23	愛知	102	5.3
24	三重	14	0.7
25	滋賀	18	0.9
26	京都	35	1.8
27	大阪	121	6.3
28	兵庫	99	5.2
29	奈良	20	1.0
30	和歌山	11	0.6
31	鳥取	8	0.4
32	島根	17	0.9
33	岡山	32	1.7
34	広島	47	2.5
35	山口	30	1.6
36	徳島	9	0.5

37	香川	16	0.8	
38	愛媛	22	1.1	
39	高知	7	0.4	
40	福岡	68	3.5	
41	佐賀	16	0.8	
42	長崎	21	1.1	
43	熊本	34	1.8	
44	大分	20	1.0	
45	宮崎	21	1.1	
46	鹿児島	20	1.0	
47	沖縄	34	1.8	
		計	1916	100.0

**SIZE 市郡規模**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%	
1	大都市	449	23.4	
2	人口 20 万人以上の市	461	24.1	
3	人口 20 万人未満の市	808	42.2	
4	町村	198	10.3	
		計	1916	100.0

**SEXA 性別**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%	
1	男	925	48.3	
2	女	991	51.7	
		計	1916	100.0

**DOBYEAR 生年**

この変数の単純集計は掲載していません。

**AGE 年齢**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%	
実数記入	20～29 歳	159	8.3	
	30～39 歳	238	12.4	
	40～49 歳	349	18.2	
	50～59 歳	321	16.8	
	60～69 歳	376	19.6	
	70～79 歳	336	17.5	
	80～89 歳	137	7.2	
		計	1916	100.0

**MARC 配偶者 (DOMARRY の転記)**

D 欄：婚姻状態（面接調査票 問 27-1 に対する回答を転記）

この変数の単純集計は記載していません。問 27-1 DOMARRY の集計をご覧ください。

問1〔回答票1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK 先週の就労経験

コード		ケース数	%
1	仕事をした	1159	60.5
2	仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	47	2.5
3	仕事をしていない	710	37.1
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

問1に「1（ア）仕事をした」「2（イ）仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

問2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

XJOBHWK 就労時間数／週

コード		ケース数	%
実数記入	0時間	0	0
	1～9時間	55	4.6
	10～19時間	93	7.7
	20～29時間	130	10.8
	30～39時間	160	13.3
	40～49時間	502	41.6
	50～59時間	160	13.3
	60～69時間	58	4.8
	70～79時間	27	2.2
	80時間以上	14	1.2
999	無回答	7	0.6
計		1206	100.0
888	非該当	710	
計		1916	

SZSJBHWK 副業就労時間数／週

コード		ケース数	%
実数記入	0時間	1181	97.9
	1～9時間	12	1.0
	10～19時間	10	0.8
	20～29時間	2	0.2
	30～39時間	0	0
	40～49時間	1	0.1
	50～59時間	0	0
	60～69時間	0	0
	70～79時間	0	0
	80時間以上	0	0
999	無回答	0	0
計		1206	100.0
888	非該当	710	
計		1916	

問 3-1〔回答票 2〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPJB 雇用関係

コード		ケース数	%
1	雇われている人	949	78.7
2	会社などの役員	60	5.0
3	自営業主・自由業者	147	12.2
4	自家営業の手伝い	42	3.5
5	内職	8	0.7
9	無回答	0	0
		計	1206
8	非該当	710	100.0
		計	1916

問 3-1に「1 (ア) 雇われている人」の場合

問 3-2〔回答票 3〕あなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPJBS 雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	580	61.1
2	(イ) パート・アルバイト	276	29.1
3	(ウ) 派遣社員	19	2.0
4	(エ) 契約社員	49	5.2
5	(オ) 嘱託	23	2.4
6	わからない	2	0.2
9	無回答	0	0
		計	949
8	非該当	967	100.0
		計	1916

問 3-2に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 3-3〔回答票 4〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP 役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	378	65.2
2	(イ) 職長・班長・組長など	51	8.8
3	(ウ) 係長 (係長相当)	74	12.8
4	(エ) 課長 (課長相当)	54	9.3
5	(オ) 部長 (部長相当)	19	3.3
6	(カ) その他の役職 (具体的に )	0	0
7	わからない	2	0.3
9	無回答	2	0.3
		計	580
8	非該当	1336	100.0
		計	1916



問 3-1 に「3 (ウ) 自営業主・自由業者」の場合

問 3-4 家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

**TPJBSE 従業員を持つ自営業者**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	はい	45	30.6
2	いいえ	102	69.4
9	無回答	0	0
		計	147
8	非該当	1769	
		計	1916

問 4-1 [回答票 5] あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT 通勤の有無**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) およそ___時間___分	1058	87.7
2	(イ) 住まいと職場は同じ	126	10.4
3	(ウ) 日によって行き先が違う	21	1.7
9	無回答	1	0.1
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916

問 4-1 に「1 (ア) およそ\_\_\_時間\_\_\_分」の場合

**SZCMTHR 通勤時間:時間**

この変数の単純集計は記載していません。

コード<sup>\*</sup>  
実数記入

88	非該当
99	無回答

**SZCMTMIN 通勤時間:分**

この変数の単純集計は記載していません。

コード<sup>\*</sup>  
実数記入

88	非該当
99	無回答

SZCMTTL 通勤時間:合計

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
実数記入	1～9分	127	12.0
	10～19分	338	32.0
	20～29分	153	14.5
	30～39分	150	14.2
	40～49分	102	9.6
	50～59分	18	1.7
	1時間～1時間半未満	136	12.9
	1時間半～2時間未満	29	2.7
	2時間以上	5	0.5
9999	無回答	0	0
	計	1058	100.0
8888	非該当	858	
	計	1916	

問5 [回答票7] あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

TP4WPLA 事業所形態

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	(ア) 官公庁	104	8.6
2	(イ) 単独事業所 (他に事業所はない)	500	41.5
3	(ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)	379	31.4
4	(エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)	188	15.6
5	わからない	28	2.3
9	無回答	7	0.6
	計	1206	100.0
8	非該当	710	
	計	1916	

問6 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

XXWPL 業種

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
10	農業	46	3.8
20	林業	1	0.1
30	漁業	3	0.2
40	鉱業	1	0.1
50	建設業	88	7.3
60	製造業	249	20.6
70	電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.5
80	運輸業	71	5.9
91	卸売業	18	1.5
92	小売業	153	12.7
93	飲食店	27	2.2
100	金融・保険業	28	2.3
110	不動産業	19	1.6
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	10	0.8
130	情報・通信サービス業	43	3.6
140	医療・福祉サービス業	188	15.6
150	教育・研究サービス業	43	3.6
160	法律・会計サービス業	9	0.7
170	その他のサービス業	145	12.0

180	公務	57	4.7
999	無回答	1	0.1
		計	1206
			100.0
998	非該当	710	
		計	1916

問7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

#### XXJOB 職種

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	33	2.7
504	建築・土木技術者	2	0.2
505	農林技術者	1	0.1
506	情報処理技術者	27	2.2
507	その他の技師・技術者	2	0.2
508	医師	1	0.1
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	4	0.3
513	栄養士	5	0.4
514	看護師（看護婦・看護師）	34	2.8
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	2	0.2
516	その他の保健医療従事者	22	1.8
518	その他の法務従事者	1	0.1
519	公認会計士、税理士	1	0.1
520	幼稚園教員	3	0.2
521	小学校教員	7	0.6
522	中学校教員	4	0.3
523	高等学校教員	10	0.8
524	大学教員	3	0.2
527	宗教家	4	0.3
529	記者、編集者	3	0.2
530	彫刻家、画家、工芸美術家	1	0.1
531	デザイナー	2	0.2
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	3	0.2
536	獣医師	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	11	0.9
538	社会福祉事業専門職員	5	0.4
539	個人教師	11	0.9
541	経営コンサルタント	3	0.2
544	その他の専門的・技術的職業従事者	1	0.1
545	管理的公務員	1	0.1
548	会社役員	6	0.5
550	会社・団体等の管理職員	29	2.4
554	総務・企画事務員	109	9.0
555	受付・案内事務員	32	2.7
556	出荷・受荷事務員	15	1.2
557	営業・販売事務員	20	1.7
558	その他の一般事務員	15	1.2
559	会計事務員	54	4.5
560	郵便・通信事務員	5	0.4

562	その他の外勤事務従事者	2	0.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	9	0.7
565	電子計算機等操作員	5	0.4
566	小売店主	6	0.5
568	飲食店主	6	0.5
569	販売店員	82	6.8
573	外交員(保険、不動産を除く)	46	3.8
574	保険代理人・外交員	5	0.4
575	不動産仲買人・売買人	4	0.3
577	その他の販売類似職業従事者	4	0.3
578	家政婦、家事サービス職業従事者	33	2.7
579	理容師、美容師	17	1.4
580	クリーニング職、洗張職	3	0.2
581	料理人	23	1.9
583	給仕係	18	1.5
587	旅行・観光案内人	1	0.1
588	その他の個人サービス職業従事者	6	0.5
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	3	0.2
592	その他のサービス職業従事者	14	1.2
593	自衛官	2	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	3	0.2
595	消防員	2	0.2
596	看守、守衛、監視員	10	0.8
599	農耕・養蚕作業	38	3.2
600	植木職、造園師	6	0.5
601	畜産作業	2	0.2
602	林業作業	1	0.1
604	漁業作業	3	0.2
606	電車・機関車運転士	2	0.2
607	自動車運転者	50	4.1
614	その他の運輸従事者	12	1.0
620	採鉱員、採炭員	1	0.1
626	その他の窯業・土石製品製造作業	1	0.1
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	0.1
629	化学製品製造作業	4	0.3
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	13	1.1
631	鉄工、板金工	3	0.2
632	金属溶接工	7	0.6
633	一般機械組立工・修理工	31	2.6
634	電気機械器具組立工・修理工	12	1.0
635	自動車組立工・整備工	11	0.9
639	自転車組立工・修理工	2	0.2
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	5	0.4
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	9	0.7
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	9	0.7
649	織布工、紡織作業	2	0.2
651	洋服・和服仕立職	1	0.1
652	縫製工、裁断工	3	0.2
653	製材工、木工	3	0.2
654	指物職、家具職、建具職	1	0.1
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	1	0.1
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	1	0.1

658	印刷・製本作業	4	0.3	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	10	0.8	
661	塗装工、画工、看板工	4	0.3	
669	がん具製造工	1	0.1	
672	その他の技能工・生産工程作業	7	0.6	
674	起重機・建設機械運転作業	4	0.3	
676	発電員、変電員	1	0.1	
677	電気工事・電話工事作業	11	0.9	
679	左官、とび職	5	0.4	
680	れんが積工、配管工	12	1.0	
682	土工、道路工夫	6	0.5	
684	現場監督、その他の建設作業	20	1.7	
685	倉庫夫、仲仕	2	0.2	
686	運搬労務者	29	2.4	
687	清掃員	34	2.8	
688	その他の労務作業	12	1.0	
702	大工	11	0.9	
999	不明、無回答	0	0	
		計	1206	100.0
998	非該当		710	
		計	1916	

XXJE08 職種(ISCO08)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>	
	Managers	34	2.8	
	Professionals	137	11.4	
	Technicians and associate professionals	165	13.7	
	Clerical support workers	234	19.4	
	Service and sales workers	239	19.8	
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	48	4.0	
	Craft and related trades workers	117	9.7	
	Plant and machine operators, and assemblers	140	11.6	
	Elementary occupations	92	7.6	
	Armed forces occupations	0	0	
99999	分類不能、不明、無回答	0	0	
		計	1206	100.0
88888	非該当		710	
		計	1916	

問 8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

XJOBWDK 就労日数／週

コード		ケース数	%	
実数記入	1 日	18	1.5	
	2 日	34	2.8	
	3 日	79	6.6	
	4 日	109	9.0	
	5 日	664	55.1	
	6 日	240	19.9	
	7 日	55	4.6	
99	無回答	7	0.6	
		計	1206	100.0
88	非該当	710		
		計	1916	

問 9 あなたは、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。

自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

XJBSCD 通常労働時間数／週

コード		ケース数	%	
実数記入	1～9 時間	44	3.7	
	10～19 時間	83	6.9	
	20～29 時間	124	10.3	
	30～39 時間	211	17.5	
	40～49 時間	614	50.9	
	50～59 時間	49	4.1	
	60～69 時間	25	2.1	
	70～79 時間	16	1.3	
	80 時間以上	6	0.5	
999	無回答	34	2.8	
		計	1206	100.0
888	非該当	710		
		計	1916	

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR 就労年数

コード		ケース数	%	
実数記入	1 年未満	67	5.6	
	1～4 年	287	23.8	
	5～9 年	209	17.3	
	10～19 年	283	23.5	
	20～29 年	169	14.0	
	30 年以上	189	15.7	
999	無回答	2	0.2	
		計	1206	100.0
888	非該当	710		
		計	1916	

問 11〔回答票 7〕あなたが、これまでの仕事で身につけた経験や技能は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。

**USFLSKL 経験や技能が仕事に役立った程度**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	とても役立っている	544	45.1
2	ある程度役立っている	467	38.7
3	あまり役立っていない	123	10.2
4	ほとんど役立っていない	71	5.9
9	無回答	1	0.1
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916

問 12〔回答票 8〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

**SZTLSTA 企業規模**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	(ア) 1 人	52	4.3
2	(イ) 2～4 人	149	12.4
3	(ウ) 5～9 人	102	8.5
4	(エ) 10～29 人	152	12.6
5	(オ) 30～99 人	153	12.7
6	(カ) 100～299 人	120	10.0
7	(キ) 300～499 人	61	5.1
8	(ク) 500～999 人	61	5.1
9	(ケ) 1,000～1,999 人	53	4.4
10	(コ) 2,000～9,999 人	55	4.6
11	(サ) 1 万人以上	87	7.2
12	(シ) 官公庁	104	8.6
13	わからない	54	4.5
99	無回答	3	0.2
		計	1206
88	非該当	710	
		計	1916

問 13〔回答票 9〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

**JOINUNI 労働組合加入の有無**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	(ア) 職場の労働組合に入っている	252	20.9
2	(イ) 職場以外の労働組合に入っている	25	2.1
3	(ウ) 入っていない	896	74.3
4	わからない	31	2.6
9	無回答	2	0.2
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916

問 14〔回答票 10〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

**ST5JOB 現在の仕事の満足度**

コード		ケース数	%
1	(ア) 満足している	374	31.0
2	(イ) どちらかといえば満足している	534	44.3
3	(ウ) どちらともいえない	208	17.2
4	(エ) どちらかといえば不満である	71	5.9
5	(オ) 不満である	19	1.6
6	わからない	0	0
9	無回答	0	0
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916

問 15〔回答票 11〕今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA 現在の会社・組織での就労継続意向**

コード		ケース数	%
1	(ア) 近いうちにやめるつもり	117	9.7
2	(イ) 当分やめるつもりはない	529	43.9
3	(ウ) まったくやめるつもりはない	543	45.0
4	わからない	17	1.4
9	無回答	0	0
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916

問 16〔回答票 12〕今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

**OP4UNEMP 失業の可能性**

コード		ケース数	%
1	(ア) かなりある	28	2.3
2	(イ) ある程度ある	85	7.0
3	(ウ) あまりない	354	29.4
4	(エ) まったくない	700	58.0
5	わからない	39	3.2
9	無回答	0	0
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916

問 17〔回答票 13〕もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB 再就労の容易さ**

コード		ケース数	%
1	(ア) 非常に容易である	98	8.1
2	(イ) ある程度容易である	318	26.4
3	(ウ) 容易ではない	716	59.4
4	わからない	74	6.1
9	無回答	0	0
		計	1206
8	非該当	710	
		計	1916



(現在働いていない人に)

問 18 [回答票 14] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP 不就労の理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	28	3.9
2	(イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている	278	39.2
3	(ウ) 学生	16	2.3
4	(エ) 主に家事をしている	346	48.7
5	(オ) 心身上の事情で働けない	34	4.8
6	(カ) その他 (具体的に )	6	0.8
7	わからない	0	0
9	無回答	2	0.3
		計	710
8	非該当	1206	
		計	1916

問 19 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

XWORK 就労経験

コード		ケース数	%
1	はい	681	95.9
2	いいえ	29	4.1
9	無回答	0	0
		計	710
8	非該当	1206	
		計	1916

問 19 に「1 はい」の場合

問 20 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK 離職年齢

コード		ケース数	%
実数記入	15～19 歳	6	0.9
	20～29 歳	84	12.3
	30～39 歳	63	9.3
	40～49 歳	47	6.9
	50～59 歳	116	17.0
	60～69 歳	271	39.8
	70～79 歳	74	10.9
	80～89 歳	10	1.5
999	無回答	10	1.5
		計	681
888	非該当	1235	
		計	1916

問 21 [回答票 15] あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB 離職理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 定年など退職 (引退) する年齢になった	237	34.8
2	(イ) 早期退職 (引退) を選んだ	22	3.2
3	(ウ) 早期退職 (引退) をさせられた	3	0.4
4	(エ) 健康上の理由で働けなくなった	100	14.7
5	(オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された	38	5.6
6	(カ) 解雇された	10	1.5
7	(キ) 雇用期間や契約期間が終了した	29	4.3
8	(ク) 仕事や労働条件等が不満だったので	28	4.1
9	(ケ) 開業や転職のため	2	0.3
10	(コ) 家族の介護のため	43	6.3
11	(サ) 結婚したため	64	9.4
12	(シ) 出産・育児のため	55	8.1
13	(ス) その他 (具体的に )	46	6.8
14	わからない	2	0.3
99	無回答	2	0.3
		計	681
88	非該当	1235	100.0
		計	1916

問 22-1 [回答票 16] その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJB 前職の雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	557	81.8
2	(イ) 会社などの役員	31	4.6
3	(ウ) 自営業主・自由業者	62	9.1
4	(エ) 自家営業の手伝い	25	3.7
5	(オ) 内職	4	0.6
6	わからない	2	0.3
9	無回答	0	0
		計	681
8	非該当	1235	100.0
		計	1916

問 22-1 に「1 (ア) 雇われている人」の場合

問 22-2 [回答票 17] 当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TPLSTJBS 前職の雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	309	55.5
2	(イ) パート・アルバイト	195	35.0
3	(ウ) 派遣社員	15	2.7
4	(エ) 契約社員	18	3.2
5	(オ) 嘱託	15	2.7
6	わからない	5	0.9
9	無回答	0	0
		計	557
8	非該当	1359	100.0
		計	1916

問 22-2 に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 22-3 [回答票 18] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPLSTJBP 前職の役職**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	196	63.4
2	(イ) 職長・班長・組長など	26	8.4
3	(ウ) 係長 (係長相当)	25	8.1
4	(エ) 課長 (課長相当)	33	10.7
5	(オ) 部長 (部長相当)	28	9.1
6	(カ) その他の役職 (具体的に )	1	0.3
7	わからない	0	0
9	無回答	0	0
		計	309
8	非該当	1607	
		計	1916

問 23 あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXLSTJB 前職の職種**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	7	1.0
504	建築・土木技術者	2	0.3
506	情報処理技術者	3	0.4
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	2	0.3
513	栄養士	1	0.1
514	看護婦・看護師	16	2.3
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	1	0.1
516	その他の保健医療従事者	6	0.9
520	幼稚園教員	5	0.7
521	小学校教員	10	1.5
522	中学校教員	2	0.3
523	高等学校教員	4	0.6
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	2	0.3
531	デザイナー	3	0.4
537	保母、保父	8	1.2
538	社会福祉事業専門職員	2	0.3
539	個人教師	5	0.7
544	その他の専門的・技術的職業従事者	4	0.6
548	会社役員	9	1.3
550	会社・団体等の管理職員	27	4.0
551	駅長、区長	2	0.3
554	総務・企画事務員	67	9.8
555	受付・案内事務員	19	2.8
556	出荷・受荷事務員	7	1.0
557	営業・販売事務員	6	0.9
558	その他の一般事務員	4	0.6
559	会計事務員	42	6.2
560	郵便・通信事務員	3	0.4

564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	8	1.2
566	小売店主	2	0.3
568	飲食店主	1	0.1
569	販売店員	64	9.4
572	商品仲立人	2	0.3
573	外交員(保険、不動産を除く)	20	2.9
574	保険代理人・外交員	5	0.7
575	不動産仲買人・売買人	1	0.1
578	女中、家政婦、家事サービス職業従事者	6	0.9
579	理容師、美容師	5	0.7
580	クリーニング職、洗張職	2	0.3
581	料理人	14	2.1
583	給仕係	21	3.1
588	その他の個人サービス職業従事者	2	0.3
592	その他のサービス職業従事者	3	0.4
593	自衛官	1	0.1
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	1	0.1
596	看守、守衛、監視員	6	0.9
599	農耕・養蚕作業	16	2.3
600	植木職、造園師	5	0.7
604	漁業作業	1	0.1
606	電車・機関車運転士	2	0.3
607	自動車運転者	20	2.9
614	その他の運輸従事者	3	0.4
617	電話交換手	1	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業	1	0.1
629	化学製品製造作業	1	0.1
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	6	0.9
631	鉄工、板金工	1	0.1
632	金属溶接工	1	0.1
633	一般機械組立工・修理工	14	2.1
634	電気機械器具組立工・修理工	4	0.6
635	自動車組立工・整備工	3	0.4
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	4	0.6
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	7	1.0
648	製糸作業	4	0.6
649	織布工、紡織作業	2	0.3
651	洋服・和服仕立職	9	1.3
652	縫製工、裁断工	12	1.8
653	製材工、木工	1	0.1
654	指物職、家具職、建具職	2	0.3
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	1	0.1
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	1	0.1
658	印刷・製本作業	3	0.4
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	3	0.4
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	1	0.1
661	塗装工、画工、看板工	1	0.1
669	がん具製造工	1	0.1
672	その他の技能工・生産工程作業	11	1.6
673	汽かん士、汽かん火夫	1	0.1
674	起重機・建設機械運転作業	2	0.3
677	電気工事・電話工事作業	3	0.4

679	左官、とび職	4	0.6	
680	れんが積工、配管工	6	0.9	
682	土工、道路工夫	6	0.9	
684	現場監督、その他の建設作業者	4	0.6	
686	運搬労務者	15	2.2	
687	清掃員	18	2.6	
688	その他の労務作業者	6	0.9	
702	大工	11	1.6	
999	不明、無回答	28	4.1	
		計	681	100.0
998	非該当	1235		
		計	1916	

XXLJE08 前職の職種(ISCO08)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%	
	Managers	38	5.6	
	Professionals	51	7.5	
	Technicians and associate professionals	64	9.4	
	Clerical support workers	152	22.3	
	Service and sales workers	131	19.2	
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	19	2.8	
	Craft and related trades workers	58	8.5	
	Plant and machine operators, and assemblers	77	11.3	
	Elementary occupations	63	9.3	
	Armed forces occupations	0	0	
99999	分類不能、不明、無回答	28	4.1	
		計	681	100.0
88888	非該当	1235		
		計	1916	

問 24 [回答票 19] その会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

SZSTFLS 前職の企業規模(6分類)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%	
1	(ア) 1人	30	4.4	
2	(イ) 小企業 (2~29人)	222	32.6	
3	(ウ) 中企業 (30~299人)	167	24.5	
4	(エ) 大企業 (300~999人)	58	8.5	
5	(オ) 大手大企業 (1,000人以上)	118	17.3	
6	(カ) 官公庁	53	7.8	
7	わからない	31	4.6	
9	無回答	2	0.3	
		計	681	100.0
8	非該当	1235		
		計	1916	

(全員に)

問 25 あなたは現在、仕事を探していますか。

**DOLOOKJB 求職の有無(全員)**

コード		ケース数	%
1	(ア) 近いうちにやめるつもり	145	7.6
2	(イ) 当分やめるつもりはない	1771	92.4
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

問 26 [回答票 20] あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

**XNUMCOWK 転職数**

コード		ケース数	%
1	0 社	150	7.8
2	1 社	765	39.9
3	2 社	470	24.5
4	3 社	274	14.3
5	4 社	111	5.8
6	5 社	65	3.4
7	6 社以上	43	2.2
9	無回答	38	2.0
計		1916	100.0

問 27-1 [回答票 21] あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

**DOMARRY 結婚状況**

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	1366	71.3
2	(イ) 離別	99	5.2
3	(ウ) 死別	148	7.7
4	(エ) 未婚	301	15.7
5	離婚を前提に別居中	1	0.1
6	同棲中	1	0.1
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

「2 (イ) 離別」、「3 (ウ) 死別」、「4 (エ) 未婚」の場合  
問 27-2 [回答票 22] あなたは何歳までに結婚 (再婚) したいですか。

**WNTMRY 結婚・再婚の意欲**

コード		ケース数	%
1	(ア) ( ) 歳までに結婚 (再婚) したい	100	18.2
2	(イ) 年齢にはこだわらない	146	26.6
3	(ウ) 結婚 (再婚) するつもりはない	300	54.7
9	無回答	2	0.4
計		548	100.0
8	非該当	1368	
計		1916	

WNTMRYAG 結婚・再婚の意欲:何歳までに

コード		ケース数	%
実数記入	20～29 歳	24	24.0
	30～39 歳	47	47.0
	40 歳以上	29	29.0
9	無回答	0	0
		計	100
8	非該当	1816	100.0
		計	1916

問 28-1 [回答票 23] 配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK 先週の就労経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	仕事をした	824	60.3
2	仕事をもっているが、病気・休暇などで先週は仕事を休んだ	18	1.3
3	仕事をしていない	524	38.3
9	無回答	1	0.1
		計	1367
8	非該当	549	100.0
		計	1916

「3 (ウ) 仕事をもっていない」の場合

問 28-2 [回答票 24] 配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

SSTPUNEM 不就労の理由(配偶者)

コード		ケース数	%
1	失業中	3	0.6
2	定年で退職している・高齢のため仕事をやめている	172	32.8
3	学生	1	0.2
4	主に家事をしている	313	59.7
5	心身上の事情で働けない	31	5.9
6	その他	4	0.8
9	無回答	0	0
		計	524
8	非該当	1392	100.0
		計	1916

問 28-1 に「1 (ア) 仕事をした」、「2 (イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

問 29 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

**SSJBHRWK 就労時間数／週(配偶者)**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
実数記入	1～9時間	23	2.7
	10～19時間	69	8.2
	20～29時間	98	11.6
	30～39時間	82	9.7
	40～49時間	354	42.0
	50～59時間	119	14.1
	60～69時間	47	5.6
	70～79時間	19	2.3
	80時間以上	10	1.2
999	無回答	21	2.5
		計	842
888	非該当	1074	
		計	1916

**SSSJBHWK 副業就労時間数／週(配偶者)**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
実数記入	0時間	834	99.0
	1～9時間	2	0.2
	10～19時間	1	0.1
	20～29時間	0	0
	30～39時間	1	0.1
	40～49時間	0	0
	50～59時間	0	0
999	無回答	4	0.5
		計	842
888	非該当	1074	
		計	1916

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 30-1 [回答票 25] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJJB 雇用関係(配偶者)**

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	657	78.0
2	(イ) 会社などの役員	31	3.7
3	(ウ) 自営業主・自由業者	110	13.1
4	(エ) 自家営業の手伝い	41	4.9
5	(オ) 内職	1	0.1
6	わからない	1	0.1
9	無回答	1	0.1
		計	842
8	非該当	1074	
		計	1916



問 30-1 に「1 (ア) 雇われている人」の場合

問 30-2 [回答票 26] 配偶者の方の雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJBS 役職(配偶者)**

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	413	62.9
2	(イ) パート・アルバイト	198	30.1
3	(ウ) 派遣社員	12	1.8
4	(エ) 契約社員	23	3.5
5	(オ) 嘱託	11	1.7
6	わからない	0	0
9	無回答	0	0
		計	657
8	非該当	1259	100.0
		計	1916

問 30-2 に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 30-3 [回答票 27] 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJOBP 役職(配偶者)**

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	234	56.7
2	(イ) 職長・班長・組長など	35	8.5
3	(ウ) 係長 (係長相当)	44	10.7
4	(エ) 課長 (課長相当)	48	11.6
5	(オ) 部長 (部長相当)	26	6.3
6	(カ) その他の役職 (具体的に )	1	0.2
7	わからない	23	5.6
9	無回答	2	0.5
		計	413
8	非該当	1503	100.0
		計	1916

問 30-1 に「3 (ウ) 自営業主・自由業者」の場合

問 30-4 配偶者の方は、家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

**SSTPJBE 従業員を持つ自営業者(配偶者)**

コード		ケース数	%
1	はい	40	36.4
2	いいえ	69	62.7
9	無回答	1	0.9
		計	110
8	非該当	1806	100.0
		計	1916

問 31 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX 業種(配偶者)

コード		ケース数	%	
10	農業	33	3.9	
20	林業	1	0.1	
30	漁業	1	0.1	
40	鉱業	0	0	
50	建設業	75	8.9	
60	製造業	168	19.9	
70	電気・ガス・熱供給・水道業	3	0.4	
80	運輸業	44	5.2	
91	卸売業	14	1.7	
92	小売業	116	13.8	
93	飲食店	21	2.5	
100	金融・保険業	18	2.1	
110	不動産業	7	0.8	
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	3	0.4	
130	情報・通信サービス業	20	2.4	
140	医療・福祉サービス業	113	13.4	
150	教育・研究サービス業	87	10.3	
160	法律・会計サービス業	13	1.5	
170	その他のサービス業	88	10.4	
180	公務	2	0.2	
999	無回答	16	1.9	
		計	843	100.0
998	非該当	1073		
		計	1916	

問 32 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

SSXXJOB 職種(配偶者)

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	17	2.0
504	建築・土木技術者	3	0.4
505	農林技術者	1	0.1
506	情報処理技術者	11	1.3
508	医師	8	0.9
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	5	0.6
513	栄養士	1	0.1
514	看護師(看護婦・看護師)	21	2.5
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	2	0.2
516	その他の保健医療従事者	13	1.5
517	裁判官、検察官、弁護士	1	0.1
518	その他の法務従事者	3	0.4
519	公認会計士、税理士	2	0.2
521	小学校教員	6	0.7

522	中学校教員	6	0.7
523	高等学校教員	3	0.4
524	大学教員	4	0.5
526	その他の教員	1	0.1
527	宗教家	2	0.2
529	記者、編集者	2	0.2
531	デザイナー	3	0.4
536	獣医師	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	9	1.1
538	社会福祉事業専門職員	1	0.1
539	個人教師	8	0.9
541	経営コンサルタント	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	1	0.1
545	管理的公務員	1	0.1
547	地方議員	1	0.1
548	会社役員	2	0.2
550	会社・団体等の管理職員	18	2.1
551	駅長、区長	1	0.1
554	総務・企画事務員	99	11.7
555	受付・案内事務員	27	3.2
556	出荷・受荷事務員	3	0.4
557	営業・販売事務員	1	0.1
558	その他の一般事務員	7	0.8
559	会計事務員	49	5.8
561	集金人	1	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	4	0.5
565	電子計算機等操作員	3	0.4
566	小売店主	4	0.5
568	飲食店主	1	0.1
569	販売店員	58	6.9
571	再生資源卸売人・回収人	1	0.1
572	商品仲立人	2	0.2
573	外交員(保険、不動産を除く)	43	5.1
574	保険代理人・外交員	4	0.5
575	不動産仲買人・売買人	3	0.4
577	その他の販売類似職業従事者	1	0.1
578	家政婦、家事サービス職業従事者	22	2.6
579	理容師、美容師	9	1.1
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	24	2.8
583	給仕係	7	0.8
592	その他のサービス職業従事者	9	1.1
593	自衛官	1	0.1
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	4	0.5
595	消防員	3	0.4
596	看守、守衛、監視員	6	0.7
597	その他の保安職業従事者	2	0.2
599	農耕・養蚕作業者	29	3.4
600	植木職、造園師	6	0.7
601	畜産作業者	1	0.1
604	漁業作業者	1	0.1
606	電車・機関車運転士	2	0.2

607	自動車運転者	31	3.7	
608	船長・航海士（漁船を除く）、水先人	1	0.1	
614	その他の運輸従事者	5	0.6	
617	電話交換手	1	0.1	
625	ガラス・セメント製品製造作業	1	0.1	
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	0.1	
629	化学製品製造作業	2	0.2	
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	9	1.1	
631	鉄工、板金工	3	0.4	
633	一般機械組立工・修理工	17	2.0	
634	電気機械器具組立工・修理工	14	1.7	
635	自動車組立工・整備工	6	0.7	
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	4	0.5	
643	精穀工、製粉工	1	0.1	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	3	0.4	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	11	1.3	
651	洋服・和服仕立職	4	0.5	
652	縫製工、裁断工	4	0.5	
653	製材工、木工	3	0.4	
658	印刷・製本作業	1	0.1	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	3	0.4	
661	塗装工、画工、看板工	2	0.2	
670	製図工、現図工	2	0.2	
672	その他の技能工・生産工程作業	8	0.9	
673	汽かん士、汽かん火夫	1	0.1	
674	起重機・建設機械運転作業	4	0.5	
675	その他の定置機関運転作業	2	0.2	
676	発電員、変電員	1	0.1	
677	電気工事・電話工事作業	12	1.4	
679	左官、とび職	5	0.6	
680	れんが積工、配管工	6	0.7	
682	土工、道路工夫	5	0.6	
684	現場監督、その他の建設作業	17	2.0	
685	倉庫夫、仲仕	2	0.2	
686	運搬労務者	12	1.4	
687	清掃員	12	1.4	
688	その他の労務作業	6	0.7	
702	大工	4	0.5	
999	不明、無回答	18	2.1	
		計	843	100.0
998	非該当		1073	
		計	1916	

SSXXJE08 職種(配偶者)(ISCO08)

コード		ケース数	%
	Managers	22	2.6
	Professionals	78	9.3
	Technicians and associate professionals	138	16.4
	Clerical support workers	171	20.3
	Service and sales workers	169	20.1
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	35	4.2
	Craft and related trades workers	68	8.1
	Plant and machine operators, and assemblers	95	11.3
	Elementary occupations	49	5.8
	Armed forces occupations	0	0
99999	分類不能、不明、無回答	18	2.1
		計	843
88888	非該当	1073	100.0
		計	1916

問 33 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

SSJBDWK 就労日数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	1	8	1.0
	2	25	3.0
	3	66	7.8
	4	59	7.0
	5	466	55.3
	6	178	21.1
	7	30	3.6
99	無回答	10	1.2
		計	842
88	非該当	1074	100.0
		計	1916

問 34 配偶者の方は、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

SSXJBSCH 通常労働時間数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
実数記入	1～9時間	17	2.0
	10～19時間	58	6.9
	20～29時間	92	10.9
	30～39時間	76	9.0
	40～49時間	453	53.8
	50～59時間	44	5.2
	60～69時間	24	2.9
	70～79時間	15	1.8
	80時間以上	6	0.7
999	無回答	57	6.8
		計	842
888	非該当	1074	100.0
		計	1916

問 35 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR 就労年数(配偶者)

コード		ケース数	%	
実数記入	1 年未満	28	3.3	
	1～4 年	161	19.1	
	5～9 年	123	14.6	
	10～19 年	222	26.4	
	20～29 年	147	17.5	
	30 年以上	151	17.9	
999	無回答	10	1.2	
		計	842	100.0
888	非該当	1074		
		計	1916	

問 36 [回答票 28] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SSSZSTFA 企業規模(配偶者)

コード		ケース数	%	
1	(ア) 1 人	37	4.4	
2	(イ) 2～4 人	111	13.2	
3	(ウ) 5～9 人	62	7.4	
4	(エ) 10～29 人	98	11.6	
5	(オ) 30～99 人	76	9.0	
6	(カ) 100～299 人	75	8.9	
7	(キ) 300～499 人	26	3.1	
8	(ク) 500～999 人	27	3.2	
9	(ケ) 1,000～1,999 人	33	3.9	
10	(コ) 2,000～9,999 人	42	5.0	
11	(サ) 1 万人以上	38	4.5	
12	(シ) 官公庁	73	8.7	
13	わからない	139	16.5	
99	無回答	5	0.6	
		計	842	100.0
88	非該当	1074		
		計	1916	

(配偶者がいる方に)

問 37 配偶者の方の年齢を教えてください。

SPAGEX 配偶者の年齢

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
実数記入	16～19 歳	0	0
	20～29 歳	31	2.3
	30～39 歳	183	13.4
	40～49 歳	244	17.9
	50～59 歳	265	19.4
	60～69 歳	308	22.5
	70～79 歳	248	18.1
	80～89 歳	78	5.7
	90 歳以上	4	0.3
999	無回答	6	0.4
		計	1367
888	非該当	549	100.0
		計	1916

問 38 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG 配偶者との同居

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	同居	1347	98.5
2	別居・単身赴任中	11	0.8
3	別居・その他の理由	9	0.7
9	無回答	0	0
		計	1367
8	非該当	549	100.0
		計	1916

問 39 あなた（と配偶者）のご両親のうち、現在もご存命の方はどなたですか。

存命の親に○

PPLIVE 父親:生死

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	存命	743	38.8
9	無回答	1173	61.2
		計	1916

MMLIVE 母親:生死

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	存命	1070	55.8
9	無回答	846	44.2
		計	1916

PPLLIVE 義父:生死

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	存命	462	33.8
9	無回答	904	66.2
		計	1366
8	非該当	550	100.0
		計	1916

MMLLIVE 義母:生死

コード		ケース数	%
1	存命	702	51.4
9	無回答	664	48.6
		計	1366
8	非該当	550	
		計	1916

A その方の年齢を教えてください。

PPAGE 父親:年齢

コード		ケース数	%
実数記入	～39 歳	1	0.1
	40～49 歳	15	2.0
	50～59 歳	107	14.4
	60～69 歳	232	31.2
	70～79 歳	214	28.8
	80～89 歳	127	17.1
	90 歳以上	30	4.0
999	無回答	17	2.3
		計	743
888	非該当	1173	
		計	1916

MMAGE 母親:年齢

コード		ケース数	%
実数記入	～39 歳	0	0
	40～49 歳	34	3.2
	50～59 歳	147	13.7
	60～69 歳	269	25.1
	70～79 歳	295	27.6
	80～89 歳	211	19.7
	90 歳以上	98	9.2
999	無回答	16	1.5
		計	1070
888	非該当	846	
		計	1916

PPLAGE 義父:年齢

コード		ケース数	%
実数記入	～39 歳	0	0
	40～49 歳	2	0.4
	50～59 歳	29	6.3
	60～69 歳	147	31.8
	70～79 歳	145	31.4
	80～89 歳	94	20.4
	90 歳以上	19	4.1
999	無回答	26	5.6
		計	462
888	非該当	1454	
		計	1916



**MMLAGE 義母:年齢**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	～39 歳	0	0
	40～49 歳	4	0.6
	50～59 歳	48	6.8
	60～69 歳	208	29.6
	70～79 歳	184	26.2
	80～89 歳	163	23.2
	90 歳以上	62	8.8
999	無回答	33	4.7
		計	702
888	非該当	1214	100.0
		計	1916

B [回答票 29] その方は、現在、配偶者がいますか。

**PPMG 父親:結婚状況**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 現在、配偶者がいる	647	87.1
2	(イ) 離別	31	4.2
3	(ウ) 死別	62	8.3
4	(エ) 未婚	0	0
5	離婚を前提に別居中	0	0
6	同棲中	1	0.1
9	無回答	2	0.3
		計	743
8	非該当	1173	100.0
		計	1916

**MMMG 母親:結婚状況**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 現在、配偶者がいる	642	60.0
2	(イ) 離別	62	5.8
3	(ウ) 死別	363	33.9
4	(エ) 未婚	0	0
5	離婚を前提に別居中	0	0
6	同棲中	0	0
9	無回答	3	0.3
		計	1070
8	非該当	846	100.0
		計	1916

**PPLMG 義父:結婚状況**

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	391	84.6
2	(イ) 離別	10	2.2
3	(ウ) 死別	57	12.3
4	(エ) 未婚	0	0
5	離婚を前提に別居中	1	0.2
6	同棲中	1	0.2
9	無回答	2	0.4
		計	462
8	非該当	1454	
		計	1916

**MMLMG 義母:結婚状況**

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	390	55.6
2	(イ) 離別	16	2.3
3	(ウ) 死別	290	41.3
4	(エ) 未婚	0	0
5	離婚を前提に別居中	1	0.1
6	同棲中	1	0.1
9	無回答	4	0.6
		計	702
8	非該当	1214	
		計	1916

C その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

**PPJOB 父親:就労の有無**

コード		ケース数	%
1	している	364	49.0
2	していない	368	49.5
9	無回答	11	1.5
		計	743
8	非該当	1173	
		計	1916

**MMJOB 母親:就労の有無**

コード		ケース数	%
1	している	336	31.4
2	していない	727	67.9
9	無回答	7	0.7
		計	1070
8	非該当	846	
		計	1916

**PPLJOB 義父:就労の有無**

コード		ケース数	%
1	している	188	40.7
2	していない	272	58.9
9	無回答	2	0.4
		計	462
8	非該当	1454	
		計	1916

**MMLJOB 義母:就労の有無**

コード		ケース数	%
1	している	171	24.4
2	していない	528	75.2
9	無回答	3	0.4
		計	702
8	非該当	1214	
		計	1916

D [回答票 30] その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。

**PPLVT 父親:同居・別居・一時別居**

コード		ケース数	%
1	(ア) 同居	230	31.0
2	(イ) 別居	502	67.6
3	(ウ) 一時別居	11	1.5
9	無回答	0	0
		計	743
8	非該当	1173	
		計	1916

**MMLVT 母親:同居・別居・一時別居**

コード		ケース数	%
1	(ア) 同居	346	32.3
2	(イ) 別居	714	66.7
3	(ウ) 一時別居	10	0.9
9	無回答	0	0
		計	1070
8	非該当	846	
		計	1916

**PPLLVT 義父:同居・別居・一時別居**

コード		ケース数	%
1	(ア) 同居	46	10.0
2	(イ) 別居	411	89.0
3	(ウ) 一時別居	5	1.1
9	無回答	0	0
		計	462
8	非該当	1454	
		計	1916

**MMLLVT 義母:同居・別居・一時別居**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) 同居	83	11.8
2	(イ) 別居	608	86.6
3	(ウ) 一時別居	11	1.6
9	無回答	0	0
		計	702
8	非該当	1214	100.0
		計	1916

E [回答票 31] その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。

PPWHY 父親:一時別居理由

MMWHY 母親:一時別居理由

PPLWHY 義父:一時別居理由

MMLWHY 義母:一時別居理由

これらの変数の単純集計は記載していません。

別居・一時別居の親にうかがいます。

F [回答票 32] その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで教えてください。

**PPFAM 父親:同居者**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
0	あなた (回答者本人)	230	31.0
1	(ア) あなたの既婚の兄や弟	42	5.7
2	(イ) あなたの既婚の姉や妹	18	2.4
3	(ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹	57	7.7
4	(エ) 夫婦で二人暮らし	293	39.4
5	(オ) 一人暮らし	36	4.8
6	(カ) 施設に入所	21	2.8
7	(キ) その他 ( )	37	5.0
9	無回答	9	1.2
		計	743
8	非該当	1173	100.0
		計	1916

**MMFAM 母親:同居者**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
0	あなた (回答者本人)	346	32.3
1	(ア) あなたの既婚の兄や弟	97	9.1
2	(イ) あなたの既婚の姉や妹	48	4.5
3	(ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹	82	7.7
4	(エ) 夫婦で二人暮らし	284	26.5
5	(オ) 一人暮らし	126	11.8
6	(カ) 施設に入所	51	4.8
7	(キ) その他 ( )	29	2.7
9	無回答	7	0.7
		計	1070
8	非該当	846	100.0
		計	1916

**PPLFAM 義父:同居者**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
0	あなた (回答者本人)	46	10.0
1	(ア) あなたの既婚の兄や弟	49	10.6
2	(イ) あなたの既婚の姉や妹	10	2.2
3	(ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹	51	11.0
4	(エ) 夫婦で二人暮らし	239	51.7
5	(オ) 一人暮らし	35	7.6
6	(カ) 施設に入所	12	2.6
7	(キ) その他 ( )	18	3.9
9	無回答	2	0.4
		計	462
8	非該当	1454	
		計	1916

**MMLFAM 義母:同居者**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
0	あなた (回答者本人)	83	11.8
1	(ア) あなたの既婚の兄や弟	97	13.8
2	(イ) あなたの既婚の姉や妹	33	4.7
3	(ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹	63	9.0
4	(エ) 夫婦で二人暮らし	240	34.2
5	(オ) 一人暮らし	112	16.0
6	(カ) 施設に入所	55	7.8
7	(キ) その他 ( )	17	2.4
9	無回答	2	0.3
		計	702
8	非該当	1214	
		計	1916

G [回答票 33] その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。

**PPDIST 父親:家までの距離**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	21	4.1
2	(イ) 歩いて 15 分以内	48	9.4
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	152	29.6
4	(エ) // 1 時間以内	106	20.7
5	(オ) // 3 時間以内	75	14.6
6	(カ) それより遠い	95	18.5
9	無回答	16	3.1
		計	513
8	非該当	1403	
		計	1916

**MMDIST 母親:家までの距離**

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	33	4.6
2	(イ) 歩いて 15 分以内	72	9.9
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	231	31.9
4	(エ) " 1 時間以内	151	20.9
5	(オ) " 3 時間以内	111	15.3
6	(カ) それより遠い	118	16.3
9	無回答	8	1.1
		計	724
8	非該当	1192	100.0
		計	1916

**PPLDIST 義父:家までの距離**

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	16	3.8
2	(イ) 歩いて 15 分以内	47	11.3
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	122	29.3
4	(エ) " 1 時間以内	79	19.0
5	(オ) " 3 時間以内	73	17.5
6	(カ) それより遠い	74	17.8
9	無回答	5	1.2
		計	416
8	非該当	1500	100.0
		計	1916

**MMLDIST 義母:家までの距離**

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	23	3.7
2	(イ) 歩いて 15 分以内	67	10.8
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	194	31.3
4	(エ) " 1 時間以内	122	19.7
5	(オ) " 3 時間以内	101	16.3
6	(カ) それより遠い	108	17.4
9	無回答	4	0.6
		計	619
8	非該当	1297	100.0
		計	1916

H [回答票 34] その方と直接会うことは、どのくらいありますか。

PPCNTA 父親:接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	46	9.0
2	(イ) 週に数回	37	7.2
3	(ウ) 週に1回程度	62	12.1
4	(エ) 月に1回程度	149	29.0
5	(オ) 年に数回	153	29.8
6	(カ) 年に1回程度	26	5.1
7	(キ) 年に1回もない	34	6.6
9	無回答	6	1.2
		計	513
8	非該当	1403	
		計	1916

MMCNTA 母親:接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	59	8.1
2	(イ) 週に数回	65	9.0
3	(ウ) 週に1回程度	106	14.6
4	(エ) 月に1回程度	221	30.5
5	(オ) 年に数回	194	26.8
6	(カ) 年に1回程度	46	6.4
7	(キ) 年に1回もない	31	4.3
9	無回答	2	0.3
		計	724
8	非該当	1192	
		計	1916

PPLCNTA 義父:接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	21	5.0
2	(イ) 週に数回	16	3.8
3	(ウ) 週に1回程度	51	12.3
4	(エ) 月に1回程度	130	31.3
5	(オ) 年に数回	142	34.1
6	(カ) 年に1回程度	40	9.6
7	(キ) 年に1回もない	14	3.4
9	無回答	2	0.5
		計	416
8	非該当	1500	
		計	1916

MMLCNTA 義母:接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	24	3.9
2	(イ) 週に数回	28	4.5
3	(ウ) 週に1回程度	78	12.6
4	(エ) 月に1回程度	183	29.6
5	(オ) 年に数回	213	34.4
6	(カ) 年に1回程度	60	9.7
7	(キ) 年に1回もない	31	5.0
9	無回答	2	0.3
		計	619
8	非該当	1297	
		計	1916

I [回答票 34] その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。

PPCNTB 父親:接触頻度(間接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	23	4.5
2	(イ) 週に数回	71	13.8
3	(ウ) 週に1回程度	99	19.3
4	(エ) 月に1回程度	138	26.9
5	(オ) 年に数回	94	18.3
6	(カ) 年に1回程度	17	3.3
7	(キ) 年に1回もない	65	12.7
9	無回答	6	1.2
		計	513
8	非該当	1403	
		計	1916

MMCNTB 母親:接触頻度(間接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	60	8.3
2	(イ) 週に数回	122	16.9
3	(ウ) 週に1回程度	148	20.4
4	(エ) 月に1回程度	186	25.7
5	(オ) 年に数回	94	13.0
6	(カ) 年に1回程度	18	2.5
7	(キ) 年に1回もない	93	12.8
9	無回答	3	0.4
		計	724
8	非該当	1192	
		計	1916



**PPLCNTB 義父:接触頻度(間接)**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	12	2.9
2	(イ) 週に数回	26	6.3
3	(ウ) 週に1回程度	58	13.9
4	(エ) 月に1回程度	93	22.4
5	(オ) 年に数回	96	23.1
6	(カ) 年に1回程度	29	7.0
7	(キ) 年に1回もない	99	23.8
9	無回答	3	0.7
		計	416
8	非該当	1500	
		計	1916

**MMLCNTB 義母:接触頻度(間接)**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	16	2.6
2	(イ) 週に数回	51	8.2
3	(ウ) 週に1回程度	89	14.4
4	(エ) 月に1回程度	143	23.1
5	(オ) 年に数回	111	17.9
6	(カ) 年に1回程度	48	7.8
7	(キ) 年に1回もない	159	25.7
9	無回答	2	0.3
		計	619
8	非該当	1297	
		計	1916

問 40 これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

**CCNUMTTL 子どもの人数**

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
実数記入	0人	429	22.4
	1人	271	14.1
	2人	790	41.2
	3人	359	18.7
	4人	55	2.9
	5人	5	0.3
	6人	4	0.2
	7人	0	0
	8人	0	0
	9人	1	0.1
999	無回答	2	0.1
		計	1916
			100.0

それぞれのお子様についてうかがいます。亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順にお答えください。

A そのお子様の性別を教えてください。

CC01SEX 子ども 01:性別

コード		ケース数	%
1	男	805	54.2
2	女	679	45.7
9	無回答	1	0.1
		計	1485
8	非該当	431	
		計	1916

CC02SEX 子ども 02:性別

コード		ケース数	%
1	男	617	50.8
2	女	597	49.2
9	無回答	0	0
		計	1214
8	非該当	702	
		計	1916

CC03SEX 子ども 03:性別

コード		ケース数	%
1	男	219	51.7
2	女	205	48.3
9	無回答	0	0
		計	424
8	非該当	1492	
		計	1916

CC[04-09]SEX 子ども[04-09]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

B そのお子さんをご存命ですか。【存命の子どもに○】

CC01LIVE 子ども 01:生死

コード		ケース数	%
1	存命	1458	98.2
9	無回答	27	1.8
		計	1485
8	非該当	431	
		計	1916

CC02LIVE 子ども 02: 生死

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	存命	1207	99.4
9	無回答	7	0.6
		計	1214
8	非該当	702	100.0
		計	1916

CC03LIVE 子ども 03: 生死

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	存命	421	99.3
9	無回答	3	0.7
		計	424
8	非該当	1492	100.0
		計	1916

CC[04-09]LIVE 子ども[04-09]: 生死

この変数の単純集計は記載していません。

C その方の年齢を教えてください。【C以降は存命の子についてのみ尋ねる】

CC01AGE 子ども 01: 年齢

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
実数記入	0～9歳	189	13.0
	10～19歳	242	16.6
	20～29歳	209	14.3
	30～39歳	269	18.5
	40～49歳	327	22.4
	50歳以上	215	14.8
999	無回答	7	0.5
		計	1458
888	非該当	458	100.0
		計	1916

CC02AGE 子ども 02: 年齢

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
実数記入	0～9歳	173	14.3
	10～19歳	183	15.2
	20～29歳	181	15.0
	30～39歳	256	21.2
	40～49歳	283	23.5
	50歳以上	125	10.4
999	無回答	6	0.5
		計	1207
888	非該当	709	100.0
		計	1916

## CC03AGE 子ども 03: 年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0～9歳	66	15.7
	10～19歳	71	16.9
	20～29歳	91	21.6
	30～39歳	79	18.8
	40～49歳	79	18.8
	50歳以上	33	7.8
999	無回答	2	0.5
		計	421
888	非該当	1495	100.0
		計	1916

## CC[04-09]AGE 子ども[04-09]: 年齢

この変数の単純集計は記載していません。

D [回答票 35] その方は、現在、配偶者がいますか。

## CC01MG 子ども 01: 結婚状況

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 現在、配偶者がいる	596	40.9
2	(イ) 離別	41	2.8
3	(ウ) 死別	10	0.7
4	(エ) 未婚	804	55.1
5	離婚を前提に別居中	1	0.1
6	同棲中	3	0.2
9	無回答	3	0.2
		計	1458
8	非該当	458	100.0
		計	1916

## CC02MG 子ども 02: 結婚状況

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 現在、配偶者がいる	510	42.3
2	(イ) 離別	29	2.4
3	(ウ) 死別	4	0.3
4	(エ) 未婚	661	54.8
5	離婚を前提に別居中	3	0.2
6	同棲中	0	0
9	無回答	0	0
		計	1207
8	非該当	709	100.0
		計	1916

## CC03MG 子ども 03:結婚状況

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	167	39.7
2	(イ) 離別	7	1.7
3	(ウ) 死別	1	0.2
4	(エ) 未婚	245	58.2
5	離婚を前提に別居中	0	0
6	同棲中	1	0.2
9	無回答	0	0
		計	421
8	非該当	1495	100.0
		計	1916

## CC[04-09]MG 子ども[04-09]:結婚状況

この変数の単純集計は記載していません。

E その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

## CC01JOB 子ども 01:就労の有無

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	している	862	59.1
2	していない	591	40.5
9	無回答	5	0.3
		計	1458
8	非該当	458	100.0
		計	1916

## CC02JOB 子ども 02:就労の有無

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	している	722	59.8
2	していない	483	40.0
9	無回答	2	0.2
		計	1207
8	非該当	709	100.0
		計	1916

## CC03JOB 子ども 03:就労の有無

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	している	244	58.0
2	していない	177	42.0
9	無回答	0	0
		計	421
8	非該当	1495	100.0
		計	1916

## CC[04-09]JOB 子ども[04-09]:就労の有無

この変数の単純集計は記載していません。

F [回答票 36] その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。

CC01LVT 子ども 01:同居・別居・一時別居

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) 同居	711	48.8
2	(イ) 別居	729	50.0
3	(ウ) 一時別居	18	1.2
9	無回答	0	0
		計	1458
8	非該当	458	
		計	1916

CC02LVT 子ども 02:同居・別居・一時別居

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) 同居	563	46.6
2	(イ) 別居	631	52.3
3	(ウ) 一時別居	13	1.1
9	無回答	0	0
		計	1207
8	非該当	709	
		計	1916

CC03LVT 子ども 03:同居・別居・一時別居

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) 同居	194	46.1
2	(イ) 別居	222	52.7
3	(ウ) 一時別居	5	1.2
9	無回答	0	0
		計	421
8	非該当	1495	
		計	1916

CC[04-09]LVT 子ども[04-09]:同居・別居・一時別居

この変数の単純集計は記載していません。

G [回答票 37] その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。

CC[01-09]WHY 子ども[01-09]:一時別居理由

この変数の単純集計は記載していません。

H [回答票 38] その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。

CC01DIST 子ども 01:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	41	5.5
2	(イ) 歩いて 15 分以内	59	7.9
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	164	22.0
4	(エ) // 1 時間以内	135	18.1
5	(オ) // 3 時間以内	170	22.8
6	(カ) それより遠い	172	23.0
9	無回答	6	0.8
		計	747
8	非該当	1169	
		計	1916

CC02DIST 子ども 02:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	31	4.8
2	(イ) 歩いて 15 分以内	59	9.2
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	165	25.6
4	(エ) // 1 時間以内	123	19.1
5	(オ) // 3 時間以内	133	20.7
6	(カ) それより遠い	129	20.0
9	無回答	4	0.6
		計	644
8	非該当	1272	
		計	1916

CC03DIST 子ども 03:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	4	1.8
2	(イ) 歩いて 15 分以内	13	5.7
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	62	27.3
4	(エ) // 1 時間以内	36	15.9
5	(オ) // 3 時間以内	58	25.6
6	(カ) それより遠い	54	23.8
9	無回答	0	0
		計	227
8	非該当	1689	
		計	1916

CC[04-09]DIST 子ども[04-09]:家までの距離

この変数の単純集計は記載していません。

I [回答票 39] その方と直接会うことは、どのくらいありますか。

CC01CNTA 子ども 01: 接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	57	7.6
2	(イ) 週に数回	66	8.8
3	(ウ) 週に1回程度	73	9.8
4	(エ) 月に1回程度	179	24.0
5	(オ) 年に数回	270	36.1
6	(カ) 年に1回程度	50	6.7
7	(キ) 年に1回もない	50	6.7
9	無回答	2	0.3
		計	747
8	非該当	1169	100.0
		計	1916

CC02CNTA 子ども 02: 接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	46	7.1
2	(イ) 週に数回	59	9.2
3	(ウ) 週に1回程度	81	12.6
4	(エ) 月に1回程度	154	23.9
5	(オ) 年に数回	224	34.8
6	(カ) 年に1回程度	47	7.3
7	(キ) 年に1回もない	33	5.1
9	無回答	0	0
		計	644
8	非該当	1272	100.0
		計	1916

CC03CNTA 子ども 03: 接触頻度(直接)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	12	5.3
2	(イ) 週に数回	13	5.7
3	(ウ) 週に1回程度	28	12.3
4	(エ) 月に1回程度	55	24.2
5	(オ) 年に数回	99	43.6
6	(カ) 年に1回程度	14	6.2
7	(キ) 年に1回もない	6	2.6
9	無回答	0	0
		計	227
8	非該当	1689	100.0
		計	1916

CC[04-09]CNTA 子ども[04-09]: 接触頻度(直接)

この変数の単純集計は記載していません。



J〔回答票 39〕 その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。

CC01CNTB 子ども 01: 接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	87	11.6
2	(イ) 週に数回	138	18.5
3	(ウ) 週に1回程度	136	18.2
4	(エ) 月に1回程度	183	24.5
5	(オ) 年に数回	117	15.7
6	(カ) 年に1回程度	18	2.4
7	(キ) 年に1回もない	65	8.7
9	無回答	3	0.4
		計	747
8	非該当	1169	100.0
		計	1916

CC02CNTB 子ども 02: 接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	79	12.3
2	(イ) 週に数回	129	20.0
3	(ウ) 週に1回程度	113	17.5
4	(エ) 月に1回程度	153	23.8
5	(オ) 年に数回	101	15.7
6	(カ) 年に1回程度	18	2.8
7	(キ) 年に1回もない	49	7.6
9	無回答	2	0.3
		計	644
8	非該当	1272	100.0
		計	1916

CC03CNTB 子ども 03: 接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	16	7.0
2	(イ) 週に数回	48	21.1
3	(ウ) 週に1回程度	45	19.8
4	(エ) 月に1回程度	54	23.8
5	(オ) 年に数回	51	22.5
6	(カ) 年に1回程度	4	1.8
7	(キ) 年に1回もない	9	4.0
9	無回答	0	0
		計	227
8	非該当	1689	100.0
		計	1916

CC[04-09]CNTB 子ども[04-09]: 接触頻度(間接)

この変数の単純集計は記載していません。

問 41-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだいなどです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。

**SZFFOTHR その他の家族の人数**

コード		ケース数	%
実数記入	0人	1611	84.1
	1人	153	8.0
	2人	81	4.2
	3人	47	2.5
	4人	18	0.9
	5人	5	0.3
999	無回答	1	0.1
計		1916	100.0

問 41-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。

A あなたからみた続柄を教えてください。

**FFH[01-05]REL その他の家族[1-5]:続柄**

この変数の単純集計は記載していません。

**続柄コード表**

コード		コード		コード	
0	本人	30	孫 (男)	62	義理の祖父 (配偶者の祖父)
1	夫	31	孫 (女)	63	義理の祖母 (配偶者の祖母)
2	妻	32	孫の配偶者	64	兄の子
3	子	33	ひ孫 (男)	65	弟の子
10	子 (男)	34	ひ孫 (女)	66	姉の子
11	長男	35	孫	67	妹の子
12	次男	40	父	68	甥
13	三男	41	母	69	姪
14	長男の妻	42	義父 (配偶者の父)	71	父母の兄弟姉妹
15	次男の妻	43	義母 (配偶者の母)	72	父母の兄弟姉妹の配偶者
16	三男の妻	44	兄の妻	73	おじ
17	四男	45	弟の妻	74	おば
18	四男の妻	46	姉の夫	75	おじ・おばの子
19	五男	47	妹の夫	76	曾祖父
20	子 (女)	50	兄	77	曾祖母
21	長女	51	弟	80	親 (男)
22	次女	52	姉	81	親 (女)
23	三女	53	妹	88	非該当
24	長女の夫	54	配偶者の兄	90	使用人・雇い人
25	次女の夫	55	配偶者の弟	97	続柄がその他のもの
26	三女の夫	56	配偶者の姉	99	無回答
27	四女	57	配偶者の妹	62	義理の祖父 (配偶者の祖父)
28	四女の夫	60	祖父	63	義理の祖母 (配偶者の祖母)
29	五女	61	祖母	64	兄の子

B その方の性別を教えてください。

**FFH[01-05]SEX その他の家族[01-05]:性別**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

C その方の年齢を教えてください。

**FFH[01-05]AGE その他の家族[01-05]:年齢**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
888	非該当
999	無回答

D [回答票 40] その方は、現在、配偶者がいますか。

**FFH[01-05]MG その他の家族[01-05]:結婚状況**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア) 現在、配偶者がいる
2	(イ) 離別
3	(ウ) 死別
4	(エ) 未婚
5	離婚を前提に別居中
6	同棲中
8	非該当
9	無回答

E その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

**FFH[01-05]JOB その他の家族[01-05]:就労の有無**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	している
2	していない
8	非該当
9	無回答

問 42 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY 家族人数(本人除く)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
実数記入	0人	205	10.7
	1人	556	29.0
	2人	449	23.4
	3人	376	19.6
	4人	179	9.3
	5人以上	149	7.8
999	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

SZFF TTL 家族人数(本人含む)

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
実数記入	1人	205	10.7
	2人	556	29.0
	3人	449	23.4
	4人	376	19.6
	5人以上	328	17.1
999	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

問 43 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

FFHEAD 世帯主

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
00	本人	979	51.1
01	夫	629	32.8
02	妻	2	0.1
11	長男	34	1.8
12	次男	3	0.2
13	三男	1	0.1
14	長男の妻	1	0.1
21	長女	3	0.2
22	次女	2	0.1
24	長女の夫	4	0.2
25	次女の夫	2	0.1
26	三女の夫	2	0.1
40	父	181	9.4
41	母	39	2.0
42	義父(配偶者の父)	15	0.8
43	義母(配偶者の母)	2	0.1
50	兄	3	0.2
51	弟	2	0.1
52	姉	3	0.2
60	祖父	3	0.2
61	祖母	2	0.1
97	続柄がその他のもの	2	0.1
99	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

問 44-1 あなた自身の両親、配偶者の両親、あなたの子ども以外で、一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、祖父母や孫、子どもの配偶者などです。いらっしゃる場合、何人ですか。

**SZFFOUT 一時的な別居家族の人数**

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0 人	1851	96.6
	1 人	49	2.6
	2 人	10	0.5
	3 人	3	0.2
	4 人	0	0
	5 人	1	0.1
999	無回答	2	0.
		計	1916 100.0

問 44-2 その全員について、うかがいます。

A あなたからみた続柄を教えてください。

**FFO[01-05]REL 一時的な別居家族[01-05] : 続柄**

この変数の単純集計は記載していません。94 ページの続柄コード表参照

B その方の性別を教えてください。

**FFO[01-05]SEX 一時的な別居家族[01-05] : 性別**

<u>コード</u>	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

C その方の年齢を教えてください。

**FFO[01-05]AGE 一時的な別居家族[01-05] : 性別**

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
888	非該当
999	無回答

D [回答票 40] その方は、現在、配偶者がいますか。

**FFO[01-05]MG 一時的な別居家族[01-05]:結婚状況**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア) 現在、配偶者がいる
2	(イ) 離別
3	(ウ) 死別
4	(エ) 未婚
5	離婚を前提に別居中
6	同棲中
8	非該当
9	無回答

E その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていませんか。

**FFO[01-05]JOB 一時的な別居家族[01-05]:就労の有無**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	している
2	していない
8	非該当
9	無回答

F [回答票 41] その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。

**FFO[01-05]WHY 一時的な別居家族[1-5]:別居理由**

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア) あなたの仕事の都合
2	(イ) あなたの学業
3	(ウ) 家族の仕事の都合
4	(エ) 家族の学業
5	(オ) 長期入院
6	(カ) 老人・福祉施設に入所
7	(キ) その他 ( )
888	非該当
999	無回答

問 45-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

兄

XNUMBROE 兄弟姉妹人数(兄)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0人	1139	59.4
	1人	523	27.3
	2人	164	8.6
	3人	55	2.9
	4人	19	1.0
	5人以上	8	0.4
999	無回答	8	0.4
		計	1916
			100.0

姉

XNUMSISE 兄弟姉妹人数(姉)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0人	1166	60.9
	1人	506	26.4
	2人	161	8.4
	3人	44	2.3
	4人	20	1.0
	5人以上	11	0.6
999	無回答	8	0.4
		計	1916
			100.0

弟

XNUMBROY 兄弟姉妹人数(弟)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0人	1214	63.4
	1人	520	27.1
	2人	139	7.3
	3人	27	1.4
	4人	6	0.3
	5人以上	2	0.1
999	無回答	8	0.4
		計	1916
			100.0

妹

XNUMSISY 兄弟姉妹人数(妹)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
実数記入	0人	1199	62.6
	1人	537	28.0
	2人	120	6.3
	3人	43	2.2
	4人	4	0.2
	5人以上	5	0.3
999	無回答	8	0.4
		計	1916
			100.0

問 45-2 現在、結婚されている方（あるいは配偶者の方と死別された方）は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者の兄

XSSNBROE 配偶者の兄弟姉妹人数(兄)

コード	実数記入	ケース数	%
	0 人	903	59.6
	1 人	407	26.8
	2 人	112	7.4
	3 人	47	3.1
	4 人	16	1.1
	5 人以上	10	0.7
999	無回答	21	1.4
		計	1516
888	非該当	400	100.0
		計	1916

配偶者の姉

XSSNSISE 配偶者の兄弟姉妹人数(姉)

コード	実数記入	ケース数	%
	0 人	876	57.8
	1 人	413	27.2
	2 人	130	8.6
	3 人	55	3.6
	4 人	13	0.9
	5 人以上	8	0.5
999	無回答	21	1.4
		計	1516
888	非該当	400	100.0
		計	1916

配偶者の弟

XSSNBROY 配偶者の兄弟姉妹人数(弟)

コード	実数記入	ケース数	%
	0 人	907	59.8
	1 人	434	28.6
	2 人	114	7.5
	3 人	31	2.0
	4 人	8	0.5
	5 人以上	1	0.1
999	無回答	21	1.4
		計	1516
888	非該当	400	100.0
		計	1916



配偶者の妹

XSSNSISY 配偶者の兄弟姉妹人数(妹)

コード		ケース数	%
実数記入	0人	927	61.1
	1人	392	25.9
	2人	131	8.6
	3人	40	2.6
	4人	4	0.3
	5人以上	2	0.1
999	無回答	20	1.3
		計	1516
888	非該当	400	100.0
		計	1916

あなたが子どもの頃のことについておうかがいします。

問 46-1 あなたが15歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

PREF15 15歳の頃の居住地(本人):都道府県名

コード		ケース数	%
1	北海道	102	5.3
2	青森	40	2.1
3	岩手	30	1.6
4	宮城	45	2.3
5	秋田	30	1.6
6	山形	14	0.7
7	福島	36	1.9
8	茨城	52	2.7
9	栃木	21	1.1
10	群馬	51	2.7
11	埼玉	59	3.1
12	千葉	64	3.3
13	東京	141	7.4
14	神奈川	70	3.7
15	新潟	61	3.2
16	富山	19	1.0
17	石川	14	0.7
18	福井	25	1.3
19	山梨	25	1.3
20	長野	39	2.0
21	岐阜	26	1.4
22	静岡	59	3.1
23	愛知	96	5.0
24	三重	18	0.9
25	滋賀	25	1.3
26	京都	32	1.7
27	大阪	104	5.4
28	兵庫	88	4.6
29	奈良	23	1.2
30	和歌山	14	0.7
31	鳥取	12	0.6
32	島根	21	1.1
33	岡山	42	2.2

34	広島	46	2.4
35	山口	35	1.8
36	徳島	10	0.5
37	香川	12	0.6
38	愛媛	26	1.4
39	高知	14	0.7
40	福岡	69	3.6
41	佐賀	23	1.2
42	長崎	25	1.3
43	熊本	41	2.1
44	大分	23	1.2
45	宮崎	21	1.1
46	鹿児島	34	1.8
47	沖縄	35	1.8
48	外国	3	0.2
99	無回答	1	0.1
計		1916	100.0

問 46-2 [回答票 42] 当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

**TP5LOC15 15歳の頃の居住地(本人)**

コード		ケース数	%
1	(ア) 大都市	241	12.6
2	(イ) 中小都市	763	39.8
3	(ウ) 町	706	36.8
4	(エ) 村	206	10.8
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

問 46-3 そこは農山漁村地域でしたか。

**REMOTE15 15歳の頃の居住地(本人)**

コード		ケース数	%
1	はい	752	39.2
2	いいえ	1145	59.8
9	無回答	19	1.0
計		1916	100.0

問 47-1 [回答票 43] あなたが 20歳の頃、15歳の頃と同じ市区町村にお住まいでしたか。15歳の頃と別の都道府県の場合は、都道府県名をお答えください。

**CTVW20 20歳の頃の居住地(本人):移動経験**

コード		ケース数	%
1	(ア) 15歳の頃と同じ市区町村	1263	65.9
2	(イ) 15歳の頃と同じ都道府県内の別の市区町村	224	11.7
3	(ウ) 15歳の頃と別の都道府県	428	22.3
9	無回答	1	0.1
計		1916	100.0

「3 (ウ) 15歳の頃と別の都道府県」の場合  
 PREF20 20歳の頃の居住地(本人)

コード		ケース数	%
1	北海道	5	1.2
2	青森	3	0.7
3	岩手	3	0.7
4	宮城	14	3.3
5	秋田	0	0
6	山形	2	0.5
7	福島	2	0.5
8	茨城	3	0.7
9	栃木	4	0.9
10	群馬	1	0.2
11	埼玉	20	4.7
12	千葉	12	2.8
13	東京	126	29.4
14	神奈川	37	8.6
15	新潟	4	0.9
16	富山	1	0.2
17	石川	3	0.7
18	福井	1	0.2
19	山梨	0	0
20	長野	0	0
21	岐阜	2	.5
22	静岡	9	2.1
23	愛知	28	6.5
24	三重	1	0.2
25	滋賀	4	0.9
26	京都	19	4.4
27	大阪	52	12.1
28	兵庫	13	3.0
29	奈良	2	0.5
30	和歌山	1	0.2
31	鳥取	1	0.2
32	島根	1	0.2
33	岡山	6	1.4
34	広島	8	1.9
35	山口	3	0.7
36	徳島	0	0
37	香川	4	0.9
38	愛媛	0	0
39	高知	0	0
40	福岡	19	4.4
41	佐賀	2	0.5
42	長崎	2	0.5
43	熊本	1	0.2
44	大分	1	0.2
45	宮崎	2	0.5
46	鹿児島	3	0.7
47	沖縄	0	0
48	外国	3	0.7
99	無回答	0	0

		計	428	100.0
88	非該当		1488	
		計	1916	

問 47-2 [回答票 44] 20歳の頃、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

**TP5LOC20 20歳の頃の居住地(本人): 居住地域の規模**

コード		ケース数	%	
1	(ア) 大都市	258	39.6	
2	(イ) 中小都市	306	46.9	
3	(ウ) 町	76	11.7	
4	(エ) 村	12	1.8	
9	無回答	0	0	
		計	652	100.0
8	非該当		1264	
		計	1916	

問 48 [回答票 45] かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると思いますか。

**OP10LVL 自分の位置する階層**

コード		ケース数	%	
1	一番上	29	1.5	
2	・	27	1.4	
3	・	137	7.2	
4	・	214	11.2	
5	・	773	40.3	
6	・	258	13.5	
7	・	236	12.3	
8	・	143	7.5	
9	・	47	2.5	
10	一番下	34	1.8	
99	無回答	18	0.9	
		計	1916	100.0

問 49 [回答票 46] あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

**SIZEHMT 居住地域の規模**

コード		ケース数	%	
1	(ア) 大都市の中心部	110	5.7	
2	(イ) 大都市の郊外	256	13.4	
3	(ウ) 中小都市	910	47.5	
4	(エ) 町村部	572	29.9	
5	(オ) 人家がまばらな農山漁村	68	3.5	
9	無回答	0	0	
		計	1916	100.0

問 50 [回答票 47] あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

**OWNHOUSE 居住形態:持ち家**

コード		ケース数	%
1	持ち家	1614	84.2
2	民間の賃貸住宅	240	12.5
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	22	1.1
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	36	1.9
5	その他( )	3	0.2
9	無回答	1	0.1
計		1916	100.0

問 51 [回答票 48] あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

**XXLSTSCH 最終学校(本人)**

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	15	0.8
2	(イ) 旧制高等小学校	11	0.6
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	16	0.8
4	(エ) 旧制実業・商業学校	2	0.1
5	(オ) 旧制師範学校	0	0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	1	0.1
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	0	0
8	(ク) 新制中学校	220	11.5
9	(ケ) 新制高校	993	51.8
10	(コ) 新制高専	6	0.3
11	(サ) 新制短大	169	8.8
12	(シ) 新制大学	438	22.9
13	(ス) 新制大学院	41	2.1
14	わからない	1	0.1
16	大学校	1	0.1
99	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

SSLSTSCH 最終学校(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	13	0.7
2	(イ) 旧制高等小学校	15	0.8
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	17	0.9
4	(エ) 旧制実業・商業学校	1	0.1
5	(オ) 旧制師範学校	1	0.1
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	3	0.2
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	2	0.1
8	(ク) 新制中学校	176	9.2
9	(ケ) 新制高校	761	39.7
10	(コ) 新制高専	3	0.2
11	(サ) 新制短大	137	7.2
12	(シ) 新制大学	333	17.4
13	(ス) 新制大学院	34	1.8
14	わからない	17	0.9
15	結婚したことはない・離別した	401	20.9
16	大学校	0	0
99	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

PPLSTSCH 最終学校(父親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	262	13.7
2	(イ) 旧制高等小学校	145	7.6
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	119	6.2
4	(エ) 旧制実業・商業学校	16	0.8
5	(オ) 旧制師範学校	21	1.1
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	58	3.0
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	43	2.2
8	(ク) 新制中学校	162	8.5
9	(ケ) 新制高校	416	21.7
10	(コ) 新制高専	2	0.1
11	(サ) 新制短大	3	0.2
12	(シ) 新制大学	207	10.8
13	(ス) 新制大学院	6	0.3
14	わからない	449	23.4
16	大学校	0	0
99	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

MMLSTSCH 最終学校(母親)

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	263	13.7
2	(イ) 旧制高等小学校	134	7.0
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	191	10.0
4	(エ) 旧制実業・商業学校	7	0.4
5	(オ) 旧制師範学校	19	1.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	34	1.8
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	5	0.3
8	(ク) 新制中学校	183	9.6
9	(ケ) 新制高校	525	27.4
10	(コ) 新制高専	0	0
11	(サ) 新制短大	75	3.9
12	(シ) 新制大学	64	3.3
13	(ス) 新制大学院	0	0
14	わからない	406	21.2
16	大専校	1	0.1
99	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

問 52 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH 最終学校の卒業・中退(本人)

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	卒業	1843	96.2
2	中退	50	2.6
3	在学中 ( 年生)	23	1.2
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

XGRADE 在学中の場合の学年(本人)

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
実数記入	1 年生	0	0
	2 年生	3	13.0
	3 年生	10	43.5
	4 年生	8	34.8
	5 年生	0	0
	6 年生	1	4.3
99	無回答	1	4.3
計		23	100.0
88	非該当	1893	
計		1916	

(問 51 で本人が (ケ) 新制高校、(コ) 新制高専、(サ) 新制短大 (シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に)

問 53-1 [回答票 49] あなたが通った高校で学んだ学科は何でしたか。2 つ以上の場合は主な学科を 1 つお答えください。

**XHSSUB 高校:学んだ学科**

コード		ケース数	%
1	(ア) 普通科	1080	65.5
2	(イ) 工業に関する学科	168	10.2
3	(ウ) 商業に関する学科	230	14.0
4	(エ) 農業に関する学科	51	3.1
5	(オ) 家庭・家政に関する学科	65	3.9
6	(カ) その他の学科 (具体的に )	43	2.6
7	(キ) 高校には行っていない	6	0.4
8	わからない	0	0
99	無回答	5	0.3
		計	1648
88	非該当	268	
		計	1916

問 53-2 [回答票 50] その高校では、どのくらいの割合の人が大学・短大に進学しましたか。

**XHSRATE 高校:進学率**

コード		ケース数	%
1	(ア) ほとんど全員	284	17.3
2	(イ) 7～8 割程度	280	17.1
3	(ウ) 半数くらい	245	15.0
4	(エ) 2～3 割程度	437	26.7
5	(オ) ほとんどいない	296	18.1
6	わからない	95	5.8
9	無回答	0	0
		計	1637
8	非該当	279	
		計	1916

(全員に)

問 54-1 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。

**XSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験(本人)**

コード		ケース数	%
1	通ったことがある	331	17.3
2	通ったことがない	1584	82.7
9	無回答	1	0.1
		計	1916
			100.0



問 54-2 その学校であなたが学んだ学科もしくは分野を教えてください。複数の専門学校・専修学校に通った場合は、最後に通った専門学校・専修学校での学科もしくは分野を教えてください。

XXSPSTDY 専修学校・専門学校:学科・分野

コード		ケース数	%
21	工業関係	53	16.0
22	農業関係	3	0.9
23	医療関係	66	19.9
24	衛生関係	43	13.0
25	教育・社会福祉関係	15	4.5
26	商業実務関係	51	15.4
27	服飾・家政関係	55	16.6
28	文化・教養関係	33	10.0
29	その他	11	3.3
99	無回答	1	0.3
		計	331
88	非該当	1585	100.0
		計	1916

問 54-3 [回答票 51] その専門学校・専修学校に通った時期は、問 51 の「本人」の回答より前ですか、後ですか、同時期ですか。

WHNSPSCH 専修学校・専門学校:通った時期

コード		ケース数	%
1	前	3	0.9
2	後	314	94.9
3	同時期	14	4.2
9	無回答	0	0
		計	331
8	非該当	1585	100.0
		計	1916

問 54-4 その専門学校・専修学校であなたは、高等学校卒業とみなされる高等課程を修了しましたか。

DOSPSUSC 専修学校・専門学校:高等課程の修了

コード		ケース数	%
1	修了した	226	68.3
2	修了してない	97	29.3
9	無回答	8	2.4
		計	331
8	非該当	1585	100.0
		計	1916

(問 51 で本人が (コ) 新制高専、(サ) 新制短大、(シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に)

問 55-1 [回答票 52] あなたが通った (または現在通っている) 問 57 の「本人」の回答は、国立でしたか、公立でしたか、あるいは私立 (わたくしりつ) でしたか。

XUPUBLIC 大学など:国・公・私立

コード		ケース数	%
1	(ア) 国立	124	19.0
2	(イ) 公立	52	8.0
3	(ウ) 私立	473	72.3
4	わからない	3	0.5
9	無回答	2	0.3
		計	654
8	非該当	1262	100.0
		計	1916

問 55-2 [回答票 53] その学校でのあなたの学部・学科を教えてください。

XXSCHDPT 大学など:学部

コード		ケース数	%
101	機械工学科	4	0.6
102	電気工学科	1	0.2
120	工学系学科	1	0.2
201	英文 (学) 科	16	2.4
202	国文 (学) 科	10	1.5
203	経済 (学) 科	9	1.4
204	商業 (学) 科	4	0.6
205	看護 (学) 科	10	1.5
206	社会福祉 (学) 科	4	0.6
207	家政 (学) 科	23	3.5
208	生活科学 (学) 科	6	0.9
209	食物栄養 (学) 科	17	2.6
211	保育 (学) 科・幼児教育 (学) 科	39	6
212	音楽 (学) 科	3	0.5
213	デザイン (学) 科	1	0.2
221	人間関係	1	0.2
225	秘書科	1	0.2
230	工学系学科	2	0.3
231	情報関係	5	0.8
240	農業関係	2	0.3
242	造園	1	0.2
251	医療関係	3	0.5
260	体育関係	1	0.2
261	保健関係	2	0.3
280	観光	2	0.3
301	文学部	41	6.3
302	外国語学部	20	3.1
303	人文学部	7	1.1
304	法学部	42	6.4
305	政経学部	10	1.5
306	経済学部	57	8.7
307	商学部	27	4.1
308	経営学部	25	3.8
309	社会学部	9	1.4

310	工学部	57	8.7	
311	理工学部	16	2.4	
312	理学部	6	0.9	
313	農学部	9	1.4	
314	薬学部	11	1.7	
315	医学部	4	0.6	
316	看護学部	6	0.9	
317	社会福祉学部	8	1.2	
318	家政学部	9	1.4	
319	生活科学部	3	0.5	
320	児童学部	2	0.3	
321	教育学部	25	3.8	
322	芸術学部	8	1.2	
323	音楽学部	4	0.6	
341	教養・人間関係・心理・国際文化	8	1.2	
342	国際コミュニケーション	1	0.2	
360	情報	2	0.3	
370	医療技術関係	2	0.3	
380	スポーツ・体育	8	1.2	
401	文学研究科	2	0.3	
404	法学研究科	2	0.3	
406	法科大学院	1	0.2	
407	経済学研究科	4	0.6	
409	経営学研究科	1	0.2	
411	工学研究科	12	1.8	
412	理工学研究科	4	0.6	
413	理学研究科	6	0.9	
414	農学研究科	2	0.3	
415	薬学研究科	1	0.2	
416	医学研究科	1	0.2	
417	看護学研究科	1	0.2	
419	教育学研究科	2	0.3	
455	情報	2	0.3	
501	農業大学校	1	0.2	
777	その他	15	2.3	
999	無回答	3	0.5	
		計	655	100.0
888	非該当		1261	
		計	1916	

学部コードの一覧については、「Ⅲ.9 面接調査票 回答票（サンプル）」を参照してください。

問 56 (14 ページ問 51 の配偶者の学歴について答えた人にものみ) あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

SSDOLSTS 最終学校の卒業・中退(配偶者)

コード		ケース数	%
1	卒業	1479	98.9
2	中退	16	1.1
3	在学中 ( 年生)	0	0
9	無回答	1	0.1
		計	1496
8	非該当	420	
		計	1916

SSXGRADE 在学中の場合の学年(配偶者)

コード		ケース数	%
88	非該当	1916	
		計	1916

問 57 (14 ページ問 51 の配偶者の学歴について答えた人にものみ) あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。

PSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	通ったことがある	166	11.1
2	通ったことがない	1325	88.6
9	無回答	5	0.3
		計	1496
8	非該当	420	
		計	1916

(全員に)

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

問 58 [回答票 54] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB 初職の就労時期

コード		ケース数	%
1	(ア) すぐついた (3ヶ月たたないうちについた)	1669	87.1
2	(イ) 3ヶ月以上たってからついた	206	10.8
3	(ウ) 仕事についたことはない	40	2.1
9	無回答	1	0.1
		計	1916
			100.0

問 58 に「(ア) すぐついた (3 ヶ月たないうちについた)」、「(イ) 3 ヶ月以上たってからついた」の場合

問 59-1 [回答票 55] あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TP1STJB 初職の雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	1744	93.0
2	(イ) 会社などの役員	1	.1
3	(ウ) 自営業主・自由業者	40	2.1
4	(エ) 自家営業の手伝い	81	4.3
5	(オ) 内職	4	0.2
6	わからない	3	0.2
9	無回答	2	0.1
		計	1875
8	非該当	41	
		計	1916

問 59-1 に「(ア) 雇われている人」の場合

問 59-2 [回答票 56] 当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

TP1STJBS 初職の雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	1542	88.4
2	(イ) パート・アルバイト	147	8.4
3	(ウ) 派遣社員	9	.5
4	(エ) 契約社員	31	1.8
5	(オ) 嘱託	3	0.2
6	わからない	12	0.7
9	無回答	0	0
		計	1744
8	非該当	172	
		計	1916

問 59-2 に「(ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 59-3 [回答票 57] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPFSTJBP 初職の雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	1512	98.1
2	(イ) 職長・班長・組長など	6	0.4
3	(ウ) 係長 (係長相当)	7	0.5
4	(エ) 課長 (課長相当)	8	0.5
5	(オ) 部長 (部長相当)	1	0.1
6	(カ) その他の役職	0	0
7	わからない	1	0.1
9	無回答	7	0.5
		計	1542
8	非該当	374	
		計	1916

問 60 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXFSTJB 初職の職種

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	2	0.1
502	人文科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	47	2.5
504	建築・土木技術者	8	0.4
506	情報処理技術者	36	1.9
507	その他の技師・技術者	2	0.1
508	医師	1	0.1
509	歯科医師	2	0.1
510	薬剤師	4	0.2
513	栄養士	9	0.5
514	看護師（看護婦・看護師）	51	2.7
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	1	0.1
516	その他の保健医療従事者	34	1.8
517	裁判官、検察官、弁護士	1	0.1
518	その他の法務従事者	1	0.1
520	幼稚園教員	14	0.7
521	小学校教員	22	1.2
522	中学校教員	9	0.5
523	高等学校教員	7	0.4
524	大学教員	1	0.1
527	宗教家	3	0.2
529	記者、編集者	4	0.2
531	デザイナー	12	0.6
536	獣医師	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	17	0.9
539	個人教師	4	0.2
541	経営コンサルタント	1	0.1
542	アナウンサー(ラジオ・テレビ)	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	5	0.3
550	会社・団体等の管理職員	4	0.2
554	総務・企画事務員	272	14.5
555	受付・案内事務員	86	4.6
556	出荷・受荷事務員	18	1.0
557	営業・販売事務員	2	0.1
558	その他の一般事務員	14	0.7
559	会計事務員	86	4.6
560	郵便・通信事務員	10	0.5
562	その他の外勤事務従事者	2	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	16	0.9
565	電子計算機等操作員	2	0.1
568	飲食店主	2	0.1
569	販売店員	185	9.9
573	外交員(保険、不動産を除く)	90	4.8
574	保険代理人・外交員	3	0.2
575	不動産仲買人・売買人	3	0.2
577	その他の販売類似職業従事者	2	0.1
578	家政婦、家事サービス職業従事者	6	0.3

579	理容師、美容師	36	1.9
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	26	1.4
583	給仕係	38	2.0
584	スチュワーデス、スチュワード	1	0.1
587	旅行・観光案内人	7	0.4
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	2	0.1
592	その他のサービス職業従事者	3	0.2
593	自衛官	14	0.7
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	6	0.3
595	消防員	3	0.2
596	看守、守衛、監視員	3	0.2
599	農耕・養蚕作業	52	2.8
600	植木職、造園師	3	0.2
601	畜産作業	3	0.2
602	林業作業	1	0.1
603	その他の農林業作業	1	0.1
604	漁業作業	6	0.3
606	電車・機関車運転士	3	0.2
607	自動車運転者	26	1.4
614	その他の運輸従事者	12	0.6
615	無線通信士、無線技術士	2	0.1
617	電話交換手	2	0.1
620	採鉱員、採炭員	1	0.1
622	その他の採掘作業	1	0.1
623	陶磁器工、絵付作業	2	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業	4	0.2
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	17	0.9
629	化学製品製造作業	4	0.2
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	22	1.2
631	鉄工、板金工	6	0.3
632	金属溶接工	8	0.4
633	一般機械組立工・修理工	73	3.9
634	電気機械器具組立工・修理工	38	2.0
635	自動車組立工・整備工	22	1.2
639	自転車組立工・修理工	1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	13	0.7
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	15	0.8
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	19	1.0
648	製糸作業	24	1.3
649	織布工、紡織作業	10	0.5
650	漂白工、染色工	2	0.1
651	洋服・和服仕立職	15	0.8
652	縫製工、裁断工	24	1.3
653	製材工、木工	4	0.2
654	指物職、家具職、建具職	4	0.2
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	2	0.1
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	3	0.2
658	印刷・製本作業	10	0.5
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	8	0.4
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	1	0.1

661	塗装工、画工、看板工	4	0.2	
663	表具師、内張工	1	0.1	
670	製図工、現図工	3	0.2	
672	その他の技能工・生産工程作業	10	0.5	
673	汽かん士、汽かん火夫	2	0.1	
674	起重機・建設機械運転作業	2	0.1	
676	発電員、変電員	2	0.1	
677	電気工事・電話工事作業	22	1.2	
679	左官、とび職	5	0.3	
680	れんが積工、配管工	8	0.4	
682	土工、道路工夫	11	0.6	
684	現場監督、その他の建設作業	23	1.2	
685	倉庫夫、仲仕	3	0.2	
686	運搬労務者	20	1.1	
687	清掃員	9	0.5	
688	その他の労務作業	6	0.3	
702	大工	23	1.2	
703	教員	1	0.1	
704	製品製造作業	1	0.1	
999	不明、無回答	10	0.5	
		計	1875	100.0
998	非該当		41	
		計	1916	

問 61 [回答票 58] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

**SZSTFFST 初職の企業規模**

コード		ケース数	%	
1	(ア) 1人	15	0.8	
2	(イ) 2～4人	158	8.4	
3	(ウ) 5～9人	146	7.8	
4	(エ) 10～29人	219	11.7	
5	(オ) 30～99人	260	13.9	
6	(カ) 100～299人	192	10.2	
7	(キ) 300～499人	105	5.6	
8	(ク) 500～999人	110	5.9	
9	(ケ) 1,000～1,999人	129	6.9	
10	(コ) 2,000～9,999人	142	7.6	
11	(サ) 1万人以上	122	6.5	
12	(シ) 官公庁	146	7.8	
13	わからない	124	6.6	
99	無回答	7	0.4	
		計	1875	100.0
88	非該当		41	
		計	1916	



(全員に)

問 62-1 [回答票 59] あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJB15 15 歳の頃の父:雇用関係

コード		ケース数	%
1	(ア) 雇われている人	1020	53.2
2	(イ) 会社などの役員	61	3.2
3	(ウ) 自営業主・自由業者	622	32.5
4	(エ) 自家営業の手伝い	26	1.4
5	(オ) 内職	1	0.1
6	(カ) 働いていなかった	27	1.4
7	(キ) 父はいなかった	139	7.3
8	わからない	18	0.9
99	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

問 62-1 に「(ア) 雇われている人」の場合

問 62-2 [回答票 60] 当時のお父さんの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15S 15 歳の頃の父:雇用形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 常時雇用の職員・従業員	992	97.3
2	(イ) パート・アルバイト	5	0.5
3	(ウ) 派遣社員	2	0.2
4	(エ) 契約社員	9	0.9
5	(オ) 嘱託	2	0.2
6	わからない	10	1.0
9	無回答	0	0
計		1020	100.0
8	非該当	896	
計		1916	

問 62-2 に「1 (ア) 常時雇用の職員・従業員」の場合

問 62-3 [回答票 61] 当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15P 15 歳の頃の父:役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	337	34.0
2	(イ) 職長・班長・組長など	65	6.6
3	(ウ) 係長 (係長相当)	78	7.9
4	(エ) 課長 (課長相当)	126	12.7
5	(オ) 部長 (部長相当)	61	6.1
6	(カ) その他の役職 (具体的に )	1	0.1
7	わからない	319	32.2
9	無回答	5	0.5
計		992	100.0
8	非該当	924	
計		1916	

問 63 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

PPJBXX15 15歳の頃の父:職種

コード		ケース数	%
502	人文科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	29	1.7
504	建築・土木技術者	14	0.8
506	情報処理技術者	3	0.2
507	その他の技師・技術者	1	0.1
508	医師	2	0.1
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	6	0.3
514	看護師（看護婦・看護師）	2	0.1
516	その他の保健医療従事者	4	0.2
519	公認会計士、税理士	2	0.1
521	小学校教員	20	1.1
522	中学校教員	21	1.2
523	高等学校教員	7	0.4
524	大学教員	6	0.3
527	宗教家	8	0.5
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	2	0.1
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
536	獣医師	1	0.1
539	個人教師	3	0.2
541	経営コンサルタント	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	1	0.1
545	管理的公務員	5	0.3
547	地方議員	1	0.1
548	会社役員	11	0.6
550	会社・団体等の管理職員	36	2.1
554	総務・企画事務員	144	8.2
555	受付・案内事務員	5	0.3
556	出荷・受荷事務員	16	0.9
558	その他の一般事務員	2	0.1
559	会計事務員	35	2.0
560	郵便・通信事務員	6	0.3
561	集金人	1	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	2	0.1
565	電子計算機等操作員	1	0.1
566	小売店主	37	2.1
568	飲食店主	4	0.2
569	販売店員	64	3.7
572	商品仲立人	12	0.7
573	外交員(保険、不動産を除く)	81	4.6
574	保険代理人・外交員	8	0.5
575	不動産仲買人・売買人	5	0.3
577	その他の販売類似職業従事者	3	0.2
578	家政婦、家事サービス職業従事者	5	0.3

579	理容師、美容師	4	0.2
580	クリーニング職、洗張職	4	0.2
581	料理人	26	1.5
583	給仕係	2	0.1
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
592	その他のサービス職業従事者	2	0.1
593	自衛官	4	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	15	0.9
595	消防員	2	0.1
596	看守、守衛、監視員	7	0.4
597	その他の保安職業従事者	3	0.2
598	旧職業軍人	1	0.1
599	農耕・養蚕作業者	252	14.4
600	植木職、造園師	1	0.1
601	畜産作業者	8	0.5
602	林業作業者	11	0.6
604	漁業作業者	25	1.4
606	電車・機関車運転士	3	0.2
607	自動車運転者	99	5.7
608	船長・航海士（漁船を除く）、水先人	1	0.1
609	船舶機関長・機関士（漁船を除く）	2	0.1
610	航空機操縦士、航空士、航空機関士	1	0.1
611	車掌	3	0.2
613	船員	4	0.2
614	その他の運輸従事者	11	0.6
620	採鉱員、採炭員	7	0.4
624	石工	2	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業者	10	0.6
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	22	1.3
629	化学製品製造作業者	3	0.2
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	34	1.9
631	鉄工、板金工	13	0.7
632	金属溶接工	9	0.5
633	一般機械組立工・修理工	53	3.0
634	電気機械器具組立工・修理工	15	0.9
635	自動車組立工・整備工	8	0.5
638	航空機組立工・整備工	1	0.1
639	自転車組立工・修理工	2	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	6	0.3
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	8	0.5
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	7	0.4
648	製糸作業者	5	0.3
649	織布工、紡織作業者	9	0.5
650	漂白工、染色工	5	0.3
651	洋服・和服仕立職	9	0.5
652	縫製工、裁断工	13	0.7
653	製材工、木工	15	0.9
654	指物職、家具職、建具職	7	0.4
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業者	10	0.6
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	2	0.1
658	印刷・製本作業者	7	0.4
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	10	0.6

660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	1	0.1	
661	塗装工、画工、看板工	10	0.6	
663	表具師、内張工	1	0.1	
669	がん具製造工	1	0.1	
670	製図工、現図工	2	0.1	
672	その他の技能工・生産工程作業	5	0.3	
673	汽かん士、汽かん火夫	2	0.1	
674	起重機・建設機械運転作業	10	0.6	
675	その他の定置機関運転作業	4	0.2	
676	発電員、変電員	1	0.1	
677	電気工事・電話工事作業	16	0.9	
679	左官、とび職	17	1.0	
680	れんが積工、配管工	24	1.4	
682	土工、道路工夫	40	2.3	
684	現場監督、その他の建設作業	38	2.2	
686	運搬労務者	6	0.3	
687	清掃員	5	0.3	
688	その他の労務作業	2	0.1	
702	大工	77	4.4	
703	教員	4	0.2	
999	不明、無回答	78	4.4	
		計	1750	100.0
998	非該当		166	
		計	1916	

PPJXXE08 15歳の頃の父：職種(ISCO08)

コード		ケース数	%	
	Managers	53	3.0	
	Professionals	110	6.3	
	Technicians and associate professionals	200	11.4	
	Clerical support workers	208	11.9	
	Service and sales workers	156	8.9	
	Skilled agricultural, forestry and fishery workers	295	16.9	
	Craft and related trades workers	308	17.6	
	Plant and machine operators, and assemblers	267	15.3	
	Elementary occupations	75	4.3	
	Armed forces occupations	0	0	
99999	分類不能、不明、無回答	78	4.5	
		計	1750	100.0
88888	非該当		166	
		計	1916	

問 64 [回答票 62] お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

PPJBSZ15 15歳の頃の父:企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	162	9.3
2	(イ) 小企業	651	37.2
3	(ウ) 中企業	208	11.9
4	(エ) 大企業	91	5.2
5	(オ) 大手大企業	206	11.8
6	(カ) 官公庁	205	11.7
7	わからない	215	12.3
9	無回答	12	0.7
		計	1750
8	非該当	166	
		計	1916

問 65 [回答票 63] あなたが 15歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15 15歳の頃の母:就労地位

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事はもっていなかった	566	29.5
2	(イ) 臨時雇用・パート・アルバイト	412	21.5
3	(ウ) 常時雇用:一般職・役職なし	224	11.7
4	(エ) 常時雇用:管理職	5	0.3
5	(オ) 常時雇用:専門的な仕事	39	2.0
6	(カ) 常時雇用:仕事内容はわからない	16	0.8
7	(キ) 自営業・家族従業者:農林漁業	440	23.0
8	(ク) 自営業・家族従業者:農林漁業以外	87	4.5
9	(ケ) 内職	55	2.9
10	(コ) 経営者・役員	11	0.6
11	(サ) 母はいなかった	28	1.5
12	わからない	32	1.7
99	無回答	1	0.1
		計	1916
			100.0

問 66 [回答票 64] 昨年 1年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりますか。教育費には、在学中の子どもの下宿代・仕送りを含み、社会人入学の学費は除きます。

SZEXED 世帯支出:教育費(子どもを持ったことがある人)

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	56	2.9
2	(イ) 3万円未満	20	1.0
3	(ウ) 3~5万円未満	20	1.0
4	(エ) 5~10万円未満	22	1.1
5	(オ) 10~15万円未満	26	1.4
6	(カ) 15~20万円未満	33	1.7
7	(キ) 20~30万円未満	40	2.1
8	(ク) 30~50万円未満	92	4.8
9	(ケ) 50~100万円未満	90	4.7
10	(コ) 100~200万円未満	92	4.8
11	(サ) 200~300万円未満	43	2.2

12	(シ) 300～400 万円未満	9	0.5
13	(ス) 400～500 万円未満	6	0.3
14	(セ) 500 万円以上	4	0.2
15	(ソ) すべての子どもが学業を終えている	886	46.2
16	子どもはいない	430	22.4
17	回答したくない	6	0.3
18	わからない	30	1.6
99	無回答	11	0.6
		計	1916 100.0

問 67-1 [回答票 65] 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

INCSELF～INCNOKN 現在の収入源:(全員)

コード <sup>※</sup>				
0		非選択		
1		選択		
9		無回答		
多重回答			選択者数	%
INCSELF	1 (ア) 自分の収入		1209	63.1
INCSP	2 (イ) 配偶者の収入		826	43.1
INCPAR	3 (ウ) 親の収入		188	9.8
INCFAM	4 (エ) 配偶者・親以外の家族の収入		154	8.0
INCPEN	5 (オ) 年金		760	39.7
INCUEB	6 (カ) 失業保険		6	0.3
INCSAVE	7 (キ) 貯蓄		138	7.2
INCSOC	8 (ク) 社会福祉(生活保護、福祉手当等)		23	1.2
INCIRR	9 (ケ) 不定期的な仕事		8	0.4
INCREMENT	10 (コ) 賃貸料所得(家賃、土地、駐車場料金など)		56	2.9
INCINVST	11 (サ) 投資運用		24	1.3
INCOTHER	12 (シ) その他(具体的に )		8	0.4
INCNOKN	13 わからない		3	0.2
			該当者数	1916

問 67-2 [回答票 65] そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ教えてください。

**INCMAIN 現在の収入源:中心となるもの(全員)**

コード		ケース数	%
1	(ア) 自分の収入	717	37.4
2	(イ) 配偶者の収入	450	23.5
3	(ウ) 親の収入	109	5.7
4	(エ) 配偶者・親以外の家族の収入	45	2.3
5	(オ) 年金	539	28.1
6	(カ) 失業保険	2	0.1
7	(キ) 貯蓄	18	0.9
8	(ク) 社会福祉(生活保護、福祉手当等)	8	0.4
9	(ケ) 不定期的な仕事	1	0.1
10	(コ) 賃貸料所得(家賃、土地、駐車場料金など)	16	0.8
11	(サ) 投資運用	1	0.1
12	(シ) その他(具体的に )	1	0.1
13	わからない	7	0.4
99	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

問 68-1 [回答票 66] 昨年1年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

**SZHSINCM 世帯年収**

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	8	0.4
2	(イ) 70万円未満	9	0.5
3	(ウ) 70~100万円未満	21	1.1
4	(エ) 100~130万円未満	25	1.3
5	(オ) 130~150万円未満	32	1.7
6	(カ) 150~250万円未満	149	7.8
7	(キ) 250~350万円未満	203	10.6
8	(ク) 350~450万円未満	197	10.3
9	(ケ) 450~550万円未満	165	8.6
10	(コ) 550~650万円未満	130	6.8
11	(サ) 650~750万円未満	98	5.1
12	(シ) 750~850万円未満	104	5.4
13	(ス) 850~1,000万円未満	94	4.9
14	(セ) 1,000~1,200万円未満	77	4.0
15	(ソ) 1,200~1,400万円未満	43	2.2
16	(タ) 1,400~1,600万円未満	22	1.1
17	(チ) 1,600~1,850万円未満	14	0.7
18	(ツ) 1,850~2,300万円未満	10	0.5
19	(テ) 2,300万円以上	6	0.3
20	回答したくない	191	10.0
21	わからない	316	16.5
99	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

問 68-2〔回答票 66〕 そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

## SZINCOMA 本人年収:全体

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	143	7.5
2	(イ) 70 万円未満	127	6.6
3	(ウ) 70～100 万円未満	187	9.8
4	(エ) 100～130 万円未満	114	5.9
5	(オ) 130～150 万円未満	110	5.7
6	(カ) 150～250 万円未満	273	14.2
7	(キ) 250～350 万円未満	240	12.5
8	(ク) 350～450 万円未満	148	7.7
9	(ケ) 450～550 万円未満	100	5.2
10	(コ) 550～650 万円未満	88	4.6
11	(サ) 650～750 万円未満	44	2.3
12	(シ) 750～850 万円未満	42	2.2
13	(ス) 850～1,000 万円未満	30	1.6
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	22	1.1
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	6	0.3
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	3	0.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	0	0
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.1
19	(テ) 2,300 万円以上	4	0.2
20	回答したくない	190	9.9
21	わからない	41	2.1
99	無回答	3	0.2
計		1916	100.0

問 68-3 (仕事をしている方へのみ質問)〔回答票 66〕 あなたの収入は、先ほどかがった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

## SZINCOMX 本人年収:主な仕事

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	10	0.5
2	(イ) 70 万円未満	87	4.5
3	(ウ) 70～100 万円未満	98	5.1
4	(エ) 100～130 万円未満	58	3.0
5	(オ) 130～150 万円未満	63	3.3
6	(カ) 150～250 万円未満	156	8.1
7	(キ) 250～350 万円未満	154	8.0
8	(ク) 350～450 万円未満	124	6.5
9	(ケ) 450～550 万円未満	86	4.5
10	(コ) 550～650 万円未満	76	4.0
11	(サ) 650～750 万円未満	38	2.0
12	(シ) 750～850 万円未満	38	2.0
13	(ス) 850～1,000 万円未満	28	1.5
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	21	1.1
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	5	0.3
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	2	0.1
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	0	0
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.1
19	(テ) 2,300 万円以上	2	0.1
20	回答したくない	128	6.7



21	わからない	21	1.1
23	仕事はしていない	710	37.1
99	無回答	10	0.5
		計	1916 100.0

問 68-4 (現在、配偶者がいる方のみ質問) [回答票 66] 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

**SSSZINCA 配偶者年収:全体**

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	139	7.3
2	(イ) 70 万円未満	110	5.7
3	(ウ) 70~100 万円未満	141	7.4
4	(エ) 100~130 万円未満	87	4.5
5	(オ) 130~150 万円未満	59	3.1
6	(カ) 150~250 万円未満	135	7.0
7	(キ) 250~350 万円未満	133	6.9
8	(ク) 350~450 万円未満	77	4.0
9	(ケ) 450~550 万円未満	75	3.9
10	(コ) 550~650 万円未満	55	2.9
11	(サ) 650~750 万円未満	35	1.8
12	(シ) 750~850 万円未満	24	1.3
13	(ス) 850~1,000 万円未満	17	0.9
14	(セ) 1,000~1,200 万円未満	13	0.7
15	(ソ) 1,200~1,400 万円未満	4	0.2
16	(タ) 1,400~1,600 万円未満	2	0.1
17	(チ) 1,600~1,850 万円未満	0	0
18	(ツ) 1,850~2,300 万円未満	3	0.2
19	(テ) 2,300 万円以上	1	0.1
20	回答したくない	144	7.5
21	わからない	104	5.4
22	配偶者はいない	549	28.7
99	無回答	9	0.5
		計	1916 100.0

問 49-5 (配偶者が仕事をしている方に) [回答票 66] 配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

**SSSZINCM 配偶者年収:主な仕事**

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	4	0.2
2	(イ) 70 万円未満	67	3.5
3	(ウ) 70~100 万円未満	80	4.2
4	(エ) 100~130 万円未満	36	1.9
5	(オ) 130~150 万円未満	23	1.2
6	(カ) 150~250 万円未満	75	3.9
7	(キ) 250~350 万円未満	92	4.8
8	(ク) 350~450 万円未満	67	3.5
9	(ケ) 450~550 万円未満	69	3.6
10	(コ) 550~650 万円未満	54	2.8
11	(サ) 650~750 万円未満	35	1.8
12	(シ) 750~850 万円未満	23	1.2
13	(ス) 850~1,000 万円未満	17	0.9
14	(セ) 1,000~1,200 万円未満	11	0.6

15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	3	0.2
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	2	0.1
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	0	0
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	3	0.2
19	(テ) 2,300 万円以上	0	0
20	回答したくない	101	5.3
21	わからない	73	3.8
22	配偶者はいない	549	28.7
23	仕事はしていない	524	27.3
99	無回答	8	0.4
計		1916	100.0

[調査員記入]

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP 調査員への質問:回答者の協力度

コード		ケース数	%
1	とても協力的	1286	67.1
2	どちらかといえば協力的	543	28.3
3	それほど協力的ではなかった	83	4.3
4	まったく協力的ではなかった	4	0.2
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND 調査員への質問:回答者の理解度

コード		ケース数	%
1	非常に良い	1240	64.7
2	どちらかといえば良い	635	33.1
3	あまり良くない	38	2.0
4	まったく良くない	3	0.2
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA 調査員への質問:回答者の居住地域

コード		ケース数	%
1	工場の多い地域	37	1.9
2	商店・事業所の多い地域	190	9.9
3	主に古くからの住宅地 (戦前からの住宅地)	533	27.8
4	主に新興住宅地 (戦後できたニュータウンを含む)	762	39.8
5	農山漁村	392	20.5
6	その他	0	0
9	無回答	2	0.1
計		1916	100.0

F6 表札の有無 (集合住宅ではポストの名札も含む)

NAMEPLAT 調査員への質問:表札の有無

コード		ケース数	%
1	あり	1469	76.7
2	なし	421	22.0
9	無回答	26	1.4
計		1916	100.0

F7-1 対象者の家の種類はどれでしたか。

TPHOUSE 調査員への質問:回答者の居住形態

コード		ケース数	%
1	一戸建て	1559	81.4
2	集合住宅	357	18.6
9	無回答	0	0
計		1916	100.0

(F7-1 「2 集合住宅」の場合)

F7-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

AUTOLOCK 集合住宅でのオートロックの有無

コード		ケース数	%
1	はい	115	32.2
2	いいえ	223	62.5
9	無回答	19	5.3
計		357	100.0
8	非該当	1559	
計		1916	

F8 家のインターフォンの種類 (集合住宅の入口がオートロックの場合は、そのインターフォンの種類)

INTERCOM 家のインターフォンの種類

コード		ケース数	%
1	カメラ付きインターフォン	798	41.6
2	カメラなしインターフォン	509	26.6
3	チャイムのみ (インターフォンなし)	483	25.2
4	チャイムもなし	119	6.2
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

F9 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

PROC 調査手順(留置/面接の順序)

コード		ケース数	%
1	面接→留置	1650	86.1
2	留置→面接	260	13.6
9	無回答	6	0.3
計		1916	100.0

F10 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

DURATION 調査所要時間(分)

コード		ケース数	%
実数記入	10~19 分	221	11.5
	20~29 分	963	50.3
	30~39 分	500	26.1
	40~49 分	166	8.7
	50~59 分	36	1.9
	60 分以上	26	1.4
9	無回答	4	0.2
計		1916	100.0

面接調査票冒頭 回収状況欄

DATE 面接完了日

MONTH 面接完了日:月

DAY 面接完了日:日

DATEB 留置回収完了日

MONTHB 留置回収完了日:月

DAYB 留置回収完了日:日

これらの変数の単純集計は記載していません。

WEIGHT ウェイト

この変数の単純集計は記載していません。

竹本 圭佑

## II.2 基礎集計・コード表：留置調査票

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

## HRTV テレビ視聴時間

コード		ケース数	%
実数記入	0時間くらい	68	3.5
	1時間くらい	249	13.0
	2時間くらい	403	21.0
	3時間くらい	414	21.6
	4時間くらい	270	14.1
	5時間くらい	233	12.2
	6時間くらい	106	5.5
	7時間くらい	35	1.8
	8時間くらい	46	2.4
	9時間くらい	10	0.5
	10時間くらい	39	2.0
	11時間以上	33	1.7
999	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

## FQ5READ 1ヶ月の読書冊数

コード		ケース数	%
0	ほとんど読まない	1101	57.5
1	1冊程度	473	24.7
2	2冊程度	177	9.2
3	3冊程度	66	3.4
4	4冊以上	95	5.0
9	無回答	4	0.2
計		1916	100.0

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

## FQ5NEWSP 新聞を読む頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	988	51.6
2	週数回	178	9.3
3	週1回程度	104	5.4
4	それ以下	149	7.8
5	まったく読まない	494	25.8
9	無回答	3	0.2
計		1916	100.0

Q4 あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。

**FQ6NWSIN** インターネットでニュース記事を読む頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	978	51.0
2	週数回	225	11.7
3	週1回程度	58	3.0
4	それ以下	43	2.2
5	まったく読まない	60	3.1
6	インターネットは利用していない	546	28.5
9	無回答	6	0.3
計		1916	100.0

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

**FQSPORT** 定期的に行なうスポーツ:頻度

コード		ケース数	%
1	週に数回以上	473	24.7
2	週に1回程度	293	15.3
3	月に1回程度	104	5.4
4	年に数回程度	156	8.1
5	ほとんどしない	882	46.0
9	無回答	8	0.4
計		1916	100.0

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒の夕食

**FQ7FFDNR** 家族と一緒の夕食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	1278	66.7
2	週に数回	296	15.4
3	週に1回程度	87	4.5
4	月に1回程度	51	2.7
5	年に数回	68	3.5
6	年に1回程度	8	0.4
7	まったくしていない	118	6.2
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

B 友人との会食や集まり

**FQ7FRSEE** 友人との会食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	11	0.6
2	週に数回	97	5.1
3	週に1回程度	202	10.5
4	月に1回程度	582	30.4
5	年に数回	635	33.1
6	年に1回程度	145	7.6
7	まったくしていない	231	12.1
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

## C 夕食の用意

## FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	890	46.5
2	週に数回	226	11.8
3	週に1回程度	126	6.6
4	月に1回程度	82	4.3
5	年に数回	134	7.0
6	年に1回程度	35	1.8
7	まったくしていない	414	21.6
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

## D 洗濯

## FQ7WASH 洗濯:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	786	41.0
2	週に数回	355	18.5
3	週に1回程度	153	8.0
4	月に1回程度	73	3.8
5	年に数回	113	5.9
6	年に1回程度	29	1.5
7	まったくしていない	400	20.9
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

## E 買い物(日用品や食料品の買い物)

## FQ7SHOP 買い物:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	370	19.3
2	週に数回	749	39.1
3	週に1回程度	429	22.4
4	月に1回程度	133	6.9
5	年に数回	79	4.1
6	年に1回程度	10	0.5
7	まったくしていない	141	7.4
9	無回答	5	0.3
計		1916	100.0

## F 家の掃除

## FQ7CLEAN 家の掃除:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	421	22.0
2	週に数回	484	25.3
3	週に1回程度	471	24.6
4	月に1回程度	187	9.8
5	年に数回	149	7.8
6	年に1回程度	40	2.1
7	まったくしていない	159	8.3
9	無回答	5	0.3
計		1916	100.0

G ゴミ出し

FQ7GARB ゴミ出し:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	239	12.5
2	週に数回	858	44.8
3	週に1回程度	252	13.2
4	月に1回程度	105	5.5
5	年に数回	121	6.3
6	年に1回程度	28	1.5
7	まったくしていない	300	15.7
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

H 家の簡単な修理(電球の交換、壁や庭の補修など)

FQ7RPH 家の簡単な修理:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	44	2.3
2	週に数回	91	4.7
3	週に1回程度	128	6.7
4	月に1回程度	398	20.8
5	年に数回	638	33.3
6	年に1回程度	208	10.9
7	まったくしていない	392	20.5
9	無回答	17	0.9
計		1916	100.0

Q7 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ 健康状態(本人)

コード		ケース数	%
1	良い	533	27.8
2	・	530	27.7
3	・	575	30.0
4	・	212	11.1
5	悪い	46	2.4
9	無回答	20	1.0
計		1916	100.0

Q8-1 あなたは煙草(タバコ)を吸いますか。

DOSMOKEX 喫煙経験

コード		ケース数	%
1	現在吸っている	354	18.5
2	以前は吸っていたがやめた	458	23.9
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	1100	57.4
9	無回答	4	0.2
計		1916	100.0



「1 現在吸っている」の場合  
 Q8-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE 禁煙努力

コード		ケース数	%
1	はい	189	53.4
2	いいえ	165	46.6
9	無回答	0	0
		計	354
8	非該当	1562	100.0
		計	1916

Q9 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK 飲酒頻度

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	437	22.8
2	週に数回	248	12.9
3	週に1回程度	189	9.9
4	月に1回程度	160	8.4
5	年に数回	244	12.7
6	年に1回程度	79	4.1
7	まったく飲まない	541	28.2
9	無回答	18	0.9
		計	1916
			100.0

Q10-1 あなたの家では現在、犬や猫あるいはその他の種類のペットを飼っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) DODOGE~DOPNONE ペットの保有 共通 (変数名は下記参照)

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
DOPDOGE	1 犬(室外で)	101	5.3
DOPDOGI	2 犬(室内で)	232	12.1
DOPCATE	3 猫(室外で)	40	2.1
DOPCATI	4 猫(室内で)	170	8.9
DOPOTHR	5 その他	94	4.9
DOPNONE	6 何も飼っていない	1364	71.2
		該当者数	1916

Q10-1に「1 犬(室外で)」「2 犬(室内で)」「3 猫(室外で)」「4 猫(室内で)」「5 その他」を選択した場合

Q10-2 ペットにかかる医療費は平均して1カ月にどれくらいですか。

**DOPMDPAY ペットの医療費**

コード		ケース数	%
実数記入	0 円	206	37.5
	1 千円未満	27	4.9
	1～2 千円未満	56	10.2
	2～3 千円未満	38	6.9
	3～5 千円未満	52	9.5
	5 千円～1 万円未満	56	10.2
	1～2 万円未満	40	7.3
	2～3 万円未満	6	1.1
	3～4 万円未満	6	1.1
	4 万円以上	1	0.2
9999999	無回答	62	11.3
		計	550
			100.0
8888888	非該当	1366	
		計	1916

Q10-3 あなたが世話(食事、トイレの始末、散歩など)をしているペットはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) DOPCDOGE～DOPCNONE 世話をしているペット 共通 (変数名は下記参照)

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
DOPCDOGE	1 犬(室外で)	80	14.5
DOPCDOGI	2 犬(室内で)	197	35.8
DOPCCATE	3 猫(室外で)	28	5.1
DOPCCATI	4 猫(室内で)	144	26.2
DOPCOTHR	5 その他	68	12.4
DOPCNONE	6 世話はしていない	82	14.9
		該当者数	550

Q10-3に「1 犬(室外で)」「2 犬(室内で)」「3 猫(室外で)」「4 猫(室内で)」「5 その他」を選択した場合

Q10-4 世話にかかる時間は平均して1日にどれくらいですか。

DOPCTHR ペットの世話時間:時

コード	実数記入	ケース数	%
	0	293	63.6
	1	106	23.0
	2	40	8.7
	3	5	1.1
	4	3	0.7
	6	1	0.2
	7	1	0.2
	10	2	0.4
	15	1	0.2
99	無回答	9	2.0
		計	461
88	非該当	1455	
		計	1916

DOPCMIN ペットの世話時間:分

コード	実数記入	ケース数	%
	0	137	29.7
	1	10	2.2
	2	2	0.4
	3	1	0.2
	5	34	7.4
	10	71	15.4
	15	20	4.3
	20	30	6.5
	30	127	27.5
	40	16	3.5
	45	3	0.7
	55	1	0.2
99	無回答	9	2.0
		計	461
88	非該当	1455	
		計	1916

Q11 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

A 住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度:居住地域

コード	満足	ケース数	%
1	満足	519	27.1
2	・	596	31.1
3	・	574	30.0
4	・	167	8.7
5	不満	39	2.0
9	無回答	21	1.1
		計	1916
			100.0

## B 余暇の過ごし方

## ST5LEISY 生活満足度:余暇利用

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	満足	356	18.6
2	・	590	30.8
3	・	711	37.1
4	・	193	10.1
5	不満	46	2.4
9	無回答	20	1.0
計		1916	100.0

## C 家庭生活

## ST5LIFEY 生活満足度:家庭生活

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	満足	482	25.2
2	・	649	33.9
3	・	611	31.9
4	・	124	6.5
5	不満	37	1.9
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

## D 現在の会計の状態

## ST5ECNY 生活満足度:家計状態

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	満足	282	14.7
2	・	440	23.0
3	・	730	38.1
4	・	326	17.0
5	不満	121	6.3
9	無回答	17	0.9
計		1916	100.0

## E 友人関係

## ST5FRIY 生活満足度:友人関係

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	満足	428	22.3
2	・	583	30.4
3	・	736	38.4
4	・	117	6.1
5	不満	35	1.8
9	無回答	17	0.9
計		1916	100.0

F 健康状態

ST5HLTHY 生活満足度:健康状態

コード		ケース数	%
1	満足	369	19.3
2	・	551	28.8
3	・	659	34.4
4	・	264	13.8
5	不満	60	3.1
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

G 配偶者（夫や妻）との関係

ST5SSREL 生活満足度:配偶者との関係

コード		ケース数	%
1	満足	487	25.4
2	・	446	23.3
3	・	330	17.2
4	・	63	3.3
5	不満	31	1.6
6	配偶者はいない	549	28.7
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

Q12 あなたは、現在の生活全般に満足していますか。

STALLLF 生活満足度:全般

コード		ケース数	%
1	非常に満足	222	11.6
2	・	743	38.8
3	・	705	36.8
4	・	209	10.9
5	非常に不満	31	1.6
9	無回答	6	0.3
計		1916	100.0

Q13 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

A 私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない

NOFUTR 希望のなさ:将来の希望が持てない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	58	3.0
2	どちらかといえば賛成	233	12.2
3	どちらともいえない	924	48.2
4	どちらかといえば反対	440	23.0
5	強く反対	241	12.6
9	無回答	20	1.0
計		1916	100.0

B 私が目指している目標は達成できないだろう

NOGOAL 目標は達成できない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	73	3.8
2	どちらかといえば賛成	191	10.0
3	どちらともいえない	1022	53.3
4	どちらかといえば反対	388	20.3
5	強く反対	214	11.2
9	無回答	28	1.5
計		1916	100.0

Q14 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

A おちついていておだやかな気分でしたか

SFMHPEAC 精神的健康:おちついた気分

コード		ケース数	%
1	いつも	132	6.9
2	ほとんどいつも	854	44.6
3	ときどき	641	33.5
4	まれに	193	10.1
5	ぜんぜんない	87	4.5
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

B 活力(エネルギー)にあふれていましたか

SFMHENGY 精神的健康:活力にあふれる

コード		ケース数	%
1	いつも	99	5.2
2	ほとんどいつも	521	27.2
3	ときどき	827	43.2
4	まれに	308	16.1
5	ぜんぜんない	154	8.0
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

C おちこんで、ゆううつな気分でしたか

SFMHDPRS 精神的健康:おちこんだ気分

コード		ケース数	%
1	いつも	28	1.5
2	ほとんどいつも	120	6.3
3	ときどき	571	29.8
4	まれに	686	35.8
5	ぜんぜんない	504	26.3
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

Q15 最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ○をつけてください。

OP7CMTRA 自分の墓について

コード		ケース数	%
1	私の家（実家）の墓に入りたい	712	37.2
2	配偶者の家の墓に入りたい	272	14.2
3	自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい	324	16.9
4	自分と配偶者だけの墓に入りたい	119	6.2
5	自分一人の墓に入りたい	42	2.2
6	合葬式の共同墓に入りたい	96	5.0
7	墓に入らず、海や山への散骨にしたい	306	16.0
9	無回答	45	2.3
計		1916	100.0

Q16-1 あなたは、あなたのご実家の「先祖の墓」を受け継いでいますか。

XINHRGRV 先祖の墓の受け継ぎ

コード		ケース数	%
1	受け継いでいる	592	30.9
2	まだ受け継いでいないが、将来受け継ぐことになる	315	16.4
3	きょうだい、または他の親族が受け継ぐので、受け継ぐことはない	821	42.8
4	「先祖の墓」はない（どこにあるかわからない）	89	4.6
5	その他	79	4.1
9	無回答	20	1.0
計		1916	100.0

Q16-1に「1 受け継いでいる」「2 まだ受け継いでいないが、将来受け継ぐことになる」を選択した場合

Q16-2 あなたは、「先祖の墓」をどのようにしたいと思っていますか。

WLMNGGRV 先祖の墓:今後どのように受け継ぐか

コード		ケース数	%
1	現在の場所で子どもや親族で引き継ぐ	624	68.3
2	お参りしやすい場所に移して、子どもや親族で引き継ぐ	77	8.4
3	合葬式の共同墓（家族以外の人も入る）に移して、家族が引き継ぐ形はとらない	37	4.1
4	永代供養・管理料などを収めて、墓地の管理者（寺や教会など）に管理をお願いする	122	13.4
5	その他	31	3.4
9	無回答	22	2.4
計		913	100.0
8	非該当	1003	
計		1916	

Q17 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

**XLIVEYR 現在の居住地への居住年数**

コード		ケース数	%
1	生まれてからずっと	341	17.8
2	1年未満	30	1.6
3	1年～3年未満	91	4.7
4	3年～5年未満	62	3.2
5	5年～10年未満	182	9.5
6	10年～20年未満	303	15.8
7	20年～30年未満	253	13.2
8	30年以上	615	32.1
99	無回答	39	2.0
計		1916	100.0

Q18 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

A 近所の人は、お互いに気にかけている

**OPNBMTCN 近隣状況:互いに気にかけている**

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	214	11.2
2	あてはまる	696	36.3
3	どちらともいえない	659	34.4
4	あてはまらない	223	11.6
5	まったくあてはまらない	121	6.3
9	無回答	3	0.2
計		1916	100.0

B 近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる

**OPNBASS 近隣状況:手助けしてくれる**

コード		ケース数	%
1	よくあてはまる	161	8.4
2	あてはまる	646	33.7
3	どちらともいえない	724	37.8
4	あてはまらない	244	12.7
5	まったくあてはまらない	134	7.0
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

Q19 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

**DOECSLP～DOECNONE エコ商品の利用**

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
DOECSLP	1 ソーラーパネル（太陽光発電）	160	8.4
DOECMNP	2 深夜電力（深夜電力の割引契約）	392	20.5
DOECWC	3 エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など	361	18.8
DOECLMC	4 低公害車（LPG車やハイブリッド車、電気自動車など）	277	14.5
DOECNONE	5 いずれも利用していない	1131	59.0
該当者数		1916	



Q20 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

A 電気は、こまめに消す

FQ4DENKI 電気はこまめに消す

コード		ケース数	%
1	よくする	977	51.0
2	時々する	713	37.2
3	あまりしない	189	9.9
4	全くしない	34	1.8
9	無回答	3	0.2
計		1916	100.0

B 消費電力を減らす工夫をする

FQ4ELC 消費電力を減らす工夫

コード		ケース数	%
1	よくする	541	28.2
2	時々する	819	42.7
3	あまりしない	481	25.1
4	まったくしない	65	3.4
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

Q21 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE 現在の居住地域に住み続けたいか

コード		ケース数	%
1	ずっと住みたい	955	49.8
2	当分の間は住みたい	739	38.6
3	できれば他の地域に引越したい	189	9.9
4	すぐにも他の地域に引越したい	26	1.4
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

Q22 あなたが今お住まいの地域の存続について、不安を感じることはありますか。

AXCONTM 居住地域の存続についての不安感

コード		ケース数	%
1	とても感じている	82	4.3
2	ある程度感じている	461	24.1
3	あまり感じていない	945	49.3
4	まったく感じていない	424	22.1
9	無回答	4	0.2
計		1916	100.0

Q23 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	172	9.0
2	平均より少ない	540	28.2
3	ほぼ平均	878	45.8
4	平均より多い	276	14.4
5	平均よりかなり多い	32	1.7
9	無回答	18	0.9
計		1916	100.0

Q24 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

**OPFFIX15 15 歳の頃の世帯収入レベル**

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	176	9.2
2	平均より少ない	466	24.3
3	ほぼ平均	868	45.3
4	平均より多い	341	17.8
5	平均よりかなり多い	33	1.7
9	無回答	32	1.7
計		1916	100.0

Q25 中学 3 年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。

**OP5SCHPF 中学 3 年生の頃の成績**

コード		ケース数	%
1	下の方	134	7.0
2	やや下の方	331	17.3
3	真ん中のあたり	757	39.5
4	やや上の方	428	22.3
5	上の方	252	13.2
9	無回答	14	0.7
計		1916	100.0

Q26 かりに現在の日本の社会全体を、以下の 5 つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると考えますか。

**OP5LEVK 階層帰属意識**

コード		ケース数	%
1	上	19	1.0
2	中の上	267	13.9
3	中の中	943	49.2
4	中の下	535	27.9
5	下	140	7.3
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

Q27 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

**AXECNSF 将来の経済的不安**

コード		ケース数	%
1	とても感じている	306	16.0
2	ある程度感じている	788	41.1
3	どちらともいえない	431	22.5
4	あまり感じていない	320	16.7
5	まったく感じていない	68	3.5
9	無回答	3	0.2
計		1916	100.0

Q28-1 あなたは、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。

**XCARE 介護経験(本人)**

コード		ケース数	%
1	したことがない	1236	64.5
2	現在行なっている	144	7.5
3	過去に行なったことがある	527	27.5
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

「2 現在行なっている」の場合

Q28-2 それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) XC2SS~XC2OTHR 介護の相手(本人) 共通 (変数名は下記参照)

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
XC2SS	1 配偶者	33	22.9
XC2PM	2 あなたの親	74	51.4
XC2SSPM	3 配偶者の親	38	26.4
XC2OTHR	4 その他 ( )	9	.5
該当者数		144	

Q29 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

**A 高齢者の生活保障(生活費)**

**OP5SRWFY 国か個人か: 高齢者の生活保障**

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	114	5.9
2	・	244	12.7
3	・	586	30.6
4	・	525	27.4
5	国や自治体の責任	404	21.1
9	無回答	43	2.2
計		1916	100.0

**B 高齢者の医療・介護**

**OP5SRMDY 国か個人か: 高齢者の医療・介護**

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	69	3.6
2	・	133	6.9
3	・	537	28.0
4	・	646	33.7
5	国や自治体の責任	486	25.4
9	無回答	45	2.3
計		1916	100.0

C 子どもの教育費

OP5CGED 国か個人か:子どもの教育

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	個人や家族の責任	246	12.8
2	・	367	19.2
3	・	618	32.3
4	・	370	19.3
5	国や自治体の責任	258	13.5
9	無回答	57	3.0
計		1916	100.0

D 保育・育児

OP5CCARE 国か個人か:保育・育児

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	個人や家族の責任	234	12.2
2	・	340	17.7
3	・	613	32.0
4	・	411	21.5
5	国や自治体の責任	260	13.6
9	無回答	58	3.0
計		1916	100.0

Q30 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA 貧富解消政策への賛否

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	賛成	471	24.6
2	どちらかといえば賛成	623	32.5
3	どちらともいえない	642	33.5
4	どちらかといえば反対	134	7.0
5	反対	36	1.9
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

Q31 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY 支持政党

コード <sup>*</sup>		ケース数	%
1	自民党	508	26.5
2	立憲民主党	138	7.2
3	希望の党	17	0.9
4	民進党	28	1.5
5	公明党	60	3.1
6	共産党	38	2.0
7	社民党	10	0.5
8	日本維新の会	20	1.0
9	自由党	2	0.1
10	その他の政党 ( )	3	0.2
11	特に支持する政党はない	828	43.2
12	わからない	250	13.0
19	新党大地	1	0.1
99	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

コード「19」は「10 その他の政党」の具体的記述から追加した

Q32 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

**APPCNUM 理想的な子どもの人数(一般論)**

コード		ケース数	%
0	0人	3	0.2
1	1人	21	1.1
2	2人	915	47.8
3	3人	885	46.2
4	4人	55	2.9
5	5人以上(具体的に 人)	10	0.5
9	無回答	27	1.4
計		1916	100.0

「5 5人以上(具体的に 人)」の場合

**APPCNMX 理想的な子どもの人数:5人以上の場合(具体的記述)**

コード		ケース数	%
実数記入	5人	6	60.0
	6人	3	30.0
999	無回答	1	10.0
計		10	100.0
888	非該当	1906	
計		1916	

Q33 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

**APPCGSXB 希望する子どもの性別**

コード		ケース数	%
1	男の子	808	42.2
2	女の子	1017	53.1
9	無回答	91	4.7
計		1916	100.0

Q34 あなたは一般に、三世代同居(親・子・孫の同居)は望ましいことだと考えますか。

**OP2GNR 三世代同居観**

コード		ケース数	%
1	望ましい	1136	59.3
2	望ましくない	741	38.7
9	無回答	39	2.0
計		1916	100.0

Q35 あなたは、同性どうしの結婚を法で認めることに賛成ですか、反対ですか。

**Q4SAMESM 同性婚への賛否**

コード		ケース数	%
1	賛成	329	17.2
2	どちらかといえば賛成	685	35.8
3	どちらかといえば反対	546	28.5
4	反対	322	16.8
9	無回答	34	1.8
計		1916	100.0

Q36 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

**QFNRINCR 外国人増加の賛否**

コード		ケース数	%
1	賛成	722	37.7
2	反対	1137	59.3
9	無回答	57	3.0
計		1916	100.0

Q37 日本では所得格差が大きくなりつつあると思いますか。

**OPINCDIF 所得格差への意見**

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	287	15.0
2	そう思う	662	34.6
3	どちらかといえばそう思う	606	31.6
4	どちらともいえない	291	15.2
5	どちらかといえばそう思わない	50	2.6
6	そう思わない	15	0.8
7	強くそう思わない	1	0.1
9	無回答	4	0.2
計		1916	100.0

Q38 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

**OP4TRUST 人への信頼感**

コード		ケース数	%
1	ほとんどの場合、信用できる	57	3.0
2	たいていは、信用できる	950	49.6
3	たいていは、用心したほうがよい	773	40.3
4	ほとんどの場合、用心したほうがよい	117	6.1
9	無回答	19	1.0
計		1916	100.0

Q39 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

**OP7GDEVO 人間観(一般):人間の本性**

コード		ケース数	%
1	人間の本性は本来「悪」である	50	2.6
2	・	67	3.5
3	・	222	11.6
4	・	664	34.7
5	・	470	24.5
6	・	295	15.4
7	人間の本性は本来「善」である	132	6.9
9	無回答	16	0.8
計		1916	100.0

Q40 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

A 大企業

TR3CORPZ 組織への信頼:大企業

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	146	7.6
2	少しは信頼している	1146	59.8
3	ほとんど信頼していない	332	17.3
4	わからない	277	14.5
9	無回答	15	0.8
計		1916	100.0

B 宗教団体

TR3RLGPZ 組織への信頼:宗教団体

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	33	1.7
2	少しは信頼している	203	10.6
3	ほとんど信頼していない	1288	67.2
4	わからない	379	19.8
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

C 学校

TR3SCHLZ 組織への信頼:学校

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	288	15.0
2	少しは信頼している	1260	65.8
3	ほとんど信頼していない	209	10.9
4	わからない	140	7.3
9	無回答	19	1.0
計		1916	100.0

D 中央官庁

TR3BCRAZ 組織への信頼:中央官庁

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	73	3.8
2	少しは信頼している	865	45.1
3	ほとんど信頼していない	562	29.3
4	わからない	397	20.7
9	無回答	19	1.0
計		1916	100.0

E 労働組合

TR3UNNZ 組織への信頼:労働組合

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	72	3.8
2	少しは信頼している	877	45.8
3	ほとんど信頼していない	437	22.8
4	わからない	513	26.8
9	無回答	17	0.9
計		1916	100.0

F 新聞

TR3NWSPZ 組織への信頼:新聞

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	291	15.2
2	少しは信頼している	1275	66.5
3	ほとんど信頼していない	212	11.1
4	わからない	124	6.5
9	無回答	14	0.7
計		1916	100.0

G 病院

TR3HSPLZ 組織への信頼:病院

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	497	25.9
2	少しは信頼している	1236	64.5
3	ほとんど信頼していない	98	5.1
4	わからない	70	3.7
9	無回答	15	0.8
計		1916	100.0

H テレビ

TR3TVZ 組織への信頼:テレビ

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	148	7.7
2	少しは信頼している	1186	61.9
3	ほとんど信頼していない	443	23.1
4	わからない	127	6.6
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

I 裁判所

TR3SPCAZ 組織への信頼:裁判所

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	378	19.7
2	少しは信頼している	1036	54.1
3	ほとんど信頼していない	136	7.1
4	わからない	354	18.5
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

J 学者・研究者

TR3ACDAZ 組織への信頼:学者・研究者

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	328	17.1
2	少しは信頼している	1017	53.1
3	ほとんど信頼していない	184	9.6
4	わからない	373	19.5
9	無回答	14	0.7
計		1916	100.0



K 国会議員

TR3GMNZ 組織への信頼:国会議員

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	21	1.1
2	少しは信頼している	516	26.9
3	ほとんど信頼していない	1060	55.3
4	わからない	307	16.0
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

L 市町村議会議員

TR3CITYZ 組織への信頼:市区町村議会議員

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	40	2.1
2	少しは信頼している	660	34.4
3	ほとんど信頼していない	889	46.4
4	わからない	308	16.1
9	無回答	19	1.0
計		1916	100.0

M 自衛隊

TR3DEFZ 組織への信頼:自衛隊

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	479	25.0
2	少しは信頼している	1044	54.5
3	ほとんど信頼していない	127	6.6
4	わからない	249	13.0
9	無回答	17	0.9
計		1916	100.0

N 警察

TR3COPZ 組織への信頼:警察

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	378	19.7
2	少しは信頼している	1155	60.3
3	ほとんど信頼していない	221	11.5
4	わからない	150	7.8
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

O 金融機関

TR3FINZ 組織への信頼:金融機関

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	277	14.5
2	少しは信頼している	1151	60.1
3	ほとんど信頼していない	260	13.6
4	わからない	215	11.2
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

Q41 あなたは、現在幸せですか。

**OP5HAPPZ 幸福度**

コード		ケース数	%
1	幸せ	477	24.9
2	・	709	37.0
3	・	563	29.4
4	・	111	5.8
5	不幸せ	25	1.3
9	無回答	31	1.6
計		1916	100.0

Q42 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

**A 政治関係の団体や会**

**MEMPLTGP 組織への所属:政治団体**

コード		ケース数	%
1	はい	44	2.3
2	いいえ	1865	97.3
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

**B 業界団体・同業者団体**

**MEMIND 組織への所属:業界団体**

コード		ケース数	%
1	はい	109	5.7
2	いいえ	1802	94.1
9	無回答	5	0.3
計		1916	100.0

**C ボランティアのグループ**

**MEMVLNTR 組織への所属:ボランティアのグループ**

コード		ケース数	%
1	はい	157	8.2
2	いいえ	1750	91.3
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

**D 市民運動・消費者運動のグループ**

**MEMCIVIL 組織への所属:市民運動のグループ**

コード		ケース数	%
1	はい	25	1.3
2	いいえ	1883	98.3
9	無回答	8	0.4
計		1916	100.0

**E 宗教の団体や会**

**MEMRL 組織への所属:宗教の団体や会**

コード		ケース数	%
1	はい	115	6.0
2	いいえ	1791	93.5
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

F スポーツ関係のグループやクラブ

MEMSPORT 組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ

コード		ケース数	%
1	はい	307	16.0
2	いいえ	1599	83.5
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

G 趣味の会(コーラス・写真・山歩きなど)

MEMHOBBY 組織への所属:趣味の会

コード		ケース数	%
1	はい	261	13.6
2	いいえ	1648	86.0
9	無回答	7	0.4
計		1916	100.0

H 消費生活協同組合(生協)

MEMCOOP 組織への所属:生協

コード		ケース数	%
1	はい	348	18.2
2	いいえ	1559	81.4
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

Q43-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL 信仰する宗教の有無(本人)

コード		ケース数	%
1	ある	172	9.0
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	358	18.7
3	ない	1370	71.5
9	無回答	16	0.8
計		1916	100.0

「1 ある」「2 特に信仰していないが、家の宗教はある」を選択した場合  
 Q43-2 それは何ですか。

XXRL 信仰する宗教(本人)

コード		ケース数	%	
10	仏教	125	23.3	
11	禅宗 (曹洞宗・臨済宗)	40	7.4	
12	天台宗	14	2.6	
13	浄土宗	21	3.9	
14	浄土真宗 (本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏)	122	22.7	
15	真言宗	35	6.5	
16	日蓮宗	22	4.1	
18	法華経・法華宗	1	0.2	
20	神道	8	1.5	
22	<b>大山ねずの命神示教会</b>	2	0.4	
29	仏教+神道 (仏様・神様)	7	1.3	
30	キリスト教	15	2.8	
31	カトリック	3	0.6	
32	プロテスタント	2	0.4	
33	ギリシア正教 (日本ハリストス正教会)	1	0.2	
35	エホバの証人	5	0.9	
36	世界救世教	1	0.2	
41	創価学会	27	5.0	
42	立正佼成会	1	0.2	
44	仏所護念会	1	0.2	
51	崇教真光・真光	1	0.2	
52	天理教	6	1.1	
53	真如苑	6	1.1	
56	靈波之光	2	0.4	
59	金光教	1	0.2	
80	先祖供養	3	0.6	
82	日蓮正宗	5	0.9	
85	その他	6	1.1	
99	無回答	54	10.1	
		計	537	100.0
88	非該当	1379		
		計	1916	

Q43-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS 信仰の度合い(本人)

コード		ケース数	%	
1	熱心である	48	8.9	
2	まあまあ熱心である	129	23.9	
3	そんなに熱心ではない	334	62.0	
9	無回答	28	5.2	
		計	539	100.0
8	非該当	1377		
		計	1916	

Q44 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような以下の大規模な災害が発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

## A 地震

## DISQUAKE 災害発生の可能性:地震

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	566	29.5
2	かなり有りうる	488	25.5
3	ある程度有りうる	740	38.6
4	ほとんど有りえない	112	5.8
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

## B 津波

## DISTSNM 災害発生の可能性:津波

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	115	6.0
2	かなり有りうる	144	7.5
3	ある程度有りうる	381	19.9
4	ほとんど有りえない	1268	66.2
9	無回答	8	0.4
計		1916	100.0

## C 高潮や河川の氾濫による水害

## DISFLOOD 災害発生の可能性:高潮や河川の氾濫

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	182	9.5
2	かなり有りうる	281	14.7
3	ある程度有りうる	610	31.8
4	ほとんど有りえない	832	43.4
9	無回答	11	0.6
計		1916	100.0

## D 豪雪

## DISTSNOW 災害発生の可能性:豪雪

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	137	7.2
2	かなり有りうる	161	8.4
3	ある程度有りうる	430	22.4
4	ほとんど有りえない	1177	61.4
9	無回答	11	0.6
計		1916	100.0

## E 噴火による災害

## DISVOLC 災害発生の可能性:噴火

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	65	3.4
2	かなり有りうる	80	4.2
3	ある程度有りうる	302	15.8
4	ほとんど有りえない	1459	76.1
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

F 土砂災害(地滑り、土石流など)

DISLAND 災害発生の可能性:土砂災害

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	107	5.6
2	かなり有りうる	173	9.0
3	ある程度有りうる	506	26.4
4	ほとんど有りえない	1120	58.5
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

G 原子力発電所の事故

DISNUC 災害発生の可能性:原子力発電所の事故

コード		ケース数	%
1	大いに有りうる	103	5.4
2	かなり有りうる	115	6.0
3	ある程度有りうる	394	20.6
4	ほとんど有りえない	1290	67.3
9	無回答	14	0.7
計		1916	100.0

Q45 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような大規模な災害が発生することに対して、どの程度不安を感じていますか。

AXDIS 災害発生に対する不安

コード		ケース数	%
1	とても不安	261	13.6
2	ある程度不安	711	37.1
3	少し不安	768	40.1
4	まったく不安ではない	171	8.9
9	無回答	5	0.3
計		1916	100.0

Q46 日本の原子力政策は、今後どの方向に進めるべきだとあなたは思いますか。

OPNUCPOL 原子力政策への意見

コード		ケース数	%
1	原子炉をさらに増やす	31	1.6
2	今ある原子炉は稼働し、数は増やさない	426	22.2
3	原子炉の数は減らすが、全廃はしない	423	22.1
4	原子炉を長期的にはすべて廃止する	731	38.2
5	原子炉を即時全廃する	248	12.9
9	無回答	57	3.0
計		1916	100.0

Q47 あなたは、放射性物質による食品の汚染にどの程度不安を感じていますか。

AXFDRAD 放射性物質による食品汚染の不安感

コード		ケース数	%
1	とても不安	378	19.7
2	ある程度不安	564	29.4
3	少し不安	748	39.0
4	まったく不安ではない	217	11.3
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

Q48 あなたの地域で自然災害が起こった場合、あなたの地域の人々は、お互いに協力して当面の危機を乗り切ることができると思いますか。

COMMDIS 自然災害時の地域の人どうしの協力

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	68	3.5
2	そう思う	422	22.0
3	どちらかといえばそう思う	778	40.6
4	どちらともいえない	492	25.7
5	どちらかといえばそう思わない	96	5.0
6	そう思わない	43	2.2
7	強くそう思わない	12	0.6
9	無回答	5	0.3
計		1916	100.0

Q49 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

A 大気汚染

ENHMAP 環境被害:大気汚染

コード		ケース数	%
1	とても深刻	48	2.5
2	ある程度深刻	344	18.0
3	あまり深刻ではない	1109	57.9
4	まったく深刻ではない	397	20.7
9	無回答	18	0.9
計		1916	100.0

B 水質汚染

ENHMWP 環境被害:水質汚染

コード		ケース数	%
1	とても深刻	47	2.5
2	ある程度深刻	254	13.3
3	あまり深刻ではない	1159	60.5
4	まったく深刻ではない	438	22.9
9	無回答	18	0.9
計		1916	100.0

C 土壌汚染

ENHMSP 環境被害:土壌汚染

コード		ケース数	%
1	とても深刻	39	2.0
2	ある程度深刻	200	10.4
3	あまり深刻ではない	1182	61.7
4	まったく深刻ではない	479	25.0
9	無回答	16	0.8
計		1916	100.0

ここからは、家族についての意見をうかがいます。

Q50 「結婚した男女は親を経済的に支援すべきだ」という意見について、あなたはどのように思いますか。  
それぞれの場合について、お答えください。

A 結婚した男性→自分の親

OPISMM 世代間援助への意見:既婚男性から自分の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	111	5.8
2	そう思う	379	19.8
3	どちらかといえばそう思う	520	27.1
4	どちらともいえない	524	27.3
5	どちらかといえばそう思わない	124	6.5
6	そう思わない	179	9.3
7	強くそう思わない	36	1.9
9	無回答	43	2.2
計		1916	100.0

B 結婚した女性→自分の親

OPISMW 世代間援助への意見:既婚女性から自分の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	73	3.8
2	そう思う	285	14.9
3	どちらかといえばそう思う	449	23.4
4	どちらともいえない	647	33.8
5	どちらかといえばそう思わない	156	8.1
6	そう思わない	215	11.2
7	強くそう思わない	45	2.3
9	無回答	46	2.4
計		1916	100.0

C 結婚した男性→妻の親

OPISMMSS 世代間援助への意見:既婚男性から妻の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	52	2.7
2	そう思う	247	12.9
3	どちらかといえばそう思う	450	23.5
4	どちらともいえない	684	35.7
5	どちらかといえばそう思わない	178	9.3
6	そう思わない	206	10.8
7	強くそう思わない	55	2.9
9	無回答	44	2.3
計		1916	100.0



D 結婚した女性→夫の親

OPISMWSS 世代間援助への意見:既婚女性から夫の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	61	3.2
2	そう思う	252	13.2
3	どちらかといえばそう思う	460	24.0
4	どちらともいえない	645	33.7
5	どちらかといえばそう思わない	173	9.0
6	そう思わない	221	11.5
7	強くそう思わない	58	3.0
9	無回答	46	2.4
計		1916	100.0

Q51 一般的に、年老いた親の世話は、どの子ども（またはその家族）に責任があると思いますか。次のなかからあてはまるもの1つに○をつけてください。

OPPPCARE 老親の世話の責任

コード		ケース数	%
1	長男	221	11.5
2	息子の誰か	22	1.1
3	娘の誰か	13	0.7
4	子どもの誰か	246	12.8
5	子ども全員	1165	60.8
6	子どもに責任はない	209	10.9
7	その他（具体的に )	21	1.1
9	無回答	19	1.0
計		1916	100.0

Q52 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ

Q7FFAUTH 家系継承規範:父親の権威を尊重

コード		ケース数	%
1	強く賛成	38	2.0
2	賛成	216	11.3
3	どちらかといえば賛成	563	29.4
4	どちらともいえない	717	37.4
5	どちらかといえば反対	180	9.4
6	反対	124	6.5
7	強く反対	68	3.5
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

B 親の誇りとなるように、子どもは努力するべきだ

Q7FFHNR 家系継承規範:子どもは親の誇りに

コード		ケース数	%
1	強く賛成	35	1.8
2	賛成	203	10.6
3	どちらかといえば賛成	416	21.7
4	どちらともいえない	757	39.5
5	どちらかといえば反対	229	12.0
6	反対	190	9.9
7	強く反対	76	4.0
9	無回答	10	0.5
計		1916	100.0

C 家系の存続のためには、息子を少なくとも1人もつべきだ

Q7FFNDMN 家系継承規範:息子が必要

コード		ケース数	%
1	強く賛成	60	3.1
2	賛成	226	11.8
3	どちらかといえば賛成	361	18.8
4	どちらともいえない	850	44.4
5	どちらかといえば反対	151	7.9
6	反対	172	9.0
7	強く反対	84	4.4
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

D 夫と妻の両方の親族が、妻の助けを必要としている時には、妻は夫の親族を優先して助けるべきだ

Q7PRMAN 家優先規範:妻より夫の親族を優先

コード		ケース数	%
1	強く賛成	16	0.8
2	賛成	98	5.1
3	どちらかといえば賛成	228	11.9
4	どちらともいえない	999	52.1
5	どちらかといえば反対	248	12.9
6	反対	214	11.2
7	強く反対	101	5.3
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

E 自分の幸福よりも、家族の幸福や利益を優先するべきだ

Q7PRFF 家優先規範:自分より家族を優先

コード		ケース数	%
1	強く賛成	69	3.6
2	賛成	278	14.5
3	どちらかといえば賛成	548	28.6
4	どちらともいえない	762	39.8
5	どちらかといえば反対	158	8.2
6	反対	63	3.3
7	強く反対	29	1.5
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

Q53 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫は、妻より年上であるべきだ

Q7MGOLD 結婚規範:夫は年上

コード		ケース数	%
1	強く賛成	11	0.6
2	賛成	77	4.0
3	どちらかといえば賛成	112	5.8
4	どちらともいえない	1213	63.3
5	どちらかといえば反対	115	6.0
6	反対	242	12.6
7	強く反対	134	7.0
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

B 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

Q7MGCC 結婚規範:子どもをもつ必要

コード		ケース数	%
1	強く賛成	89	4.6
2	賛成	287	15.0
3	どちらかといえば賛成	226	11.8
4	どちらともいえない	760	39.7
5	どちらかといえば反対	340	17.7
6	反対	159	8.3
7	強く反対	42	2.2
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

C 結婚している男性は、結婚していない男性より幸せだ

Q7MGMNHP 結婚規範:男性の結婚は幸福

コード		ケース数	%
1	強く賛成	29	1.5
2	賛成	155	8.1
3	どちらかといえば賛成	279	14.6
4	どちらともいえない	1202	62.7
5	どちらかといえば反対	84	4.4
6	反対	96	5.0
7	強く反対	55	2.9
9	無回答	16	0.8
計		1916	100.0

D 結婚している女性は、結婚していない女性より幸せだ

Q7MGWNHP 結婚規範:女性の結婚は幸福

コード		ケース数	%
1	強く賛成	21	1.1
2	賛成	154	8.0
3	どちらかといえば賛成	269	14.0
4	どちらともいえない	1226	64.0
5	どちらかといえば反対	72	3.8
6	反対	103	5.4
7	強く反対	53	2.8
9	無回答	18	0.9
計		1916	100.0

E 結婚するつもりがなくても、男女が同棲するのはかまわない

**Q7MGC0H 結婚規範: 同棲はかまわない**

コード		ケース数	%
1	強く賛成	58	3.0
2	賛成	324	16.9
3	どちらかといえば賛成	411	21.5
4	どちらともいえない	606	31.6
5	どちらかといえば反対	310	16.2
6	反対	147	7.7
7	強く反対	47	2.5
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

F 離婚したくても、子どもが大きくなるまで待つべきだ

**Q7MGDVCC 結婚規範: 離婚は子が育つまで待つ**

コード		ケース数	%
1	強く賛成	51	2.7
2	賛成	195	10.2
3	どちらかといえば賛成	328	17.1
4	どちらともいえない	907	47.3
5	どちらかといえば反対	230	12.0
6	反対	140	7.3
7	強く反対	53	2.8
9	無回答	12	0.6
計		1916	100.0

G 結婚生活がうまくいかなくなったら、たいていの場合、離婚するのが一番よい

**Q7MGDVGD 結婚規範: 離婚はよい手段**

コード		ケース数	%
1	強く賛成	41	2.1
2	賛成	192	10.0
3	どちらかといえば賛成	403	21.0
4	どちらともいえない	983	51.3
5	どちらかといえば反対	200	10.4
6	反対	73	3.8
7	強く反対	15	0.8
9	無回答	9	0.5
計		1916	100.0

Q54 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 妻にとっては、自分自身の仕事よりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

**Q7WWHPHH 性別規範: 妻は夫の手助け**

コード		ケース数	%
1	強く賛成	17	0.9
2	賛成	111	5.8
3	どちらかといえば賛成	266	13.9
4	どちらともいえない	895	46.7
5	どちらかといえば反対	324	16.9
6	反対	214	11.2
7	強く反対	73	3.8
9	無回答	16	0.8
計		1916	100.0

B 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q7WWHHX 性別規範:性役割分担

コード		ケース数	%
1	強く賛成	23	1.2
2	賛成	122	6.4
3	どちらかといえば賛成	255	13.3
4	どちらともいえない	821	42.8
5	どちらかといえば反対	309	16.1
6	反対	277	14.5
7	強く反対	96	5.0
9	無回答	13	0.7
計		1916	100.0

C 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える

Q7JBMMCC 意見についての賛否:子どもへの影響 (EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	強く賛成	23	1.2
2	賛成	90	4.7
3	どちらかといえば賛成	244	12.7
4	どちらともいえない	863	45.0
5	どちらかといえば反対	264	13.8
6	反対	302	15.8
7	強く反対	116	6.1
9	無回答	14	0.7
計		1916	100.0

D 結婚することの最大の利点は経済的安定を得られることである

Q7MGECSX 結婚規範:経済的安定

コード		ケース数	%
1	強く賛成	26	1.4
2	賛成	108	5.6
3	どちらかといえば賛成	307	16.0
4	どちらともいえない	887	46.3
5	どちらかといえば反対	255	13.3
6	反対	239	12.5
7	強く反対	77	4.0
9	無回答	17	0.9
計		1916	100.0

Q55-1 あなたご自身のご両親との関係についておうかがいします。あなた自身のご両親はご存命ですか。

PMDTH 両親の存否

コード		ケース数	%
1	両親とも存命	690	36.0
2	父親のみ存命	67	3.5
3	母親のみ存命	386	20.1
4	両親ともすでに亡くなっている	768	40.1
9	無回答	5	0.3
計		1916	100.0

「1 両親とも存命」「2 父親のみ存命」「3 母親のみ存命」の場合  
 Q55-2 過去1年間に、あなたはご自身の親へ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPE2PM 世代間の経済的援助:回答者から両親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	48	4.2
2	頻繁に	67	5.9
3	時々	197	17.2
4	ほとんどない	352	30.7
5	まったくない	466	40.7
9	無回答	15	1.3
		計	1145
8	非該当	771	100.0
		計	1916

B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護

HLPP2PM 世代間の実践的援助:回答者から両親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	98	8.6
2	頻繁に	113	9.9
3	時々	335	29.3
4	ほとんどない	265	23.1
5	まったくない	321	28.0
9	無回答	13	1.1
		計	1145
8	非該当	771	100.0
		計	1916

Q55-3 過去1年間に、あなたの親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPEFPM 世代間の経済的援助:両親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	66	5.8
2	頻繁に	105	9.2
3	時々	309	27.0
4	ほとんどない	289	25.2
5	まったくない	362	31.6
9	無回答	14	1.2
		計	1145
8	非該当	771	100.0
		計	1916

B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児  
HLPPFPM 世代間の実践的援助：両親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	127	11.1
2	頻繁に	139	12.1
3	時々	232	20.3
4	ほとんどない	224	19.6
5	まったくない	407	35.5
9	無回答	16	1.4
		計	1145
8	非該当	771	100.0
		計	1916

Q55-4 ご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

あなたの父親

MMHLTHZ 父親：健康状態

コード		ケース数	%
1	良い	163	14.2
2	・	205	17.9
3	・	223	19.5
4	・	104	9.1
5	悪い	42	3.7
6	亡くなっている	389	34.0
9	無回答	19	1.7
		計	1145
8	非該当	771	100.0
		計	1916

あなたの母親

PPHLTHZ 母親：健康状態

コード		ケース数	%
1	良い	193	16.9
2	・	280	24.5
3	・	317	27.7
4	・	203	17.7
5	悪い	64	5.6
6	亡くなっている	67	5.9
9	無回答	21	1.8
		計	1145
8	非該当	771	100.0
		計	1916

Q56 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒にレジャー活動を行なうことがどのくらいありますか。  
(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)。

**FQFFLSR 家族一緒にレジャー活動の頻度**

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	6	0.3
2	週に数回	41	2.1
3	週に1回程度	141	7.4
4	月に1回程度	277	14.5
5	年に数回	623	32.5
6	年に1回程度	291	15.2
7	年に1回もない	296	15.4
8	家族とは一緒に暮らしていない	176	9.2
99	無回答	65	3.4
		計	1916
			100.0

Q57 あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。ある方は何回ありますか。

**XMARRY 結婚経験**

コード		ケース数	%
1	結婚したことがある	1615	84.3
2	結婚したことがない	301	15.7
9	無回答	0	0.0
		計	1916
			100.0

**NUMMARRY 結婚の回数**

コード		ケース数	%
実数記入	1回	1539	95.3
	2回	61	3.8
	3回	4	0.2
	4回	1	0.1
99	無回答	10	0.6
		計	1615
			100.0
88	非該当	301	
		計	1916

Q56に「1 結婚したことがある」の場合

Q57 結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

**AGE1MG 初婚年齢**

コード		ケース数	%
実数記入	15～19 歳	36	2.2
	20～29 歳	1242	77.4
	30～39 歳	288	17.9
	40～49 歳	19	1.2
	50～59 歳	4	0.3
	60～69 歳	1	0.1
	70 歳～	0	0
99	無回答	15	0.9
		計	1605
			100.0
88	非該当	311	
		計	1916



AGE2MG 結婚した年齢:2 回目

コード		ケース数	%
実数記入	15～19 歳	0	0
	20～29 歳	14	21.2
	30～39 歳	32	48.5
	40～49 歳	14	21.2
	50～59 歳	2	3.0
	60～69 歳	1	1.5
	70 歳～	1	1.5
99	無回答	2	3.0
		計	66
88	非該当	1850	100.0
		計	1916

AGE[3-4]MG 結婚した年齢:[3-4]回目

これらの変数の単純集計は記載していません。

Q58 現在、配偶者（夫や妻）はいますか。

DOMARRYZ 結婚状況(留置票)

コード		ケース数	%
1	現在、配偶者がいる	1367	84.6
2	離婚した（離婚を前提に別居中を含む）	100	6.2
3	死に別れた	148	9.2
9	無回答	0	0
		計	1615
8	非該当	301	100.0
		計	1916

Q60 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 夕食の用意

SSFQ7CK 夕食の用意:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	620	45.4
2	週に数回	115	8.4
3	週に1回程度	82	6.0
4	月に1回程度	50	3.7
5	年に数回	112	8.2
6	年に1回程度	34	2.5
7	まったくしていない	342	25.0
9	無回答	12	0.9
		計	1367
8	非該当	549	100.0
		計	1916

B 洗濯

SSFQ7WSH 洗濯:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	529	38.7
2	週に数回	210	15.4
3	週に1回程度	79	5.8
4	月に1回程度	61	4.5
5	年に数回	83	6.1
6	年に1回程度	35	2.6
7	まったくしていない	355	26.0
9	無回答	15	1.1
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

C 買い物(日用品や食料品の買い物)

SSFQ7SHP 買い物:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	318	16.6
2	週に数回	393	20.5
3	週に1回程度	257	13.4
4	月に1回程度	130	6.8
5	年に数回	91	4.7
6	年に1回程度	18	0.9
7	まったくしていない	146	7.6
9	無回答	14	0.7
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

D 家の掃除

SSFQ7CLN 家の掃除:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	331	24.2
2	週に数回	307	22.5
3	週に1回程度	205	15.0
4	月に1回程度	118	8.6
5	年に数回	137	10.0
6	年に1回程度	46	3.4
7	まったくしていない	209	15.3
9	無回答	14	1.0
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

E ゴミ出し

SSFQ7GRB ゴミ出し:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	238	17.4
2	週に数回	505	36.9
3	週に1回程度	151	11.0
4	月に1回程度	96	7.0
5	年に数回	100	7.3
6	年に1回程度	33	2.4
7	まったくしていない	231	16.9
9	無回答	13	1.0
	計	1367	100.0
8	非該当	549	
	計	1916	

F 家の簡単な修理(電球の交換、壁や庭の補修など)

SSFQ7RPH 家の簡単な修理:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	63	4.6
2	週に数回	92	6.7
3	週に1回程度	105	7.7
4	月に1回程度	280	20.5
5	年に数回	410	30.0
6	年に1回程度	163	11.9
7	まったくしていない	239	17.5
9	無回答	15	1.1
	計	1367	100.0
8	非該当	549	
	計	1916	

Q61 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ 健康状態(配偶者)

コード		ケース数	%
1	良い	399	29.2
2	・	429	31.4
3	・	360	26.3
4	・	131	9.6
5	悪い	30	2.2
9	無回答	18	1.3
	計	1367	100.0
8	非該当	549	
	計	1916	

Q62-1 あなたの配偶者は、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。(あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含みます)

SSCARE 介護経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	したことがない	964	70.5
2	現在行なっている	93	6.8
3	過去に行なったことがある	282	20.6
9	無回答	28	2.0
		計	1367
8	非該当	549	100.0
		計	1916

「2 現在行なっている」の場合

Q62-2 それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

SSC2R~SSC2OTHR 介護の相手(配偶者)

コード		選択者数	%
0	非選択		
1	選択		
9	無回答		
多重回答			
SSC2R	回答者	13	14.0
SSC2PM	回答者の親	26	28.0
SSC2SSPM	配偶者の親	49	52.7
SSC2OTHR	その他	4	4.3
		該当者数	93

Q63 あなたの配偶者は、あなたの悩みを聞いてくれますか。

SSTR1STN 配偶者との情緒的關係:配偶者が悩みを聞く

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	144	10.5
2	そう思う	450	32.9
3	どちらかといえばそう思う	365	26.7
4	どちらともいえない	192	14.0
5	どちらかといえばそう思わない	71	5.2
6	そう思わない	63	4.6
7	強くそう思わない	33	2.4
9	無回答	49	3.6
		計	1367
8	非該当	549	100.0
		計	1916

Q64 あなたの配偶者は、あなたに悩みを打ち明けてくれますか。

**SSTRSPK 配偶者との情緒的關係:あなたが悩みを聞く**

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	97	7.1
2	そう思う	411	30.1
3	どちらかといえばそう思う	411	30.1
4	どちらともいえない	239	17.5
5	どちらかといえばそう思わない	85	6.2
6	そう思わない	71	5.2
7	強くそう思わない	25	1.8
9	無回答	28	2.0
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

Q65 次のことは、主にどなたが決めていますか（決めていましたか）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

**A 子どものしつけや教育**

**DMCCED 家庭内の意思決定者:子どもの教育**

コード		ケース数	%
1	いつも私	74	5.4
2	だいたい私	270	19.8
3	私と配偶者が同程度に	591	43.2
4	だいたい配偶者	224	16.4
5	いつも配偶者	43	3.1
6	その他の家族	6	0.4
7	そのようなことを決める機会は無かった	115	8.4
9	無回答	44	3.2
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

**B 自分の親の世話の仕方**

**DMPPSPPT 家庭内の意思決定者:親の世話**

コード		ケース数	%
1	いつも私	113	8.3
2	だいたい私	241	17.6
3	私と配偶者が同程度に	432	31.6
4	だいたい配偶者	133	9.7
5	いつも配偶者	36	2.6
6	その他の家族	36	2.6
7	そのようなことを決める機会は無かった	332	24.3
9	無回答	44	3.2
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

C 家計の管理

DMEXP 家庭内の意思決定者:家計の管理

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	いつも私	196	14.3
2	だいたい私	318	23.3
3	私と配偶者が同程度に	302	22.1
4	だいたい配偶者	311	22.8
5	いつも配偶者	191	14.0
6	その他の家族	2	0.1
7	そのようなことを決める機会はなかった	17	1.2
9	無回答	30	2.2
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

D 高価な品物の購入

DMHIEXP 家庭内の意思決定者:高価な品物の購入

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	いつも私	88	6.4
2	だいたい私	184	13.5
3	私と配偶者が同程度に	772	56.5
4	だいたい配偶者	184	13.5
5	いつも配偶者	69	5.0
6	その他の家族	2	0.1
7	そのようなことを決める機会はなかった	37	2.7
9	無回答	31	2.3
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

Q66-1 配偶者のご両親はご存命ですか。

PMLDTH 義親の存否

コード <sup>※</sup>		ケース数	%
1	両親とも存命	415	30.4
2	父親のみ存命	61	4.5
3	母親のみ存命	306	22.4
4	両親ともすでに亡くなっている	566	41.4
9	無回答	19	1.4
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

「1 両親とも存命」「2 父親のみ存命」「3 母親のみ存命」の場合  
 Q66-2 過去1年間に、あなたは配偶者の親へ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPE2PML 世代間の経済的援助:回答者から義親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	12	1.5
2	頻繁に	21	2.7
3	時々	75	9.6
4	ほとんどない	233	29.8
5	まったくない	427	54.6
9	無回答	14	1.8
		計	782
8	非該当	1134	100.0
		計	1916

B 家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や介護

HLPP2PML 世代間の実践的援助:回答者から義親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	34	4.3
2	頻繁に	36	4.6
3	時々	104	13.3
4	ほとんどない	215	27.5
5	まったくない	379	48.5
9	無回答	14	1.8
		計	782
8	非該当	1134	100.0
		計	1916

Q66-3 過去1年間に、配偶者の親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPEFPML 世代間の経済的援助:義親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	10	1.3
2	頻繁に	20	2.6
3	時々	151	19.3
4	ほとんどない	222	28.4
5	まったくない	365	46.7
9	無回答	14	1.8
		計	782
8	非該当	1134	100.0
		計	1916

B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児  
HLPPFPML 世代間の実践的援助：義親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	21	2.7
2	頻繁に	28	3.6
3	時々	131	16.8
4	ほとんどない	163	20.8
5	まったくない	425	54.3
9	無回答	14	1.8
		計	782
8	非該当	1134	
		計	1916

Q66-4 配偶者のご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

配偶者の父親

MMLHLTHZ 義父：健康状態

コード		ケース数	%
1	良い	103	13.2
2	・	141	18.0
3	・	128	16.4
4	・	73	9.3
5	悪い	20	2.6
6	亡くなっている	306	39.1
9	無回答	11	1.4
		計	782
8	非該当	1134	
		計	1916

配偶者の母親

PPLHLTHZ 義母：健康状態

コード		ケース数	%
1	良い	123	15.7
2	・	195	24.9
3	・	197	25.2
4	・	138	17.6
5	悪い	49	6.3
6	亡くなっている	61	7.8
9	無回答	19	2.4
		計	782
8	非該当	1134	
		計	1916



Q67 あなたは、現在の結婚生活に全体として満足していますか。

**STMGLF 生活満足度:結婚生活**

コード		ケース数	%
1	非常に満足	333	24.4
2	・	560	41.0
3	・	335	24.5
4	・	88	6.4
5	非常に不満	27	2.0
9	無回答	24	1.8
		計	1367
8	非該当	549	
		計	1916

Q68-1 あなたは配偶者の方とどのようなかたちで出会いましたか。

**FSTMTSS 配偶者との出会いのきっかけ**

コード		ケース数	%
1	見合い	234	15.4
2	人からの紹介（見合い以外）	450	29.7
3	見合いでも紹介でもない	791	52.2
9	無回答	40	2.6
		計	1515
8	非該当	401	
		計	1916

「1見合い」「2人からの紹介（見合い以外）」の場合

Q68-2A どなたがお相手を紹介したり、見合いの準備をしたりしましたか。

**WHOINTSS 配偶者の紹介者**

コード		ケース数	%
1	きょうだい・いとこ	47	6.8
2	親・その他の親族	183	26.6
3	友人・クラスメイト	207	30.1
4	同僚	98	14.3
5	近所の人	65	9.5
6	結婚相手を紹介する個人や機関	31	4.5
7	その他（具体的に_____）	37	5.4
9	無回答	19	2.8
		計	687
8	非該当	1229	
		計	1916

「3見合いでも紹介でもない」の場合

Q68-2B どこで配偶者の方と出会いましたか。

**WHRMTSS 配偶者と出会った場所**

コード		ケース数	%
1	近所で	64	8.1
2	学校で	136	17.2
3	職場で	419	53.0
4	その他の機会（具体的に_____）	163	20.6
9	無回答	9	1.1
		計	791
8	非該当	1125	
		計	1916

Q69 配偶者の方にとって、あなたとの結婚は初婚でしたか、再婚でしたか。

XSSRMG 配偶者の初婚・再婚

コード		ケース数	%
1	初婚	1421	93.8
2	再婚	75	5.0
9	無回答	19	1.3
		計	1515
8	非該当	401	
		計	1916

Q70 あなたが配偶者の方との結婚を決めた時、あなたの親の意見はどの程度影響しましたか。

INFLPMMG 結婚の決定への親の影響力

コード		ケース数	%
1	かなり影響した	109	7.2
2	ある程度影響した	284	18.7
3	あまり影響しなかった	470	31.0
4	まったく影響しなかった	602	39.7
5	親はその時すでに亡くなっていた	23	1.5
9	無回答	27	1.8
		計	1515
8	非該当	401	
		計	1916

Q71 あなたには、18歳以上の子どもがいますか。

XCC18 18歳以上の子どもの有無

コード		ケース数	%
1	いる	1099	68.0
2	いない	513	31.8
9	無回答	3	0.2
		計	1615
8	非該当	301	
		計	1916

「1いる」の場合

Q72 18歳以上のお子さんのうち、日ごろ、あなたともっともよく接しているのは、次のうちどなたですか。電話やメール、インターネットでのやり取りも含みます。やり取りが同じくらいのお子さんが、2人以上いる場合は、最近、もっともよく話しているお子さん1人を選んでください。

CC18CNT もっとも接している18歳以上の子ども

コード		ケース数	%
1	息子（長男）	353	32.1
2	息子（長男以外）	117	10.6
3	娘（長女）	438	39.9
4	娘（長女以外）	101	9.2
5	娘（長女）の夫	0	0
6	娘（長女以外）の夫	0	0
7	息子（長男）の妻	19	1.7
8	息子（長男以外）の妻	5	0.5
99	無回答	66	6.0
		計	1099
88	非該当	817	
		計	1916

Q73 そのお子さんとは同居されていますか。

LVTGCC18 子どもとの同居

コード		ケース数	%
1	はい	487	44.3
2	いいえ	586	53.3
9	無回答	26	2.4
		計	1099
8	非該当	817	
		計	1916

Q74 過去1年間に、あなたはその子どもへ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPE2CC 世代間の経済的援助:回答者から子ども

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	97	8.8
2	頻繁に	96	8.7
3	時々	277	25.2
4	ほとんどない	271	24.7
5	まったくない	327	29.8
9	無回答	31	2.8
		計	1099
8	非該当	817	
		計	1916

B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児

HLPP2CC 世代間の実践的援助:回答者から子ども

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	147	13.4
2	頻繁に	143	13.0
3	時々	258	23.5
4	ほとんどない	202	18.4
5	まったくない	313	28.5
9	無回答	36	3.3
		計	1099
8	非該当	817	
		計	1916

Q75 過去1年間に、その子どもはあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPEFCC 世代間の経済的援助:子どもから回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	18	1.6
2	頻繁に	46	4.2
3	時々	174	15.8
4	ほとんどない	247	22.5
5	まったくない	583	53.0
9	無回答	31	2.8
		計	1099
8	非該当	817	
		計	1916

B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護  
 HLPPFCC 世代間の実践的援助：子どもから回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	33	3.0
2	頻繁に	71	6.5
3	時々	298	27.1
4	ほとんどない	277	25.2
5	まったくない	389	35.4
9	無回答	31	2.8
		計	1099
			100.0
8	非該当	817	
		計	1916

竹本 圭佑

## II.3 事項索引

事項索引には、JGSS-2018 の変数を見出しの 50 音順に掲載している。それ以外の変数については JGSS ホームページを参照のこと。

[略号・記号]

面：面接調査票，留：留置調査票，調：調査員記入票（面接調査票末尾），\*：調査票冒頭欄，F：調査員記入欄，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし]

大見出し	小見出し	変数名	変数ラベル	調査票	質問番号
ウエイト	ウエイト	WEIGHT	ウエイト		◇
エコロジー	エコ行動	DOECLMC	エコ商品の利用:低公害車	留	Q19 4
		DOECMNP	エコ商品の利用:深夜電力	留	Q19 2
		DOECNONE	エコ商品の利用:いずれも利用していない	留	Q19 5
		DOECSLP	エコ商品の利用:ソーラーパネル	留	Q19 1
		DOECWC	エコ商品の利用:エコウィル・エコキュート	留	Q19 3
		FQ4DENKI	電気はこまめに消す	留	Q20 A
		FQ4ELC	消費電力を減らす工夫	留	Q20 B
	環境問題	AXFDRAD	放射性物質による食品汚染の不安感	留	Q47
		ENHMSP	環境被害:土壌汚染	留	Q49 C
	NSC モジュール	地域環境	COMMDIS	自然災害時の地域の人どうしの協力	留
外国	外国人増加	QFNRINCR	外国人増加の賛否	留	Q36
階層	階層	OP10LVL	自分の位置する階層	面	問 48
		OP5LEVK	階層帰属意識	留	Q26
	経済的不安	AXECNSF	将来の経済的不安	留	Q27
	世帯収入	OP5FFINX	世帯収入のレベル	留	Q23
OPFFIX15		15 歳の頃の世帯収入レベル	留	Q24	
家族	きょうだい	XNUMBROE	兄弟姉妹人数(兄)	面	問 45-1
		XNUMBROY	兄弟姉妹人数(弟)	面	問 45-1
		XNUMSISE	兄弟姉妹人数(姉)	面	問 45-1
		XNUMSISY	兄弟姉妹人数(妹)	面	問 45-1
	ジェンダー	Q7JBMCC	意見についての賛否:子どもへの影響 (EASS 尺度)	留	Q54 C
	その他	FFH01AGE	その他の家族 01:年齢	面	問 41-2 C
		FFH01JOB	その他の家族 01:就労の有無	面	問 41-2 E
		FFH01MG	その他の家族 01:結婚状況	面	問 41-2 D
		FFH01REL	その他の家族 01:続柄	面	問 41-2 A
		FFH01SEX	その他の家族 01:性別	面	問 41-2 B
		FFH02AGE	その他の家族 02:年齢	面	問 41-2 C
		FFH02JOB	その他の家族 02:就労の有無	面	問 41-2 E
		FFH02MG	その他の家族 02:結婚状況	面	問 41-2 D

	FFH02REL	その他の家族 02:続柄	面	問 41-2 A
	FFH02SEX	その他の家族 02:性別	面	問 41-2 B
	FFH03AGE	その他の家族 03:年齢	面	問 41-2 C
	FFH03JOB	その他の家族 03:就労の有無	面	問 41-2 E
	FFH03MG	その他の家族 03:結婚状況	面	問 41-2 D
	FFH03REL	その他の家族 03:続柄	面	問 41-2 A
	FFH03SEX	その他の家族 03:性別	面	問 41-2 B
	FFH04AGE	その他の家族 04:年齢	面	問 41-2 C
	FFH04JOB	その他の家族 04:就労の有無	面	問 41-2 E
	FFH04MG	その他の家族 04:結婚状況	面	問 41-2 D
	FFH04REL	その他の家族 04:続柄	面	問 41-2 A
	FFH04SEX	その他の家族 04:性別	面	問 41-2 B
	FFH05AGE	その他の家族 05:年齢	面	問 41-2 C
	FFH05JOB	その他の家族 05:就労の有無	面	問 41-2 E
	FFH05MG	その他の家族 05:結婚状況	面	問 41-2 D
	FFH05REL	その他の家族 05:続柄	面	問 41-2 A
	FFH05SEX	その他の家族 05:性別	面	問 41-2 B
	SZFFOTHR	その他の家族の人数	面	問 41-1
義きょうだい	XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数(兄)	面	問 45-2
	XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数(弟)	面	問 45-2
	XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数(姉)	面	問 45-2
	XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数(妹)	面	問 45-2
義親	MMLAGE	義母:年齢	面	問 39 A
	MMLCNTA	義母:接触頻度(直接)	面	問 39 H
	MMLCNTB	義母:接触頻度(間接)	面	問 39 I
	MMLDIST	義母:家までの距離	面	問 39 G
	MMLFAM	義母:同居者	面	問 39 F
	MMLJOB	義母:就労の有無	面	問 39 C
	MMLLIVE	義母:生死	面	問 39
	MMLLVT	義母:同居・別居・一時別居	面	問 39 D
	MMLLVT0	義母:別居・一時別居	面	問 39
	MMLMG	義母:結婚状況	面	問 39 B
	MMLWHY	義母:別居理由	面	問 39 E
	PPLAGE	義父:年齢	面	問 39 A
	PPLCNTA	義父:接触頻度(直接)	面	問 39 H
	PPLCNTB	義父:接触頻度(間接)	面	問 39 I
	PPLDIST	義父:家までの距離	面	問 39 G
	PPLFAM	義父:同居者	面	問 39 F
	PPLJOB	義父:就労の有無	面	問 39 C
	PPLLIVE	義父:生死	面	問 39
	PPLLVT	義父:同居・別居・一時別居	面	問 39 D
	PPLLVT0	義父:別居・一時別居	面	問 39
	PPLMG	義父:結婚状況	面	問 39 B

	PPLWHY	義父:別居理由	面	問 39 E
婚姻	AGE1MG	初婚年齢	留	Q58 1
	DOMARRY	結婚状況	面	問 27-1
	XMARRY	結婚経験	留	Q57
子ども	CC01AGE	子ども 01:年齢	面	問 40 C
	CC01CNTA	子ども 01:接触頻度(直接)	面	問 40 I
	CC01CNTB	子ども 01:接触頻度(間接)	面	問 40 J
	CC01DIST	子ども 01:家までの距離	面	問 40 H
	CC01JOB	子ども 01:就労の有無	面	問 40 E
	CC01LIVE	子ども 01:生死	面	問 40 B
	CC01LVT	子ども 01:同居・別居・一時別居	面	問 40 F
	CC01MG	子ども 01:結婚状況	面	問 40 D
	CC01SEX	子ども 01:性別	面	問 40 A
	CC01WHY	子ども 01:一時別居理由	面	問 40 G
	CC02AGE	子ども 02:年齢	面	問 40 C
	CC02CNTA	子ども 02:接触頻度(直接)	面	問 40 I
	CC02CNTB	子ども 02:接触頻度(間接)	面	問 40 J
	CC02DIST	子ども 02:家までの距離	面	問 40 H
	CC02JOB	子ども 02:就労の有無	面	問 40 E
	CC02LIVE	子ども 02:生死	面	問 40 B
	CC02LVT	子ども 02:同居・別居・一時別居	面	問 40 F
	CC02MG	子ども 02:結婚状況	面	問 40 D
	CC02SEX	子ども 02:性別	面	問 40 A
	CC02WHY	子ども 02:一時別居理由	面	問 40 G
	CC03AGE	子ども 03:年齢	面	問 40 C
	CC03CNTA	子ども 03:接触頻度(直接)	面	問 40 I
	CC03CNTB	子ども 03:接触頻度(間接)	面	問 40 J
	CC03DIST	子ども 03:家までの距離	面	問 40 H
	CC03JOB	子ども 03:就労の有無	面	問 40 E
	CC03LIVE	子ども 03:生死	面	問 40 B
	CC03LVT	子ども 03:同居・別居・一時別居	面	問 40 F
	CC03MG	子ども 03:結婚状況	面	問 40 D
	CC03SEX	子ども 03:性別	面	問 40 A
	CC03WHY	子ども 03:一時別居理由	面	問 40 G
	CC04AGE	子ども 04:年齢	面	問 40 C
	CC04CNTA	子ども 04:接触頻度(直接)	面	問 40 I
	CC04CNTB	子ども 04:接触頻度(間接)	面	問 40 J
	CC04DIST	子ども 04:家までの距離	面	問 40 H
	CC04JOB	子ども 04:就労の有無	面	問 40 E
	CC04LIVE	子ども 04:生死	面	問 40 B
CC04LVT	子ども 04:同居・別居・一時別居	面	問 40 F	
CC04MG	子ども 04:結婚状況	面	問 40 D	
CC04SEX	子ども 04:性別	面	問 40 A	





	別居	FFO01AGE	一時的な別居家族 01:年齢	面	問 44-2 C
		FFO01JOB	一時的な別居家族 01:就労の有無	面	問 44-2 E
		FFO01MG	一時的な別居家族 01:結婚状況	面	問 44-2 D
		FFO01REL	一時的な別居家族 01:続柄	面	問 44-2 A
		FFO01SEX	一時的な別居家族 01:性別	面	問 44-2 B
		FFO01WHY	一時的な別居家族 01:別居理由	面	問 44-2 F
		FFO02AGE	一時的な別居家族 02:年齢	面	問 44-2 C
		FFO02JOB	一時的な別居家族 02:就労の有無	面	問 44-2 E
		FFO02MG	一時的な別居家族 02:結婚状況	面	問 44-2 D
		FFO02REL	一時的な別居家族 02:続柄	面	問 44-2 A
		FFO02SEX	一時的な別居家族 02:性別	面	問 44-2 B
		FFO02WHY	一時的な別居家族 02:別居理由	面	問 44-2 F
		FFO03AGE	一時的な別居家族 03:年齢	面	問 44-2 C
		FFO03JOB	一時的な別居家族 03:就労の有無	面	問 44-2 E
		FFO03MG	一時的な別居家族 03:結婚状況	面	問 44-2 D
		FFO03REL	一時的な別居家族 03:続柄	面	問 44-2 A
		FFO03SEX	一時的な別居家族 03:性別	面	問 44-2 B
		FFO03WHY	一時的な別居家族 03:別居理由	面	問 44-2 F
		FFO04AGE	一時的な別居家族 04:年齢	面	問 44-2 C
		FFO04JOB	一時的な別居家族 04:就労の有無	面	問 44-2 E
		FFO04MG	一時的な別居家族 04:結婚状況	面	問 44-2 D
		FFO04REL	一時的な別居家族 04:続柄	面	問 44-2 A
		FFO04SEX	一時的な別居家族 04:性別	面	問 44-2 B
		FFO04WHY	一時的な別居家族 04:別居理由	面	問 44-2 F
		FFO05AGE	一時的な別居家族 05:年齢	面	問 44-2 C
FFO05JOB	一時的な別居家族 05:就労の有無	面	問 44-2 E		
FFO05MG	一時的な別居家族 05:結婚状況	面	問 44-2 D		
FFO05REL	一時的な別居家族 05:続柄	面	問 44-2 A		
FFO05SEX	一時的な別居家族 05:性別	面	問 44-2 B		
FFO05WHY	一時的な別居家族 05:別居理由	面	問 44-2 F		
家族観・行動	家事	FQ7CKDNR	夕食の用意:頻度(本人)	留	Q6 C
		FQ7CLEAN	家の掃除:頻度(本人)	留	Q6 F
		FQ7GARB	ゴミ出し:頻度(本人)	留	Q6 G
		FQ7RPH	家の簡単な修理:頻度(本人)	留	Q6 H
		FQ7SHOP	買い物:頻度(本人)	留	Q6 E
		FQ7WASH	洗濯:頻度(本人)	留	Q6 D
		家族観	APPCCNMX	理想的な子どもの人数:5人以上の場合(具体的記述)	留
	APPCCNUM	理想的な子どもの人数(一般論)	留	Q32	
	APPCCSXB	希望する子どもの性別	留	Q33	
	OP2GNR	三世代同居観	留	Q34	
	Q4SAMESM	同性婚への賛否	留	Q35	
	家族行動	FQ7FFDNR	家族と一緒にの夕食:頻度	留	Q6 A



		PPLHLTHZ	義父:健康状態	留	Q66-4
結婚満足度		STMGLF	生活満足度:結婚生活	留	Q67
婚姻		AGE2MG	結婚した年齢:2回目	留	Q58 2
		AGE3MG	結婚した年齢:3回目	留	Q58 3
		AGE4MG	結婚した年齢:4回目	留	Q58 4
		DOMARRYZ	結婚状況(留置票)	留	Q59
		FSTMTSS	配偶者との出会いのきっかけ	留	Q68-1
		INFLPMMG	結婚の決定への親の影響力	留	Q70
		NUMMARRY	結婚の回数	留	Q57
		WHOINTSS	配偶者の紹介者	留	Q68-2 A
		WHRMTSS	配偶者と出会った場所	留	Q68-2 B
		XSSRMG	配偶者の初婚・再婚	留	Q69
子ども		CC18CNT	もともと接している18歳以上の子ども	留	Q72
		LVTGCC18	子どもとの同居	留	Q73
		XCC18	18歳以上の子どもの有無	留	Q71
親・義親		PMDTH	両親の存否	留	Q55-1
		PMLDTH	義親の存否	留	Q66-1
親健康状態		MMHLTHZ	母親:健康状態	留	Q55-4 B
		PPHLTHZ	父親:健康状態	留	Q55-4 A
世代間援助		HLPE2CC	世代間の経済的援助:回答者から子ども	留	Q74 A
		HLPE2PM	世代間の経済的援助:回答者から両親	留	Q55-2 A
		HLPE2PML	世代間の経済的援助:回答者から義親	留	Q66-2 A
		HLPEFCC	世代間の経済的援助:子どもから回答者	留	Q75 A
		HLPEFPM	世代間の経済的援助:両親から回答者	留	Q55-3 A
		HLPEFPML	世代間の経済的援助:義親から回答者	留	Q66-3 A
		HLPP2CC	世代間の実践的援助:回答者から子ども	留	Q74 B
		HLPP2PM	世代間の実践的援助:回答者から両親	留	Q55-2 B
		HLPP2PML	世代間の実践的援助:回答者から義親	留	Q66-2 B
		HLPPFCC	世代間の実践的援助:子どもから回答者	留	Q75 B
		HLPPFPM	世代間の実践的援助:両親から回答者	留	Q55-3 B
		HLPPFPML	世代間の実践的援助:義親から回答者	留	Q66-3 B
	配偶者介護		SSC2OTHR	介護の相手(配偶者):その他	留
		SSC2PM	介護の相手(配偶者):回答者の親	留	Q62-2 2
		SSC2R	介護の相手(配偶者):回答者	留	Q62-2 1
		SSC2SSPM	介護の相手(配偶者):配偶者の親	留	Q62-2 3
夫婦関係		SSTRLSTN	配偶者との情緒的關係:配偶者が悩みを聞く	留	Q63
		SSTRSPK	配偶者との情緒的關係:あなたが悩みを聞く	留	Q64
教育歴	高校	XHSRATE	高校:進学率	面	問 53-2
		XHSSUB	高校:学んだ学科	面	問 53-1
	最終学歴	DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退(本人)	面	問 52
XXLSTSCH		最終学校(本人)	面	問 51	
XXSCHDPT		最終学校での学部・学科	面	問 55-2	

	在学中	XGRADE	在学中の場合の学年(本人)	面	問 52
	成績	OP5SCHPF	中学3年生の頃の成績	留	Q24
	専修学校・専門学校	DOSPSUSC WHNSPSC XXSPSTDY	専修学校・専門学校:高等課程の修了 専修学校・専門学校:通った時期 専修学校・専門学校:学科・分野	面 面 面	問 54-4 問 54-3 問 54-2
	大学	XUPUBLIC	大学など:国・公・私立	面	問 55-1
	通学経験	XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験(本人)	面	問 54-1
	配偶者最終学歴	SSDOLSTS SSLSTSCH	最終学校の卒業・中退(配偶者) 最終学校(配偶者)	面 面	問 56 問 51
	配偶者在学中	SSXGRADE	在学中の場合の学年(配偶者)	面	問 56
	配偶者通学経験	PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)	面	問 57
	父最終学歴	PPLSTSCH	最終学校(父親)	面	問 51
	母最終学歴	MMLSTSCH	最終学校(母親)	面	問 51
居住地域	愛着	WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留	Q21
	居住地	AXCONTCM CTVW20 PREF20 TP5LOC20	現在の居住地域の存続についての不安感 20歳の頃の居住地(本人):移動経験 20歳の頃の居住地(本人):都道府県名 20歳の頃の居住地(本人):居住地域の規模	留 面 面 面	Q22 問 47-1 問 47-1 問 47-2
	居住年数	XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留	Q17
	健康	飲酒	DO7DRINK	飲酒頻度	留
	介護	XCARE	介護経験(本人)	留	Q28-1
	喫煙	DOSMOKEX XQTSMOKE	喫煙経験 禁煙努力	留 留	Q8-1 Q8-2
	健康状態	OP5HLTHZ	健康状態(本人)	留	Q7
	配偶者介護	SSCARE	介護経験(配偶者)	留	Q62-1
	配偶者健康状態	SS5HLTHZ	健康状態(配偶者)	留	Q61
健康モジュール	SF12	SFMHDPRS SFMHENGY SFMHPEAC	精神的健康:おちこんだ気分 精神的健康:活力にあふれる 精神的健康:おちついた気分	留 留 留	Q14 C Q14 B Q14 A
	希望	NOFUTR NOGOAL	希望のなさ:将来の希望が持てない 希望のなさ:目標は達成できない	留 留	Q13 A Q13 B
	信頼	OP4TRUST	人への信頼感	留	Q38
	地域環境	ENHMAP ENHMWP OPNBASS OPNBMTCN	環境被害:大気汚染 環境被害:水質汚染 近隣状況:手助けしてくれる 近隣状況:互いに気にかけている	留 留 留 留	Q49 A Q49 B Q18 B Q18 A
幸福度	幸福度	OP5HAPPZ	幸福度	留	Q41
	生活満足度	ST5AREAY ST5ECNY ST5FRIY ST5HLTHY ST5LEISY	生活満足度:居住地域 生活満足度:家計状態 生活満足度:友人関係 生活満足度:健康状態 生活満足度:余暇利用	留 留 留 留 留	Q11 A Q11 D Q11 E Q11 F Q11 B

		ST5LIFEY ST5SSREL STALLLF	生活満足度:家庭生活 生活満足度:配偶者との関係 生活満足度:全般	留 留 留	Q11 C Q11 G Q12						
子どもの頃	居住地	PREF15 REMOTE15 TP5LOC15	15歳の頃の居住地(本人):都道府県名 15歳の頃の居住地(本人):農山村地域 15歳の頃の居住地(本人)	面 面 面	問 46-1 問 46-3 問 46-2						
	父職	PPJB15 PPJBSZ15 PPJBT15P PPJBT15S PPJBXX15 PPJXXE08	15歳の頃の父:雇用関係 15歳の頃の父:企業規模 15歳の頃の父:役職 15歳の頃の父:雇用形態 15歳の頃の父:職種 15歳の頃の父:職種(ISCO08)	面 面 面 面 面 面	問 62-1 問 64 問 62-3 問 62-2 問 63 問 63						
		母職	MMJBTP15	15歳の頃の母:就労地位	面	問 65					
		災害	災害可能性	AXDIS DISFLOOD DISLAND DISNUC DISQUAKE DISTSNM DISTSNOW DISVOLC	災害発生に対する不安 災害発生の可能性:高潮や河川の氾濫 災害発生の可能性:土砂災害 災害発生の可能性:原子力発電所の事故 災害発生の可能性:地震 災害発生の可能性:津波 災害発生の可能性:豪雪 災害発生の可能性:噴火	留 留 留 留 留 留 留 留	Q45 Q44 C Q44 F Q44 G Q44 A Q44 B Q44 D Q44 E				
住居				AUTOLOCK OWNHOUSE TPHOUSE	集合住宅でのオートロックの有無 居住形態:持ち家 調査員への質問:回答者の居住形態	調 面 調	F7-2 問 50 F7-1				
集団参加	組織への所属			MEMCIVIL MEMCOOP MEMHOBBY MEMIND MEMPLTGP MEMRL MEMSPORT MEMVLNTR	組織への所属:市民運動のグループ 組織への所属:生協 組織への所属:趣味の会 組織への所属:業界団体 組織への所属:政治団体 組織への所属:宗教の団体や会 組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ 組織への所属:ボランティアのグループ	留 留 留 留 留 留 留 留	Q42 D Q42 H Q42 G Q42 B Q42 A Q42 E Q42 F Q42 C				
				趣味	FQSPORT	定期的に行なうスポーツ:頻度	留	Q5			
				信仰	宗教	DO3PIOUS DORL XXRL	信仰の度合い(本人) 信仰する宗教の有無(本人) 信仰する宗教(本人)	留 留 留	Q43-3 Q43-1 Q43-2		
						信頼	人間観	OP7GDEVO	人間観(一般):人間の本性	留	Q39
							組織への信頼	TR3ACDAZ TR3BCRAZ TR3CGMNZ TR3CITYZ TR3COPZ	組織への信頼:学者・研究者 組織への信頼:中央官庁 組織への信頼:国会議員 組織への信頼:市区町村議会議員 組織への信頼:警察	留 留 留 留 留	Q40 J Q40 D Q40 K Q40 L Q40 N

		TR3CORPZ TR3DEFZ TR3FINZ TR3HSPLZ TR3NWSPZ TR3RLGPZ TR3SCHLZ TR3SPCAZ TR3TVZ TR3UNNZ	組織への信頼:大企業 組織への信頼:自衛隊 組織への信頼:金融機関 組織への信頼:病院 組織への信頼:新聞 組織への信頼:宗教団体 組織への信頼:学校 組織への信頼:裁判所 組織への信頼:テレビ 組織への信頼:労働組合	留 留 留 留 留 留 留 留 留 留	Q40 A Q40 M Q40 O Q40 G Q40 F Q40 B Q40 C Q40 I Q40 H Q40 E
政治	政策	OP5CCARE OP5CCED OP5SRMDY OP5SRWFY OPINCDIF OPNUCPOL Q5GVEQAA	国か個人か:保育・育児 国か個人か:子どもの教育 国か個人か:高齢者の医療・介護 国か個人か:高齢者の生活保障 所得格差への意見 原子力政策への意見 貧富解消政策への賛否	留 留 留 留 留 留 留	Q29 D Q29 C Q29 B Q29 A Q37 Q46 Q30
	政党	XX8PLPTY	支持政党	留	Q31
調査基本情報	回答者	AGEB DOBYEAR MARC SEXA	年齢 生年 配偶者(DOMARRYの転記) 性別	面 面 面 面	* * * *
	調査員設問	AREA COOP INTERCOM NAMEPLAT USTAND	調査員への質問:回答者の居住地 調査員への質問:回答者の協力度 家のインターフォンの種類 調査員への質問:表札の有無 調査員への質問:回答者の理解度	調 調 調 調 調	F5 F1 F8 F6 F2
	調査情報	DATE DATEB DAY DAYB DURATION FORM MONTH MONTHB PROC	面接完了日 留置回収完了日 面接完了日:日 留置回収完了日:日 調査所要時間(分) 留置票の種類 面接完了日:月 留置回収完了日:月 調査手順(留置/面接の順序)	面 面 面 面 面 面 面 面 面 面	* * * * F10 * * * F9
	居住地	BLOCK PREF SIZE SIZE2K SIZEHMT	地域ブロック 都道府県名 市郡規模 市郡規模(2000年時点) 居住地域の規模		◇ ◇ ◇ ◇ ◇
	調査情報	IDUSE	識別番号	面	問 49

ペット	ペットの保有	DOPCATE	ペットの保有:猫(室外で)	留	Q10-1 3
		DOPCATI	ペットの保有:猫(室内で)	留	Q10-1 4
		DOPCCATE	世話をしているペット:猫(室外で)	留	Q10-3 3
		DOPCCATI	世話をしているペット:猫(室内で)	留	Q10-3 4
		DOPCDOGE	世話をしているペット:犬(室外で)	留	Q10-3 1
		DOPCDOGI	世話をしているペット:犬(室内で)	留	Q10-3 2
		DOPCMIN	ペットの世話時間:分	留	Q10-5
		DOPCNONE	世話をしているペット:世話はしていない	留	Q10-3 6
		DOPCOTHR	世話をしているペット:その他	留	Q10-3 5
		DOPCTHR	ペットの世話時間:時	留	Q10-4
		DOPDOGE	ペットの保有:犬(室外で)	留	Q10-1 1
		DOPDOGI	ペットの保有:犬(室内で)	留	Q10-1 2
		DOPMDPAY	ペットの医療費	留	Q10-2
		DOPNONE	ペットの保有:何も飼っていない	留	Q10-1 6
DOPOTHR	ペットの保有:その他	留	Q10-1 5		
メディア	インターネット	FQ6NWSIN	インターネットでニュース記事を読む頻度	留	Q4
	新聞	FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留	Q3
	テレビ	HRTV	テレビ視聴時間	留	Q1
	読書	FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留	Q2
労働	現職	JOINUNI	労働組合加入の有無	面	問 13
		SZINCOMA	本人年収:全体	面	問 68-2
		SZINCOMX	本人年収:主な仕事	面	問 68-3
		SZSJBHWK	副業就労時間数/週	面	問 2
		SZTTLSTA	企業規模	面	問 12
		TP4WPLA	事業所形態	面	問 5
		TPJB	雇用関係	面	問 3-1
		TPJBS	雇用形態	面	問 3-2
		TPJBSE	従業員を持つ自営業者	面	問 3-4
		TPJOBP	役職	面	問 3-3
		XJBSCB	通常労働時間数/週	面	問 9
		XJOB1WK	先週の就労経験	面	問 1
		XJOBDWK	就労日数/週	面	問 8
		XJOBHWK	就労時間数/週	面	問 2
		XJOBYR	就労年数	面	問 10
		XXJE08	職種(ISCO08)	面	問 7
		XXJOB	職種	面	問 7
		XXWPL	業種	面	問 6
		収入源	収入源	INCFAM	現在の収入源:他の家族の収入(全員)
INCINVST	現在の収入源:投資運用(全員)			面	問 67-1
INCIRR	現在の収入源:不定期的な仕事(全員)			面	問 67-1
INCMAIN	現在の収入源:中心となるもの(全員)			面	問 67-2
INCNOKN	現在の収入源:わからない(全員)			面	問 67-1

	INCOTHER INCPAR INCPEN INCRENT INCSAVE INCSELF INCSOC INCSP INCUEB	現在の収入源:その他(全員) 現在の収入源:親の収入(全員) 現在の収入源:年金(全員) 現在の収入源:賃貸料所得(全員) 現在の収入源:貯蓄(全員) 現在の収入源:自分の収入(全員) 現在の収入源:社会福祉(全員) 現在の収入源:配偶者の収入(全員) 現在の収入源:失業保険(全員)	面 面 面 面 面 面 面 面 面	問 67-1 問 67-1 問 67-1 問 67-1 問 67-1 問 67-1 問 67-1 問 67-1 問 67-1
就業	AGESTPWK DOLOOKJB TP5UNEMP USFLSKL XNUMCOWK XWORK XXSTPJB	離職年齢 求職の有無(全員) 不就労の理由 経験や技能が現在の仕事に役立った程度 転職数 就労経験 離職理由	面 面 面 面 面 面 面	問 20 問 25 問 18 問 11 問 26 問 19 問 21
就業観	OP3NEWJB OP4UNEMP ST5JOB WLKEEPJA	再就労の容易さ 失業の可能性 現在の仕事の満足度 現在の会社・組織での就労継続意向	面 面 面 面	問 17 問 16 問 14 問 15
初職	SZSTFFST TP1STJB TP1STJBS TPFSTJBP XGETJOB XXFSTJB	初職の企業規模 初職の雇用関係 初職の雇用形態 初職の役職 初職の就労時期 初職の職種	面 面 面 面 面 面	問 61 問 59-1 問 59-2 問 59-3 問 58 問 60
前職	SZSTFLS TPLSTJB TPLSTJBP TPLSTJBS XXLJE08 XXLSTJB	前職の企業規模(6分類) 前職の雇用関係 前職の役職 前職の雇用形態 前職の職種(ISCO08) 前職の職種	面 面 面 面 面 面	問 24 問 22-1 問 22-3 問 22-2 問 23 問 23
通勤	DOCMT SZCMTHR SZCMTMIN SZCMTTL	通勤の有無 通勤時間:時間 通勤時間:分 通勤時間:合計	面 面 面 面	問 4-1 問 4-1 問 4-1 問 4-1
配偶者現職	SSJB1WK SSJBDWK SSJBHRWK SSSJBHWK SSSZINCA SSSZINCM	先週の就労経験(配偶者) 就労日数/週(配偶者) 就労時間数/週(配偶者) 副業就労時間数/週(配偶者) 配偶者年収:全体 配偶者年収:主な仕事	面 面 面 面 面 面	問 28-1 問 33 問 29 問 29 問 68-4 問 68-5



	SSSZSTFA	企業規模(配偶者)	面	問 36
	SSSZWKYR	就労年数(配偶者)	面	問 35
	SSTPJB	雇用関係(配偶者)	面	問 30-1
	SSTPJBS	雇用形態(配偶者)	面	問 30-2
	SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者(配偶者)	面	問 30-4
	SSTPJOBP	役職(配偶者)	面	問 30-3
	SSTPUNEM	不就労の理由(配偶者)	面	問 28-2
	SSXJBSCH	通常労働時間数/週(配偶者)	面	問 34
	SSXXHQX	業種(配偶者)	面	問 31
	SSXXJE08	職種(配偶者)(ISCO08)	面	問 32
	SSXXJOB	職種(配偶者)	面	問 32

竹本 圭佑

## Ⅱ.4 変数名索引 アルファベット順

[略号・記号]

面：面接調査票，留：留置調査票，調：調査員記入票（面接調査票末尾）

\*：調査票冒頭欄，F：調査員記入欄，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし

変数名	質問概要	調査票	質問番号
AGE1MG	初婚年齢	留	Q58 1
AGE2MG	結婚した年齢：2回目	留	Q58 2
AGE3MG	結婚した年齢：3回目	留	Q58 3
AGE4MG	結婚した年齢：4回目	留	Q58 4
AGEB	年齢	面	*
AGESTPWK	離職年齢	面	問 20
APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	留	Q32
APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留	Q32
APPCCSXB	希望する子どもの性別	留	Q33
AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	調	F5
AUTOLOCK	集合住宅でのオートロックの有無	調	F7-2
AXCONTCM	現在の居住地域の存続についての不安感	留	Q22
AXDIS	災害発生に対する不安	留	Q45
AXECNSF	将来の経済的不安	留	Q27
AXFDRAD	放射性物質による食品汚染の不安感	留	Q47
BLOCK	地域ブロック		◇
CC01AGE	子ども 01：年齢	面	問 40 C
CC01CNTA	子ども 01：接触頻度（直接）	面	問 40 I
CC01CNTB	子ども 01：接触頻度（間接）	面	問 40 J
CC01DIST	子ども 01：家までの距離	面	問 40 H
CC01JOB	子ども 01：就労の有無	面	問 40 E
CC01LIVE	子ども 01：生死	面	問 40 B
CC01LVT	子ども 01：同居・別居・一時別居	面	問 40 F
CC01MG	子ども 01：結婚状況	面	問 40 D
CC01SEX	子ども 01：性別	面	問 40 A
CC01WHY	子ども 01：一時別居理由	面	問 40 G
CC02AGE	子ども 02：年齢	面	問 40 C
CC02CNTA	子ども 02：接触頻度（直接）	面	問 40 I
CC02CNTB	子ども 02：接触頻度（間接）	面	問 40 J
CC02DIST	子ども 02：家までの距離	面	問 40 H
CC02JOB	子ども 02：就労の有無	面	問 40 E
CC02LIVE	子ども 02：生死	面	問 40 B
CC02LVT	子ども 02：同居・別居・一時別居	面	問 40 F
CC02MG	子ども 02：結婚状況	面	問 40 D
CC02SEX	子ども 02：性別	面	問 40 A
CC02WHY	子ども 02：一時別居理由	面	問 40 G
CC03AGE	子ども 03：年齢	面	問 40 C
CC03CNTA	子ども 03：接触頻度（直接）	面	問 40 I
CC03CNTB	子ども 03：接触頻度（間接）	面	問 40 J

CC03DIST	子ども 03：家までの距離	面	問 40 H
CC03JOB	子ども 03：就労の有無	面	問 40 E
CC03LIVE	子ども 03：生死	面	問 40 B
CC03LVT	子ども 03：同居・別居・一時別居	面	問 40 F
CC03MG	子ども 03：結婚状況	面	問 40 D
CC03SEX	子ども 03：性別	面	問 40 A
CC03WHY	子ども 03：一時別居理由	面	問 40 G
CC04AGE	子ども 04：年齢	面	問 40 C
CC04CNTA	子ども 04：接触頻度（直接）	面	問 40 I
CC04CNTB	子ども 04：接触頻度（間接）	面	問 40 J
CC04DIST	子ども 04：家までの距離	面	問 40 H
CC04JOB	子ども 04：就労の有無	面	問 40 E
CC04LIVE	子ども 04：生死	面	問 40 B
CC04LVT	子ども 04：同居・別居・一時別居	面	問 40 F
CC04MG	子ども 04：結婚状況	面	問 40 D
CC04SEX	子ども 04：性別	面	問 40 A
CC04WHY	子ども 04：一時別居理由	面	問 40 G
CC05AGE	子ども 05：年齢	面	問 40 C
CC05CNTA	子ども 05：接触頻度（直接）	面	問 40 I
CC05CNTB	子ども 05：接触頻度（間接）	面	問 40 J
CC05DIST	子ども 05：家までの距離	面	問 40 H
CC05JOB	子ども 05：就労の有無	面	問 40 E
CC05LIVE	子ども 05：生死	面	問 40 B
CC05LVT	子ども 05：同居・別居・一時別居	面	問 40 F
CC05MG	子ども 05：結婚状況	面	問 40 D
CC05SEX	子ども 05：性別	面	問 40 A
CC05WHY	子ども 05：一時別居理由	面	問 40 G
CC18CNT	もともと接している 18 歳以上の子ども	留	Q72
CCNUMTTL	子どもの人数	面	問 40
COMMDIS	自然災害時の地域の人どうしの協力	留	Q48
COOP	調査員への質問：回答者の協力度	調	F1
CTVW20	20 歳の頃の居住地（本人）：移動経験	面	問 47-1
DATE	面接完了日	面	*
DATEB	留置回収完了日	面	*
DAY	面接完了日：日	面	*
DAYB	留置回収完了日：日	面	*
DISFLOOD	災害発生の可能性：高潮や河川の氾濫	留	Q44 C
DISLAND	災害発生の可能性：土砂災害	留	Q44 F
DISNUC	災害発生の可能性：原子力発電所の事故	留	Q44 G
DISQUAKE	災害発生の可能性：地震	留	Q44 A
DISTSNM	災害発生の可能性：津波	留	Q44 B
DISTSNOW	災害発生の可能性：豪雪	留	Q44 D
DISVOLC	災害発生の可能性：噴火	留	Q44 E
DMCCED	家庭内の意思決定者：子どもの教育	留	Q65 A
DMEXP	家庭内の意思決定者：家計の管理	留	Q65 C
DMHIEXP	家庭内の意思決定者：高価な品物の購入	留	Q65 D
DMPPSPPT	家庭内の意思決定者：親の世話	留	Q65 B
DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留	Q43-3

DO7DRINK	飲酒頻度	留	Q9
DOBYEAR	生年	面	*
DOCMT	通勤の有無	面	問 4-1
DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車	留	Q19 4
DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力	留	Q19 2
DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない	留	Q19 5
DOECSLP	エコ商品の利用：ソーラーパネル	留	Q19 1
DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	留	Q19 3
DOLOOKJB	求職の有無（全員）	面	問 25
DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	面	問 52
DOMARRY	結婚状況	面	問 27-1
DOMARRYZ	結婚状況（留置票）	留	Q59
DOPCATE	ペットの保有：猫（室外で）	留	Q10-1 3
DOPCATI	ペットの保有：猫（室内で）	留	Q10-1 4
DOPCCATE	世話をしているペット：猫（室外で）	留	Q10-3 3
DOPCCATI	世話をしているペット：猫（室内で）	留	Q10-3 4
DOPCDOGE	世話をしているペット：犬（室外で）	留	Q10-3 1
DOPCDOGI	世話をしているペット：犬（室内で）	留	Q10-3 2
DOPCMIN	ペットの世話時間：分	留	Q10-5
DOPCNONE	世話をしているペット：世話はしていない	留	Q10-3 6
DOPCOTHR	世話をしているペット：その他	留	Q10-3 5
DOPCTHR	ペットの世話時間：時	留	Q10-4
DOPDOGE	ペットの保有：犬（室外で）	留	Q10-1 1
DOPDOGI	ペットの保有：犬（室内で）	留	Q10-1 2
DOPMDPAY	ペットの医療費	留	Q10-2
DOPNONE	ペットの保有：何も飼っていない	留	Q10-1 6
DOPOTHR	ペットの保有：その他	留	Q10-1 5
DORL	信仰する宗教の有無（本人）	留	Q43-1
DOSMOKEX	喫煙経験	留	Q8-1
DOSPSUSC	専修学校・専門学校：高等課程の修了	面	問 54-4
DURATION	調査所要時間（分）	調	F10
ENHMAP	環境被害：大気汚染	留	Q49 A
ENHMSP	環境被害：土壌汚染	留	Q49 C
ENHMWP	環境被害：水質汚染	留	Q49 B
FFH01AGE	その他の家族 01：年齢	面	問 41-2 C
FFH01JOB	その他の家族 01：就労の有無	面	問 41-2 E
FFH01MG	その他の家族 01：結婚状況	面	問 41-2 D
FFH01REL	その他の家族 01：続柄	面	問 41-2 A
FFH01SEX	その他の家族 01：性別	面	問 41-2 B
FFH02AGE	その他の家族 02：年齢	面	問 41-2 C
FFH02JOB	その他の家族 02：就労の有無	面	問 41-2 E
FFH02MG	その他の家族 02：結婚状況	面	問 41-2 D
FFH02REL	その他の家族 02：続柄	面	問 41-2 A
FFH02SEX	その他の家族 02：性別	面	問 41-2 B
FFH03AGE	その他の家族 03：年齢	面	問 41-2 C
FFH03JOB	その他の家族 03：就労の有無	面	問 41-2 E
FFH03MG	その他の家族 03：結婚状況	面	問 41-2 D
FFH03REL	その他の家族 03：続柄	面	問 41-2 A

FFH03SEX	その他の家族 03：性別	面	問 41-2 B
FFH04AGE	その他の家族 04：年齢	面	問 41-2 C
FFH04JOB	その他の家族 04：就労の有無	面	問 41-2 E
FFH04MG	その他の家族 04：結婚状況	面	問 41-2 D
FFH04REL	その他の家族 04：続柄	面	問 41-2 A
FFH04SEX	その他の家族 04：性別	面	問 41-2 B
FFH05AGE	その他の家族 05：年齢	面	問 41-2 C
FFH05JOB	その他の家族 05：就労の有無	面	問 41-2 E
FFH05MG	その他の家族 05：結婚状況	面	問 41-2 D
FFH05REL	その他の家族 05：続柄	面	問 41-2 A
FFH05SEX	その他の家族 05：性別	面	問 41-2 B
FFHEAD	世帯主	面	問 43
FFO01AGE	一時的な別居家族 01：年齢	面	問 44-2 C
FFO01JOB	一時的な別居家族 01：就労の有無	面	問 44-2 E
FFO01MG	一時的な別居家族 01：結婚状況	面	問 44-2 D
FFO01REL	一時的な別居家族 01：続柄	面	問 44-2 A
FFO01SEX	一時的な別居家族 01：性別	面	問 44-2 B
FFO01WHY	一時的な別居家族 01：別居理由	面	問 44-2 F
FFO02AGE	一時的な別居家族 02：年齢	面	問 44-2 C
FFO02JOB	一時的な別居家族 02：就労の有無	面	問 44-2 E
FFO02MG	一時的な別居家族 02：結婚状況	面	問 44-2 D
FFO02REL	一時的な別居家族 02：続柄	面	問 44-2 A
FFO02SEX	一時的な別居家族 02：性別	面	問 44-2 B
FFO02WHY	一時的な別居家族 02：別居理由	面	問 44-2 F
FFO03AGE	一時的な別居家族 03：年齢	面	問 44-2 C
FFO03JOB	一時的な別居家族 03：就労の有無	面	問 44-2 E
FFO03MG	一時的な別居家族 03：結婚状況	面	問 44-2 D
FFO03REL	一時的な別居家族 03：続柄	面	問 44-2 A
FFO03SEX	一時的な別居家族 03：性別	面	問 44-2 B
FFO03WHY	一時的な別居家族 03：別居理由	面	問 44-2 F
FFO04AGE	一時的な別居家族 04：年齢	面	問 44-2 C
FFO04JOB	一時的な別居家族 04：就労の有無	面	問 44-2 E
FFO04MG	一時的な別居家族 04：結婚状況	面	問 44-2 D
FFO04REL	一時的な別居家族 04：続柄	面	問 44-2 A
FFO04SEX	一時的な別居家族 04：性別	面	問 44-2 B
FFO04WHY	一時的な別居家族 04：別居理由	面	問 44-2 F
FFO05AGE	一時的な別居家族 05：年齢	面	問 44-2 C
FFO05JOB	一時的な別居家族 05：就労の有無	面	問 44-2 E
FFO05MG	一時的な別居家族 05：結婚状況	面	問 44-2 D
FFO05REL	一時的な別居家族 05：続柄	面	問 44-2 A
FFO05SEX	一時的な別居家族 05：性別	面	問 44-2 B
FFO05WHY	一時的な別居家族 05：別居理由	面	問 44-2 F
FORM	留置票の種類	面	*
FQ4DENKI	電気はこまめに消す	留	Q20 A
FQ4ELC	消費電力を減らす工夫	留	Q20 B
FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留	Q3
FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留	Q2
FQ6NWSIN	インターネットでニュース記事を読む頻度	留	Q4

FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）	留	Q6 C
FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）	留	Q6 F
FQ7FFDNR	家族と一緒に夕食：頻度	留	Q6 A
FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留	Q6 B
FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）	留	Q6 G
FQ7RPH	家の簡単な修理：頻度（本人）	留	Q6 H
FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）	留	Q6 E
FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）	留	Q6 D
FQFFLSR	家族一緒にレジャー活動の頻度	留	Q56
FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留	Q5
FSTMTSS	配偶者との出会いのきっかけ	留	Q68-1
HLPE2CC	世代間の経済的援助：回答者から子ども	留	Q74 A
HLPE2PM	世代間の経済的援助：回答者から両親	留	Q55-2 A
HLPE2PML	世代間の経済的援助：回答者から義親	留	Q66-2 A
HLPEFCC	世代間の経済的援助：子どもから回答者	留	Q75 A
HLPEFPM	世代間の経済的援助：両親から回答者	留	Q55-3 A
HLPEFPML	世代間の経済的援助：義親から回答者	留	Q66-3 A
HLPP2CC	世代間の実践的援助：回答者から子ども	留	Q74 B
HLPP2PM	世代間の実践的援助：回答者から両親	留	Q55-2 B
HLPP2PML	世代間の実践的援助：回答者から義親	留	Q66-2 B
HLPPFCC	世代間の実践的援助：子どもから回答者	留	Q75 B
HLPPFPM	世代間の実践的援助：両親から回答者	留	Q55-3 B
HLPPFPML	世代間の実践的援助：義親から回答者	留	Q66-3 B
HRTV	テレビ視聴時間	留	Q1
IDUSE	識別番号		◇
INCFAM	現在の収入源：他の家族の収入（全員）	面	問 67-1
INCINVT	現在の収入源：投資運用（全員）	面	問 67-1
INCIRR	現在の収入源：不定期的な仕事（全員）	面	問 67-1
INCMAN	現在の収入源：中心となるもの（全員）	面	問 67-2
INCNOKN	現在の収入源：わからない（全員）	面	問 67-1
INCOTHER	現在の収入源：その他（全員）	面	問 67-1
INCPAR	現在の収入源：親の収入（全員）	面	問 67-1
INCPEN	現在の収入源：年金（全員）	面	問 67-1
INCRENT	現在の収入源：賃貸料所得（全員）	面	問 67-1
INCSAVE	現在の収入源：貯蓄（全員）	面	問 67-1
INCSELF	現在の収入源：自分の収入（全員）	面	問 67-1
INCSOC	現在の収入源：社会福祉（全員）	面	問 67-1
INCSP	現在の収入源：配偶者の収入（全員）	面	問 67-1
INCUEB	現在の収入源：失業保険（全員）	面	問 67-1
INFLPMMG	結婚の決定への親の影響力	留	Q70
INTERCOM	家のインターフォンの種類	調	F8
JOINUNI	労働組合加入の有無	面	問 13
LVTGCC18	子どもとの同居	留	Q73
MARC	配偶者（DOMARRY の転記）	面	*
MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留	Q42 D
MEMCOOP	組織への所属：生協	留	Q42 H
MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留	Q42 G
MEMIND	組織への所属：業界団体	留	Q42 B

MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留	Q42 A
MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留	Q42 E
MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留	Q42 F
MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留	Q42 C
MMAGE	母親：年齢	面	問 39 A
MMCNTA	母親：接触頻度（直接）	面	問 39 H
MMCNTB	母親：接触頻度（間接）	面	問 39 I
MMDIST	母親：家までの距離	面	問 39 G
MMFAM	母親：同居者	面	問 39 F
MMHLTHZ	母親：健康状態	留	Q55-4
MMJBTP15	15歳の頃の母：就労地位	面	問 65
MMJOB	母親：就労の有無	面	問 39 C
MMLAGE	義母：年齢	面	問 39 A
MMLCNTA	義母：接触頻度（直接）	面	問 39 H
MMLCNTB	義母：接触頻度（間接）	面	問 39 I
MMLDIST	義母：家までの距離	面	問 39 G
MMLFAM	義母：同居者	面	問 39 F
MMLHLTHZ	義母：健康状態	留	Q66-4
MMLIVE	母親：生死	面	問 39
MMLJOB	義母：就労の有無	面	問 39 C
MMLLIVE	義母：生死	面	問 39
MMLLVT	義母：同居・別居・一時別居	面	問 39 D
MMLLVT0	義母：別居・一時別居	面	問 39
MMLMG	義母：結婚状況	面	問 39 B
MMLSTSCH	最終学校（母親）	面	問 51
MMLVT	母親：同居・別居・一時別居	面	問 39 D
MMLVT0	母親：別居・一時別居	面	問 39
MMLWHY	義母：別居理由	面	問 39 E
MMMG	母親：結婚状況	面	問 39 B
MMWHY	母親：別居理由	面	問 39 E
MONTH	面接完了日：月	面	*
MONTHB	留置回収完了日：月	面	*
NAMEPLAT	調査員への質問：表札の有無	調	F6
NOFUTR	希望のなさ：将来の希望が持てない	留	Q13 A
NOGOAL	希望のなさ：目標は達成できない	留	Q13 B
NUMMARRY	結婚の回数	留	Q57
OP10LVL	自分の位置する階層	面	問 48
OP2GNR	三世代同居観	留	Q34
OP3NEWJB	再就労の容易さ	面	問 17
OP4TRUST	人への信頼感	留	Q38
OP4UNEMP	失業の可能性	面	問 16
OP5CCARE	国か個人か：保育・育児	留	Q29 D
OP5CCED	国か個人か：子どもの教育	留	Q29 C
OP5FFINX	世帯収入のレベル	留	Q23
OP5HAPPZ	幸福度	留	Q41
OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留	Q7
OP5LEVK	階層帰属意識	留	Q26
OP5SCHPF	中学3年生の頃の成績	留	Q25

OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護	留	Q29 B
OP5SRWFY	国か個人か：高齢者の生活保障	留	Q29 A
OP7CMTRA	自分の墓について	留	Q15
OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留	Q39
OPFFIX15	15歳の頃の世帯収入レベル	留	Q24
OPINCDIF	所得格差への意見	留	Q37
OPISMM	世代間援助への意見：既婚男性から自分の親	留	Q50 A
OPISMMSS	世代間援助への意見：既婚男性から妻の親	留	Q50 C
OPISMW	世代間援助への意見：既婚女性から自分の親	留	Q50 B
OPISMWSS	世代間援助への意見：既婚女性から夫の親	留	Q50 D
OPNBASS	近隣状況：手助けしてくれる	留	Q18 B
OPNBMTCN	近隣状況：互いに気にかけている	留	Q18 A
OPNUCPOL	原子力政策への意見	留	Q46
OPPPCARE	老親の世話の責任	留	Q51
OWNHOUSE	居住形態：持ち家	面	問 50
PMDTH	両親の存否	留	Q55-1
PMLDTH	義親の存否	留	Q66-1
PPAGE	父親：年齢	面	問 39 A
PPCNTA	父親：接触頻度（直接）	面	問 39 H
PPCNTB	父親：接触頻度（間接）	面	問 39 I
PPDIST	父親：家までの距離	面	問 39 G
PPFAM	父親：同居者	面	問 39 F
PPHLTHZ	父親：健康状態	留	Q55-4
PPJB15	15歳の頃の父：雇用関係	面	問 62-1
PPJBSZ15	15歳の頃の父：企業規模	面	問 64
PPJBT15P	15歳の頃の父：役職	面	問 62-3
PPJBT15S	15歳の頃の父：雇用形態	面	問 62-2
PPJBXX15	15歳の頃の父：職種	面	問 63
PPJOB	父親：就労の有無	面	問 39 C
PPJXE08	15歳の頃の父：職種（ISCO08）	面	問 63
PPLAGE	義父：年齢	面	問 39 A
PPLCNTA	義父：接触頻度（直接）	面	問 39 H
PPLCNTB	義父：接触頻度（間接）	面	問 39 I
PPLDIST	義父：家までの距離	面	問 39 G
PPLFAM	義父：同居者	面	問 39 F
PPLHLTHZ	義父：健康状態	留	Q66-4
PPLIVE	父親：生死	面	問 39
PPLJOB	義父：就労の有無	面	問 39 C
PPLLIVE	義父：生死	面	問 39
PPLLVT	義父：同居・別居・一時別居	面	問 39 D
PPLLVT0	義父：別居・一時別居	面	問 39
PPLMG	義父：結婚状況	面	問 39 B
PPLSTSCH	最終学校（父親）	面	問 51
PPLVT	父親：同居・別居・一時別居	面	問 39 D
PPLVT0	父親：別居・一時別居	面	問 39
PPLWHY	義父：別居理由	面	問 39 E
PPMG	父親：結婚状況	面	問 39 B
PPWHY	父親：別居理由	面	問 39 E



PREF	都道府県名		◇
PREF15	15歳の頃の居住地（本人）：都道府県名	面	問 46-1
PREF20	20歳の頃の居住地（本人）：都道府県名	面	問 47-1
PROC	調査手順（留置／面接の順序）	調	F9
PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）	面	問 57
Q4SAMESM	同性婚への賛否	留	Q35
Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留	Q30
Q7FFAUTH	家系継承規範：父親の権威を尊重	留	Q52 A
Q7FFHNR	家系継承規範：子どもは親の誇りに	留	Q52 B
Q7FFNDMN	家系継承規範：息子が必要	留	Q52 C
Q7JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響（EASS 尺度）	留	Q54 C
Q7MGCC	結婚規範：子どもをもつ必要	留	Q53 B
Q7MGCOH	結婚規範：同棲はかまわない	留	Q53 E
Q7MGDVCC	結婚規範：離婚は子が育つまで待つ	留	Q53 F
Q7MGDVGD	結婚規範：離婚はよい手段	留	Q53 G
Q7MGECS	結婚規範：経済的安定	留	Q54 D
Q7MGMNHP	結婚規範：男性の結婚は幸福	留	Q53 C
Q7MGOLD	結婚規範：夫は年上	留	Q53 A
Q7MGWNHP	結婚規範：女性の結婚は幸福	留	Q53 D
Q7PRFF	家優先規範：自分より家族を優先	留	Q52 E
Q7PRMAN	家優先規範：妻より夫の親族を優先	留	Q52 D
Q7WWHHX	性別規範：性役割分担	留	Q54 B
Q7WWHPHH	性別規範：妻は夫の手助け	留	Q54 A
QFNINCR	外国人増加の賛否	留	Q36
REMOTE15	15歳の頃の居住地（本人）：農山村地域	面	問 46-3
SEXA	性別	面	*
SFMHDPRS	精神的健康：おちこんだ気分	留	Q14 C
SFMHENGY	精神的健康：活力にあふれる	留	Q14 B
SFMHPEAC	精神的健康：おちついた気分	留	Q14 A
SIZE	市郡規模		◇
SIZE2K	市郡規模（2000年時点）		◇
SIZEHMT	居住地域の規模	面	問 49
SPAGEX	配偶者の年齢	面	問 37
SPLVTG	配偶者との同居	面	問 38
SS5HLTHZ	健康状態（配偶者）	留	Q61
SSC2OTHR	介護の相手（配偶者）：その他	留	Q62-2 4
SSC2PM	介護の相手（配偶者）：回答者の親	留	Q62-2 2
SSC2R	介護の相手（配偶者）：回答者	留	Q62-2 1
SSC2SSPM	介護の相手（配偶者）：配偶者の親	留	Q62-2 3
SSCARE	介護経験（配偶者）	留	Q62-1
SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退（配偶者）	面	問 56
SSFQ7CK	夕食の用意：頻度（配偶者）	留	Q60 A
SSFQ7CLN	家の掃除：頻度（配偶者）	留	Q60 D
SSFQ7GRB	ゴミ出し：頻度（配偶者）	留	Q60 E
SSFQ7RPH	家の簡単な修理：頻度（配偶者）	留	Q60 F
SSFQ7SHP	買い物：頻度（配偶者）	留	Q60 C
SSFQ7WSH	洗濯：頻度（配偶者）	留	Q60 B
SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）	面	問 28-1

SSJBDWK	就労日数/週 (配偶者)	面	問 33
SSJBHRWK	就労時間数/週 (配偶者)	面	問 29
SSLSTSCH	最終学校 (配偶者)	面	問 51
SSSJBHWK	副業就労時間数/週 (配偶者)	面	問 29
SSSZINCA	配偶者年収：全体	面	問 68-4
SSSZINCM	配偶者年収：主な仕事	面	問 68-5
SSSZSTFA	企業規模 (配偶者)	面	問 36
SSSZWKYR	就労年数 (配偶者)	面	問 35
SSTPJB	雇用関係 (配偶者)	面	問 30-1
SSTPJBS	雇用形態 (配偶者)	面	問 30-2
SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者 (配偶者)	面	問 30-4
SSTPJOBP	役職 (配偶者)	面	問 30-3
SSTPUNEM	不就労の理由 (配偶者)	面	問 28-2
SSTRLSTN	配偶者との情緒的關係：配偶者が悩みを聞く	留	Q63
SSTRSPK	配偶者との情緒的關係：あなたが悩みを聞く	留	Q64
SSXGRADE	在学中の場合の学年 (配偶者)	面	問 56
SSXJBSCH	通常労働時間数/週 (配偶者)	面	問 34
SSXXHQX	業種 (配偶者)	面	問 31
SSXXJE08	職種 (配偶者) (ISCO08)	面	問 32
SSXXJOB	職種 (配偶者)	面	問 32
ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留	Q11 A
ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留	Q11 D
ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留	Q11 E
ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留	Q11 F
ST5JOB	現在の仕事の満足度	面	問 14
ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留	Q11 B
ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留	Q11 C
ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係	留	Q11 G
STALLLF	生活満足度：全般	留	Q12
STMGLF	生活満足度：結婚生活	留	Q67
SZCMTHR	通勤時間：時間	面	問 4-1
SZCMTMIN	通勤時間：分	面	問 4-1
SZCMTTL	通勤時間：合計	面	問 4-1
SZEXED	世帯支出：教育費 (子どもを持ったことがある人)	面	問 66
SZFFONLY	家族人数 (本人除く)	面	問 42
SZFFOTHR	その他の家族の人数	面	問 41-1
SZFFOUT	一時的な別居家族の人数	面	問 44-1
SZFFTTL	家族人数 (本人含む)	面	問 42
SZHSINCM	世帯年収	面	問 68-1
SZINCOMA	本人年収：全体	面	問 68-2
SZINCOMX	本人年収：主な仕事	面	問 68-3
SZSJBHWK	副業就労時間数/週	面	問 2
SZSTFFST	初職の企業規模	面	問 61
SZSTFLS	前職の企業規模 (6 分類)	面	問 24
SZTTLSTA	企業規模	面	問 12
TP1STJB	初職の雇用関係	面	問 59-1
TP1STJBS	初職の雇用形態	面	問 59-2
TP4WPLA	事業所形態	面	問 5

TP5LOC15	15歳の頃の居住地（本人）	面	問 46-2
TP5LOC20	20歳の頃の居住地（本人）：居住地域の規模	面	問 47-2
TP5UNEMP	不就労の理由	面	問 18
TPFSTJBP	初職の役職	面	問 59-3
TPHOUSE	調査員への質問：回答者の居住形態	調	F7-1
TPJB	雇用関係	面	問 3-1
TPJBS	雇用形態	面	問 3-2
TPJBSE	従業員を持つ自営業者	面	問 3-4
TPJOBP	役職	面	問 3-3
TPLSTJB	前職の雇用関係	面	問 22-1
TPLSTJBP	前職の役職	面	問 22-3
TPLSTJBS	前職の雇用形態	面	問 22-2
TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者	留	Q40 J
TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁	留	Q40 D
TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員	留	Q40 K
TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員	留	Q40 L
TR3COPZ	組織への信頼：警察	留	Q40 N
TR3CORPZ	組織への信頼：大企業	留	Q40 A
TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊	留	Q40 M
TR3FINZ	組織への信頼：金融機関	留	Q40 O
TR3HSPLZ	組織への信頼：病院	留	Q40 G
TR3NWSPZ	組織への信頼：新聞	留	Q40 F
TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体	留	Q40 B
TR3SCHLZ	組織への信頼：学校	留	Q40 C
TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所	留	Q40 I
TR3TVZ	組織への信頼：テレビ	留	Q40 H
TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合	留	Q40 E
USFLSKL	経験や技能が現在の仕事に役立った程度	面	問 11
USTAND	調査員への質問：回答者の理解度	調	F2
WEIGHT	ウェイト		◇
WHNSPSCH	専修学校・専門学校：通った時期	面	問 54-3
WHOINTSS	配偶者の紹介者	留	Q68-2 A
WHRMTSS	配偶者と出会った場所	留	Q68-2 B
WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	面	問 15
WLLIVE	現在の居住地に住み続けたいか	留	Q21
WLMNGGRV	先祖の墓：今後どのように受け継ぐか	面	Q16-2
WNTMRY	結婚・再婚の意欲	面	問 27-2
WNTMRYAG	結婚・再婚の意欲：何歳までに	面	問 27-2
XC2OTHR	介護の相手（本人）：その他	留	Q28-2 4
XC2PM	介護の相手（本人）：回答者の親	留	Q28-2 2
XC2SS	介護の相手（本人）：配偶者	留	Q28-2 1
XC2SSPM	介護の相手（本人）：配偶者の親	留	Q28-2 3
XCARE	介護経験（本人）	留	Q28-1
XCC18	18歳以上の子どもの有無	留	Q71
XGETJOB	初職の就労時期	面	問 58
XGRADE	在学中の場合の学年（本人）	面	問 52
XHSRATE	高校：進学率	面	問 53-2
XHSSUB	高校：学んだ学科	面	問 53-1

XINHRGRV	先祖の墓の受け継ぎ	留	Q16-1
XJBSCB	通常労働時間数/週	面	問 9
XJOB1WK	先週の就労経験	面	問 1
XJOBDWK	就労日数/週	面	問 8
XJOBHWK	就労時間数/週	面	問 2
XJOBYR	就労年数	面	問 10
XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留	Q17
XMARRY	結婚経験	留	Q57
XNUMBROE	兄弟姉妹人数 (兄)	面	問 45-1
XNUMBROY	兄弟姉妹人数 (弟)	面	問 45-1
XNUMCOWK	転職数	面	問 26
XNUMSISE	兄弟姉妹人数 (姉)	面	問 45-1
XNUMSISY	兄弟姉妹人数 (妹)	面	問 45-1
XQTSMOKE	禁煙努力	留	Q8-2
XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験 (本人)	面	問 54-1
XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数 (兄)	面	問 45-2
XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数 (弟)	面	問 45-2
XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数 (姉)	面	問 45-2
XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数 (妹)	面	問 45-2
XSSRMG	配偶者の初婚・再婚	留	Q69
XUPUBLIC	大学など：国・公・私立	面	問 55-1
XWORK	就労経験	面	問 19
XX8PLPTY	支持政党	留	Q31
XXFSTJB	初職の職種	面	問 60
XXJE08	職種 (ISCO08)	面	問 7
XXJOB	職種	面	問 7
XXLJE08	前職の職種 (ISCO08)	面	問 23
XXLSTJB	前職の職種	面	問 23
XXLSTSCH	最終学校 (本人)	面	問 51
XXRL	信仰する宗教 (本人)	留	Q43-2
XXSCHDPT	最終学校での学部・学科	面	問 55-2
XXSPSTDY	専修学校・専門学校：学科・分野	面	問 54-2
XXSTPJB	離職理由	面	問 21
XXWPL	業種	面	問 6

竹本 圭佑

### III. JGSS-2018 資料

### Ⅲ.1 抽出地点リスト

(調査対象者の特定に繋がる可能性があるため、地点リストを削除している)

### Ⅲ.2 産業コード

10	農業
20	林業
30	漁業
40	鉱業
50	建設業
60	製造業
70	電気・ガス・熱供給・水道業
80	運輸業
91	卸売業
92	小売業
93	飲食店
100	金融・保険業
110	不動産業
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業
130	情報・通信サービス業
140	医療・福祉サービス業
150	教育・研究サービス業
160	法律・会計サービス業
170	その他のサービス業
180	公務
190	分類不能の産業
987	兵役
998	非該当
999	無回答

産業カテゴリーの分類コードについては、原則として『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年SSM調査研究会)を利用した。1995年SSM分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授(当時)の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。

### Ⅲ.3 職業コード

501 (専門)	自然科学系研究者
502 (専門)	人文科学系研究者
503 (専門)	機械・電気・化学技術者
504 (専門)	建築・土木技術者
505 (専門)	農林技術者
506 (専門)	情報処理技術者
507 (専門)	その他の技師・技術者
508 (専門)	医師
509 (専門)	歯科医師
510 (専門)	薬剤師
511 (専門)	助産師 (助産婦)
512 (専門)	保健師 (保健婦)
513 (専門)	栄養士
514 (専門)	看護師 (看護婦、看護師)
515 (専門)	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516 (専門)	その他の保健医療従事者
517 (専門)	裁判官、検察官、弁護士
518 (専門)	その他の法務従事者
519 (専門)	公認会計士、税理士
520 (専門)	幼稚園教員
521 (専門)	小学校教員
522 (専門)	中学校教員
523 (専門)	高等学校教員
524 (専門)	大学教員
525 (専門)	盲・ろう・養護学校教員
526 (専門)	その他の教員
527 (専門)	宗教家
528 (専門)	文芸家、著述家
529 (専門)	記者、編集者
530 (専門)	彫刻家、画家、工芸美術家
531 (専門)	デザイナー
532 (専門)	写真家、カメラマン
533 (専門)	音楽家 (個人に教授するものを除く)
534 (専門)	俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するものを除く)
535 (専門)	職業スポーツ家 (個人に教授するものを除く)
536 (専門)	獣医師
537 (専門)	保育士 (保母、保父)
538 (専門)	社会福祉事業専門職員
539 (専門)	個人教師



540 (専門)	不動産鑑定士
541 (専門)	経営コンサルタント
542 (専門)	アナウンサー (ラジオ・テレビ)
543 (専門)	図書館司書
544 (専門)	その他の専門的・技術的職業従事者
545 (管理)	管理的公務員
546 (管理)	国会議員
547 (管理)	地方議員
548 (管理)	会社役員
549 (管理)	その他の法人・団体の役員
550 (管理)	会社・団体等の管理職員
551 (管理)	駅長、区長
552 (管理)	郵便局長、電報・電話局長
553 (管理)	その他の管理的職業従事者
554 (事務)	総務・企画事務員
555 (事務)	受付・案内事務員
556 (事務)	出荷・受荷事務員
557 (事務)	営業・販売事務員
558 (事務)	その他の一般事務員
559 (事務)	会計事務員
560 (事務)	郵便・通信事務員
561 (事務)	集金人
562 (事務)	その他の外勤事務従事者
563 (事務)	運輸事務員
564 (事務)	速記者、タイピスト、キーパンチャー
565 (事務)	電子計算機等操作員
566 (販売)	小売店主
567 (販売)	卸売店主
568 (販売)	飲食店主
569 (販売)	販売店員
570 (販売)	行商人、呼売人、露天商
571 (販売)	再生資源卸売人・回収人
572 (販売)	商品仲立人
573 (販売)	外交員 (保険、不動産を除く)
574 (販売)	保険代理人・外交員
575 (販売)	不動産仲買人・売買人
576 (販売)	質屋店主・店員
577 (販売)	その他の販売類似職業従事者
578 (非熟練)	家政婦、家事サービス職業従事者
579 (熟練)	理容師、美容師
580 (半熟練)	クリーニング職、洗張職
581 (熟練)	料理人

582 (販売)	バーテンダー
583 (販売)	給仕係
584 (販売)	スチュワーデス、スチュワード
585 (販売)	接客社交係
586 (事務)	娯楽場等の接客員
587 (販売)	旅行・観光案内人
588 (販売)	その他の個人サービス職業従事者
589 (販売)	旅館主人・番頭、ホテル支配人
590 (事務)	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591 (非熟練)	ファッションモデル
592 (非熟練)	その他のサービス職業従事者
593 (事務)	自衛官
594 (事務)	警察官、海上保安官、鉄道公安員
595 (事務)	消防員
596 (事務)	看守、守衛、監視員
597 (事務)	その他の保安職業従事者
598 (事務)	旧職業軍人
599 (農林)	農耕・養蚕作業者
600 (農林)	植木職、造園師
601 (農林)	畜産作業者
602 (農林)	林業作業者
603 (農林)	その他の農林業作業者
604 (農林)	漁業作業者
605 (農林)	漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606 (半熟練)	電車・機関車運転士
607 (半熟練)	自動車運転者
608 (管理)	船長・航海士 (漁船を除く)、水先人
609 (専門)	船舶機関長・機関士 (漁船を除く)
610 (専門)	航空機操縦士、航空士、航空機関士
611 (半熟練)	車掌
612 (半熟練)	鉄道員
613 (半熟練)	船員
614 (半熟練)	その他の運輸従事者
615 (専門)	無線通信士、無線技術士
616 (事務)	有線通信士
617 (事務)	電話交換手
618 (事務)	郵便・電報外務員
619 (事務)	その他の通信従事者
620 (非熟練)	採鉱員、採炭員
621 (非熟練)	石切出作業者
622 (非熟練)	その他の採掘作業者
623 (熟練)	陶磁器工、絵付作業者

624 (熟練)	石工
625 (半熟練)	ガラス・セメント製品製造作業
626 (熟練)	その他の窯業・土石製品製造作業
627 (半熟練)	製鉄工、製鋼工、精錬工
628 (熟練)	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業
629 (半熟練)	化学製品製造作業
630 (半熟練)	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業
631 (熟練)	鉄工、板金工
632 (半熟練)	金属溶接工
633 (熟練)	一般機械組立工・修理工
634 (半熟練)	電気機械器具組立工・修理工
635 (熟練)	自動車組立工・整備工
636 (熟練)	鉄道車両組立工・修理工
637 (熟練)	船舶ぎ装工 (他に分類されない)
638 (熟練)	航空機組立工・整備工
639 (熟練)	自転車組立工・修理工
640 (熟練)	その他の輸送機械組立・修理作業
641 (熟練)	時計組立工・修理工
642 (熟練)	光学機械・精密機械器具組立工・修理工
643 (熟練)	精穀工、製粉工
644 (熟練)	パン・菓子・めん類・豆腐製造工
645 (半熟練)	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造作業
646 (半熟練)	たばこ製造工
647 (熟練)	酒類製造工
648 (半熟練)	製糸作業
649 (半熟練)	織布工、紡織作業
650 (半熟練)	漂白工、染色工
651 (熟練)	洋服・和服仕立職
652 (半熟練)	縫製工、裁断工
653 (半熟練)	製材工、木工
654 (熟練)	指物職、家具職、建具職
655 (熟練)	船大工
656 (熟練)	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業
657 (半熟練)	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業
658 (熟練)	印刷・製本作業
659 (半熟練)	ゴム・プラスチック製品製造作業
660 (熟練)	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業
661 (熟練)	塗装工、画工、看板工
662 (熟練)	漆塗師、まき絵師
663 (熟練)	表具師、内張工
664 (熟練)	和がさ・ちょうちん・うちわ職
665 (熟練)	貴金属・宝石・甲・角等細工

666 (熟練)	印判師
667 (半熟練)	洋傘組立工
668 (熟練)	かばん・袋物製造工
669 (半熟練)	がん具製造工
670 (熟練)	製図工、現図工
671 (熟練)	映写技士
672 (半熟練)	その他の技能工・生産工程作業
673 (熟練)	汽かん士、汽かん火夫
674 (熟練)	起重機・建設機械運転作業
675 (熟練)	その他の定置機関運転作業
676 (半熟練)	発電員、変電員
677 (熟練)	電気工事・電話工事作業
678 (熟練)	土木・建築請負師
679 (熟練)	左官、とび職
680 (熟練)	れんが積工、配管工
681 (熟練)	昼職
682 (非熟練)	土工、道路工夫
683 (非熟練)	鉄道線路工夫
684 (熟練)	現場監督、その他の建設作業
685 (非熟練)	倉庫夫、仲仕
686 (非熟練)	運搬労務者
687 (非熟練)	清掃員
688 (非熟練)	その他の労務作業
689 (分類不能)	分類不能の職業
690 (分類不能)	旧地主
691 (分類不能)	名目上の役員
701 (事務)	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702 (分類不能)	大工
703 (専門)	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704 (分類不能)	製品製造作業：(特に父職で) 作っている製品が明記されていない場合
705 (分類不能)	会社員：(特に父職で) 記入が「会社員」とあった場合
707 (分類不能)	自営業：(特に父職で) 記入が「自営業」とあった場合
986 (分類不能)	無職
987 (分類不能)	兵役
998 (非該当)	非該当
999 (無回答)	不明、無回答

※括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2003 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類 (95 年版)』(1995 年 SSM 調査研究会)における 1995 年 SSM 分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995 年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS 分類と SSM 分類との相違点は、以下のとおりである。

#### SSM 分類と内容が若干異なるコード

511	助産師 (助産婦)
512	保健師 (保健婦)
514	看護師 (看護婦、看護師)
537	保育士 (保母、保父)
578	家政婦、家事サービス職業従事者

#### SSM 分類にはないコード

701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー：「559 会計事務員」から分離
702	大工：「679 大工・左官、とび職」から分離
703	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704	製品製造作業員：(特に父職で) 作っている製品が明記されていない場合に用いた
705	会社員：(特に父職で) 記入が「会社員」とあった場合
707	自営業：(特に父職で) 記入が「自営業」とあった場合

#### SSM 分類には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

988	大学生、短大生
989	大学院生
990	その他の生徒・学生

また、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい (所属は 2005 年 3 月現在)。

高橋 和子	(敬愛大学国際学部 助教授)
奥村 学	(東京工業大学精密工学研究所 助教授)
高村 大也	(東京工業大学精密工学研究所 助手)
須山 敦	(東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年)
村山 紀文	(東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年)

### Ⅲ.4 国際標準職業分類 (ISCO)

国際標準職業分類 (International Standard Classification of Occupations: ISCO) は、国際労働機関 (International Labour Organization: ILO) が定めている職業分類コード (詳細は <http://www.ilo.org/>) である。JGSS-2018 では、本人 (前職含む)・配偶者・15 歳の頃の父親の職種について ISCO-08 を用いて従来の職業分類とは別に変数を作成した。コーディングはもっとも細かい 4 桁 (Unit group) の水準で行ったが、基礎集計は Major group にまとめている。

#### MAJOR GROUP 1: MANAGERS

- 11 Chief executives, senior officials and legislators
  - 111 Legislators and senior officials
    - 1111 Legislators
    - 1112 Senior government officials
    - 1113 Traditional chiefs and heads of village
    - 1114 Senior officials of special-interest organizations
  - 112 Managing directors and chief executives
    - 1120 Managing directors and chief executives
- 12 Administrative and commercial managers
  - 121 Business services and administration managers
    - 1211 Finance managers
    - 1212 Human resource managers
    - 1213 Policy and planning managers
    - 1219 Business services and administration managers not elsewhere classified
  - 122 Sales, marketing and development managers
    - 1221 Sales and marketing managers
    - 1222 Advertising and public relations managers
    - 1223 Research and development managers
- 13 Production and specialised services managers
  - 131 Production managers in agriculture, forestry and fisheries
    - 1311 Agricultural and forestry production managers
    - 1312 Aquaculture and fisheries production managers
  - 132 Manufacturing, mining, construction, and distribution managers
    - 1321 Manufacturing managers
    - 1322 Mining managers
    - 1323 Construction managers
    - 1324 Supply, distribution and related managers
  - 133 Information and communications technology service managers
    - 1330 Information and communications technology service managers
  - 134 Professional services managers
    - 1341 Child care services managers
    - 1342 Health services managers

- 1343 Aged care services managers
- 1344 Social welfare managers
- 1345 Education managers
- 1346 Financial and insurance services branch managers
- 1349 Professional services managers not elsewhere classified
- 14 Hospitality, retail and other services managers
  - 141 Hotel and restaurant managers
    - 1411 Hotel managers
    - 1412 Restaurant managers
  - 142 Retail and wholesale trade managers
    - 1420 Retail and wholesale trade managers
  - 143 Other services managers
    - 1431 Sports, recreation and cultural centre managers
    - 1439 Services managers not elsewhere classified

#### MAJOR GROUP 2: PROFESSIONALS

- 21 Science and engineering professionals
  - 211 Physical and earth science professionals
    - 2111 Physicists and astronomers
    - 2112 Meteorologists
    - 2113 Chemists
    - 2114 Geologists and geophysicists
  - 212 Mathematicians, actuaries and statisticians
    - 2120 Mathematicians, actuaries and statisticians
  - 213 Life science professionals
    - 2131 Biologists, botanists, zoologists and related professionals
    - 2132 Farming, forestry and fisheries advisers
    - 2133 Environmental protection professionals
  - 214 Engineering professionals (excluding electrotechnology)
    - 2141 Industrial and production engineers
    - 2142 Civil engineers
    - 2143 Environmental engineers
    - 2144 Mechanical engineers
    - 2145 Chemical engineers
    - 2146 Mining engineers, metallurgists and related professionals
    - 2149 Engineering professionals not elsewhere classified
  - 215 Electrotechnology engineers
    - 2151 Electrical engineers
    - 2152 Electronics engineers
    - 2153 Telecommunications engineers
  - 216 Architects, planners, surveyors and designers
    - 2161 Building architects

- 2162 Landscape architects
- 2163 Product and garment designers
- 2164 Town and traffic planners
- 2165 Cartographers and surveyors
- 2166 Graphic and multimedia designers
- 22 Health professionals
  - 221 Medical doctors
    - 2211 Generalist medical practitioners
    - 2212 Specialist medical practitioners
  - 222 Nursing and midwifery professionals
    - 2221 Nursing professionals
    - 2222 Midwifery professionals
  - 223 Traditional and complementary medicine professionals
    - 2230 Traditional and complementary medicine professionals
  - 224 Paramedical practitioners
    - 2240 Paramedical practitioners
  - 225 Veterinarians
    - 2250 Veterinarians
  - 226 Other health professionals
    - 2261 Dentists
    - 2262 Pharmacists
    - 2263 Environmental and occupational health and hygiene professionals
    - 2264 Physiotherapists
    - 2265 Dieticians and nutritionists
    - 2266 Audiologists and speech therapists
    - 2267 Optometrists and ophthalmic opticians
    - 2269 Health professionals not elsewhere classified
- 23 Teaching professionals
  - 231 University and higher education teachers
    - 2310 University and higher education teachers
  - 232 Vocational education teachers
    - 2320 Vocational education teachers
  - 233 Secondary education teachers
    - 2330 Secondary education teachers
  - 234 Primary school and early childhood teachers
    - 2341 Primary school teachers
    - 2342 Early childhood educators
  - 235 Other teaching professionals
    - 2351 Education methods specialists
    - 2352 Special needs teachers
    - 2353 Other language teachers
    - 2354 Other music teachers



- 2355 Other arts teachers
- 2356 Information technology trainers
- 2359 Teaching professionals not elsewhere classified
- 24 Business and administration professionals
  - 241 Finance professionals
    - 2411 Accountants
    - 2412 Financial and investment advisers
    - 2413 Financial analysts
  - 242 Administration professionals
    - 2421 Management and organization analysts
    - 2422 Policy administration professionals
    - 2423 Personnel and careers professionals
    - 2424 Training and staff development professionals
  - 243 Sales, marketing and public relations professionals
    - 2431 Advertising and marketing professionals
    - 2432 Public relations professionals
    - 2433 Technical and medical sales professionals (excluding ICT)
    - 2434 Information and communications technology sales professionals
- 25 Information and communications technology professionals
  - 251 Software and applications developers and analysts
    - 2511 Systems analysts
    - 2512 Software developers
    - 2513 Web and multimedia developers
    - 2514 Applications programmers
    - 2519 Software and applications developers and analysts not elsewhere classified
  - 252 Database and network professionals
    - 2521 Database designers and administrators
    - 2522 Systems administrators
    - 2523 Computer network professionals
    - 2529 Database and network professionals not elsewhere classified
- 26 Legal, social and cultural professionals
  - 261 Legal professionals
    - 2611 Lawyers
    - 2612 Judges
    - 2619 Legal professionals not elsewhere classified
  - 262 Librarians, archivists and curators
    - 2621 Archivists and curators
    - 2622 Librarians and related information professionals
  - 263 Social and religious professionals
    - 2631 Economists
    - 2632 Sociologists, anthropologists and related professionals
    - 2633 Philosophers, historians and political scientists

- 2634 Psychologists
- 2635 Social work and counselling professionals
- 2636 Religious professionals
- 264 Authors, journalists and linguists
  - 2641 Authors and related writers
  - 2642 Journalists
  - 2643 Translators, interpreters and other linguists
- 265 Creative and performing artists
  - 2651 Visual artists
  - 2652 Musicians, singers and composers
  - 2653 Dancers and choreographers
  - 2654 Film, stage and related directors and producers
  - 2655 Actors
  - 2656 Announcers on radio, television and other media
  - 2659 Creative and performing artists not elsewhere classified

MAJOR GROUP 3: TECHNICIANS AND ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 31 Science and engineering associate professionals
  - 311 Physical and engineering science technicians
    - 3111 Chemical and physical science technicians
    - 3112 Civil engineering technicians
    - 3113 Electrical engineering technicians
    - 3114 Electronics engineering technicians
    - 3115 Mechanical engineering technicians
    - 3116 Chemical engineering technicians
    - 3117 Mining and metallurgical technicians
    - 3118 Draughtspersons
    - 3119 Physical and engineering science technicians not elsewhere classified
  - 312 Mining, manufacturing and construction supervisors
    - 3121 Mining supervisors
    - 3122 Manufacturing supervisors
    - 3123 Construction supervisors
  - 313 Process control technicians
    - 3131 Power production plant operators
    - 3132 Incinerator and water treatment plant operators
    - 3133 Chemical processing plant controllers
    - 3134 Petroleum and natural gas refining plant operators
    - 3135 Metal production process controllers
    - 3139 Process control technicians not elsewhere classified
  - 314 Life science technicians and related associate professionals
    - 3141 Life science technicians (excluding medical)
    - 3142 Agricultural technicians

- 3143 Forestry technicians
- 315 Ship and aircraft controllers and technicians
  - 3151 Ships' engineers
  - 3152 Ships' deck officers and pilots
  - 3153 Aircraft pilots and related associate professionals
  - 3154 Air traffic controllers
  - 3155 Air traffic safety electronics technicians
- 32 Health associate professionals
  - 321 Medical and pharmaceutical technicians
    - 3211 Medical imaging and therapeutic equipment technicians
    - 3212 Medical and pathology laboratory technicians
    - 3213 Pharmaceutical technicians and assistants
    - 3214 Medical and dental prosthetic technicians
  - 322 Nursing and midwifery associate professionals
    - 3221 Nursing associate professionals
    - 3222 Midwifery associate professionals
  - 323 Traditional and complementary medicine associate professionals
    - 3230 Traditional and complementary medicine associate professionals
  - 324 Veterinary technicians and assistants
    - 3240 Veterinary technicians and assistants
  - 325 Other health associate professionals
    - 3251 Dental assistants and therapists
    - 3252 Medical records and health information technicians
    - 3253 Community health workers
    - 3254 Dispensing opticians
    - 3255 Physiotherapy technicians and assistants
    - 3256 Medical assistants
    - 3257 Environmental and occupational health inspectors and associates
    - 3258 Ambulance workers
    - 3259 Health associate professionals not elsewhere classified
- 33 Business and administration associate professionals
  - 331 Financial and mathematical associate professionals
    - 3311 Securities and finance dealers and brokers
    - 3312 Credit and loans officers
    - 3313 Accounting associate professionals
    - 3314 Statistical, mathematical and related associate professionals
    - 3315 Valuers and loss assessors
  - 332 Sales and purchasing agents and brokers
    - 3321 Insurance representatives
    - 3322 Commercial sales representatives
    - 3323 Buyers
    - 3324 Trade brokers

- 333 Business services agents
  - 3331 Clearing and forwarding agents
  - 3332 Conference and event planners
  - 3333 Employment agents and contractors
  - 3334 Real estate agents and property managers
  - 3339 Business services agents not elsewhere classified
- 334 Administrative and specialised secretaries
  - 3341 Office supervisors
  - 3342 Legal secretaries
  - 3343 Administrative and executive secretaries
  - 3344 Medical secretaries
- 335 Regulatory government associate professionals
  - 3351 Customs and border inspectors
  - 3352 Government tax and excise officials
  - 3353 Government social benefits officials
  - 3354 Government licensing officials
  - 3355 Police inspectors and detectives
  - 3359 Regulatory government associate professionals not elsewhere classified
- 34 Legal, social, cultural and related associate professionals
  - 341 Legal, social and religious associate professionals
    - 3411 Police inspectors and detectives
    - 3412 Social work associate professionals
    - 3413 Religious associate professionals
  - 342 Sports and fitness workers
    - 3421 Athletes and sports players
    - 3422 Sports coaches, instructors and officials
    - 3423 Fitness and recreation instructors and program leaders
  - 343 Artistic, cultural and culinary associate professionals
    - 3431 Photographers
    - 3432 Interior designers and decorators
    - 3433 Gallery, museum and library technicians
    - 3434 Chefs
    - 3435 Other artistic and cultural associate professionals
- 35 Information and communications technicians
  - 351 Information and communications technology operations and user support technicians
    - 3511 Information and communications technology operations technicians
    - 3512 Information and communications technology user support technicians
    - 3513 Computer network and systems technicians
    - 3514 Web technicians
  - 352 Telecommunications and broadcasting technicians
    - 3521 Broadcasting and audio-visual technicians
    - 3522 Telecommunications engineering technicians

MAJOR GROUP 4: CLERICAL SUPPORT WORKERS

- 41 General and keyboard clerks
  - 411 General office clerks
    - 4110 General office clerks
  - 412 Secretaries (general)
    - 4120 Secretaries (general)
  - 413 Keyboard operators
    - 4131 Typists and word processing operators
    - 4132 Data entry clerks
- 42 Customer services clerks
  - 421 Tellers, money collectors and related clerks
    - 4211 Bank tellers and related clerks
    - 4212 Bookmakers, croupiers and related gaming workers
    - 4213 Pawnbrokers and money-lenders
    - 4214 Debt-collectors and related workers
  - 422 Client information workers
    - 4221 Travel consultants and clerks
    - 4222 Contact centre information clerks
    - 4223 Telephone switchboard operators
    - 4224 Hotel receptionists
    - 4225 Enquiry clerks
    - 4226 Receptionists (general)
    - 4227 Survey and market research interviewers
    - 4229 Client information workers not elsewhere classified
- 43 Numerical and material recording clerks
  - 431 Numerical clerks
    - 4311 Accounting and bookkeeping clerks
    - 4312 Statistical, finance and insurance clerks
    - 4313 Payroll clerks
  - 432 Material-recording and transport clerks
    - 4321 Stock clerks
    - 4322 Production clerks
    - 4323 Transport clerks
- 44 Other clerical support workers
  - 441 Other clerical support workers
    - 4411 Library clerks
    - 4412 Mail carriers and sorting clerks
    - 4413 Coding, proof-reading and related clerks
    - 4414 Scribes and related workers
    - 4415 Filing and copying clerks
    - 4416 Personnel clerks

4419 Clerical support workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 5: SERVICE AND SALES WORKERS

51 Personal service workers

511 Travel attendants, conductors and guides

5111 Travel attendants and travel stewards

5112 Transport conductors

5113 Travel guides

512 Cooks

5120 Cooks

513 Waiters and bartenders

5131 Waiters

5132 Bartenders

514 Hairdressers, beauticians and related workers

5141 Hairdressers

5142 Beauticians and related workers

515 Building and housekeeping supervisors

5151 Cleaning and housekeeping supervisors in offices, hotels and other establishments

5152 Domestic housekeepers

5153 Building caretakers

516 Other personal services workers

5161 Astrologers, fortune-tellers and related workers

5162 Companions and valets

5163 Undertakers and embalmers

5164 Pet groomers and animal care workers

5165 Driving instructors

5169 Personal services workers not elsewhere classified

52 Sales workers

521 Street and market salespersons

5211 Stall and market salespersons

5212 Street food salespersons

522 Shop salespersons

5221 Shop keepers

5222 Shop supervisors

5223 Shop sales assistants

523 Cashiers and ticket clerks

5230 Cashiers and ticket clerks

524 Other sales workers

5241 Fashion and other models

5242 Sales demonstrators

5243 Door to door salespersons

5244 Contact centre salespersons

- 5245 Service station attendants
- 5246 Food service counter attendants
- 5249 Sales workers not elsewhere classified
- 53 Personal care workers
  - 531 Child care workers and teachers' aides
    - 5311 Child care workers
    - 5312 Teachers' aides
  - 532 Personal care workers in health services
    - 5321 Health care assistants
    - 5322 Home-based personal care workers
    - 5329 Personal care workers in health services not elsewhere classified
- 54 Protective services workers
  - 541 Protective services workers
    - 5411 Fire-fighters
    - 5412 Police officers
    - 5413 Prison guards
    - 5414 Security guards
    - 5419 Protective services workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 6: SKILLED AGRICULTURAL, FORESTRY AND FISHERY WORKERS

- 61 Market-oriented skilled agricultural workers
  - 611 Market gardeners and crop growers
    - 6111 Field crop and vegetable growers
    - 6112 Tree and shrub crop growers
    - 6113 Gardeners, horticultural and nursery growers
    - 6114 Mixed crop growers
  - 612 Animal producers
    - 6121 Livestock and dairy producers
    - 6122 Poultry producers
    - 6123 Apiarists and sericulturists
    - 6129 Animal producers not elsewhere classified
  - 613 Mixed crop and animal producers
    - 6130 Mixed crop and animal producers
- 62 Market-oriented skilled forestry, fishery and hunting workers
  - 621 Forestry and related workers
    - 6210 Forestry and related workers
  - 622 Fishery workers, hunters and trappers
    - 6221 Aquaculture workers
    - 6222 Inland and coastal waters fishery workers
    - 6223 Deep-sea fishery workers
    - 6224 Hunters and trappers
- 63 Subsistence farmers, fishers, hunters and gatherers

- 631 Subsistence crop farmers
  - 6310 Subsistence crop farmers
- 632 Subsistence livestock farmers
  - 6320 Subsistence livestock farmers
- 633 Subsistence mixed crop and livestock farmers
  - 6330 Subsistence mixed crop and livestock farmers
- 634 Subsistence fishers, hunters, trappers and gatherers
  - 6340 Subsistence fishers, hunters, trappers and gatherers

MAJOR GROUP 7: CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS

- 71 Building and related trades workers, excluding electricians
  - 711 Building frame and related trades workers
    - 7111 House builders
    - 7112 Bricklayers and related workers
    - 7113 Stonemasons, stone cutters, splitters and carvers
    - 7114 Concrete placers, concrete finishers and related workers
    - 7115 Carpenters and joiners
    - 7119 Building frame and related trades workers not elsewhere classified
  - 712 Building finishers and related trades workers
    - 7121 Roofers
    - 7122 Floor layers and tile setters
    - 7123 Plasterers
    - 7124 Insulation workers
    - 7125 Glaziers
    - 7126 Plumbers and pipe fitters
    - 7127 Air conditioning and refrigeration mechanics
  - 713 Painters, building structure cleaners and related trades workers
    - 7131 Painters and related workers
    - 7132 Spray painters and varnishers
    - 7133 Building structure cleaners
- 72 Metal, machinery and related trades workers
  - 721 Sheet and structural metal workers, moulders and welders, and related workers
    - 7211 Metal moulders and coremakers
    - 7212 Welders and flamecutters
    - 7213 Sheet-metal workers
    - 7214 Structural-metal preparers and erectors
    - 7215 Riggers and cable splicers
  - 722 Blacksmiths, toolmakers and related trades workers
    - 7221 Blacksmiths, hammersmiths and forging press workers
    - 7222 Toolmakers and related workers
    - 7223 Metal working machine tool setters and operators
    - 7224 Metal polishers, wheel grinders and tool sharpeners



- 723 Machinery mechanics and repairers
  - 7231 Motor vehicle mechanics and repairers
  - 7232 Aircraft engine mechanics and repairers
  - 7233 Agricultural and industrial machinery mechanics and repairers
  - 7234 Bicycle and related repairers
- 73 Handicraft and printing workers
  - 731 Handicraft workers
    - 7311 Precision-instrument makers and repairers
    - 7312 Musical instrument makers and tuners
    - 7313 Jewellery and precious-metal workers
    - 7314 Potters and related workers
    - 7315 Glass makers, cutters, grinders and finishers
    - 7316 Sign writers, decorative painters, engravers and etchers
    - 7317 Handicraft workers in wood, basketry and related materials
    - 7318 Handicraft workers in textile, leather and related materials
    - 7319 Handicraft workers not elsewhere classified
  - 732 Printing trades workers
    - 7321 Pre-press technicians
    - 7322 Printers
    - 7323 Print finishing and binding workers
- 74 Electrical and electronic trades workers
  - 741 Electrical equipment installers and repairers
    - 7411 Building and related electricians
    - 7412 Electrical mechanics and fitters
    - 7413 Electrical line installers and repairers
  - 742 Electronics and telecommunications installers and repairers
    - 7421 Electronics mechanics and servicers
    - 7422 Information and communications technology installers and servicers
- 75 Food processing, wood working, garment and other craft and related trades workers
  - 751 Food processing and related trades workers
    - 7511 Butchers, fishmongers and related food preparers
    - 7512 Bakers, pastry-cooks and confectionery makers
    - 7513 Dairy-products makers
    - 7514 Fruit, vegetable and related preservers
    - 7515 Food and beverage tasters and graders
    - 7516 Tobacco preparers and tobacco products makers
  - 752 Wood treaters, cabinet-makers and related trades workers
    - 7521 Wood treaters
    - 7522 Cabinet-makers and related workers
    - 7523 Woodworking-machine tool setters and operators
  - 753 Garment and related trades workers
    - 7531 Tailors, dressmakers, furriers and hatters

- 7532 Garment and related pattern-makers and cutters
- 7533 Sewing, embroidery and related workers
- 7534 Upholsterers and related workers
- 7535 Pelt dressers, tanners and fellmongers
- 7536 Shoemakers and related workers
- 754 Other craft and related workers
  - 7541 Underwater divers
  - 7542 Shotfirers and blasters
  - 7543 Product graders and testers (excluding foods and beverages)
  - 7544 Fumigators and other pest and weed controllers
  - 7549 Craft and related workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 8: PLANT AND MACHINE OPERATORS, AND ASSEMBLERS

- 81 Stationary plant and machine operators
  - 811 Mining and mineral processing plant operators
    - 8111 Miners and quarriers
    - 8112 Mineral and stone processing plant operators
    - 8113 Well drillers and borers and related workers
    - 8114 Cement, stone and other mineral products machine operators
  - 812 Metal processing and finishing plant operators
    - 8121 Metal processing plant operators
    - 8122 Metal finishing, plating and coating machine operators
  - 813 Chemical and photographic products plant and machine operators
    - 8131 Chemical products plant and machine operators
    - 8132 Photographic products machine operators
  - 814 Rubber, plastic and paper products machine operators
    - 8141 Rubber products machine operators
    - 8142 Plastic products machine operators
    - 8143 Paper products machine operators
  - 815 Textile, fur and leather products machine operators
    - 8151 Fibre preparing, spinning and winding machine operators
    - 8152 Weaving and knitting machine operators
    - 8153 Sewing machine operators
    - 8154 Bleaching, dyeing and fabric cleaning machine operators
    - 8155 Fur and leather preparing machine operators
    - 8156 Shoemaking and related machine operators
    - 8157 Laundry machine operators
    - 8159 Textile, fur and leather products machine operators not elsewhere classified
  - 816 Food and related products machine operators
    - 8160 Food and related products machine operators
  - 817 Wood processing and papermaking plant operators
    - 8171 Pulp and papermaking plant operators

- 8172 Wood processing plant operators
- 818 Other stationary plant and machine operators
  - 8181 Glass and ceramics plant operators
  - 8182 Steam engine and boiler operators
  - 8183 Packing, bottling and labelling machine operators
  - 8189 Stationary plant and machine operators not elsewhere classified
- 82 Assemblers
  - 821 Assemblers
    - 8211 Mechanical machinery assemblers
    - 8212 Electrical and electronic equipment assemblers
    - 8219 Assemblers not elsewhere classified
- 83 Drivers and mobile plant operators
  - 831 Locomotive engine drivers and related workers
    - 8311 Locomotive engine drivers
    - 8312 Railway brake, signal and switch operators
  - 832 Car, van and motorcycle drivers
    - 8321 Motorcycle drivers
    - 8322 Car, taxi and van drivers
  - 833 Heavy truck and bus drivers
    - 8331 Bus and tram drivers
    - 8332 Heavy truck and lorry drivers
  - 834 Mobile plant operators
    - 8341 Mobile farm and forestry plant operators
    - 8342 Earthmoving and related plant operators
    - 8343 Crane, hoist and related plant operators
    - 8344 Lifting truck operators
  - 835 Ships' deck crews and related workers
    - 8350 Ships' deck crews and related workers

MAJOR GROUP 9: ELEMENTARY OCCUPATIONS

- 91 Cleaners and helpers
  - 911 Domestic, hotel and office cleaners and helpers
    - 9111 Domestic cleaners and helpers
    - 9112 Cleaners and helpers in offices, hotels and other establishments
  - 912 Vehicle, window, laundry and other hand cleaning workers
    - 9121 Hand launderers and pressers
    - 9122 Vehicle cleaners
    - 9123 Window cleaners
    - 9129 Other cleaning workers
- 92 Agricultural, forestry and fishery labourers
  - 921 Agricultural, forestry and fishery labourers
    - 9211 Crop farm labourers

- 9212 Livestock farm labourers
- 9213 Mixed crop and livestock farm labourers
- 9214 Garden and horticultural labourers
- 9215 Forestry labourers
- 9216 Fishery and aquaculture labourers
- 93 Labourers in mining, construction, manufacturing and transport
  - 931 Mining and construction labourers
    - 9311 Mining and quarrying labourers
    - 9312 Civil engineering labourers
    - 9313 Building construction labourers
  - 932 Manufacturing labourers
    - 9321 Hand packers
    - 9329 Manufacturing labourers not elsewhere classified
  - 933 Transport and storage labourers
    - 9331 Hand and pedal vehicle drivers
    - 9332 Drivers of animal-drawn vehicles and machinery
    - 9333 Freight handlers
    - 9334 Shelf fillers
- 94 Food preparation assistants
  - 941 Food preparation assistants
    - 9411 Fast food preparers
    - 9412 Kitchen helpers
- 95 Street and related sales and service workers
  - 951 Street and related service workers
    - 9510 Street and related service workers
  - 952 Street vendors (excluding food)
    - 9520 Street vendors (excluding food)
- 96 Refuse workers and other elementary workers
  - 961 Refuse workers
    - 9611 Garbage and recycling collectors
    - 9612 Refuse sorters
    - 9613 Sweepers and related labourers
  - 962 Other elementary workers
    - 9621 Messengers, package deliverers and luggage porters
    - 9622 Odd job persons
    - 9623 Meter readers and vending-machine collectors
    - 9624 Water and firewood collectors
    - 9629 Elementary workers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 0: ARMED FORCES OCCUPATIONS

- 01 Commissioned armed forces officers
  - 011 Commissioned armed forces officers

- 0110 Commissioned armed forces officers
- 02 Non-commissioned armed forces officers
  - 021 Non-commissioned armed forces officers
    - 0210 Non-commissioned armed forces officers
- 03 Armed forces occupations, other ranks
  - 031 Armed forces occupations, other ranks
    - 0310 Armed forces occupations, other ranks

※ISCO-08 には、「自衛官」に対応するコードがない。「自衛官」については、「MAJOR GROUP 5: SERVICE AND SALES WORKERS」の「54 Protective services workers」に、JGSS の独自コードとして「5415 Self-Defense Forces」を割り当てた。

### III.5 GSS・世論調査と JGSS-2018 調査項目（面接調査票）の対応表

- 注：1) GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。  
 2) GSS は 1972 年から 2016 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。  
 3) ※：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	関連する世論調査など
	識別番号	IDUSE		
	地域ブロック	BLOCK	REGION	※
	都道府県名	PREF		※
	市郡規模	SIZE	SIZE SRCBELT XNORCSIZ	※
	市郡規模（2000 年時点）	SIZE2K	SIZE SRCBELT XNORCSIZ	※
冒頭欄	性別	SEXA	SEX	※
	生年	DOBYEAR	COHORT	※
	年齢	AGEB	AGE	※
	配偶者（DOMARRY の転記）	MARC	MARITAL POSSLQ	※
	留置票の種別	FORM	VERSION	
	面接完了日	DATE	DATEINTV	
	面接完了日：月	MONTH	DATEINTV	
	面接完了日：日	DAY	DATEINTV	
	留置回収完了日	DATEB		
	留置回収完了日：月	MONTHB		
留置回収完了日：日	DAYB			
問 1	先週の就労経験	XJOB1WK	CURWKPAY WORKNOW WRKSTAT	※
問 2	就労時間数／週	XJOBHWK	HRS1 HRS2 (WORKWEEK)	※
問 2	副業就労時間数／週	SZSJBHWK	OTHHRS (MOREDAYS) (OTHERWRK) (SECONDWK)	※
問 3-1	雇用関係	TPJB	EMPLOYER WKFAMBIZ WRKSLF	※
問 3-2	雇用形態	TPJBS	PARTFULL WRKTYPE	※
問 3-3	役職	TPJOBP		※
問 3-4	従業員を持つ自営業者	TPJBSE	EMPLOYER NUMEMPS NUMEMPLY PAIDEMPS	2002.8 国民生活金融公庫総合研究所「自己雇用者（≒自営業者）に関する実態調査」 2003.11 リクルートワークス研究所「個人事業主（サービス業）の独立開業に関する実態調査 2004」
問 4	通勤の有無	DOCMT	COMMUTE PLACEWRK	2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）

問 4 1S	通勤時間：時間	SZCMTHR	COMMUTE	2001～2016 総務省「社会生活基本調査」 2005,2010,2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
問 4 1S	通勤時間：分	SZCMTMIN	COMMUTE	2004.11 内閣府「住宅に関する世論調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 4 1S	通勤時間：合計	SZCMTTL	COMMUTE	2009.2 内閣府男女共同参画局「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査 2009」 2015.10 内閣府「住生活に関する世論調査」
問 5	事業所形態	TP4WPLA	NUMSITES PARTORG TYPEORG WRKGOVT	※
問 6	業種	XXWPL	INDUS80 INDUSTRY WORKFOR	※
問 7	職種	XXJOB	ISCO68 ISCO681 ISCO88	※
問 7	職種 (ISCO)	XXJE08	OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
問 8	就労日数／週	XJOBDWK		※
問 9	通常労働時間数／週	XJBSCH		2001～2017 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2004.1 労働政策研究・研修機構「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 10	就労年数	XJOBYR	CUREMPYR EMPYEARS JOBYEAS OTHYRS YEARSJOB	※
問 11	経験や技能が仕事に役立った程度	USFLSKL		
問 12	企業規模	SZTTLSTA	NUMEMPS NUMORG ORGSIZE TOTALNUM	※
問 13	労働組合加入の有無	JOINUNI	MEMUNION UNION	※
問 14	現在の仕事の満足度	ST5JOB	JOBSAT SATJOB SATJOB1 SATJOB7 (WKTOPSAT)	※
問 15	現在の会社・組織での就労継続意向	WLKEEPJA	CHNGEORG LEAVEJOB TRYNEWJB	※
問 16	失業の可能性	OP4UNEMP	JOBLOSE LOSEJB12 WORRYJOB	2000,2001,2004,2007,2011 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2010.8 東京大学社会科学研究所「請負会社・派遣会社の社員として取引先の生産現場で働く皆さんの働き方とキャリアに関するアンケート調査」 2001～2017 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)

問 17	再就労の容易さ	OP3NEWJB	FINDNWJB JOBEASY JOBFIND JOBFIND1	1999,2003,2004,2005,2006 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」 2002～2004 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」 2010.8 東京大学社会科学研究所「請負会社・派遣会社の社員として取引先の生産現場で働く皆さんの働き方とキャリアに関するアンケート調査」
問 18	不就労の理由	TP5UNEMP	WRKSTAT	※
問 19	就労経験	XWORK	EVJOB EVWORK NEVERWK	2007 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 20	離職年齢	AGESTPWK	LASTWKYR YRJOBEND	※
問 21	離職理由	XXSTPJ	LEAVEJB WHYJBEND WHYLEAVE WHYJBCT1 WHYJBCT2 WHYNOJB1 WHYNOJB2	※
問 22-1	前職の雇用関係	TPLSTJB	(FIRSTSLF) (WRKSLFST)	総務省統計局「労働力調査」 総務省統計局「就業構造基本調査」
問 22-2	前職の雇用形態	TPLSTJBS	(PARTFULL)	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95,SSM2005-J)
問 22-3	前職の役職	TPLSTJBP		
問 23	前職の職種	XXLSTJB	(LASTJOB)	※
	前職の職種 (ISCO)	XXLJE08	(LASTJOB)	※
問 24	前職の企業規模 (6 分類)	SZSTFLS		※
問 25	求職の有無 (全員)	DOLOOKJB	LOOKJOB	※
問 26	転職数	XNUMCOWK		2006,2015 厚生労働省「転職者実態調査」
問 27-1	結婚状況	DOMARRY	MARITAL MARUNION POSSLQ	※
問 27-2	結婚・再婚の意欲	WNTMRY		2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
	結婚・再婚の意欲：何歳までに	WNTMRYAG		2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向調査」
問 28-1	先週の就労経験 (配偶者)	SSJB1WK	SPWRKSTA	※
問 28-2	不就労の理由 (配偶者)	SSTPUNEM	SPWRKSTA	
問 29	就労時間数/週 (配偶者)	SSJBHRWK	SPHRS1 SPHRS2	※
	副業就労時間数/週 (配偶者)	SSSJBHWK		1996.4 マルチプルジョブホルダー研究委員会「サラリーマンの社外活動の実態と支援策に関する調査」
問 30-1	雇用関係 (配偶者)	SSTPJ		※
問 30-2	雇用形態 (配偶者)	SSTPJBS		
問 30-3	役職 (配偶者)	SSTPJOBP		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95,SSM2005-J) 2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 30-4	従業員を持つ自営業者 (配偶者)	SSTPJBSE		
問 31	業種 (配偶者)	SSXXHQX	SPIND SPIND80	※
問 32	職種 (配偶者)	SSXXJOB	SPISC681 SPISCO68 SPISCO88 SPOCC SPOCC80 SPPRES SPPRES80	※
	職種 (配偶者) (ISCO08)	SSXXJE08		※
問 33	就労日数/週 (配偶者)	SSJBDWK		※
問 34	通常労働時間数/週 (配偶者)	SSXJBSCHE		2007～2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 35	就労年数 (配偶者)	SSSZWKYR		
問 36	企業規模 (配偶者)	SSSZSTFA	SPLOCNUM	※



問 37	配偶者の年齢	SPAGEX	SPYRBORN	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 38	配偶者との同居	SPLVTG		1999,2004 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 39	父親：生死	PPLIVE	PADEATH PALIVE PALIVE1	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1)) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：生死	MMLIVE	MADEATH MALIVE MALIVE1	
	義父：生死	PPLLIVE		
	義母：生死	MMLLIVE		
問 39 A	父親：年齢	PPAGE	PAYRBORN	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1)) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：年齢	MMAGE	MAYRBORN	
	義父：年齢	PPLAGE		
	義母：年齢	MMLAGE		
問 39 B	父親：結婚状況	PPMG		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」(NFRJ03)
	母親：結婚状況	MMMG		
	義父：結婚状況	PPLMG		
	義母：結婚状況	MMLMG		
問 39 C	父親：就労の有無	PPJOB		1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1)) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：就労の有無	MMJOB		
	義父：就労の有無	PPLJOB		
	義母：就労の有無	MMLJOB		
問 39 D	父親：同居・別居・一時別居	PPLVT		1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：同居・別居・一時別居	MMLVT		
	義父：同居・別居・一時別居	PPLLVT		
	義母：同居・別居・一時別居	MMLLVT		
問 39 E	父親：別居理由	PPWHY		
	母親：別居理由	MMWHY		
	義父：別居理由	PPLWHY		
	義母：別居理由	MMLWHY		
問 39	父親：別居・一時別居	PPLVT0		1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：別居・一時別居	MMLVT0		
	義父：別居・一時別居	PPLLVT0		
	義母：別居・一時別居	MMLLVT0		
問 39 F	父親：同居者	PPFAM		
	母親：同居者	MMFAM		
	義父：同居者	PPLFAM		
	義母：同居者	MMLFAM		

問 39 G	父親：家までの距離	PPDIST	PATIME	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：家までの距離	MMDIST	MATIME MATIME1	
	義父：家までの距離	PPLDIST		
	義母：家までの距離	MMLDIST		
問 39 H	父親：接触頻度（直接）	PPCNTA	PAVISIT PAVISIT1	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
	母親：接触頻度（直接）	MMCNTA	MAVISIT MAVISIT1	
	義父：接触頻度（直接）	PPLCNTA	PARSLAW	
	義母：接触頻度（直接）	MMLCNTA		
問 39 I	父親：接触頻度（間接）	PPCNTB	PACALL PACALL1	
	母親：接触頻度（間接）	MMCNTB	MACALL MACALL1	
	義父：接触頻度（間接）	PPLCNTB		
	義母：接触頻度（間接）	MMLCNTB		
問 40	子どもの人数	CCNUMTTL	CHILDS	2002,2005,2010,2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 40 A	子ども[01-05]：性別	CC[01-05]SEX	KDSEX1-9	※
問 40 B	子ども[01-05]：生死	CC[01-05]LIVE	KDALIVE1-9	※
問 40 C	子ども[01-05]：年齢	CC[01-05]AGE	KDYRBRN1-9	※
問 40 D	子ども[01-05]：結婚状況	CC[01-05]MG		1999,2004 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01)
問 40 E	子ども[01-05]：就労の有無	CC[01-05]JOB	KDWORK1-2	1999,2004 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03)
問 40 F	子ども[01-05]：同居・別居・一時別居	CC[01-05]LVT		1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
問 40 G	子ども[01-05]：一時別居理由	CC[01-05]WHY		
問 40 H	子ども[01-05]：家までの距離	CC[01-05]DIST	SONTIME DAUTIME	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
問 40 I	子ども[01-05]：接触頻度（直接）	CC[01-05]CNTA	SONVISIT DAUVISIT KIDVISIT	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08)
問 40 J	子ども[01-05]：接触頻度（間接）	CC[01-05]CNTB	SONCALL DAUCALL KIDCALL	
問 41-1	その他の家族の人数	SZFFOTHR	(HOMPOP)	
問 41-2 A	その他の家族[01-07]：続柄	FFH[01-05]REL	RELATE1-14 RELHH1-14 RELHHD1-14	※
問 41-2 B	その他の家族[01-07]：性別	FFH[01-05]SEX	GENDER1-14	※
問 41-2 C	その他の家族[01-07]：年齢	FFH[01-05]AGE	OLD1-14	※
問 41-2 D	その他の家族[01-07]：結婚状況	FFH[01-05]MG	MAR1-14	
問 41-2 E	その他の家族[01-07]：就労の有無	FFH[01-05]JOB		
問 42	家族人数（本人除く）	SZFFONLY	HOMPOP	厚生労働省「国民生活基礎調査」 1995,2005 SSM調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J)

	家族人数 (本人含む)	SZFFTTL	HOMPOP	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 43	世帯主	FFHEAD	RPLACE	※
問 44-1	一時的な別居家族の人数	SZFFOUT		
問 44-2 A	一時的な別居家族 [01-06]: 続柄	FFO[01-05]REL	RELATE1-14 RELHH1-14 RELHHD1-14	※
問 44-2 B	一時的な別居家族 [01-06]: 性別	FFO[01-05]SEX		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
問 44-2 C	一時的な別居家族 [01-06]: 年齢	FFO[01-05]AGE		
問 44-2 D	一時的な別居家族 [01-06]: 結婚状況	FFO[01-05]MG		
問 44-2 E	一時的な別居家族 [01-06]: 就労の有無	FFO[01-05]JOB		
問 44-2 F	一時的な別居家族 [01-06]: 別居理由	FFO[01-05]WHY	WHERE1-14	
問 45-1	兄弟姉妹人数 (兄)	XNUMBROE	BRONUM SIBORDER (SIBS)	※
	兄弟姉妹人数 (姉)	XNUMSISE	SISNUM SIBORDER (SIBS)	※
	兄弟姉妹人数 (弟)	XNUMBROY	BRONUM SIBORDER (SIBS)	※
	兄弟姉妹人数 (妹)	XNUMSISY	SISNUM SIBORDER (SIBS)	※
問 45-2	配偶者の兄弟姉妹人数 (兄)	XSSNBROE	(SPSIBS)	1999,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ08)
	配偶者の兄弟姉妹人数 (姉)	XSSNSISE	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数 (弟)	XSSNBROY	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数 (妹)	XSSNSISY	(SPSIBS)	
問 46-1	15歳の頃の居住地 (本人) : 都道府県名	PREF15	REG16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1), JLPS-M(Wave1))
問 46-2	15歳の頃の居住地 (本人)	TP5LOC15	RES16	
問 46-3	15歳の頃の居住地 (本人) : 農山村地域	REMOTE15	RES16	
問 47-1	20歳の頃の居住地 (本人) : 移動経験	CTVW20		
	(15歳の頃と別の都道府県の場合) 20歳の頃の居住地 (本人)	PREF20		
問 47-2	20歳の頃の居住地 (本人) : 居住地域規模	TP5LOC20		

問 48	自分の位置する階層	OP10LVL	FAMRANK RANK	1995,2000,2005,2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2000~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2000~2017 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2001,2004,2007,2011,2015 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2003,2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2004 読売新聞社「読売全国世論調査」 2005.3 朝日新聞社「日・韓・中・国際調査」 2007,2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2,ABS3) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2009.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『社会的不平等』」
問 49	居住地域の規模	SIZEHMT	COMTYPE	
問 50	居住形態：持ち家	OWNHOUSE	DWELOWN	1995.10 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2001~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.6 内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」 2004.11 内閣府「住宅に関する世論調査」 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M) 2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2011.3 内閣府「国民生活選好度調査」
問 51	最終学校（本人）	XXLSTSCH	COLDEG1 DEGREE EDUC	※
	最終学校（配偶者）	SSLSTSCH	SPDEG SPEDUC	※
	最終学校（父親）	PPLSTSCH	PADEG PAEDUC	※
	最終学校（母親）	MMLSTSCH	MADEG MAEDUC	※
問 52	最終学校の卒業・中退（本人）	DOLSTSCH	DEGREE EDUC	※
	在学中の場合の学年	XGRADE		
問 53-1	高校：学んだ学科	XHSSUB		
問 53-2	高校：進学率	XHSRATE		
問 54-1	専修学校・専門学校への通学経験（本人）	XSPSCH	OCCTRAIN	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2008 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave2),JLPS-M(Wave2))
問 54-2	専修学校・専門学校：学科・分野	XXSPSTDY		2005.11 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2008.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave2),JLPS-M(Wave2))
問 54-3	専修学校・専門学校：通った時期	WHNSPSCH		2005.11 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2008.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave2),JLPS-M(Wave2))
問 54-4	専修学校・専門学校：高等課程の修了	DOSPSUSC		
問 55-1	大学など：国・公・私立	XUPUBLIC		2005.11 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2008.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave2),JLPS-M(Wave2))
問 55-2	大学など：学部	XXSCHDPT		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2008.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave2),JLPS-M(Wave2))

問 56	最終学校の卒業・中退 (配偶者)	SSDOLSTS		
問 57	専修学校・専門学校への通学経験 (配偶者)	PSPSCH		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J)
問 58	初職の就労時期	XGETJOB	NEVERWK	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J)
問 59-1	初職の雇用関係	TP1STJB	FIRSTSLF WRKSLFST	総務省「就業構造基本調査」 1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J)
問 59-2	初職の雇用形態	TP1STJBS		2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 59-3	初職の役職	TPFSTJBP		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 60	初職の職種	XXFSTJB	FIRSTJOB OCCFIRST PRESFRST	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 61	初職の企業規模	SZSTFFST		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 62-1	15 歳の頃の父：雇用関係	PPJB15	PASLF PAWRKSLF	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J)
問 62-2	15 歳の頃の父：雇用形態	PPJB15S		2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 62-3	15 歳の頃の父：役職	PPJB15P		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 63	15 歳の頃の父：職種	PPJBXX15	PAJOB PAOCC16 PAOCC80	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
	15 歳の頃の父：職種 (ISCO08)	PPJXXE08	PAPRES16 PAPRES80	
問 64	15 歳の頃の父：企業規模	PPJBSZ15		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 65	15 歳の頃の母：就労地位	MMJBTP15	MAOCC80 MAPRES80 MAWK16 MAWRKSLF	1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95,SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1),JLPS-M(Wave1))
問 66	世帯支出：教育費	SZEXED		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J)
問 67-1 1	現在の収入源：自分の収入 (全員)	INCSELF	(EARNSHH)	2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
問 67-1 2	現在の収入源：配偶者の収入 (全員)	INCSP	ECONSUP (EARNSHH)	
問 67-1 3	現在の収入源：親の収入 (全員)	INCPAR	ECONSUP	
問 67-1 4	現在の収入源：配偶者・親以外の家族の収入 (全員)	INCFAM	ECONSUP	
問 67-1 5	現在の収入源：年金 (全員)	INCPEN	ECONSUP	
問 67-1 6	現在の収入源：失業保険 (全員)	INCUEB	ECONSUP	2003.2 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「若年者のキャリア形成に関する実態調査」(求職者調査票)

問 67-1 7	現在の収入源：貯蓄（全員）	INCSAVE		2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
問 67-1 8	現在の収入源：社会福祉（全員）	INCSOC	ECONSUP	
問 67-1 9	現在の収入源：不定期的な仕事（全員）	INCIRR	ECONSUP	
問 67-1 10	現在の収入源：賃貸料所得（全員）	INCRENT		
問 67-1 11	現在の収入源：投資運用（全員）	INCINVST		
問 67-1 12	現在の収入源：その他（具体的に）（全員）	INCOTHER	ECONSUP	2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2003.2 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「若年者のキャリア形成に関する実態調査」」（求職者調査票）
問 67-1 13	現在の収入源：わからない（全員）	INCNOKN		
問 67-2	現在の収入源：中心となるもの（全員）	INCMAIN	ECONSUP	※
問 68-1	世帯年収	SZHSINCM	INCOME INCOME72 INCOME77 INCOME82 INCOME86 INCOME91 INCOME98 INCOME06 REALINC	※
問 68-2	本人年収：全体	SZINCOMA	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86	※
問 68-3	本人年収：主な仕事	SZINCOMX	RINCOM91 RINCOM98 RINCOM06 RINCOME	※
問 68-4	配偶者年収：全体	SSSZINCA		1995,2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」 (SSM95,SSM2005-J) 1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y,JLPS-M)
問 68-5	配偶者年収：主な仕事	SSSZINCM		※
末尾 F1	調査員への質問：回答者の協力度	COOP	COOP COOP2	
末尾 F2	調査員への質問：回答者の理解度	USTAND	COMPREND	
末尾 F5	調査員への質問：回答者の居住地域	AREA	COMTYPE	1997.4 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2001 内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 2004,2005,2007,2008,2009,2012 内閣府「国民生活選好度調査」
末尾 F6	調査員への質問：表札の有無	NAMEPLAT		
末尾 F7-1	調査員への質問：回答者の居住形態	TPHOUSE	DWELLING	1999,2004,2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98,NFRJ03,NFRJ08) 2000~2017 内閣府「国民生活選好度調査」 2001~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.11 内閣府「住宅に関する世論調査」 2008,2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2015.10 内閣府「住生活に関する世論調査」
末尾 F7-2	集合住宅でのオートロックの有無	AUTOLOCK		
末尾 F8	家のインターフォンの種類	INTERCOM		
末尾 F9	調査手順（留置／面接の順序）	PROC		

末尾 F10	調査所要時間 (分)	DURATION	LNGTHINV	2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一ほか「選挙制度の効果の国際比較調査第3波」(CSES3)
--------	------------	----------	----------	--

金 政芸

## III.6 GSS・世論調査と JGSS-2018 調査項目（留置調査票）の対応表

- 注：1) GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。
- 2) GSS は 1972 年から 2016 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行われたものについて検討している。
- 3) ※：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	関連する世論調査など
Q1	テレビ視聴時間	HRTV	TVHOURS	NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2002.1 NHK 放送文化研究所「家族の中のテレビ 2002 調査」 2002.10 NHK 放送文化研究所「テレビ 50 年調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2005, 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2005, 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ」調査 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」調査 2012～2017 総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」
Q2	1ヶ月の読書冊数	FQ5READ		2001.1 読売新聞社「読書」 2005, 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2009.9 毎日新聞社「第 63 回読書世論調査」 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ」調査 2011.6 毎日新聞社「第 65 回読書世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」調査 2014.3 文化庁「国語に関する世論調査」
Q3	新聞を読む頻度	FQ5NEWSP	NEWS NEWSPRNT	2001.9 読売新聞社「メディア」 2005, 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2005, 2011 日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2010.6 東大橋元研・電通総研「2010 年日本人の情報行動調査」 2010.10 公共財団法人 日本生産性本部「仕事と生活の相互作用に関するアンケート調査」 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ」調査 2011.8 中央調査社「新聞に関する世論調査」 2012.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」調査
Q4	インターネットでニュース記事を読む頻度	FQ6NWSIN	COMPUSE COMPWORK WKCOMPTR (JOBMINW) (WORK12) COMPUSE USEHOME	2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞社「メディア」（『日本の世論』） 2002 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」（JIS2002） 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」（WVS Wave5, Wave6） 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2012.3 NHK 放送文化研究所「メディア利用の生活時間調査」
Q5	定期的に行なうスポーツ：頻度	FQSPORT	DOSPORTS GRPSPORT	2003.9 朝日新聞社「9 月面接調査『政治意識・スポーツ』」 2004, 2006, 2009, 2014 文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」 2007.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『余暇とスポーツ』」 2007, 2008, 2009, 2011 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2005, 2010, 2015 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」
Q6A	家族と一緒に夕食：頻度	FQ7FFDNR		2003.10 味の素（株）「AMC 調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第 2 回全国家族調査」（NFRJ03） 2005～2017 内閣府「食育に関する意識調査」
Q6B	友人との会食：頻度	FQ7FRSEE	BSTVISIT FRIVISIT SOCFRIEND	2005～2017 内閣府「食育に関する意識調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」（JLPS-Y, JLPS-M）



Q6C	夕食の用意：頻度（本人）	FQ7CKDNR	COOKING1 HWDUTIES RHHWORK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2002, 2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割』」 2002, 2004, 2007 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2013. 7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6D	洗濯：頻度（本人）	FQ7WASH	LAUNDRY1 HWDUTIES RHHWORK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2002. 6 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2002, 2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割』」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2013. 7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6E	買い物：頻度（本人）	FQ7SHOP	SHOP1 HWDUTIES RHHWORK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2002, 2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割』」 2013. 7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6F	家の掃除：頻度（本人）	FQ7CLEAN	CLEAN1 HWDUTIES RHHWORK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2002, 2004, 2007 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2013. 7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6G	ゴミ出し：頻度（本人）	FQ7GARB	HWDUTIES RHHWORK	2013. 7 住環境研究所「共働き家族の暮らしと意識に関する調査」
Q6H	家の簡単な修理：頻度（本人）	FQ7RPH	REPAIRS1 REPAIRS HWDUTIES RHHWORK	
Q7	健康状態（本人）	OP5HLTHZ	HEALTH HEALTH1	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000. 2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002. 12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2004, 2006, 2009, 2014 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2007, 2008, 2009, 2011 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2009. 2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」 2012, 2013, 2014 内閣府経済社会総合研究所「生活の質に関する調査」
Q8-1	喫煙経験	DOSMOKE	CIGWEEK EVSMOKE SMOKE SMOKECIG	厚生労働省「国民健康・栄養調査」 厚生労働省「国民生活基礎調査」(大規模調査－健康票) 2001～2008 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 2001～2016 国立精神・神経センター精神保健研究所「薬物使用に関する全国住民調査」 2011. 11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
Q8-2	禁煙努力	XQ7SMOKE	QUITSMK	厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2001～2008 時事通信社「喫煙に関する世論調査」

Q9	飲酒頻度	D07DRINK	DRINK DRINKYR EVDRIK	厚生労働省「国民健康・栄養調査」 2001～2016 国立精神・神経センター精神保健研究所「薬物使用に関する全国住民調査」 2003.5 時事通信社「飲酒に関する世論調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2011.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『健康』」
Q10-1 1	ペットの保有:犬(室外で)	DOPDOGE		2000～2009 時事通信社「ペットに関する世論調査」 2000, 2003, 2010 内閣府「動物愛護に関する世論調査」 2004～2009 一般社団法人ペットフード協会「犬猫飼育率全国調査」
Q10-1 2	ペットの保有:犬(室内で)	DOPDOGI		
Q10-1 3	ペットの保有:猫(室外で)	DOPCATE		
Q10-1 4	ペットの保有:猫(室内で)	DOPCATI		
Q10-1 5	ペットの保有:その他	DOPOTHR		
Q10-1 6	ペットの保有:何も飼っていない	DOPNONE		
Q10-2	ペットの医療費	DOPMDPAY		
Q10-3 1	世話をしているペット:犬(室外で)	DOPCDOGE		
Q10-3 2	世話をしているペット:犬(室内で)	DOPCDOGI		
Q10-3 3	世話をしているペット:猫(室外で)	DOPCCATE		
Q10-3 4	世話をしているペット:猫(室内で)	DOPCCATI		
Q10-3 5	世話をしているペット:その他	DOPCOTHR		
Q10-3 6	世話をしているペット:世話はしていない	DOPCNONE		
Q10-4	ペットの世話時間:時	DOPCTHR		
Q10-5	ペットの世話時間:分	DOPCMIN		
Q11 A	生活満足度:居住地域	ST5AREAY	SATCITY	2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.6 内閣府「国土の将来像に関する世論調査」 2002, 2006, 2009～2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2006.10 朝日新聞社「10 月面接調査『地方自治』」 2008.10 時事通信社「地域社会に関する世論調査」 2009.8 博報堂生活総合研究所「スケール・ジャパン調査」
Q11 B	生活満足度:余暇利用	ST5LEISY	SATHOBBY	2001.6 読売新聞社「余暇・レジャー」(『日本人の世論』) 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『余暇とスポーツ』」
Q11 C	生活満足度:家庭生活	ST5LIFEY	SATFAM SATFAM7	2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.1 読売新聞社「家族像」(『日本の世論』) 2002, 2006, 2007, 2009, 2010, 2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2002, 2012 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女の役割に関する調査』」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
Q11 D	生活満足度:家計状態	ST5ECNY	SATFIN	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000～2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002, 2006, 2009, 2010 内閣府「国民生活選好度調査」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
Q11 E	生活満足度:友人関係	ST5FRIY	SATFRND	2003～2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2010 内閣府「国民生活選好度調査」
Q11 F	生活満足度:健康状態	ST5HLTHY	SATHEALT	厚生労働省「国民生活基礎調査」(大規模調査-健康票) 2002, 2006, 2009, 2010 内閣府「国民生活選好度調査」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007～2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)

Q11 G	生活満足度：配偶者との関係	ST5SSREL		2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ03, NFRJ08) 2007~2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)
Q12	生活満足度：全般	STALLLF		1995, 2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95, SSM2005-J) 2000~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001. 7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2001, 2002, 2006, 2007, 2009, 2010 内閣府「国民生活選好度調査」 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2007~2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)
Q13 A	希望のなさ：将来の希望が持てない	NOFUTR	HOPELESS OPTIMIST PESSIMST	2000~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2007~2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)
Q13 B	希望のなさ：目標は達成できない	NOGOAL	PESSIMST (HOPELESS)	2013. 11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q14 A	精神的健康：おちついた気分	SFMHPEAC	PEACEFUL ATEASE CALM FIDGETY	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007~2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)
Q14 B	精神的健康：活力にあふれる	SFMHENGY	ENERGY EXCITED	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2013. 11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q14 C	精神的健康：おちこんだ気分	SFMHDPRS	DOWNBLUE NOCHEER SHAKEBLU	2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」 2007~2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2013. 11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」
Q15	自分の墓について	OP7CMTRA		1990. 7 総理府「墓地に関する世論調査」 1994. 12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル調査」 1998. 2 厚生労働省「墓地に関する意識調査」(森謙二『墓地に関する意識調査：平成9年度厚生科学研究厚生科学特別研究事業調査』)
Q16-1	先祖の墓の受け継ぎ	XINHRGRV		
Q16-2	先祖の墓：今後どのように受け継ぐか	WLMNGGRV		2005. 1 第一生命「墓に関する意識調査」
Q17	現在の居住地域への居住年数	XLIVEYR	COMYEAR LIVECOM LIVECOM1 LOCLIVED	1997. 4 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2003, 2007~2009, 2011 内閣府「国民生活選好度調査」 2010, 2011, 2012 内閣府「社会意識に関する世論調査」
Q18 A	近隣状況：互いに気にかけている	OPNBMTCN		
Q18 B	近隣状況：手助けしてくれる	OPNBASS		
Q19 1	ソーラーパネル（太陽光発電）	DOECSLP		2008. 3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」 2010. 11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2012. 8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
Q19 2	深夜電力（深夜電力の割引契約）	DOECMNP		
Q19 3	エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など	DOECWC		
Q19 4	低公害車（LPG 車やハイブリッド車、電気自動車など）	DOECLMC	(MOREMPG)	2012. 8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」
Q19 5	いずれも利用していない	DOECNONE		

Q20 A	電気はこまめに消す	FQ4DENKI	(REDCEHME)	2007.11 朝日新聞社「定期国民意識調査・暮らしと地球環境」 2010.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2012.8 電通マーケティングインサイト「環境問題・エコ意識に関する調査」 2012.9 環境省「家庭の節電・CO2 削減行動に関する調査」
Q20 B	消費電力を減らす工夫	FQ4ELC	(REDCEHME)	
Q21	現在の居住地域に住み続けたいか	WLLIVE	MOVENEI MOVENOAM MOVESTAT MOVETOWN MOVEUSA	1997.4 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」
Q22	現在の居住地域の存続についての不安感	AXCONTCM		2015.8 内閣府「国土形成計画の推進に関する世論調査」
Q23	世帯収入のレベル	OP5FFINX	FINRELA	1995, 2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95, SSM2005-J) 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2007~2014 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)
Q24	15歳の頃の世帯収入レベル	OPFFIX15	INCOM16	1995, 2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95, SSM2005-J) 2007 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1), JLPS-M(Wave1))
Q25	中学3年生の頃の成績	OP5SCHPF		1995, 2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95, SSM2005-J) 2007 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y(Wave1), JLPS-M(Wave1)) 2007, 2008 大阪大学 21 世紀 COE「選好パラメータアンケート調査」
Q26	階層帰属意識	OP5LEVK	CLASS CLASSY FAMRNK	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1995, 2005 SSM 調査研究会「社会階層と社会移動全国調査」(SSM95, SSM2005-J) 2000~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2000~2017 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2001, 2004, 2007, 2011, 2015 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2004 読売新聞社「読売全国世論調査」 2005.3 朝日新聞社「日・韓・中・国際調査」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2, ABS3) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2009.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『社会的不平等』」
Q27	将来の経済的不安	AXECNSF		1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2000.9 生命保険文化センター「ワークスタイルの多様化と生活設計に関する調査」 2000~2017 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003, 2004 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた政治経済制度の構築」「開かれた社会に関する意識調査」(JSS-GLOPE2003-04) 2007, 2010, 2013, 2016 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」 2010.7 厚生労働省「社会保障を支える世代に関する意識等調査」 2011.12 内閣府「若者の仕事観や将来像と職業的自立、就労等支援等に関する調査」 2013.11 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」 2014.8 内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」

Q28-1 1	家族介護 (本人)	XCARE	CARESICK CARESICK1	1987.5 生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 1990.9 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2005~2017 厚生労働省「中高年者縦断調査」
Q28-2 1	介護の相手 (本人) : 配偶者	XC2SS	(CARESICK1) (CARESICK)	
Q28-2 2	介護の相手 (本人) : 回答者の親	XC2PM	(CARESICK1) (CARESICK)	
Q28-2 3	介護の相手 (本人) : 配偶者の親	XC2SSPM	(CARESICK1) (CARESICK)	
Q28-2 4	介護の相手 (本人) : その他	XC20THR	(CARESICK1) (CARESICK)	
Q29 A	国か個人か : 高齢者の生活保障	OP5SRWFY	AIDOLT ELDCOST EQUAL4 KIDPARS	1996, 2016 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 読売新聞社「社会保障」(『日本の世論』) 2002, 2004, 2005, 2006, 2007 内閣府「社会意識に関する世論調査」
Q29 B	国か個人か : 高齢者の医療・介護	OP5SRMDY	ELDHELP EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	1996.7 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 毎日新聞社「2001年高齢社会世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」(『朝日総研レポート』08.3) 2009.10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
Q29 C	国か個人か : 子どもの教育	OP5CCED	GOVEDOP	1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
Q29 D	国か個人か : 保育・育児	OP5CCREE	AIDKIDS CAREPROV (CARECOST)	1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2007.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
Q30	貧富解消政策への賛否	Q5GVEQAA	EQINCOME EQUALIZE EQWLTH EQWLTHY GOVEQINC HELPPPOOR	2005 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2009, 2010 内閣府「社会意識に関する世論調査」
Q31	支持政党	XX8PLPTY	PARTYID	NHK「政治意識月例調査」 1971~2017 明るい選挙推進協会「衆議院総選挙/参議院議員通常選挙全国意識調査(旧:衆議院総選挙/参議院議員通常選挙の実態)」 2000.1 選挙とデモクラシー研究会(JEDS)「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2005 JESIII研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2003, 2004 早稲田大学21世紀COE「開かれた政治経済制度の構築」「開かれた社会に関する意識調査」(GLOPE2003-04) 2003.9~2005.9 東京大学蒲島・谷口研究室&朝日新聞社「2003年衆院選-04年参院選-05年衆院選世論調査」 2003, 2008, 2013 NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2005~2007 早稲田大学21世紀COE「開かれた政治経済制度の構築」「21世紀日本人の社会・政治意識に関する調査」(GLOPE2005-07) 2007~2011 JESIV研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.4 朝日新聞社「全国世論調査『あなたにとって政治とは』」 2007.5-6~2007.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞社「2007年参院選世論調査」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2, ABS3) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2009.8-10~2010.7-8 東京大学谷口研究室・朝日新聞社「2009年衆院選-10年参院選世論調査」 2010.6 朝日新聞社「5月緊急RDD調査(普天間飛行場移設問題)」

Q32	理想的な子どもの人数（一般論）	APPCNUM	CHLDIDEL FOURKIDS NOKIDS NUMKIDS ONEKID THREKIDS TWOKIDS	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1999. 2 総理府「少子化に関する世論調査」 2000~2017 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 2002~2008 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2003. 1 内閣府「若年層の意識実態調査」 2003, 2008, 2013 NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査 2004. 2 厚生労働省「少子化に関する意識調査」 2005. 1 内閣府「国民生活選好度調査」 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M) 2009. 2 内閣府「アジア地域(韓国、シンガポール、日本)における少子化社会対策の比較調査」
	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	APPCNMX	CHLDIDEL NUMKIDS	
Q33	希望する子どもの性別	APPCSXB	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995. 7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3) 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2000~2006 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 2009. 2 内閣府「アジア地域(韓国、シンガポール、日本)における少子化社会対策の比較調査」
Q34	三世同居観	OP2GNR	AGED	2002. 12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2000~2002, 2004~2016 内閣府「国民生活に関する世論調査」
Q35	同性婚への賛否	Q4SAMESM	MARHOMO	
Q36	外国人増加の賛否	QFNINCR	ETHCHNG LETIN LETIN1 LETINASN LETINEUR LETINHSP (EXCLDIMM)	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1995, 2003, 2013 NHK放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナルアイデンティティ』」 2000. 11 内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」 2004. 5 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」 2005. 8 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター「多文化共生に関する都市実態調査」研究会「ともに生きる住みよい町づくりアンケート」 2015. 3 朝日新聞社「戦後70年世論調査」
Q37	所得格差への意見	OPINCDIF		
Q38	人への信頼感	OP4TRUST	CANTRUST TRUST TRUST5 TRUSTY (FEWTRSTY) (TRUSTPEO)	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2005. 11 2005年 SSM 調査研究会「2005年社会階層と社会移動全国調査」(SSM2005-J) 2007~2014 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」(JLPS-Y, JLPS-M)
Q39	人間観（一般）：人間の本性	OP7GDEVO	WORLD4	2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave4~Wave6) 2003, 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
Q40 A	組織への信頼：大企業	TR3CORPZ	CONBIZ CONBUS CONBUSY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000. 4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000~2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2002. 11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2004~2017 エデルマンジャパン「エデルマン・トラストバロメーター」
Q40 B	組織への信頼：宗教団体	TR3RLGPZ	CONCHURH CONCLERG CONCLERY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000. 4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2008. 2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」

Q40 C	組織への信頼：学校	TR3SCHLZ	CONEDUC CONEDUCY CONSCHLS	2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.2 読売新聞社「教育」 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave6) 2013.10 東京大学大学院教育学研究科 中村高康研究室「教育と仕事に関する全国調査」
Q40 D	組織への信頼：中央官庁	TR3BCRAZ	CONFED CONFEDY CONGOVT FEDTRUST	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンパロメーター」(ABS2, ABS3) 2009, 2010 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識」 2014, 2015 エデルマンジャパン「エデルマン・トラストパロメーター」
Q40 E	組織への信頼：労働組合	TR3UNNZ	CONLABOR CONLABOY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」
Q40 F	組織への信頼：新聞	TR3NWSPZ	CONPRESS CONPRESY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.9 読売新聞社「メディア」(『日本の世論』) 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2009, 2010 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識」 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2012～2017 総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

Q40 G	組織への信頼：病院	TR3HSPLZ	CONMEDIC CONMEDIY	2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞社「3月の世論調査『雇用・医療・クジラ・環境調査』」 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2014.10 NHK放送文化研究所「生命倫理に関する意識調査」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2011.11 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『健康』」
Q40 H	組織への信頼：テレビ	TR3TVZ	CONTV CONTVY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.9 読売新聞社「メディア」2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2008～2017 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」 2009, 2010 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識」 2012～2017 総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」 2013, 2014, 2015 エデルマンジャパン「エデルマン・トラストバロメーター」
Q40 I	組織への信頼：裁判所	TR3SPCAZ	CONCOURT CONJUDGE CONJUDGY	2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave5, Wave6) 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2, ABS3) 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2008.12 朝日新聞社「定期国民意識調査『あなたと法律・裁判』」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2009, 2010 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識」
Q40 J	組織への信頼：学者・研究者	TR3ACDAZ	CONSCI CONSCIY TRSTPROF	
Q40 K	組織への信頼：国会議員	TR3CGMNZ	CONCONG CONLEGIS CONLEGIY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3～Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000～2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2, ABS3) 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2009, 2010 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識」
Q40 L	組織への信頼：市区町村議会議員	TR3CITYZ	LOCCARE LOCTRUST	1999.3 読売新聞社「地域住民意識」(『日本の世論』) 2001～2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007～2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」



Q40 M	組織への信頼：自衛隊	TR3DEFZ	CONARMY CONARMYY	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000~2015 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」 2000~2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2, ABS3)
Q40 N	組織への信頼：警察	TR3COPZ	(TRTCOPS)	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000.4 野村総合研究所「第2回 生活者一万人アンケート調査」 2000.11 読売新聞社「治安」(『日本の世論』) 2000~2015 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2001.12 朝日新聞社「揺らぐ『生活の安全』」 2001~2005 JESIII研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2007~2011 JESIV研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007, 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS2, ABS3) 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2008.12 朝日新聞社「定期国民意識調査『あなたと法律・裁判』」 2009, 2010 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識」
Q40 O	組織への信頼：金融機関	TR3FINZ	CONFINAN CONFINAY	2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave6) 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」
Q41	幸福度	OP5HAPPZ	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2003~2013 大阪大学社会経済研究所「くらしの好みと満足度についてのアンケート」 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」 2009~2016 NHK放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2008, 2010~2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2012 朝日新聞社「郵送調査『日本人と絆』」 2013.9 電通こころラボ「日本人の幸福度調査」 2013.10 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
Q42 A	組織への所属：政治団体	MEMPLTGP	GRPPARTY GRPPOL MEMPOLIT TYPPOLIT	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2005 JESIII「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2003~2013 NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3 パネル調査」 2007~2011 JESIV研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2011 池田謙一ほか「アジアンバロメーター」(ABS3)
Q42 B	組織への所属：業界団体	MEMIND	GRPJUNION GRPWORK MEMFARM MEMPROF TYPFARM TYPPROF	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000.4 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2005 JESIII「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3 パネル調査」 2007~2011 JESIV研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」

Q42 C	組織への所属：ボランティアのグループ	MEMVLNTR	GRPCHRTY MEMSERV TYPSEV	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000, 2003, 2007, 2011, 2012 内閣府「国民生活選好度調査」 2000 JED「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2016 総務省統計局「社会生活基本調査」 2001~2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3パネル調査」 2007~2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2008, 2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」 2009~2016 NHK放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010.9 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」
Q42 D	組織への所属：市民運動のグループ	MEMCIVIL	FEJOIN GRNGROUP MEMNAT RACJOIN	2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2005 JESⅢ「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.11 NHK放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3パネル調査」 2007~2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2009~2016 NHK放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010.9 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」 2014.6 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『市民意識』」
Q42 E	組織への所属：宗教の団体や会	MEMRL	CHURCHMEN CHURCHTX GRPCHURH GRPRELIG MEMCHURH TYPCHURCH	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3パネル調査」 2007~2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」
Q42 F	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	MEMSPORT	GRPSPORT GRPSPTS MEMSPORT TYPSPORT	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2006, 2009 内閣府「体力とスポーツに関する世論調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3パネル調査」 2009.11 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」 2009~2016 NHK放送文化研究所「参院選後の政治意識」
Q42 G	組織への所属：趣味の会	MEMHOBBY	MEMHOBBY MEMLIT TYPHOBBY TYPLIT	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 2001~2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3パネル調査」 2007~2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2009~2016 NHK放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2010.9 NHK放送文化研究所「政治と社会に関する意識・2009」
Q42 H	組織への所属：生協	MEMCOOP		2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001~2005 JESⅢ研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3パネル調査」 2007~2011 JESⅣ研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」
Q43-1	信仰する宗教の有無(本人)	DORL	RELIG	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1998, 2008 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『宗教』」 2001, 2005, 2008 読売新聞社「宗教観」(『日本の世論』) 2003~2013 統計数理研究所「日本人の国民性」調査 2003~2013 NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査 2008.2 朝日新聞社「政治・社会意識基本調査」
Q43-2	信仰する宗教(本人)	XXRL	RELIG	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1998, 2008 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『宗教』」 2003~2013 NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査

Q44-3	信仰の度合い(本人)	D03PIOUS	FEELREL RELITEN RELPERSN	1995, 2000, 2005, 2010 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave3~Wave6) 1998, 2008 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『宗教』」 2003~2013 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2003~2013 統計数理研究所「日本人の国民性調査」
Q44 A	災害発生の可能性:地震	DISQUAKE		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」 2009~2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2011.12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」
Q44 B	災害発生の可能性:津波	DISTSNM		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q44 C	災害発生の可能性:高潮や河川の氾濫	DISFLOOD		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q44 D	災害発生の可能性:豪雪	DISTSNOW		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q44 E	災害発生の可能性:噴火	DISVOLC		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q44 F	災害発生の可能性:土砂災害	DISLAND		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q44 G	災害発生の可能性:原子力発電所の事故	DISNUC	NUKEACC	2013, 2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q45	災害発生に対する不安	AXDIS		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q46	原子力政策への意見	OPNUCPOL	ENERGY FUTENRGY NUKEELEC (NUKEGEN) (NUKEFAM)	1999, 2005 内閣府「エネルギーに関する世論調査」 2009.10 内閣府「原子力に関する特別世論調査」 2009~2016 NHK 放送文化研究所「参院選後の政治意識」 2011.12 NHK 放送文化研究所「防災・エネルギー・生活に関する世論調査」 2011.12 朝日新聞社「定例 RDD 調査」 2011~2012 中央調査社「東日本大震災と原子力発電に関する全国世論調査」 2012 NHK 放送文化研究所「原発とエネルギーに関する意識調査」 2013, 2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q47	放射性物質による食品汚染の不安感	AXFDRAD	(GRNCON) (ENPRBUS) (ENPRBFAM) (NUKEFAM)	2012.7 朝日新聞社「郵送調査(原発・TPP・社会保障)」
Q48	自然災害時の地域の人どうしの協力	COMMDIS		2002~2017 内閣府「防災に関する世論調査」
Q49 A	環境被害:大気汚染	ENHMAP	(CARSFAM) (ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (INDUSFAM)	1993, 1996 内閣府「生活環境、生活型公害に関する世論調査」 2005 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave5)
Q49 B	環境被害:水質汚染	ENHMWP	(ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (WATERFAM)	1993, 1996 内閣府「生活環境、生活型公害に関する世論調査」 2005 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(WVS Wave5) 2005, 2009, 2012 環境省「環境問題に関する世論調査」
Q49 C	環境被害:土壌汚染	ENHMSP	(GRNCON) (GRNEFFME)	2005, 2009, 2012 環境省「環境問題に関する世論調査」
Q50 A	世代間援助への意見:既婚男性から自分の親	OPTSMM		
Q50 B	世代間援助への意見:既婚女性から自分の親	OPTSMW		
Q50 C	世代間援助への意見:既婚男性から妻の親	OPTSMSS		
Q50 D	世代間援助への意見:既婚女性から夫の親	OPTSMWSS		
Q51	老親の世話の責任	OPPPCARE	(ELDERSUP) (KIDPARS)	1983 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」(妻用・夫用調査票) 2001 内閣府「国民生活選好度調査」 2008 日本家族社会学会全国家族調査研究会「全国家族調査」(NFRJ08)
Q52 A	家系継承規範:父親の権威を尊重	Q7FFAUTH	(TALKBACK)	1983.10 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」(妻用・夫用調査票) 1991.5 ドイツ日本研究所、ウルリッヒ・メーワルト「日本人の価値意識に関する調査」 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」
Q52 B	家系継承規範:子どもは親の誇りに	Q7FFHNR		

Q52 C	家系継承規範：息子が必要	Q7FFNDMN		1986.3 内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 2001.5 内閣府「国民生活選好度調査」
Q52 D	家優先規範：妻より夫の親族を優先	Q7PRMAN		
Q52 E	家優先規範：自分より家族を優先	Q7PRFF		1983.10 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」(妻用・夫用調査票) 1994.8 生命保険文化センター「夫婦の生活意識に関する調査」 2001, 2007 内閣府「国民生活選好度調査」 2001, 2003 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
Q53 A	結婚規範：夫は年上	Q7MGOLD		2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(夫婦調査)
Q53 B	結婚規範：子どもをもつ必要	Q7MGCC	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	1999 内閣府「少子化に関する世論調査」 1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2001, 2005 内閣府「国民生活選好度調査」 2001 読売新聞社「家族像」(『日本の世論』) 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(夫婦調査) 2003~2008 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」調査 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2004 毎日新聞社「人口・家族・世代世論調査(第1回)」 2004, 2007, 2016 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2012~2017 厚生労働省「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」
Q53 C	結婚規範：男性の結婚は幸福	Q7MGMNHP	MEMARRY	2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2012.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『家庭と男女と役割』」
Q53 D	結婚規範：女性の結婚は幸福	Q7MGWNHP	FEMARRY	1992.11 内閣府「男女平等に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2004, 2007, 2016 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q53 E	結婚規範：同棲はかまわない	Q7MGCOH	COHABOK COHABFST	2005 内閣府「国民生活選好度調査」 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」
Q53 F	結婚規範：離婚は子が育つまで待つ	Q7MGDVCC	(DIVIFKD1)	2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」
Q53 G	結婚規範：離婚はよい手段	Q7MGDVGD	DIVBEST MARDIV MARNOMAR	2001.5 内閣府「国民生活選好度調査」 1997.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「少子化と親子関係に関する調査」 2001, 2003 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(夫婦調査) 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2004, 2007, 2016 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研「定点調査から見えてくる家族の変化」 2009.1 日本家族社会学会「全国家族調査」(NFRJ08)
Q54 A	性別規範：妻は夫の手助け	Q7WWHPHH	FEHELP	1992.11 内閣府「男女平等に関する世論調査」 2012~2017 厚生労働省「21世紀成年者縦断調査(平成24年成年者)」

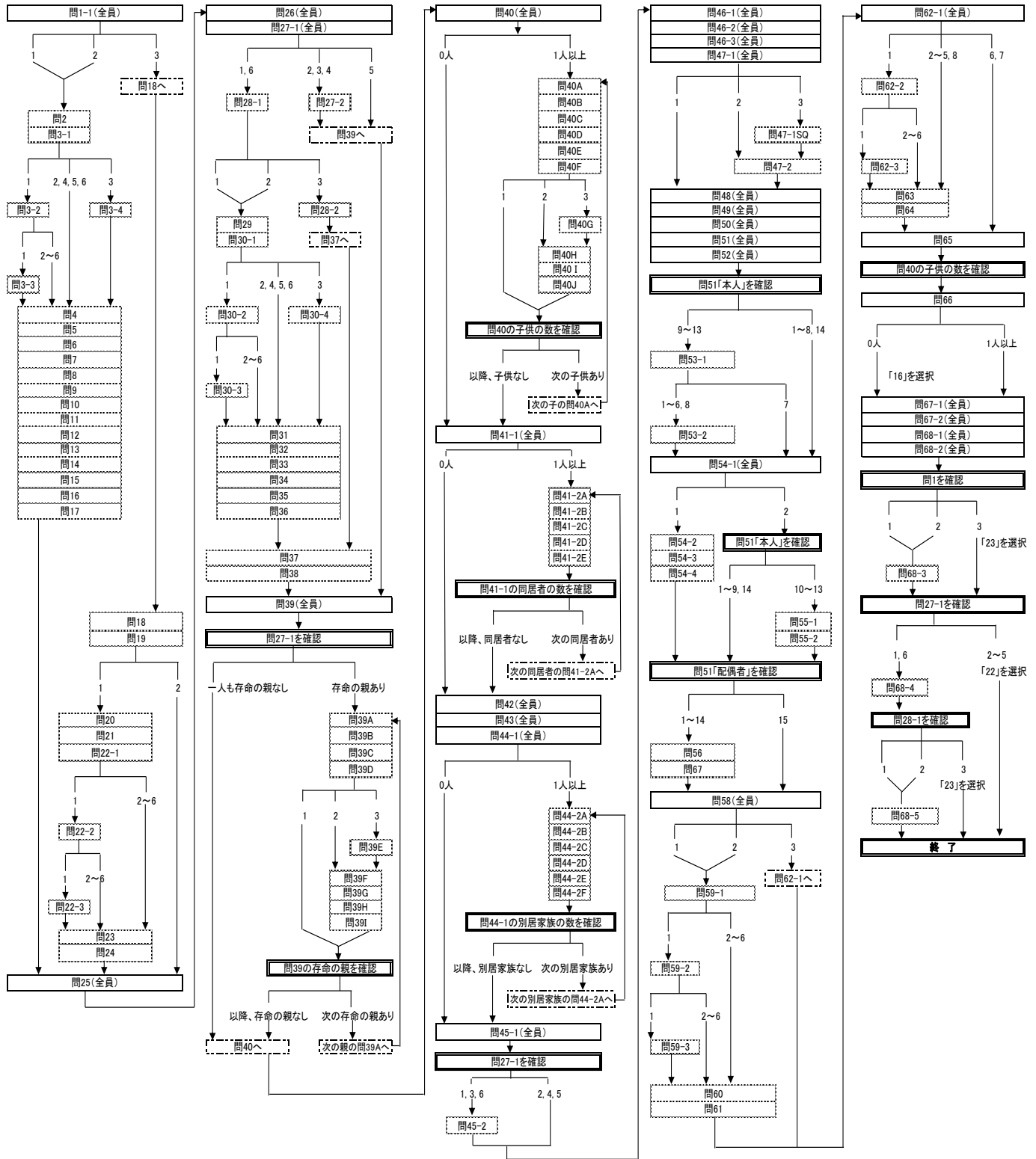
Q54 B	性別規範：性役割分担	Q7WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOD	2001 読売新聞社「家族像」(『日本の世論』) 2002.12 朝日新聞社「第25回定期国民意識調査」 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(夫婦調査) 2003.1 第一生命経済研究所「2004-05 ライフデザイン白書」 2003, 2008, 2013 NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査 2004.8 労働政策研究・研修機構「第4回勤労生活に関する調査」 2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」 2004, 2007, 2016 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2009.1 日本家族社会学会「全国家族調査」(NFRJ08) 2012.11 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『家庭と男女と役割』」 2012~2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q54 C	意見についての賛否：子どもへの影響 (EASS 尺度)	Q7JBMCC		2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」 2016.9 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q54 D	結婚規範：経済的安定	Q7MGECS		2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
Q55-1	両親の存否	PMDTH	PADEATH PALIVE PALIVE1 MADEATH MALIVE MALIVE1	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2012~2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q55-2 A	世代間の経済的援助：回答者から両親	HLPE2PM		1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2012~2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q55-2 B	世代間の実践的援助：回答者から両親	HLPP2PM		2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08)
Q55-3 A	世代間の経済的援助：両親から回答者	HLPEFPM	(BORROW1) (BORROW2)	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08)
Q55-3 B	世代間の実践的援助：両親から回答者	HLPPFPM	CHORES1 CHORES2	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08)
Q55-4 A	父親：健康状態	PPHLTHZ		
Q55-4 B	母親：健康状態	MMHLTHZ		
Q56	家族一緒にレジャー活動の頻度	FQFFLSR		1999, 2008 家計経済研究所「現代核家族調査」(妻用調査票・夫用調査票)
Q57	結婚経験	XMARRY	MARITAL MARUNION	※
	結婚の回数	NUMMARRY	MARNUM	2001 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01)
Q58 1	初婚年齢	AGE1MG	AGEWED AGEWEDCR	※
Q58 2	結婚した年齢：2回目	AGE2MG	AGEWEDCR	
Q58 3	結婚した年齢：3回目	AGE3MG	AGEWEDCR	
Q58 4	結婚した年齢：4回目	AGE4MG	AGEWEDCR	
Q59	結婚状況 (留置票)	DOMARRYZ	MARITAL MARUNION POSSLQ POSSLQY	※
Q60 A	夕食の用意：頻度(配偶者)	SSFQ7CK	COOKING1 DINNER HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2012~2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」

Q60 B	洗濯：頻度（配偶者）	SSFQ7WSH	LAUNDRY LAUNDRY1 HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2012～2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q60 C	買い物：頻度（配偶者）	SSFQ7SHP	SHOP1 HHWKFAIR SHOPFOOD SPHHWORK SPHMEWRK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2012～2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q60 D	家の掃除：頻度（配偶者）	SSFQ7CLN	CLEAN1 HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2012～2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q60 E	ゴミ出し：頻度（配偶者）	SSFQ7GRB	HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2012～2017 厚生労働省「21世紀成年人者縦断調査(平成24年成年者)」
Q60 F	家の簡単な修理：頻度（配偶者）	SSFQ7RPH	REPAIRS REPAIRS1 HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	
Q61	健康状態（配偶者）	SS5HLTHZ		1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2005～2017 厚生労働省「中高年者縦断調査」
Q62-1	家族介護（配偶者）	SSCARE	CARESICK CARESICK1	
Q62-2 1	介護の相手（配偶者）：回答者	SSC2R		1987.5 生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 1990.9 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」
Q62-2 2	介護の相手（配偶者）：回答者の親	SSC2PM		2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01)
Q62-2 3	介護の相手（配偶者）：配偶者の親	SSC2SSPM		2005～2017 厚生労働省「中高年者縦断調査」
Q62-2 4	介護の相手（配偶者）：その他	SSC20THR		
Q63	配偶者との情緒的関係：配偶者が悩みを聞く	SSTRLSTN	(BRKDHL1-3) (DOWN1-2) (DOWN1A-2A) (CHANGE1-2)	1999, 2008 家計経済研究所「現代核家族調査」(妻用調査票・夫用調査票) 1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」
Q64	配偶者との情緒的関係：あなたが悩みを聞く	SSTRSPK		1999, 2008 家計経済研究所「現代核家族調査」(妻用調査票・夫用調査票) 1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08)
Q65 A	家庭内の意思決定者：子どもの教育	DMCCED	DECKIDS	1992.11 内閣府「男女平等に関する世論調査」 2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
Q65 B	家庭内の意思決定者：親の世話	DMPPSPPT		1992.11 内閣府「男女平等に関する世論調査」
Q65 C	家庭内の意思決定者：家計の管理	DMEXP	FAMBUDGT FAMFINAN DECAUTO DECBED	1992.11 内閣府「男女平等に関する世論調査」 1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 1999 家計経済研究所「現代核家族調査」 2002, 2004 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
Q65 D	家庭内の意思決定者：高価な品物の購入	DMHIEXP	BUYTHNGS (DECAUTO) (DECBED)	1992.11 内閣府「男女平等に関する世論調査」 1999 家計経済研究所「現代核家族調査」 2002, 2004 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」

Q66-1	義親の存否	PMLDTH		1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08)
Q66-2 A	世代間の経済的援助: 回答者から義親	HLPE2PML		1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」
Q66-2 B	世代間の実践的援助: 回答者から義親	HLPP2PML		
Q66-3 A	世代間の経済的援助: 義親から回答者	HLPEFPML		
Q66-3 B	世代間の実践的援助: 義親から回答者	HLPPFPML		
Q66-4 A	義父: 健康状態	PPLHLTHZ		
Q66-4 B	義母: 健康状態	MLLHLTHZ		2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」
Q67	生活満足度: 結婚生活	STMGLF	HAPMAR	1999.2 内閣府「少子化に関する世論調査」 1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 1999 家計経済研究所「現代核家族調査」 2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
Q68-1	配偶者との出会いのきっかけ	FSTMTSS		2001 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」
Q68-2 A	配偶者の紹介者	WHOINTSS		2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」
Q68-2 B	配偶者と出会った場所	WHRMTSS		2002, 2005, 2010, 2015 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」
Q69	配偶者の初婚・再婚	XSSRMG	SPMARNUM	2001 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2009.1 日本家族社会学会「全国家族調査」(NFRJ08)
Q70	結婚の決定への親の影響力	INFLPMG		
Q71	18歳以上の子どもの有無	XCC18	DAUNUM KIDNOW2 KIDNUM SONNUM	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2004.12 NHK放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
Q72	もっとも接している18歳以上の子ども	CC18CNT	KIDMOST (DAUVISIT) (KIDVISIT) (SONVISIT)	2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2009.1 日本家族社会学会「全国家族調査」(NFRJ08)
Q73	子どもとの同居	LVTGCC18	(KIDVISIT)	1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」 2005~2017 厚生労働省「中高年者縦断調査」 2017.11 消費者庁「消費者意識基本調査」
Q74 A	世代間の経済的援助: 回答者から子ども	HLPE2CC		1999, 2004, 2009 日本家族社会学会全国家族調査委員会「全国家族調査」(NFRJ98, NFRJ03, NFRJ08) 2003, 2008, 2013 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」
Q74 B	世代間の実践的援助: 回答者から子ども	HLPP2CC		
Q75 A	世代間の経済的援助: 子どもから回答者	HLPEFCC	(BORROW1) (BORROW2)	
Q75 B	世代間の実践的援助: 子どもから回答者	HLPPFCC	(CHORES1) (CHORES2)	

金 政芸

### III.7 面接調査票 フローチャート





(第 0784 号) 2018 年 2 月  
[JGSS-2018 面接調査票]



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第 12 回 生活と意識についての国際比較調査」

(調査企画) 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター  
(調査協力) 京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎  
(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

**IDUSE**      識別番号  
**BLOCK**      地域ブロック  
**PREF**        都道府県名  
**SIZE**        市群規模

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

【対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。  
10 回を越えた訪問の記録は不要。  
接触ができるまで、必ず 4 日以上訪問する。  
(同日に 2 度訪問しても 1 日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)】

回収状況
面接票 1 面接完了 <b>DATE</b> ( 月 日) <b>MONTH DAY</b> 2 面接不能
留置票 1 回収完了 <b>DATEB</b> ( 月 日) <b>MONTHB DAYB</b> 2 回収不能 【一方でも調査不能の場合、次のページ(N1~N6)を忘れず記入する。】
留置票の受取予定日時

**SEXA**        性別  
**DOYEAR**    生年(西暦)  
**AGEB**       年齢  
**MARC**       配偶者(DOMARRY)  
**FORM**       留置票の種類



お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 3-1 [回答票 2] あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

**TPJB**

- |                      |                      |                        |                       |             |            |
|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------|
| 1 (ア)<br>雇われて<br>いる人 | 2 (イ)<br>会社などの<br>役員 | 3 (ウ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 4 (エ)<br>自家営業の<br>手伝い | 5 (オ)<br>内職 | 6<br>わからない |
|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------|

問 3-2 [回答票 3] あなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

**TPJBS**

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 3-3 [回答票 4] あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPJOBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 3-4 家族以外に従業員を雇っていますか(アルバイトを含みます)。

**TPJBSE**

- 1 はい
- 2 いいえ

問 4 [回答票 5] あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT**

- |                |       |                 |       |
|----------------|-------|-----------------|-------|
| <b>SZCMTTL</b> | 1 (ア) | 2 (イ)           | 3 (ウ) |
| およそ            |       | 時間              |       |
|                |       | 分               |       |
| <b>SZCMTHR</b> |       | <b>SZCMTMIN</b> |       |
- 住まいと職場は同じ
- 日によって行き先が違う

問 5 [回答票 6] あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

**TP4WPLA**

- 1 (ア) 官公庁
- 2 (イ) 単独事業所 (他に事業所はない)
- 3 (ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)
- 4 (エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)
- 5 わからない

問 6 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

**XXWPL**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXJOB**

**XXJE08**

(できるだけ詳しく具体的に)

問 8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

【先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】 週  日

**XJOBWDK**

問 9 あなたは、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

**XJBSCB** 週合計で  時間

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

**XJOBYR**  年間 【1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。】

問 11 【回答票 7】 あなたが、これまでの仕事で身につけた経験や技能は、現在の仕事にどれほど役立っていますか。

**USFLSKL**

1 (ア) とても役立っている 2 (イ) ある程度役立っている 3 (ウ) あまり役立っていない 4 (エ) ほとんど役立っていない

問 12 【回答票 8】 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

**SZTTLSTA**

1 (ア) 1 人	5 (オ) 30~99 人	9 (ケ) 1,000~1,999 人	13 わからない
2 (イ) 2~4 人	6 (カ) 100~299 人	10 (コ) 2,000~9,999 人	
3 (ウ) 5~9 人	7 (キ) 300~499 人	11 (サ) 1 万人以上	
4 (エ) 10~29 人	8 (ク) 500~999 人	12 (シ) 官 公 庁	

問 13 【回答票 9】 あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

**JOINUNI** 1 (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4  
 職場の労働組合に入っている 職場以外の労働組合に入っている 入っていない わからない

問 14 【回答票 10】 現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

**ST5JOB** 1 (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4 (エ) 5 (オ) 6  
 満足している どちらかと どちらとも どちらかと 不満である わからない  
 いえば いえない いえば  
 満足している 不満である

問 15 【回答票 11】 今働いている会社(自営の場合は今の事業)をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA** 1 (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4  
 近いうちに 当分やめる まったくやめる わからない  
 やめるつもり つもりはない つもりはない

問 16 【回答票 12】 今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。【自営業主が倒産などで失職する場合も含む。】

**OP4UNEMP** 1 (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4 (エ) 5  
 かなりある ある程度ある あまりない まったくない わからない

問 17 【回答票 13】 もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB** 1 (ア) 2 (イ) 3 (ウ) 4  
 非常に ある程度 容易ではない わからない  
 容易である 容易である

(現在働いていない人に)

問 18 [回答票 14] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

- TP5UNEMP**
- |                               |                          |         |
|-------------------------------|--------------------------|---------|
| 1 (ア) 失業中                     | 4 (エ) 主に家事をしている          | 7 わからない |
| 2 (イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている | 5 (オ) 心身上の事情で働けない        |         |
| 3 (ウ) 学 生                     | 6 (カ) その他<br>(具体的に_____) |         |

問 19 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

- XWORK** 1 はい      2 いいえ      **6 ページ問 25 へ**

最後に収入を得ていた主な仕事についてお聞きします。

問 20 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。  歳

**AGESTPWK**

問 21 [回答票 15] あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

- XXSTPJB**
- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 1 (ア) 定年など退職 (引退) する年齢になった | 8 (ク) 仕事や労働条件等が不満だったので |
| 2 (イ) 早期退職 (引退) を選んだ       | 9 (ケ) 開業や転職のため         |
| 3 (ウ) 早期退職 (引退) をさせられた     | 10 (コ) 家族の介護のため        |
| 4 (エ) 健康上の理由で働けなくなった       | 11 (サ) 結婚したため          |
| 5 (オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された    | 12 (シ) 出産・育児のため        |
| 6 (カ) 解雇された                | 13 (ス) その他 (具体的に_____) |
| 7 (キ) 雇用期間や契約期間が終了した       | 14 わからない               |

問 22-1 [回答票 16] その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

**TPLSTJB** 【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

- |                  |                  |                    |                   |              |            |
|------------------|------------------|--------------------|-------------------|--------------|------------|
| 1 (ア)<br>雇われている人 | 2 (イ)<br>会社などの役員 | 3 (ウ)<br>自営業主・自由業者 | 4 (エ)<br>自家営業の手伝い | 5 (オ)<br>内 職 | 6<br>わからない |
|------------------|------------------|--------------------|-------------------|--------------|------------|

問 22-2 [回答票 17] 当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

- TPLSTJBS**
- |                   |
|-------------------|
| 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員 |
| 2 (イ) パート・アルバイト   |
| 3 (ウ) 派遣社員        |
| 4 (エ) 契約社員        |
| 5 (オ) 嘱託          |
| 6 わからない           |

問 22-3 [回答票 18] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

- TPLSTJBP**
- |                          |
|--------------------------|
| 1 (ア) 役職なし               |
| 2 (イ) 職長・班長・組長など         |
| 3 (ウ) 係長 (係長相当)          |
| 4 (エ) 課長 (課長相当)          |
| 5 (オ) 部長 (部長相当)          |
| 6 (カ) その他の役職 (具体的に_____) |
| 7 わからない                  |

問 23 あなたは、そこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXLSTJB**  
**XXLJE08**

(できるだけ詳しく具体的に)

問 24 [回答票 19] その会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけでなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。【省庁や自治体から給与を得ていた場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

- SZSTFLS**
- |              |                          |                            |                             |                               |              |            |
|--------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------|------------|
| 1 (ア)<br>1 人 | 2 (イ)<br>小企業<br>(2~29 人) | 3 (ウ)<br>中企業<br>(30~299 人) | 4 (エ)<br>大企業<br>(300~999 人) | 5 (オ)<br>大手大企業<br>(1,000 人以上) | 6 (カ)<br>官公庁 | 7<br>わからない |
|--------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------|------------|

(全員に)

問 25 あなたは現在、仕事を探していますか。 1 はい 2 いいえ

**DOLOOKJB**

問 26 [回答票 20] あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

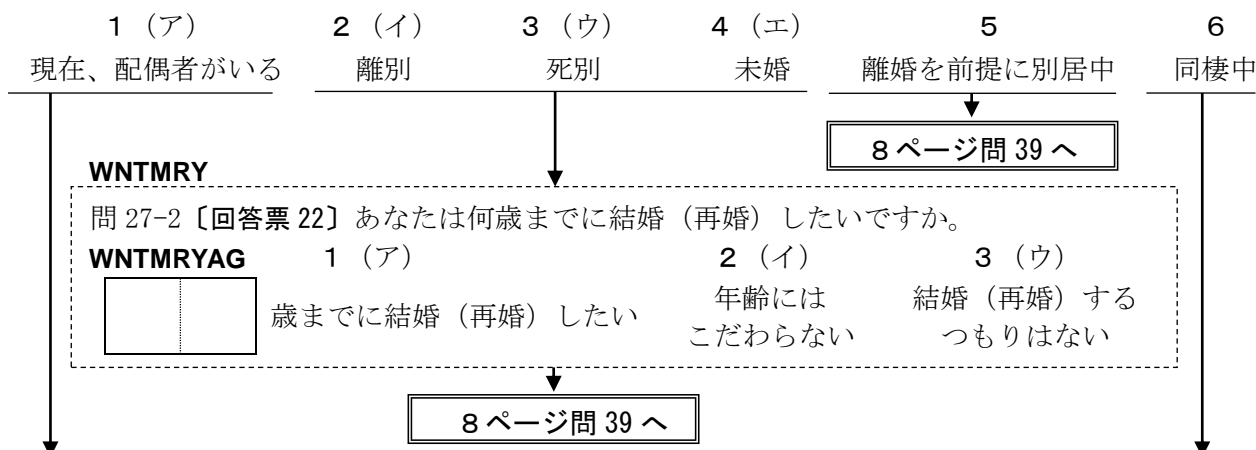
**XNUMCOWK**

- |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 (ア) | 2 (イ) | 3 (ウ) | 4 (エ) | 5 (オ) | 6 (カ) | 7 (キ) |
| 0 社   | 1 社   | 2 社   | 3 社   | 4 社   | 5 社   | 6 社以上 |

ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。

問 27-1 [回答票 21] あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

**DOMARRY** 【本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も1(ア)「現在、配偶者がいる」に含む。選択肢5、6は、対象者があえてそのように答えた場合にのみ印を付ける。以後の設問では、内縁や同棲中は有配偶者とみなす。】



問 28-1 [回答票 23] 配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

**SSJB1WK**

- |       |                                 |          |
|-------|---------------------------------|----------|
| 1 (ア) | 2 (イ)                           | 3 (ウ)    |
| 仕事をした | 仕事をもっているが、<br>病気、休暇などで先週は仕事を休んだ | 仕事をしていない |

問 28-2 [回答票 24] 配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPUNEM**

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 (ア) 失業中                     | 4 (エ) 主に家事をしている       |
| 2 (イ) 定年で退職している・高齢のため仕事をやめている | 5 (オ) 心身上の事情で働けない     |
| 3 (ウ) 学 生                     | 6 (カ) その他 (具体的に_____) |
|                               | 7 わからない               |

8 ページ問 37 へ

問 29 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

【副業をもっていない場合は、副業の時間数に0(ゼロ)と記入する。先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】

**SSJBHRWK**

**SSSJBHWK**

主な仕事を週合計で  時間 副業を週合計で  時間

配偶者の方のお仕事について少し詳しくお聞きいたします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 30-1 [回答票 25] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJJB** 【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

- |                      |                      |                        |                       |             |            |
|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------|
| 1 (ア)<br>雇われて<br>いる人 | 2 (イ)<br>会社などの<br>役員 | 3 (ウ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 4 (エ)<br>自家営業の<br>手伝い | 5 (オ)<br>内職 | 6<br>わからない |
|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------|

問 30-2 [回答票 26] 配偶者の方の雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJBS**

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 30-3 [回答票 27] 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJOBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 30-4 配偶者の方は、家族以外に従業員を雇っていますか(アルバイトを含みます)。

**SSTPJBSE**

- 1 はい
- 2 いいえ

問 31 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行など、具体的にお聞かせください。

**SSXXHQX**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 32 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**SSXXJOB**

(できるだけ詳しく具体的に)

**SSXXJE08**

問 33 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

**SSJBDWK** 【先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。】 週  日

問 34 配偶者の方は、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。

**SSXJBSCB** 自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

週合計で  時間

問 35 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めて

**SSSZWKYR** からの年数をお答えください。  年間 【1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。】

問 36 [回答票 28] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

**SSSZSTFA**

- |               |                 |                      |          |
|---------------|-----------------|----------------------|----------|
| 1 (ア) 1 人     | 5 (オ) 30~99 人   | 9 (ケ) 1,000~1,999 人  | 13 わからない |
| 2 (イ) 2~4 人   | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |          |
| 3 (ウ) 5~9 人   | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上        |          |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁           |          |

(配偶者がいる方に)

問 37 配偶者の方の年齢を教えてください。

--	--	--

歳

**SPAGEX**

問 38 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

**SPLVTG**

1 同居

2 別居 (単身赴任中)

3 別居 (その他の理由)

(全員に)

問 39 あなた (と配偶者) のご両親のうち、現在もご存命の方はどなたですか。

【存命の親に○をつけ、その親についてのみ尋ねる。現在、配偶者がいる回答者には、配偶者の親についても尋ねる。存命の親が1人もいない場合は10ページ問40へ。】【タテ方向 (父親について A, B, C...の順) に尋ねる】

存命の親に○	(あなたの父親) PPLIVE ↓	(あなたの母親) MMLIVE ↓	(配偶者の父親) PPLLIVE ↓	(配偶者の母親) MMLLIVE ↓												
A その方の年齢を教えてください。	<b>PPAGE</b> <table border="1" style="width: 100px; height: 30px; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td></tr></table> 歳				<b>MMAGE</b> <table border="1" style="width: 100px; height: 30px; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td></tr></table> 歳				<b>PPLAGE</b> <table border="1" style="width: 100px; height: 30px; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td></tr></table> 歳				<b>MMLAGE</b> <table border="1" style="width: 100px; height: 30px; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td><td style="width: 33%; border: 1px solid black; text-align: center;"> </td></tr></table> 歳			
[回答票 29] B その方は、現在、配偶者がいますか。	<b>PPMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>MMMGM</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>PPLMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>MMLMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中												
C その方は、現在、収入をとともなう仕事をしていますか。	<b>PPJOB</b> 1 している 2 していない	<b>MMJOB</b> 1 している 2 していない	<b>PPLJOB</b> 1 している 2 していない	<b>MMLJOB</b> 1 している 2 していない												
[回答票 30] D その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。	<b>PPLVT</b> 1 (ア)同居 (次の存命の親へ) 2 (イ)別居 3 (ウ)一時別居 ↓	<b>MMLVT</b> 1 (ア)同居 (次の存命の親へ) 2 (イ)別居 3 (ウ)一時別居 ↓	<b>PPLLVT</b> 1 (ア)同居 (次の存命の親へ) 2 (イ)別居 3 (ウ)一時別居 ↓	<b>MMLLVT</b> 1 (ア)同居 (10ページ問40へ) 2 (イ)別居 3 (ウ)一時別居 ↓												
[回答票 31] E その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	<b>PPWHY</b> 1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )	<b>MMWHY</b> 1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )	<b>PPLWHY</b> 1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )	<b>MMLWHY</b> 1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )												

次ページの別居の親に○をつけ F 以降を回答



別居・一時別居 の親に○	あなたの父親 PPLVTO ↓	あなたの母親 MMLVTO ↓	配偶者の父親 PPLLVT0 ↓	配偶者の母親 MMLLVTO ↓
<p>〔回答票 32〕</p> <p>F その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで教えてください。</p> <p>【子どもとの同居状態を優先して回答してもらおう。複数の子どもと同居している場合（1 (ア)、2 (イ)、3 (ウ)のうち複数の選択肢をあげた場合）は、数字の小さい選択肢を優先する。】</p>	<p><b>PPFAM</b></p> <p>1 (ア) あなたの既婚の兄や弟</p> <p>2 (イ) あなたの既婚の姉や妹</p> <p>3 (ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹</p> <p>4 (エ) 夫婦のみの二人暮らし</p> <p>5 (オ) 一人暮らし</p> <p>6 (カ) 施設に入所</p> <p>7 (キ) その他 ( )</p>	<p><b>MMFAM</b></p> <p>1 (ア) あなたの既婚の兄や弟</p> <p>2 (イ) あなたの既婚の姉や妹</p> <p>3 (ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹</p> <p>4 (エ) 夫婦のみの二人暮らし</p> <p>5 (オ) 一人暮らし</p> <p>6 (カ) 施設に入所</p> <p>7 (キ) その他 ( )</p>	<p><b>PPLFAM</b></p> <p>1 (ア) 配偶者の既婚の兄や弟</p> <p>2 (イ) 配偶者の既婚の姉や妹</p> <p>3 (ウ) 配偶者の未婚の兄弟姉妹</p> <p>4 (エ) 夫婦のみの二人暮らし</p> <p>5 (オ) 一人暮らし</p> <p>6 (カ) 施設に入所</p> <p>7 (キ) その他 ( )</p>	<p><b>MMLFAM</b></p> <p>1 (ア) 配偶者の既婚の兄や弟</p> <p>2 (イ) 配偶者の既婚の姉や妹</p> <p>3 (ウ) 配偶者の未婚の兄弟姉妹</p> <p>4 (エ) 夫婦のみの二人暮らし</p> <p>5 (オ) 一人暮らし</p> <p>6 (カ) 施設に入所</p> <p>7 (キ) その他 ( )</p>
<p>〔回答票 33〕</p> <p>G その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。</p>	<p><b>PPDIST</b></p> <p>1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り</p> <p>2 (イ) 歩いて15分以内</p> <p>3 (ウ) 車や電車等で30分以内</p> <p>4 (エ) 〃 1時間以内</p> <p>5 (オ) 〃 3時間以内</p> <p>6 (カ) それより遠い</p>	<p><b>MMDIST</b></p> <p>1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り</p> <p>2 (イ) 歩いて15分以内</p> <p>3 (ウ) 車や電車等で30分以内</p> <p>4 (エ) 〃 1時間以内</p> <p>5 (オ) 〃 3時間以内</p> <p>6 (カ) それより遠い</p>	<p><b>PPLDIST</b></p> <p>1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り</p> <p>2 (イ) 歩いて15分以内</p> <p>3 (ウ) 車や電車等で30分以内</p> <p>4 (エ) 〃 1時間以内</p> <p>5 (オ) 〃 3時間以内</p> <p>6 (カ) それより遠い</p>	<p><b>MMLDIST</b></p> <p>1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り</p> <p>2 (イ) 歩いて15分以内</p> <p>3 (ウ) 車や電車等で30分以内</p> <p>4 (エ) 〃 1時間以内</p> <p>5 (オ) 〃 3時間以内</p> <p>6 (カ) それより遠い</p>
<p>〔回答票 34〕</p> <p>H その方と直接会うことは、どのくらいありますか。</p>	<p><b>PPCNTA</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>	<p><b>MMCNTA</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>	<p><b>PPLCNTA</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>	<p><b>MMLCNTA</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>
<p>〔回答票 34〕</p> <p>I その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。</p>	<p><b>PPCNTB</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>	<p><b>MMCNTB</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>	<p><b>PPLCNTB</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>	<p><b>MMLCNTB</b></p> <p>1 (ア) ほぼ毎日</p> <p>2 (イ) 週に数回</p> <p>3 (ウ) 週に1回程度</p> <p>4 (エ) 月に1回程度</p> <p>5 (オ) 年に数回</p> <p>6 (カ) 年に1回程度</p> <p>7 (キ) 年に1回もない</p>

問 40 これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。  
【いない場合は0(ゼロ)と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。】

CCNUMTTL

人

【0人の場合は問 41-1 へ】

それぞれのお子様についてうかがいます。亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順にお答えください。【4人以上の場合は、補助用紙を使用】【タテ方向(第一子についてA,B,C…の順)に尋ねる】

	第一子 ↓	第二子 ↓	第三子 ↓
A その方の性別を教えてください。 <b>CC**SEX</b>	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
B そのお子さんはご存命ですか。【存命の子どもに○】 <b>CC**LIVE</b>	○ 第一子 ↓	○ 第二子 ↓	○ 第三子 ↓
C その方の年齢を教えてください。【C以降は存命の子についてのみ尋ねる】 <b>CC**AGE</b>	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
D その方は、現在、配偶者がいますか。 <b>CC**MG</b>	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
E その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。 <b>CC**JOB</b>	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない
F その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。 <b>CC**LVT</b>	1 (ア) 同居(第二子へ) 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居 →	1 (ア) 同居(第三子へ) 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居 →	1 (ア) 同居(第四子へ) 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居 →
G その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。 <b>CC**WHY</b>	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )
H その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。 <b>CC**DIST</b>	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い
I その方と直接会うことは、どのくらいありますか。 <b>CC**CNTA</b>	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない
J その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。 <b>CC**CNTB</b>	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない

問 41-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだいなどです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。

【いない場合は0(ゼロ)と記入し、問 42 へ。養子・連れ子については、問 40 の子どもの中に入れてもらう。】

SZFFOTHR  人 【5人以上の場合は、補助用紙を使用】【タテ方向(A,B,C…の順)に尋ねる】

問 41-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。

	同居者 (1)	同居者 (2)	同居者 (3)	同居者 (4)
A あなたからみた続柄を教えてください。 【具体的に記入した上で、 <input type="text"/> にコードを記入。「本人」は不要】 FFH**REL	(具体的な続柄名)  <input type="text"/>	(具体的な続柄名)  <input type="text"/>	(具体的な続柄名)  <input type="text"/>	(具体的な続柄名)  <input type="text"/>
B その方の性別を教えてください。 FFH**SEX	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
C その方の年齢を教えてください。 FFH**AGE	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
【回答票 40】 D その方は、現在、配偶者がいますか。 FFH**MG	1 (ア)現在、配偶者がいる 2 (イ)離別 3 (ウ)死別 4 (エ)未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア)現在、配偶者がいる 2 (イ)離別 3 (ウ)死別 4 (エ)未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア)現在、配偶者がいる 2 (イ)離別 3 (ウ)死別 4 (エ)未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア)現在、配偶者がいる 2 (イ)離別 3 (ウ)死別 4 (エ)未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
E その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。 FFH**JOB	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない

【続柄コード表】 【養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。】

00 本人	11 長男	21 長女	30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	12 次男	22 次女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	13 三男	23 三女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	14 長男の妻	24 長女の夫		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	15 次男の妻	25 次女の夫					
	16 三男の妻	26 三女の夫					
						97 その他・不明	
						99 無回答	

問 42 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

【同居者の人数が、同居の配偶者+同居の父母+同居の子ども+その他の同居家族数になっていることを確認する。】

SZFFONLY  同居者 + 本人(1人) = 合計  人

問 43 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。【具体的に続柄を記入した上で  にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず1名に絞ってもらう。】

FFHEAD

問 44-1 あなた自身の両親、配偶者の両親、あなたの子ども以外で、一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、祖父母や孫、子どもの配偶者などです。いらっしゃる場合、何人ですか。

【いない場合は0(ゼロ)と記入し、問 45-1 へ。結婚して家を離れている子どもは含めない。】

SZFFOUT

--	--

人

【5人以上の場合は、補助用紙を使用】【タテ方向(A,B,C…の順)に尋ねる】

問 44-2 その全員について、うかがいます。

	一時的別居家族 (1)	一時的別居家族 (2)	一時的別居家族 (3)	一時的別居家族 (4)												
<b>A</b> あなたからみた続柄を教えてください。【具体的に記入した上で、□□ にコードを記入。「本人」は不要】 <b>FFO**REL</b>	(具体的な続柄名)  <table border="1" style="width: 100px; height: 20px; margin-left: 20px;"><tr><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td></tr></table>				(具体的な続柄名)  <table border="1" style="width: 100px; height: 20px; margin-left: 20px;"><tr><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td></tr></table>				(具体的な続柄名)  <table border="1" style="width: 100px; height: 20px; margin-left: 20px;"><tr><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td></tr></table>				(具体的な続柄名)  <table border="1" style="width: 100px; height: 20px; margin-left: 20px;"><tr><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 10px;"></td></tr></table>			
<b>B</b> その方の性別を教えてください。 <b>FFO**SEX</b>	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性												
<b>C</b> その方の年齢を教えてください。 <b>FFO**AGE</b>	<table border="1" style="width: 60px; height: 20px;"><tr><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td></tr></table> 歳				<table border="1" style="width: 60px; height: 20px;"><tr><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td></tr></table> 歳				<table border="1" style="width: 60px; height: 20px;"><tr><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td></tr></table> 歳				<table border="1" style="width: 60px; height: 20px;"><tr><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td><td style="width: 20px;"></td></tr></table> 歳			
<b>〔回答票 40〕</b> <b>D</b> その方は、現在、配偶者がいますか。 <b>FFO**MG</b>	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中												
<b>E</b> その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。 <b>FFO**JOB</b>	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない												
<b>〔回答票 41〕</b> <b>F</b> その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。 <b>FFO**WHY</b>	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )												

問 45-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

【いない場合は0(ゼロ)を記入。養子・連れ子などの場合に、誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。】

XNUMBROE XNUMBSISE XNUMBROY XNUMSISY

あなたの兄弟姉妹

	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

問 45-2 現在、結婚されている方（あるいは配偶者の方と死別された方）は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

【配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。】

XSSNBROE XSSNSISE XSSNBROY XSSNSISY

配偶者の兄弟姉妹

	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

あなたが子どもの頃のことについておうかがいします。

問 46-1 あなたが 15 歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

**PREF15** 【外国の場合は「外国」と記入し、これ以降の質問にも回答してもらう。】

都道府県   **コード** 【調査員は記入不要】

問 46-2 【回答票 42】 当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたってと思いますか。

**TP5LOC15**

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 (ア) | 2 (イ) | 3 (ウ) | 4 (エ) |
| 大都市   | 中小都市  | 町     | 村     |

問 46-3 そこは農山漁村地域でしたか。 1 はい 2 いいえ

**REMOTE15**

問 47-1 【回答票 43】 あなたが 20 歳の頃、15 歳の頃と同じ市区町村にお住まいでしたか。15 歳の頃と別の

**CTVW20** 都道府県の場合は、都道府県名をお答えください。

【外国の場合は「外国」と記入し、これ以降の質問にも回答してもらう。市町村合併などで自治体名が変わっていても居住地が変わっていなければ同じ市区町村とみなす。】

- 1 (ア) 15 歳の頃と同じ市区町村
- 2 (イ) 15 歳の頃と同じ都道府県内の別の市区町村
- 3 (ウ) 15 歳の頃と別の都道府県

**PREF20**  都道府県   **コード** 【調査員は記入不要】

問 47-2 【回答票 44】 20 歳の頃、お住まいの地域は、この中のどれにあたってと思いますか。

**TP5LOC20**

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 (ア) | 2 (イ) | 3 (ウ) | 4 (エ) |
| 大都市   | 中小都市  | 町     | 村     |

問 48 【回答票 45】 かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身

**OP10LVL** はこのどれに入ると思いますか。

- 一番上 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 一番下

問 49 【回答票 46】 あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思えますか。最も近いものを 1 つ選んでください。

**SIZEHMT**

- |         |        |       |       |             |
|---------|--------|-------|-------|-------------|
| 1 (ア)   | 2 (イ)  | 3 (ウ) | 4 (エ) | 5 (オ)       |
| 大都市の中心部 | 大都市の郊外 | 中小都市  | 町村部   | 人家がまばらな農山漁村 |

問 50 【回答票 47】 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

**OWNHOUSE**

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 (ア) 持ち家 (親などが持ち主の場合も含む) | 4 (エ) 公社・公団等の公営の賃貸住宅  |
| 2 (イ) 民間の賃貸住宅             | 5 (オ) その他 (具体的に_____) |
| 3 (ウ) 社宅・公務員住宅等の給与住宅      |                       |

問 51〔回答票 48〕あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

【配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に通った学校が「専門学校」という場合には、以下のようにする。

●一般に「専門学校」と呼ばれる学校（戦後の専修学校の一般課程・高等課程・専門課程）→その学校以外で最後に通った学校について尋ねる。

●高等専門学校（工業分野を中心として、中学卒業後に入る5年一貫の高等教育機関。主に国公立）→10(コ)に○をする。

●戦前の専門学校→6(カ)に○をする。

〔注〕(コ)と答えた人には、高専と専門学校・専修学校とを混同していないか尋ねる。〕

	XXLSTSCH	SSLSTSCH	PPLSTSCH	MMLSTSCH
	本人	配偶者	父親	母親
	↓	↓	↓	↓
戦前	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
	(イ) 旧制高等小学校	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
	(エ) 旧制実業・商業学校	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
	(オ) 旧制師範学校	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
	(キ) 旧制大学・旧制大学院	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
戦後	(ク) 新制中学校	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
	(ケ) 新制高校	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
	(コ) 新制高専（注）	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
	(サ) 新制短大	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
	(シ) 新制大学	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
	(ス) 新制大学院	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
	わからない	14	14	14
	結婚したことはない・離別した	※	15	※

問 52 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH 【「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。】

1 卒業

2 中退

XGRADE

3 在学中（\_\_\_\_\_年生）

（問51で本人が（ケ）新制高校、（コ）新制高専、（サ）新制短大、（シ）新制大学、（ス）新制大学院と答えた人に）

問 53-1〔回答票 49〕あなたが通った高校で学んだ学科は何でしたか。2つ以上の場合は主な学科を1つお答えください。

XHSSUB

- |                |                         |                  |
|----------------|-------------------------|------------------|
| 1 (ア) 普通科      | 4 (エ) 農業に関する学科          | 7 (キ) 高校には行っていない |
| 2 (イ) 工業に関する学科 | 5 (オ) 家庭・家政に関する学科       | 8 わからない          |
| 3 (ウ) 商業に関する学科 | 6 (カ) その他の学科（具体的に_____） |                  |



問 53-2〔回答票 50〕その高校では、どのくらいの割合の人が大学・短大に進学しましたか。

XHSRATE 1 (ア) ほとんど全員

4 (エ) 2～3割程度

2 (イ) 7～8割程度

5 (オ) ほとんどいない

3 (ウ) 半数くらい

6 わからない

(全員に)

問 54-1 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。【対象者が新制高専と混同していないか注意。】

**XSPSCH**

- 1 通ったことがある      2 通ったことがない →

問 51 で(コ)(サ)(シ)(ス)と回答の場合、問 55-1 へ  
問 51 で上記以外の回答の場合、問 56 へ

問 54-2 その専門学校・専修学校であなたが学んだ学科もしくは分野を教えてください。複数の専門学校・専修学校に通った場合は、最後に通った専門学校・専修学校での学科もしくは分野を教えてください。

**XXSPSTDY**

(具体的に)

問 54-3 [回答票 51] その専門学校・専修学校に通った時期は、【問 51 の「本人」の回答】→  
**WHNSPSCH** より前ですか、後ですか、同時期ですか。 【↑清書して提出】

- 1 (ア) 前                      2 (イ) 後                      3 (ウ) 同時期

問 54-4 その専門学校・専修学校であなたは、高等学校卒業とみなされる高等課程を修了しましたか。

**DOSPSUSC**

- 1 修了した                      2 修了していない

(問 51 で本人が (コ) 新制高専、(サ) 新制短大、(シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に)

問 55-1 [回答票 52] あなたが通った (または現在通っている) 【問 51 の「本人」の回答】→

**XUPUBLIC** は、国立でしたか、公立でしたか、あるいは私立 (わたくしりつ) でしたか。【↑清書して提出】

- 1 (ア) 国立                      2 (イ) 公立                      3 (ウ) 私立                      4 わからない

問 55-2 [回答票 53] その学校でのあなたの学部・学科を回答票の番号でお答えください。

**XXSCHDPT** 【この回答票 53 だけ、回答番号が番号表記のみとなっている(アイウエオ表記なし)。】

			(「777 その他」の場合、具体的に_____)
--	--	--	--------------------------

問 56 (14 ページ問 51 の配偶者の学歴について答えた人にも) あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。【「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。】

**SSDOLSTS**

- 1 卒業                              2 中退                              3 在学中 (\_\_\_\_年 生)

**SSXGRADE**

問 57 (14 ページ問 51 の配偶者の学歴について答えた人にも) あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。【対象者が新制高専と混同していないか注意。】

**PSPSCH**

- 1 通ったことがある                      2 通ったことがない

(全員に)

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

【学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。  
在学中の就業を、回答者が初めての仕事と捉えていれば、それについて尋ねる。】

問 58 [回答票 54] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

**XGETJOB**

- |                                   |                        |                      |
|-----------------------------------|------------------------|----------------------|
| 1 (ア)<br>すぐついた<br>(3ヶ月たたないうちについた) | 2 (イ)<br>3ヶ月以上たってからついた | 3 (ウ)<br>仕事についたことはない |
|-----------------------------------|------------------------|----------------------|

17 ページ問 62-1 へ

問 59-1 [回答票 55] あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

**TP1STJB**

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

- |                  |                  |                        |                       |             |            |
|------------------|------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------|
| 1 (ア)<br>雇われている人 | 2 (イ)<br>会社などの役員 | 3 (ウ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 4 (エ)<br>自家営業の<br>手伝い | 5 (オ)<br>内職 | 6<br>わからない |
|------------------|------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------|

問 59-2 [回答票 56] 当時のあなたの雇用形態は、この中のどれにあたりますか。

**TP1STJBS**

- 1 (ア) 常時雇用の職員・従業員
- 2 (イ) パート・アルバイト
- 3 (ウ) 派遣社員
- 4 (エ) 契約社員
- 5 (オ) 嘱託
- 6 わからない

問 59-3 [回答票 57] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPFSTJBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 60 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXFSTJB**

(できるだけ詳しく具体的に)

問 61 [回答票 58] その当時、同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、その当時、働いていた方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

**SZSTFFST**

- |               |                 |                      |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人     | 5 (オ) 30~99 人   | 9 (ケ) 1,000~1,999 人  |
| 2 (イ) 2~4 人   | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人   | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上        |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁           |
|               |                 | 13 わからない             |



(全員に)

問 62-1 [回答票 59] あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、  
**PPJB15** 大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

【2(イ)「会社などの役員」と3(ウ)「自営業主・自由業者」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。】

1 (ア) 雇われて いる人	2 (イ) 会社などの 役員	3 (ウ) 自営業主 ・自由業者	4 (エ) 自家営業の 手伝い	5 (オ) 内職	6 (カ) 働いて いなかった	7 (キ) 父は いなかった	8 わからない
-------------------------	-------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------	--------------------------	-------------------------	------------

問 65 へ

問 62-2 [回答票 60] 当時のお父さんの  
**PPJBT15S** 雇用形態は、この中の  
 どれにあたりますか。

1 (ア) 常時雇用の職員・従業員  
 2 (イ) パート・アルバイト  
 3 (ウ) 派遣社員  
 4 (エ) 契約社員  
 5 (オ) 嘱託  
 6 わからない

問 62-3 [回答票 61] 当時のお父さんの役職は、  
**PPJBT15P** この中のどれにあたりますか。

1 (ア) 役職なし  
 2 (イ) 職長・班長・組長など  
 3 (ウ) 係長 (係長相当)  
 4 (エ) 課長 (課長相当)  
 5 (オ) 部長 (部長相当)  
 6 (カ) その他の役職(具体的に \_\_\_\_\_)  
 7 わからない

問 63 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、  
 小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュー  
 ータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**PPJBXX15**  
**PPJXXE08**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 64 [回答票 62] お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。  
 お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パ  
 ートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

【省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。】

**PPJBSZ15**

1 (ア) 1 人	2 (イ) 小企業 (2~29人)	3 (ウ) 中企業 (30~299人)	4 (エ) 大企業 (300~999人)	5 (オ) 大手大企業 (1,000人以上)	6 (カ) 官公庁	7 わからない
-----------------	----------------------------	------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	-----------------	------------

問 65 [回答票 63] あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、こ  
 の中のどれにあたりますか。

**MMJBTP15**

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 仕事はもっていなかった        | 7 (キ) 自営業・家族従業者 農林漁業 |
| 2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト     | 8 (ク) " 農林漁業以外       |
| 3 (ウ) 常時雇用 一般職 役職なし      | 9 (ケ) 内職             |
| 4 (エ) " 管理職              | 10 (コ) 経営者・役員        |
| 5 (オ) " 専門的な仕事(看護師・教師など) | 11 (サ) 母はいなかった       |
| 6 (カ) " 仕事内容はわからない       | 12 わからない             |

問 66 [回答票 64] 昨年 1 年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたり  
**SZEXED** ますか。教育費には、在学中の子どもの下宿代・仕送りを含み、社会人入学の学費は除きます。

【10 ページ問 40 で子どもの人数 0(ゼロ)の場合は 16 に○。子どもには、学業を終えていない子どもをすべて含む(幼児から専門  
 学校生、大学生、大学院生まですべて)。】

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし          | 10 (コ) 100～200 万円未満     |
| 2 (イ) 3 万円未満      | 11 (サ) 200～300 万円未満     |
| 3 (ウ) 3～5 万円未満    | 12 (シ) 300～400 万円未満     |
| 4 (エ) 5～10 万円未満   | 13 (ス) 400～500 万円未満     |
| 5 (オ) 10～15 万円未満  | 14 (セ) 500 万円以上         |
| 6 (カ) 15～20 万円未満  | 15 (ソ) すべての子どもが学業を終えている |
| 7 (キ) 20～30 万円未満  | 16 子どもはいない              |
| 8 (ク) 30～50 万円未満  | 17 回答したくない              |
| 9 (ケ) 50～100 万円未満 | 18 わからない                |

問 67-1 [回答票 65] 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものを  
すべて選んでください。

問 67-2 [回答票 65] そのうち、一番中心となる収入源を 1 つだけ答えてください。

【問 67-1 ではあてはまるものが 1 つしかなければ、問 67-2 では同じものに○をつける。】

		<b>INCMAIN</b>	
		問 67-1 あてはまる収入源 すべてに○	問 67-2 中心となる収入源 1 つ だけに○
<b>INCSELF</b>	自分の収入	1 (ア)	1 (ア)
<b>INCSP</b>	配偶者の収入	2 (イ)	2 (イ)
<b>INCPAR</b>	親の収入	3 (ウ)	3 (ウ)
<b>INCFAM</b>	配偶者・親以外の家族の収入	4 (エ)	4 (エ)
<b>INCPEN</b>	年 金	5 (オ)	5 (オ)
<b>INCUEB</b>	失業保険	6 (カ)	6 (カ)
<b>INCSAVE</b>	貯 蓄	7 (キ)	7 (キ)
<b>INCSOC</b>	社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	8 (ク)	8 (ク)
<b>INCIRR</b>	不定期的な仕事	9 (ケ)	9 (ケ)
<b>INCRENT</b>	賃貸料所得 (家賃、土地、駐車場料金など)	10 (コ)	10 (コ)
<b>INCINVST</b>	投資運用	11 (サ)	11 (サ)
<b>INCOTHER</b>	その他(具体的に_____)	12 (シ)	12 (シ)
<b>INCNOKN</b>	わからない	13	13

問 68-1 [回答票 66] 昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 68-2 [回答票 66] そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 68-3 (仕事をしている方にのみ質問) [回答票 66] あなたの収入は、先ほどいかがだった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

【問 1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 68-3 の 23 に○をつけ、問 68-4 へ。】

問 68-4 (現在、配偶者がいる方にのみ質問) [回答票 66] 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

【問 27-1 で 1 (ア)「現在、配偶者がいる」と 6「同棲中」と回答した者にのみ質問する。問 27-1 でそれ以外に回答した場合は、問 68-4 と問 68-5 の 22 に○をつけ、回答終了。】

問 68-5 (配偶者が仕事をしている方に) [回答票 66] 配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

【問 28-1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 68-5 の 23 に○をつけ、回答終了。】

	問 68-1	問 68-2	問 68-3	問 68-4	問 68-5
	SZHSINCM	SZINCOMA	SZINCOMX	SSSZINCA	SSSZINCM
	世帯全体	本人	本人の 主な仕事	配偶者	配偶者の 主な仕事
	↓	↓	↓	↓	↓
なし	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
70 万円未満	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
70～100 万円未満	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
100～130 万円未満	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
130～150 万円未満	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
150～250 万円未満	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
250～350 万円未満	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
350～450 万円未満	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
450～550 万円未満	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
550～650 万円未満	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
650～750 万円未満	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
750～850 万円未満	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
850～1,000 万円未満	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
1,000～1,200 万円未満	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)
1,200～1,400 万円未満	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)
1,400～1,600 万円未満	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)
1,600～1,850 万円未満	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)
1,850～2,300 万円未満	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)
2,300 万円以上	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)
回答したくない	20	20	20	20	20
わからない	21	21	21	21	21
配偶者はいない	※	※	※	22 --▶	22
仕事はしていない	※	※	23	※	23

これで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

**COOP**

- |        |                 |                   |                   |
|--------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 1      | 2               | 3                 | 4                 |
| とても協力的 | どちらかといえば<br>協力的 | それほど<br>協力的ではなかった | まったく<br>協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

**U STAND**

- |       |            |         |          |
|-------|------------|---------|----------|
| 1     | 2          | 3       | 4        |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

(できるだけ詳しく具体的に)

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

(謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に)

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

**AREA**

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

F6 表札の有無（集合住宅ではポストの名札も含む）      1 あり      2 なし

**NAMEPLAT**

F7-1 対象者の家の種類はどれでしたか。

- 1 一戸建て      2 集合住宅（アパート・マンションなど）



**TPHOUSE**

F7-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

**AUTOLOCK**

- 1 はい      2 いいえ

F8 家のインターフォンの種類（集合住宅の入口がオートロックの場合は、そのインターフォンの種類）

**INTERCOM**

- 1 カメラ付きインターフォン      2 カメラなしインターフォン      3 チャイムのみ（インターフォンなし）      4 チャイムもなし

F9 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。      **PROC**      1 面接が先      2 留置が先

F10 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。

**DURATION**

この面接調査票の調査時刻		所要時間
(開始) _____時_____分頃	(終了) _____時_____分頃	およそ _____分

補助用紙 (問 40 用)

支局 番号	地点 番号	対象 番号

(問 40 で挙げられた子どもについて) 子どもが 4 人以上の場合に使用  
 それぞれのお子様についてうかがいます。  
 亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順にお答えください。  
**【タテ方向(第四子についてA,B,C…の順)に尋ねる】**

	第四子	第五子	第六子	第七子
A その方の性別を教えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
B そのお子さんはご存命ですか。【存命の子どもに○】	○ ↓ 第四子	○ ↓ 第五子	○ ↓ 第六子	○ ↓ 第七子
C その方の年齢を順に教えてください。【C以降は存命の子についてのみ尋ねる】	□ □ □ □ 歳	□ □ □ □ 歳	□ □ □ □ 歳	□ □ □ □ 歳
D 【回答票 35】 その方は、現在、配偶者がいますか。	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
E その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていらっしゃいますか。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない
F 【回答票 36】 その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。	1 (ア) 同居(第五子へ) 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居	1 (ア) 同居(第六子へ) 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居	1 (ア) 同居(第七子へ) 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居	1 (ア) 同居 2 (イ) 別居 3 (ウ) 一時別居
G 【回答票 37】 その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )
H 【回答票 38】 その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い
I 【回答票 39】 その方と直接会うことは、どのくらいありますか。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない
J 【回答票 39】 その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない

補助用紙（問 41-2 用）

（問 41-1 で挙げられた「配偶者・親・子ども以外の同居家族」について）

配偶者・親・子ども以外の同居家族が 5 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

問 41-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。

	同居者 (5)	同居者 (6)	同居者 (7)	同居者 (8)
A あなたからみた続柄を教えてください。 【具体的に記入した上で、□□ にコードを記入。「本人」は不要】	(具体的な続柄名)  □ □	(具体的な続柄名)  □ □	(具体的な続柄名)  □ □	(具体的な続柄名)  □ □
B その方の性別を教えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
C その方の年齢を教えてください。	□ □ □ 歳	□ □ □ 歳	□ □ □ 歳	□ □ □ 歳
【回答票 40】 D その方は、現在、配偶者がいますか。	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
E その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない

補助用紙（問 44-2 用）

（問 44-1 で挙げられた「一時的に離れて暮らしている家族」について）

一時的に離れて暮らしている家族が 5 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

問 44-2 その全員について、うかがいます。

	一時的別居家族 (5)	一時的別居家族 (6)	一時的別居家族 (7)	一時的別居家族 (8)
<b>A</b> あなたからみた続柄を教えてください。 【具体的に記入した上で、□□ にコードを記入。「本人」は不要】	(具体的な続柄名)  □   □	(具体的な続柄名)  □   □	(具体的な続柄名)  □   □	(具体的な続柄名)  □   □
<b>B</b> その方の性別を教えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
<b>C</b> その方の年齢を教えてください。	□   □   □ 歳	□   □   □ 歳	□   □   □ 歳	□   □   □ 歳
【回答票 40】 <b>D</b> その方は、現在、配偶者がいますか。	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
<b>E</b> その方は、現在、収入をともなう仕事をしていませんか。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない
【回答票 41】 <b>F</b> その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他

### III.9 面接調査票 回答票 (サンプル)

面接調査では、ほとんどの設問において調査対象者に下記のような回答票を示して、該当する番号を答えてもらっている。下記は実際に使用した回答票を縮小したものである。

問 1

〔回答票 1〕

---

(ア) 仕事をした

(イ) 仕事をもっているが、  
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ

(ウ) 仕事をしていない

問 12

〔回答票 8〕

---

(ア) 1 人

(イ) 2～4 人

(ウ) 5～9 人

(エ) 10～29 人

(オ) 30～99 人

(カ) 100～299 人

(キ) 300～499 人

(ク) 500～999 人

(ケ) 1,000～1,999 人

(コ) 2,000～9,999 人

(サ) 1 万人以上

(シ) 官公庁

問 39 E

〔回答票 3 1〕

---

(ア) あなたの仕事の都合

(イ) あなたの学業

(ウ) 家族の仕事の都合

(エ) 家族の学業

(オ) 長期入院

(カ) 老人・福祉施設に入所

(キ) その他 ( )

問 48

〔回答票 4 5〕

---

一番上

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

一番下



[回答票 53]

(専門学校・専修学校以外で最後に通った学校が)	(専門学校・専修学校以外で最後に通った学校が)	(専門学校・専修学校以外で最後に通った学校が)	(専門学校・専修学校以外で最後に通った学校が)
(新制) 高専の方	(新制) 短大の方	(新制) 大学の方	(新制) 大学院の方
101 機械工学科	201 英文(学)科	301 文学部	401 文学研究科
102 電気工学科	202 国文(学)科	302 外国語学部	402 外国語学研究科
103 電子制御工学科	203 経済(学)科	303 人文学部	403 人文科学研究科
104 情報工学科	204 商業(学)科	304 法学部	404 法学研究科
105 物質工学科	205 看護(学)科	305 政経学部	405 政治学研究科
106 建築学科	206 社会福祉(学)科	306 経済学部	406 法科大学院
107 環境都市工学科	207 家政(学)科	307 商学部	407 経済学研究科
108 商船学科	208 生活科学(学)科	308 経営学部	408 商学研究科
777 その他	209 食物栄養(学)科	309 社会学部	409 経営学研究科
(具体的に )	210 服飾(学)科	310 工学部	410 社会学研究科
	211 保育(学)科・幼児教育(学)科	311 理工学部	411 工学研究科
	212 音楽(学)科	312 理学部	412 理工学研究科
	213 デザイン(学)科	313 農学部	413 理学研究科
	231 情報(学)科	314 薬学部	414 農学研究科
	777 その他	315 医学部	415 薬学研究科
	(具体的に )	316 看護学部	416 医学研究科
		317 社会福祉学部	417 看護学研究科
		318 家政学部	418 社会福祉学研究科
		319 生活科学部	419 教育学研究科
		320 児童学部	420 芸術学研究科
		321 教育学部	421 音楽研究科
		322 芸術学部	777 その他
		323 音楽学部	(具体的に )
		777 その他	
		(具体的に )	

(第 0784 号) 2018 年 2 月  
[JGSS-2018 留置調査票]



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第 12 回 生活と意識についての国際比較調査」

(調査企画) 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター

(調査協力) 京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎

(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV

--	--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたは、どのくらいの頻度でニュース記事をインターネットで読みますか。

FQ6NWSIN

1	2	3	4	5	6
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない	インターネットは 利用していない

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ(ウォーキング、水泳、野球など)を行なっていますか。

FQSPORT

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

			ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
FQ7FFDNR	A 家族と一緒にの夕食----->	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり----->	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7CKDNR	C 夕食の用意----->	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7WASH	D 洗濯----->	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7SHOP	E 買い物(日用品や食料品の買い物)→	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7CLEAN	F 家の掃除----->	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7GARB	G ゴミ出し----->	1	2	3	4	5	6	7	
FQ7RPH	H 家の簡単な修理(電球の交換、壁や庭の補修など)----->	1	2	3	4	5	6	7	

Q7 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ

良	い			悪	い
1	2	3	4	5	





Q12 あなたは、現在の生活全般に満足していますか。

STALLLF

非常に満足

非常に不満

1

2

3

4

5



Q13 あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

強く どちらかと どちらとも どちらかと 強く  
賛成 いえば賛成 いえない いえば反対 反対

NOFUTR A 私には将来の希望がもてず、物事が  
よい方向に行くとは考えられない -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

NOGOAL B 私が目指している目標は  
達成できないだろう -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

Q14 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

ほとんど ぜんぜん  
いつも いつも ときどき まれに ない

SFMHPEAC A おちついていて、おだやかな気分でしたか --> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

SFMHENGY B 活力(エネルギー)にあふれていましたか --> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

SFMHDPRS C おちこんで、ゆううつな気分でしたか -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

Q15 最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ○をつけてください。

- OP7CMTRA
- 1 私の家(実家)の墓に入りたい
  - 2 配偶者の家の墓に入りたい
  - 3 自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい
  - 4 自分と配偶者だけの墓に入りたい(ロッカー式の納骨堂を含む) (57)
  - 5 自分一人の墓に入りたい(ロッカー式の納骨堂を含む)
  - 6 合葬式の共同墓(家族以外の人々を含む)に入りたい
  - 7 墓に入らず、海や山への散骨にしたい

Q16-1 あなたは、あなたのご実家の「先祖の墓」を受け継いでいますか。

- XINHRGRV
- 1 受け継いでいる ----->
  - 2 まだ受け継いでいないが、将来受け継ぐことになる ----->
  - 3 きょうだい、または他の親族が受け継ぐので、受け継ぐことはない (58)
  - 4 「先祖の墓」はない(どこにあるかわからない)
  - 5 その他(具体的に \_\_\_\_\_) (59)

Q16-2 あなたは、「先祖の墓」をどのようにしたいと思っていますか。

- WLMNGGRV
- 1 現在の場所で子どもや親族で引き継ぐ
  - 2 お参りしやすい場所に移して、子どもや親族で引き継ぐ
  - 3 合葬式の共同墓(家族以外の人も入る)に移して、家族が引き継ぐ形はとらない
  - 4 永代供養・管理料などを収めて、墓地の管理者(寺や教会など)に管理をお願いする
  - 5 その他(具体的に \_\_\_\_\_)

ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q17 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

<b>XLIVEYR</b>	1	生まれてからずっと	5	5年～10年未満
	2	1年未満	6	10年～20年未満
	3	1年～3年未満	7	20年～30年未満
	4	3年～5年未満	8	30年以上

Q18 あなたは以下の意見についてどう思いますか。

よく  
あてはまる

あて  
はまる

どちらとも  
いえない

あて  
はまらない

まったく  
あてはまらない

<b>OPNBMTCN</b>	A	近所の人は、 お互いに気にかけている-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPNBASS</b>	B	近所の人は、私が困っていたら 手助けしてくれる-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5

Q19 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

<b>DOECSLP</b>	1	ソーラーパネル（太陽光発電）
<b>DOECMNP</b>	2	深夜電力（深夜電力の割引契約）
<b>DOECWC</b>	3	エコウィル（ガス発電給湯暖冷房システム）・エコキュート（自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機）など
<b>DOECLMC</b>	4	低公害車（LPG車やハイブリッド車、電気自動車など）
<b>DOECNONE</b>	5	いずれも利用していない

Q20 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

よく  
する

時々  
する

あまり  
しない

まったく  
しない

<b>FQ4DENKI</b>	A	電気は、こまめに消す-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>FQ4ELC</b>	B	消費電力を減らす工夫をする -----→	1	.....	2	.....	3	.....	4

Q21 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

<b>WLLIVE</b>	1	2	3	4
	ずっと	当分の間は	できれば	すぐにも
	住みたい	住みたい	他の地域に引越したい	他の地域に引越したい

Q22 あなたが今お住まいの地域の存続について、不安を感じることはありますか。

<b>AXCONTCM</b>	1	2	3	4
	とても	ある程度	あまり	まったく
	感じている	感じている	感じていない	感じていない

Q23 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

<b>OP5FFINX</b>	1	2	3	4	5
	平均より	平均より	ほぼ平均	平均より	平均より
	かなり少ない	少ない		多い	かなり多い

Q24 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

<b>OPFFIX15</b>	1	2	3	4	5
	平均より かなり少ない	平均より 少ない	ほぼ平均	平均より 多い	平均より かなり多い

Q25 中学3年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。

<b>OP5SCHPF</b>	1	2	3	4	5
	下の方	やや下の方	真ん中のあたり	やや上の方	上の方

Q26 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。

<b>OP5LEVK</b>	1	2	3	4	5
	上	中の上	中の中	中の下	下

Q27 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

<b>AXECNSF</b>	1	2	3	4	5
	とても 感じている	ある程度 感じている	どちらとも いえない	あまり 感じていない	まったく 感じていない

Q28-1 あなたは、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。

<b>XCARE</b>	1	2	3
	したことがない	現在行なっている	過去に行なったことがある

Q28-2 それは誰への介護ですか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

<b>XC2SS</b>	<b>XC2PM</b>	<b>XC2SSPM</b>	<b>XC2OTHR</b>
1	2	3	4
配偶者	あなたの親	配偶者の親	その他( )

ここからは、政治や政策などについてのあなたのお考えをうかがいます。

Q29 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

個人や家族の責任 ←-----→ 国や自治体の責任

<b>OP5SRWFY</b>	A 高齢者の生活保障(生活費)	1	2	3	4	5
<b>OP5SRMDY</b>	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
<b>OP5CCED</b>	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
<b>OP5CCARE</b>	D 保育・育児	1	2	3	4	5

Q30 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

<b>Q5GVEQAA</b>	1	2	3	4	5
	賛成	どちらかとい えば賛成	どちらとも いえない	どちらかとい えば反対	反対

Q31 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

**XX8PLPTY**

- |         |       |          |                |
|---------|-------|----------|----------------|
| 1 自民党   | 4 民進党 | 7 社民党    | 10 その他の政党 ( )  |
| 2 立憲民主党 | 5 公明党 | 8 日本維新の会 | 11 特に支持する政党はない |
| 3 希望の党  | 6 共産党 | 9 自由党    | 12 わからない       |

Q32 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

**APPCCNUM**

- |     |     |     |     |     |                  |
|-----|-----|-----|-----|-----|------------------|
| 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5                |
| 0 人 | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5人以上 (具体的に____人) |

**APPCCNMX**

Q33 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

**APPCCSXB**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 男の子 | 2 女の子 |
|-------|-------|

Q34 あなたは一般に、三世帯同居 (親・子・孫の同居) は望ましいことだと考えますか。

**OP2GNR**

- |        |          |
|--------|----------|
| 1 望ましい | 2 望ましくない |
|--------|----------|

Q35 あなたは、同性どうしの結婚を法で認めることに賛成ですか、反対ですか。

**Q4SAMESM**

- |    |                |                |    |
|----|----------------|----------------|----|
| 1  | 2              | 3              | 4  |
| 賛成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反対 |

Q36 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

**QFNRINCR**

- |      |      |
|------|------|
| 1 賛成 | 2 反対 |
|------|------|

Q37 日本では所得格差が大きくなりつつあると思いますか。

**OPINCDIF**

- |            |      |                  |               |                    |        |              |
|------------|------|------------------|---------------|--------------------|--------|--------------|
| 1          | 2    | 3                | 4             | 5                  | 6      | 7            |
| 強く<br>そう思う | そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらとも<br>いえない | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない | 強く<br>そう思わない |

ここからは、人や組織についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q38 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

**OP4TRUST**

- |                   |                 |                     |                       |
|-------------------|-----------------|---------------------|-----------------------|
| 1                 | 2               | 3                   | 4                     |
| ほとんどの場合、<br>信用できる | たいていは、<br>信用できる | たいていは、<br>用心したほうがよい | ほとんどの場合、<br>用心したほうがよい |

Q39 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号 (1~7) を1つ選んでください。

**OP7GDEVO**

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 人間の本性は<br>本来「悪」である | 人間の本性は<br>本来「善」である |
|--------------------|--------------------|

- |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|







Q43-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

**DORL**            1 ある      2 特に信仰していないが、家の宗教はある      3 ない

Q43-2 それは何ですか。  
**XXRL**            (具体的に \_\_\_\_\_ )

---

Q43-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。  
**DO3PIOUS**    1 熱心である  
                   2 まあまあ熱心である  
                   3 そんなに熱心ではない

ここからは、あなたのお住まいの地域と自然災害についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q44 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような以下の大規模な災害が発生する可能性は、どの程度あると思いますか。

			大いに 有りうる	かなり 有りうる	ある程度 有りうる	ほとんど 有りえない
<b>DISQUAKE</b>	A 地震	----->	1	2	3	4
<b>DISTSNM</b>	B 津波	----->	1	2	3	4
<b>DISFLOOD</b>	C 高潮や河川の氾濫による水害	---->	1	2	3	4
<b>DISTSNOW</b>	D 豪雪	----->	1	2	3	4
<b>DISVOLC</b>	E 噴火による災害	----->	1	2	3	4
<b>DISLAND</b>	F 土砂災害（地滑り、土石流など）	---->	1	2	3	4
<b>DISNUC</b>	G 原子力発電所の事故	----->	1	2	3	4

Q45 あなたが今お住まいの地域で、避難が必要となるような大規模な災害が発生することに対して、どの程度不安を感じていますか。

<b>AXDIS</b>	1	2	3	4
	とても不安	ある程度不安	少し不安	まったく不安ではない

Q46 日本の原子力政策は、今後どの方向に進めるべきだとあなたは思いますか。

- OPNUCPOL**
- 1 原子炉をさらに増やす
  - 2 今ある原子炉は稼働し、数は増やさない
  - 3 原子炉の数は減らすが、全廃はしない
  - 4 原子炉を長期的にはすべて廃止する
  - 5 原子炉を即時全廃する

Q47 あなたは、放射性物質による食品の汚染にどの程度不安を感じていますか。

<b>AXFDRAD</b>	1	2	3	4
	とても不安	ある程度不安	少し不安	まったく不安ではない

Q48 あなたの地域で自然災害が起こった場合、あなたの地域の人々は、お互いに協力して当面の危機を乗り切ることができると思いますか。

COMMDIS	1	2	3	4	5	6	7
	強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	強く そう思わない

Q49 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

		とても 深刻	ある程度 深刻	あまり 深刻ではない	まったく 深刻ではない
ENHMAP	A 大気汚染	1	2	3	4
ENHMWP	B 水質汚染	1	2	3	4
ENHMSP	C 土壌汚染	1	2	3	4

ここからは、家族についての意見をうかがいます。

Q50 「結婚した男女は親を経済的に支援すべきだ」という意見について、あなたはどのように思いますか。それぞれの場合について、お答えください。

		強くそう 思う	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらとも いけない	どちらかと いえばそう 思わない	そう 思わない	強くそう 思わない
OPISMM	A 結婚した男性→自分の親	1	2	3	4	5	6	7
OPISMW	B 結婚した女性→自分の親	1	2	3	4	5	6	7
OPISMMSS	C 結婚した男性→妻の親	1	2	3	4	5	6	7
OPISMWSS	D 結婚した女性→夫の親	1	2	3	4	5	6	7

Q51 一般的に、年老いた親の世話は、どの子ども（またはその家族）に責任があると思いますか。次のなかからあてはまるもの1つに○をつけてください。

OPPPCARE	1 長男	4 子どもの誰か	7 その他（具体的に )
	2 息子の誰か	5 子ども全員	
	3 娘の誰か	6 子どもに責任はない	

Q52 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ

Q7FFAUTH	1	2	3	4	5	6	7
	強く賛成	賛成	どちらか といえば賛成	どちらとも いけない	どちらか といえば反対	反対	強く反対

B 親の誇りとなるように、子どもは努力するべきだ

Q7FFHNR	1	2	3	4	5	6	7
	強く賛成	賛成	どちらか といえば賛成	どちらとも いけない	どちらか といえば反対	反対	強く反対

C 家系の存続のためには、息子を少なくとも1人もつべきだ

<b>Q7FFNDMN</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

D 夫と妻の両方の親族が、妻の助けを必要としている時には、妻は夫の親族を優先して助けるべきだ

<b>Q7PRMAN</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

E 自分の幸福よりも、家族の幸福や利益を優先するべきだ

<b>Q7PRFF</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q53 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫は、妻より年上であるべきだ

<b>Q7MGOLD</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

B 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

<b>Q7MGCC</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

C 結婚している男性は、結婚していない男性より幸せだ

<b>Q7MGMNHP</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

D 結婚している女性は、結婚していない女性より幸せだ

<b>Q7MGWNHP</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

E 結婚するつもりがなくても、男女が同棲するのはかまわない

<b>Q7MGCOH</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

F 離婚したくても、子どもが大きくなるまで待つべきだ

<b>Q7MGDVCC</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

G 結婚生活がうまくいかなかったら、たいていの場合、離婚するのが一番よい

<b>Q7MGDVGD</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
	強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対







Q66-1 配偶者のご両親はご存命ですか。

**PMLDTH**                    1                    2                    3                    4  
 両親とも存命    父親のみ存命    母親のみ存命                    両親ともすでに亡くなっている

Q66-2 過去1年間に、あなたは配偶者の親へ、次のことをどの程度しましたか。

		非常に ひんぱん 頻繁に			頻繁に		時々		ほとんど ない		まったく ない
<b>あなた → 配偶者の親</b>											
<b>HLPE2PML</b>	A 経済的な支援	1	2	3	4	5					
<b>HLPP2PML</b>	B 家事 (掃除・料理・買い物・雑用など) や介護	1	2	3	4	5					

Q66-3 過去1年間に、配偶者の親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

		非常に ひんぱん 頻繁に			頻繁に		時々		ほとんど ない		まったく ない
<b>配偶者の親 → あなた</b>											
<b>HLPEFPML</b>	A 経済的な支援	1	2	3	4	5					
<b>HLPPFPML</b>	B 家事 (掃除・料理・買い物・雑用など) や育児	1	2	3	4	5					

Q66-4 配偶者のご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

		良 い					悪 い	亡くなっている
<b>PPLHLTHZ</b>	配偶者の父親	1	2	3	4	5	6	
<b>MMLHLTHZ</b>	配偶者の母親	1	2	3	4	5	6	

Q67 あなたは、現在の結婚生活に全体として満足していますか。

**STMGLF**                    非常に満足                    非常に不満  
 1                    2                    3                    4                    5

ここからは、あなたが結婚した時のことについておうかがいします。  
 再婚した方は、一番最近の結婚についてお答えください。

Q68-1 あなたは配偶者の方とどのようなかたちで出会いましたか。

**FSTMTSS**                    1                    2                    3  
 見合い                    人からの紹介 (見合い以外)                    見合いでも紹介でもない

Q68-2A どなたがお相手を紹介したり、見合いの準備をしたりしましたか。

- WHOINTSS**
- 1 きょうだい・いとこ
  - 2 親・その他の親族
  - 3 友人・クラスメイト
  - 4 同僚
  - 5 近所の人
  - 6 結婚相手を紹介する個人や機関
  - 7 その他 (具体的に\_\_\_\_\_)

Q68-2B どこで配偶者の方と出会いましたか。

- WHRMTSS**
- 1 近所で
  - 2 学校で
  - 3 職場で
  - 4 その他の機会  
(具体的に\_\_\_\_\_)



Q69 配偶者の方にとって、あなたとの結婚は初婚でしたか、再婚でしたか。

XSSRMG

1 初 婚

2 再 婚

Q70 あなたが配偶者の方との結婚を決めた時、あなたの親の意見はどの程度影響しましたか。

INFLPMMG

- 1 かなり影響した
- 2 ある程度影響した
- 3 あまり影響しなかった
- 4 まったく影響しなかった
- 5 親はその時すでに亡くなっていた

最後に、お子さんとのご関係についておうかがいします。

Q71 あなたには、18歳以上の子どもがいますか。

XCC18 1 いる

2 いない

これで終わりです。長時間のご協力  
誠にありがとうございました。

Q72 18歳以上のお子さんのうち、日ごろ、あなたともっともよく接しているのは、次のうちどなたですか。電話やメール、インターネットでのやり取りも含みます。やり取りが同じくらいのお子さんが2人以上いる場合は、最近、もっともよく話しているお子さん1人を選んでください。

CC18CNT

- 1 息子（長男）
- 2 息子（長男以外）
- 3 娘（長女）
- 4 娘（長女以外）
- 5 娘（長女）の夫
- 6 娘（長女以外）の夫
- 7 息子（長男）の妻
- 8 息子（長男以外）の妻

Q73 そのお子さんとは同居されていますか。

LVTGCC18

1 は い

2 いいえ

Q74 過去1年間に、あなたはその子どもへ、次のことをどの程度しましたか。

		あなた → その子ども				
		非常に ひんぱん 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど ない	まったく ない
HLPE2CC	A 経済的な支援	1	2	3	4	5
HLPP2CC	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児	1	2	3	4	5

Q75 過去1年間に、その子どもはあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

		その子ども → あなた				
		非常に ひんぱん 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど ない	まったく ない
HLPEFCC	A 経済的な支援	1	2	3	4	5
HLPPFCC	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護	1	2	3	4	5

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第 12 回 生活と意識についての国際比較調査」 ご協力をお願い

大阪商業大学 JGSS 研究センターは、文部科学省から助成を受けて、1999 年から継続して調査研究を行なってきました。今回、第 12 回目の調査の実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を<sup>たまわ</sup>賜りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、近隣関係、健康状況など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で正確に把握し、その結果を社会に還元<sup>かんげん</sup>することです。調査の結果は、私どもだけではなく、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用されます。今までに、10 万人以上の学生や研究者がさまざまな問題の分析に取り組んできました。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることは決してございません。調査の実施を委託しております一般社団法人中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が 2 月下旬から 4 月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいたクオカード(500 円分)は、このようなご時勢に突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びと、この文書に目を通していただいた御礼としてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらにクオカード(500 円分)とペンセットをご用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2018 年 2 月

「生活と意識についての国際比較調査」研究代表  
谷岡 一郎(大阪商業大学 学長・教授)  
岩井 紀子(大阪商業大学 JGSS 研究センター長)  
[調査協力]  
岩井 八郎(京都大学大学院 教育学研究科 教授)



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第12回 生活と意識についての国際比較調査」について

(調査企画) 大阪商業大学 JGSS 研究センター

(調査協力) 京都大学 大学院 教育学研究科 教授 岩井八郎

(調査実施) 一般社団法人 中央調査社

### 調査の目的

この調査は、学術調査として文部科学省から助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外のさまざまな教育・研究機関、行政機関において活用され、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会の問題が分析されます。

### 調査の時期

調査は2月下旬から4月中旬までの2ヶ月間に全国いっせに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだプロの調査員が、皆様のご都合をお聞きしてから、調査を実施します。調査員は調査員証を携帯しております。



### ご協力をお願いする回答者の皆様

日本に在住する満20～89歳の4,000人の方々が対象です。法律にもとづいて、お名前やご住所などをこの調査以外の目的で使用しないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民基本台帳を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきというように、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

### お問い合わせ先

#### ○調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

一般社団法人 中央調査社

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12

E-mail: office@crs.or.jp

TEL: 0120-48-5351 (フリーダイヤル)

【平日 9:00～17:00】

#### ○調査の趣旨や内容についてのご質問

大阪商業大学 学術研究事務室

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

【平日 10:00～17:00】

E-mail: jgss@daiishodai.ac.jp

TEL: 06-6785-6139

京都大学 大学院 教育学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

E-mail: iwai.hachiro.2r@kyoto-u.ac.jp

TEL: 075-753-3003

授業や学会出張で教育学研究科からの転送電話に出られない場合は、折り返しご連絡します。またはメールでお尋ねください。

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

## [Q&A] よくあるご質問と回答

### ◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から 267 箇所を選び、それぞれの地点で約 15 人の方々（合計で 4,000 人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前やご住所などをこの調査以外の目的で使用しないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民基本台帳を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、台帳から何人おきというように、まったく無作為に選ばれています。

### ◇ 調査員はいつ来るの？

2 月下旬から 4 月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

### ◇ どんな調査方法？

まず、調査員が皆様のご都合をお聞きします。調査にご協力いただける場合には、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡しください。

### ◇ どんな質問？

お仕事、家族関係、友人関係、健康状況、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

### ◇ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、文部科学省から助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。日常生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動の基礎的なデータ（資料）を集めます。調査はおよそ 2 年に 1 回、継続して行なわれ、今回で 12 回目となります。調査の結果は、私どもだけではなく、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用されます。今までに、10 万人以上の学生や研究者がさまざまな問題の分析に取り組んできました。

### ◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡（フリーダイヤル:0120-48-5351）いただければ幸いです。

### ◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。口頭での面接の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

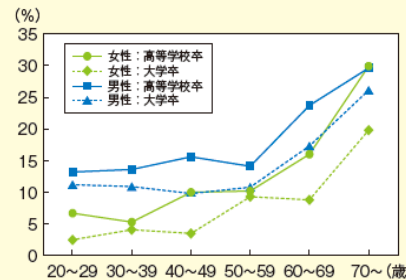
## ◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約1年半後に、回答分布をまとめた基礎集計表が公表されます。これまでの調査結果は、『日本人の姿』（有斐閣）、『日本人の意識と行動』（東京大学出版会）、『データで見る東アジアの家族観』（ナカニシヤ出版）等の刊行物として公表しています。調査の概要、プロジェクトのメンバー、研究報告、基礎集計、質問内容、個人情報保護への取り組みなどは、ホームページ (<http://jgss.daishodai.ac.jp/>) に掲載しています。調査の結果は、さまざまな新聞やテレビでも取り上げられています。行政機関の白書でも参照されています。

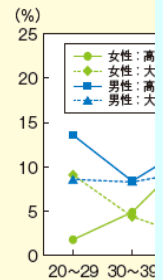


I-特-25図 女性の就業に関する男女の意識 (男女別、平成22年)

a. 「夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい」という問いへの賛成回答の割合



b. 「母親が仕事をもたない影響を与える」という問いへの賛成回答の割合



(備考) 1. 「日本版General Social Survey (JGSS)」を基に内閣府男女共同参画局が集計。JGSS (文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点) が、東京大学社会科学プロジェクトである。  
2. 「賛成」、「どちらかといえば賛成」、「どちらかといえば反対」、「反対」のうち、「

『平成26年版 男女共同参画白書』(内閣府)

## ◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する一般社団法人中央調査社は、適正なプライバシー保護を行っている機関の証となる「プライバシーマーク」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、誰にアンケートが行なわれたか、第三者に知られることは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、「専門社会調査士」(一般社団法人社会調査協会の認定)が指導にあたります。



回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果から回答者個人を特定することはできません。個人情報是一定期間後、破棄します。本調査プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動を続けることができます。2003年11月28日には、(財)日本統計協会から「統計活動奨励賞」を受賞しています。



## これまでの調査結果の一部

日本人はよく運動するようになったの？

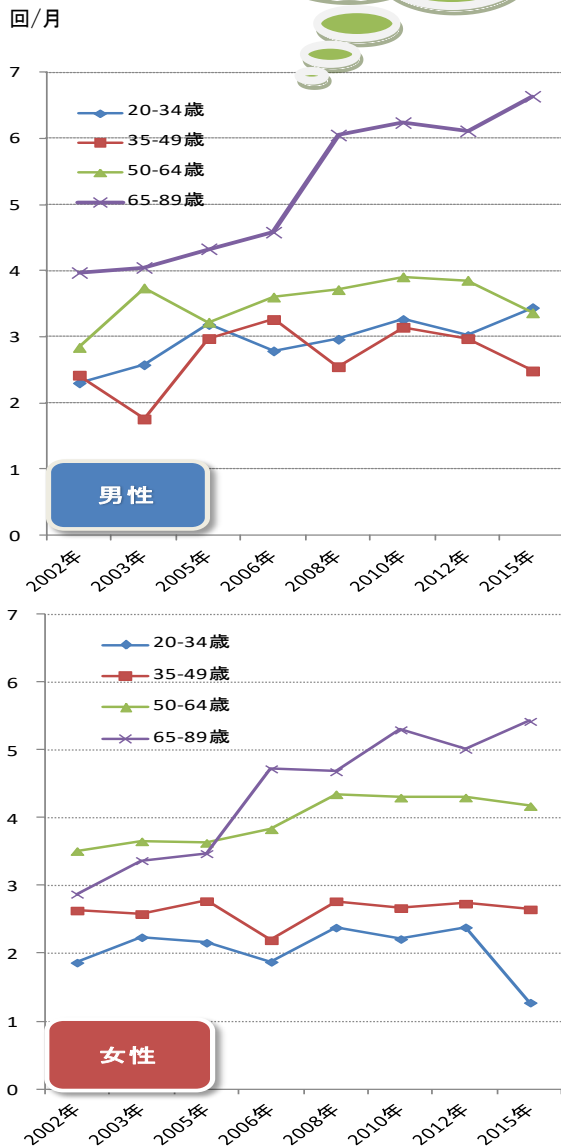


図1 性・年齢別の月あたり運動頻度

日本人のレジャーはどのように変化しているの？

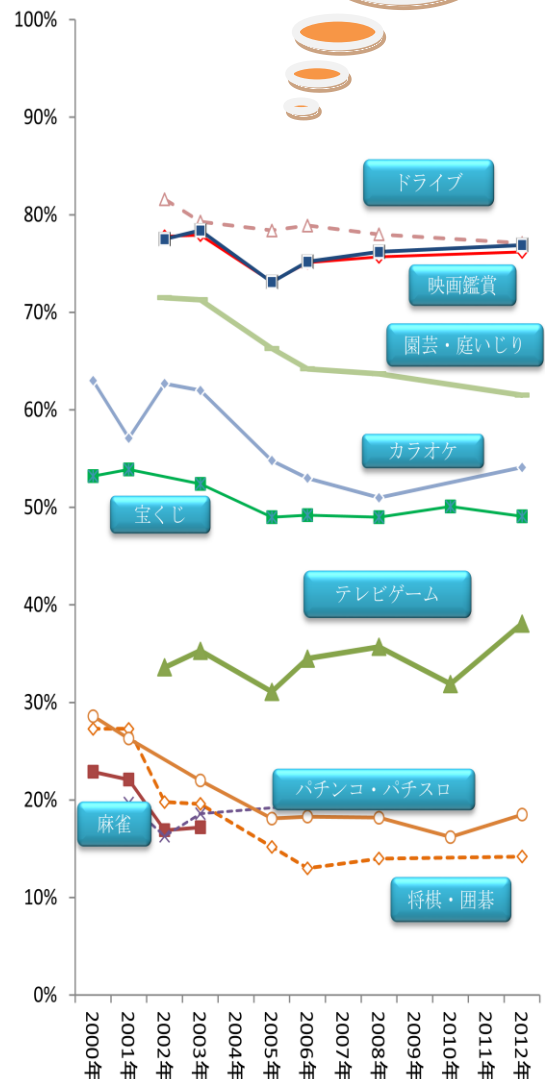


図2 レジャー経験の変化

皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

調査にご協力いただけない場合は、おうかがいした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社 (TEL: 0120-48-5351 / office@crs.or.jp) までご一報いただければ幸いです。

JGSS-2018 調査



第 0784 号

## 第 12 回 生活と意識についての国際比較調査

## 〔 調査要領 〕

2018 年 2 月 (一社) 中央調査社

## 1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票 (ページ)	
回答票	面接調査で使用
補助用紙 (緑色、黄色、桃色)	面接調査が必要があれば使用
留置調査票 (青色)	
郵送用依頼状 (封書)	調査員が事前に対象者に郵送 (500 円分のクオカード同封)
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
クオカード 500 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証	実施中は必ず携帯し、首から下げておく
訪問確認カード	

2. 調査対象 満 20 歳～89 歳 (昨年末時点) の男女 4,000 名

3. 調査期間 2 月 23 日 (金)～4 月 22 日 (日)

## 4. この調査の特徴

この調査は、大阪商業大学 JGSS 研究センターが、文部科学省をはじめとした助成を受けて 1999 年から継続してきた調査の 12 回目で、今回の調査は、日本学術振興会の科学研究費補助金を得て実施する。研究協力者として京都大学 大学院 教育学研究科の岩井八郎教授が参加している。調査の名前は「生活と意識についての国際比較調査」(正式名称は Japanese General Social Surveys (JGSS)=日本版総合的社会調査)で、社会科学諸分野の研究者が共同で行なっている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に尋ねており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている(対象者への説明は 10 ページ参照)。

調査の実施にあたっては、以下の点について注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・ 1 人の対象者が 2 つの調査票 (面接調査票と留置調査票) に回答する。両方を完了しなければならない (面接調査の実施と留置調査票の回収の順序はどちらでもよい)。
- ・ 対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。この依頼状のなかには、500 円分のクオカードが同封されている。調査に協力してくれた回答者には、さらに 500 円分のクオカード (合計で 1,000 円分) を渡すこと。
- ・ 今回の調査のスポンサーは、上述のとおり、“日本学術振興会”であるが、対象者に事前に送るピンクの封書に同封の依頼状やパンフレットの 1・2 ページ目には“文部科学省”と誤解されかねない表現で記載されてしまっているので、対象者から質問があった場合は、“日本学術振興会”の方が正しいと説明すること (他の調査書類には正しく記載済)。

## 5. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

### a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。

### b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 2017 年 12 月 31 日（昨年末）時点のものになっていることを本紙 11 ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。

### c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する。このなかには 500 円分のクオカードが同封されているが、こちらから一方的に送ったものなので、調査に協力してもらえない場合でも返却を求めるようなことは絶対にしない。発送の時期は、訪問の 1 週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

## 6. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

### a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1 日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

**\* 集合住宅の部屋番号等がわからず訪問できない場合について \***

名簿に集合住宅の部屋番号等が記載されていないために、訪問できないことがまれにあるので、その場合は本社管理部もしくは支局調査担当者に連絡する。[ 対象者宛に「連絡して欲しい」旨の文書を送付するなどの方法を考えます（ただし、事前依頼状が「宛先不明」等で差し戻されない場合のみ）。]

### b) 訪問日時記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでよい。

(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	<del>午前</del> 午後 11時 15分頃	本人 家族のみ <del>不在</del>
2	9月 11日(日)	午前 <del>午後</del> 2時 00分頃	本人 家族のみ 不在
3	9月 12日(月)	午前 <del>午後</del> 3時 30分頃	<del>本人</del> 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

←本人と会えた際の訪問まで記録  
←その後の記録は不要



c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。平日の訪問と土日祝日の訪問を織り交ぜ、不在が多い場合も、会うことができるように努力する(9ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、「その対象者を、4日以上にわたって訪問する」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない(ただし、拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る)。

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日=計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない(ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる(持参用依頼状: お願いの文書と説明のパンフレットの両方を見せながら)。
- ・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、日本学術振興会の助成、一般社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に11回行なわれている、他の人では回答できない、対象者は無作為に選ばれている、プライバシーの保護、調査にかかる時間、すべて答えなくてもよい、等々(依頼状・パンフレットや本紙の10ページなどを参照)

※パンフレットについては、1・2ページ目の「文部科学省の助成」→「日本学術振興会の助成」であることにも留意する

e) 謝礼品について

持参したクオカードは、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。調査不能になった場合でも、ペンセットは渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人(幼児や小学生など)に、伝言を頼ってはならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

## 7. 面接調査の実施

面接調査と留置調査の実施は、状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

### a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

### b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

### c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中のカッコ【】の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

### d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票〇〇〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。

### e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 40（子どもが 4 人以上の場合）、問 41-2（配偶者・両親・子ども以外の同居家族が 5 人以上の場合）、問 44-2（一時的に別居している家族が 5 人以上の場合）のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

### f) 年齢の記入について

対象者本人の年齢は「2017 年 12 月 31 日（昨年末）時点の」年齢であるが、対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢は、12 月 31 日時点の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。対象者が対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢を年号や西暦で答えた場合は、11 ページの年齢早見表を参照する。

## g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている勤め先の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみでの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で高齢者を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。
- ・職業の内容を詳しく聞くときには、特に、資格が必要な仕事かどうか注意する。例えば、「福祉関係の仕事」では資格が要るかがわからないので、「ケアマネージャー」「介護福祉士」「訪問介護の手伝い（資格はない）」などと、資格の有無を含めて、職業の内容を記述する。また、物を作る仕事の場合には、手作業で行なう仕事なのか、機械を操作する仕事なのかを区別するように注意する。例えば、「人形作り」では手作業か機械操作かわからないので、「手作業で人形に色付けをする仕事」「人形の型に材料を流し込む機械の操作」というように詳しく記述する。
- ・楷書体で丁寧に書く（面接時に速記しても、後で書き直しておく）。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。  
（例）セイ産技術→生産技術、 コセキジム→戸籍事務、 ジキ→磁気、 ソージ→掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。  
（例）大学ノ教授→大学の教授、 子供服ノ販売→子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。  
（例）「公用車、運転業務」→「公用車の運転業務」  
「看護師、市立病院」→「市立病院の看護師」など

## h) 14 ページ問 51～15 ページ問 57 の学歴関連の質問群について

これらの質問群は、調査企画者からの要望で、特に注意して聴き取りにのぞんでほしい箇所なので、次ページ見開きで解説する。

## i) 面接調査後の記入

面接票・留置票の表紙下部の D 欄には、面接票 問 27-1（婚姻状態）の回答と同じ数字に○をつける。面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」F1～F10 に記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

h) 14 ページ問 51～15 ページ問 57 の学歴関連の質問群について 特別注意事項

この問 51 で、特に「本人」と「配偶者」の正しい回答が得られないと、以降の問 52～問 57 も正しいデータとなりません。

問 51 [回答票 48] あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

【配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に通った学校が「(ア) 旧制尋常小学校」である。

●一般に「専門学校」に分類される。→その学校以外で最後に通った一貫の高等教育機関。主に国公立→10(コ)に○をする。

●高等専門学校  
●戦前の専門学校(注)(コ)と答えられないか尋ねる。】

(戦前の)旧制の学校に通っていた人の年齢目安を下部欄外に記載※(一般知識として頭に入れておいてください)

	本人	配偶者	父親	母親
	↓	↓	↓	↓
(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
(イ) 旧制高等小学校	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
戦 (ウ) 旧制中学校・高等女学校	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
(エ) 旧制実業・商業学校	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
前 (オ) 旧制師範学校	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
(キ) 旧制大学・旧制大学院	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
(ク) 新制中学校	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
戦 (ケ) 新制高校				
後 (コ) 新制高専 (注)				
(サ) 新制短大				
(シ) 新制大学				
(ス) 新制大学院				
わからない				
結婚したことはない・離別				

〔(戦後の)新制の学校についての補足〕  
いわゆる一般的な(戦後の)専門学校は、(ク)～(ス)の選択肢のどれにも含まれない(あとの問 54 で別途尋ねることになっている)。  
例えば、「高校卒業後、専門学校卒業→社会人」という対象者の最終学校は「(ケ) 新制高校」であり、「(コ) 新制高専」ではない。  
回答票 48 には、一般的な専門学校と「(コ) 新制高専」とを混同しないように注釈をつけているが、本人・配偶者・父親・母親で(コ)の回答があった場合はすべて、対象者に混同していないか確認する。

問 52 あなたは最後に通った学校を卒業【3 在学中】の場合には、学年を尋ねる。  
1 卒業 2

(問 51 で本人が(ケ) 新制高校、(コ) 新制高専、(サ) 新制短大、(シ) 新制大学、(ス) 新制大学院と答えた人に)

問 53-1 [回答票 49] あなたが通った高校で学んだ学科は何でしたか。2つ以上の場合には主な学科を1つお答えください。

- 1 (ア) 普通科                      4 (エ) 農業に関する学科                      7 (キ) 高校には行っていない
- 2 (イ) 工業に関する学科        5 (オ) 家庭・家政に関する学科                      8 わからない
- 3 (ウ) 商業に関する学科        6 (カ) その他の学科 (具体的に)

問 53-2 [回答票 49] [高校に行っていない主なケース]  
1 ・高専に通っていた多くの人 (例外あり)  
2 ・「高卒認定」(高等学校卒業程度認定試験)に合格した人  
3 (2004 年度(平成 16 年度)までは「大検」(大学入学資格検定)と呼ばれていたもの)

※[旧制の学校の回答があった場合の年齢目安]  
・76 歳以下の人最終学校が「(ア) 旧制尋常小学校」となることはありえない。  
・82 歳以下の人最終学校が「(イ) 旧制高等小学校」～「(キ) 旧制大学・旧制大学院」となることはありえない。



## 8. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

### a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

### b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

### c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。

### d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行なう。

・「〇〇様、ご本人のお答えですね」

・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」

「かまわない」→確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。

記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。

「見られたくない」→回答者本人に、記入漏れがないかもう一度確認してもらう。

### e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号 (no)」を○印で囲む。

## 9. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄の面接不能／回収不能に印を付ける。

・面接調査票の2ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。

・対象者名簿の「対象番号 (no)」の上から×印を付ける。

## 10. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

・対象者名簿の「対象番号 (no)」に○印か×印のいずれかが付いていることを確認する。

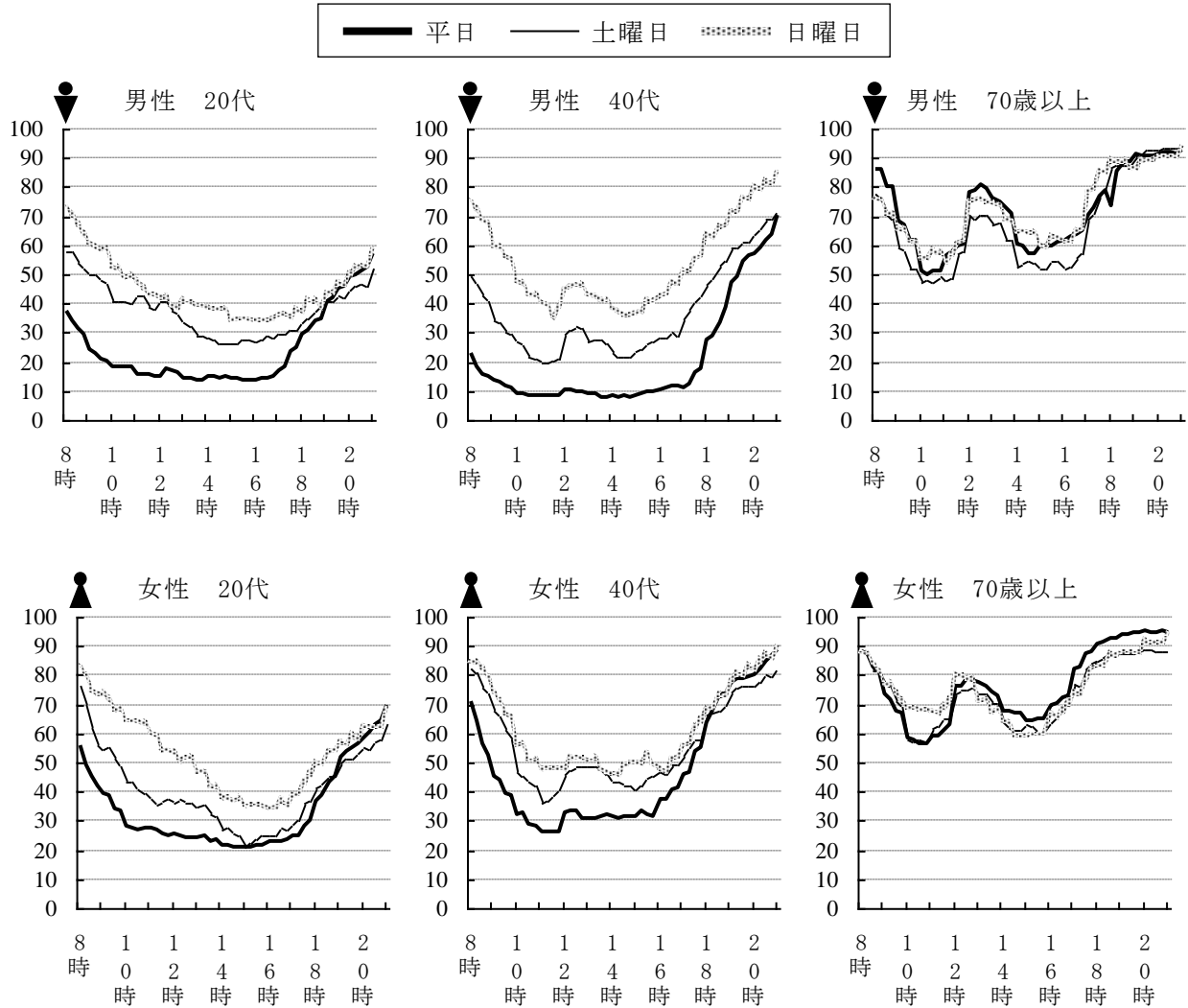
・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。

(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)

・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

### ◇◇◇ 在宅率の情報 ◇◇◇

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



## ◇◇◇ 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例 ◇◇◇

### Q. この調査の目的は？

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方、健康状況、仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、それらが年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査は、継続して実施することにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを分析し、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術調査です。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

### Q. 依頼状に書いてある「文部科学大臣認定 日本版総合的社会調査」とは？

大阪商業大学 JGSS 研究センターが、文部科学省をはじめとした助成を受けて 1999 年から継続してきた調査で、日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。今回の調査が 12 回目で、日本学術振興会の科学研究費補助金を得て実施します。研究協力者として京都大学 大学院 教育学研究科の岩井八郎教授が参加しています。

### Q. どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から 267 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名程度を選ばせていただきました（合計で 4,000 人の回答者になります）。対象者は、全国の自治体の住民基本台帳から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民基本台帳を閲覧しています。

### Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から 267 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 4,000 人を無作為に選びました。

### Q. どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、面接のアンケートが 30 分程度、記入式のアンケートが 30 分程度です。

### Q. 家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

### Q. プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですので、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

### Q. どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

### Q. 調査の結果は発表するのか？

調査実施から約 1 年半後には調査結果を発表し、論文や出版物として公表したり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なったりします。各新聞社にも分析結果を公表します。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS 研究センター ..... <http://jgss.daishodai.ac.jp/>



◇◇◇ 年齢早見表 (2017年版) ◇◇◇

対象者本人の年齢は、2017年12月31日(昨年末)現在のものとする。面接票のなかでは、対象者以外の人(同居家族員や親、子ども等)の年齢も尋ねている。対象者以外の人(同居家族員や親、子ども等)の年齢は、昨年末時点の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。年号や西暦で答えた場合に、この表を参照すればよい。

年号	西暦	干支	年齢
大正 6	1917	巳 へび	100
7	1918	午 うま	99
8	1919	未 ひつじ	98
9	1920	申 さる	97
10	1921	酉 とり	96
11	1922	戌 いぬ	95
12	1923	亥 いのしし	94
13	1924	子 ねずみ	93
14	1925	丑 うし	92
15/昭和元年	1926	寅 とら	91
昭和 2	1927	卯 うさぎ	90
3	1928	辰 たつ	89
4	1929	巳 へび	88
5	1930	午 うま	87
6	1931	未 ひつじ	86
7	1932	申 さる	85
8	1933	酉 とり	84
9	1934	戌 いぬ	83
10	1935	亥 いのしし	82
11	1936	子 ねずみ	81
12	1937	丑 うし	80
13	1938	寅 とら	79
14	1939	卯 うさぎ	78
15	1940	辰 たつ	77
16	1941	巳 へび	76
17	1942	午 うま	75
18	1943	未 ひつじ	74
19	1944	申 さる	73
20	1945	酉 とり	72
21	1946	戌 いぬ	71
22	1947	亥 いのしし	70
23	1948	子 ねずみ	69
24	1949	丑 うし	68
25	1950	寅 とら	67
26	1951	卯 うさぎ	66
27	1952	辰 たつ	65
28	1953	巳 へび	64
29	1954	午 うま	63
30	1955	未 ひつじ	62
31	1956	申 さる	61
32	1957	酉 とり	60
33	1958	戌 いぬ	59
34	1959	亥 いのしし	58
昭和 35	1960	子 ねずみ	57
36	1961	丑 うし	56
37	1962	寅 とら	55
38	1963	卯 うさぎ	54
39	1964	辰 たつ	53
40	1965	巳 へび	52
41	1966	午 うま	51
42	1967	未 ひつじ	50

年号	西暦	干支	年齢
43	1968	申 さる	49
44	1969	酉 とり	48
45	1970	戌 いぬ	47
46	1971	亥 いのしし	46
47	1972	子 ねずみ	45
48	1973	丑 うし	44
49	1974	寅 とら	43
50	1975	卯 うさぎ	42
51	1976	辰 たつ	41
52	1977	巳 へび	40
53	1978	午 うま	39
54	1979	未 ひつじ	38
55	1980	申 さる	37
56	1981	酉 とり	36
57	1982	戌 いぬ	35
58	1983	亥 いのしし	34
59	1984	子 ねずみ	33
60	1985	丑 うし	32
61	1986	寅 とら	31
62	1987	卯 うさぎ	30
63	1988	辰 たつ	29
64/平成元年	1989	巳 へび	28
平成 2	1990	午 うま	27
3	1991	未 ひつじ	26
4	1992	申 さる	25
5	1993	酉 とり	24
6	1994	戌 いぬ	23
7	1995	亥 いのしし	22
8	1996	子 ねずみ	21
9	1997	丑 うし	20
10	1998	寅 とら	19
11	1999	卯 うさぎ	18
12	2000	辰 たつ	17
13	2001	巳 へび	16
14	2002	午 うま	15
15	2003	未 ひつじ	14
16	2004	申 さる	13
17	2005	酉 とり	12
18	2006	戌 いぬ	11
19	2007	亥 いのしし	10
20	2008	子 ねずみ	9
21	2009	丑 うし	8
22	2010	寅 とら	7
23	2011	卯 うさぎ	6
24	2012	辰 たつ	5
25	2013	巳 へび	4
26	2014	午 うま	3
27	2015	未 ひつじ	2
28	2016	申 さる	1
29	2017	酉 とり	0

《お願い》

この基礎集計表・コードブックを利用して発表を行われた方は、  
その掲載誌などを下記の JGSS 研究センター宛に 1 部お送り下さい。  
本誌の掲載内容やデータの修正については、JGSS ホームページで掲示いたします。

大阪商業大学 JGSS 研究センター

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10

Tel : 06-6785-6013 Fax : 06-6785-6011

E-mail: [jgss@daishodai.ac.jp](mailto:jgss@daishodai.ac.jp)

<http://jgss.daishodai.ac.jp>

2020 年 3 月 31 日発行（非売品）

文 部 科 学 省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」  
日本学術振興会「科学研究費補助金・基盤研究 A（JP17H01007）」  
「人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業  
（JPJS0021807718）」

# 日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2018

編 集・発 行

文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点

大阪商業大学 JGSS 研究センター

印 刷

キンコーズ・ジャパン(株)